

# 令和3年度 第1回 小金井市環境審議会

日 時：令和3年7月12日（月）午後2時から  
場 所：小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

## 次 第

### 1 開会

### 2 報告事項

- (1) 令和2年度各種環境測定結果について（資料4～9）
- (2) 令和3年度環境教育事業の実施について（資料10）
- (3) 令和3年度子ども環境ワークショップの実施について（資料11）
- (4) 令和3年度小金井市環境賞について

### 3 議事

- (1) 前回審議会会議録について（資料2）
- (2) （仮称）小金井市気候非常事態宣言について（資料3）
- (3) その他

### 4 その他

### 5 次回審議会の日程について

#### <配布資料>

資料 1	令和3年度小金井市環境審議会委員名簿
資料 2	令和2年度第6回小金井市環境審議会会議録
資料 3	（仮称）小金井市気候非常事態宣言（案）
資料 4	ダイオキシン類調査について
資料 5	自動車騒音常時監視調査結果について
資料 6	道路交通騒音・振動の要請限度調査結果について
資料 7	大気質調査について
資料 8	水質監視測定及び湧水調査について
資料 9	水質監視測定及び湧水・地下水位調査について
資料 10	令和3年度環境教育事業の実施について
資料 11	環境学習ワークショップチラシ

## 第9期 小金井市環境審議会 委員名簿

令和3年7月12日現在

委員氏名	任期	任期数	選任区分
羽田野 勉	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	2期	公募による市民
中里 成子	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	1期	公募による市民
石田 潤	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	2期	公募による市民
長森 眞	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	1期	公募による市民
土屋 健	令和3年7月12日 ~ 令和4年3月31日	1期	市内事業者 (小金井市果樹組合地区役員)
高木 聡	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	1期	市内事業者 (小金井市商工会理事)
池上 貴志	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	2期	学識経験者 (国立大学法人東京農工大学 准教授)
高橋 賢一	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	1期	学識経験者
小柳 知代	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	2期	学識経験者 (国立大学法人東京学芸大学 准教授)
近藤 豊	令和3年7月12日 ~ 令和4年3月31日	1期	関係行政機関の職員 (東京都多摩環境事務所長)

# 令和2年度第6回

## 小金井市環境審議会会議録

## 令和2年度第6回小金井市環境審議会会議録

- 1 開催日 令和3年3月9日（火）
- 2 時間 午後2時から午後3時38分まで
- 3 場所 小金井市役所本庁舎3階第一会議室
- 4 報告事項 (1) 第3次小金井市環境基本計画（案）の諮問について  
(2) 小金井市内の空間放射線量測定結果について（令和2年度）（資料7）  
(3) 令和3年度環境政策課の主な事業計画について（資料6）  
(4) 意見・提案シートの提出について（資料8）
- 5 議題 (1) 前回審議会会議録について（資料1）  
(2) 第3次小金井市環境基本計画（案）に対する答申について（資料2-1、資料2-2、資料3）  
(3) 環境保全実施計画（案）について（資料4）  
(4) 環境行動指針（案）について（資料5）  
(5) その他
- 6 その他
- 7 次回審議会の日程について
- 8 出席者 (1) 審議会委員  
会 長 池上 貴志  
副会長 小柳 知代  
委 員 高橋 賢一、高木 聡  
羽田野 勉、石田 潤  
中里 成子、長森 眞  
木村 真弘  
(2) 事務局員  
環境部長 柿崎 健一  
環境政策課長 平野 純也  
環境係長 山口 晋平  
環境係専任主査 荻原 博  
環境係主事 鳴海 春香  
環境係 阪本 晴子

緑と公園係長 小林 勢

9 その他発言者 (株)プレック研究所

10 傍聴者 2名

## 令和2年度第6回小金井市環境審議会会議録

池上会長 　　ただいまより令和2年度第6回の小金井市環境審議会を開会いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

　　最初に、事務局のほうから事務連絡及び本日の配付資料の確認をお願いいたします。

山口係長 　　初めに、本日は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴います緊急事態宣言発出中にもかかわらず、環境審議会へお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

　　本日は事務連絡1点と配布資料の確認、これからさせていただきます。

　　事務連絡につきましては、御発言の際のお願いでございます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席の間隔を通常より広く取ってございますことと、マスクの着用をお願いしていることなどから、質疑応答の際は、座席前面に設置してございますマイクのスイッチを御発言の都度、オン、オフしていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

　　毎回同じお願ひで恐縮でございますが、会議録の作成、会議の円滑な進行に御協力よろしくお願ひいたします。

　　続きまして、資料の確認でございます。

　　次第の下段、配布資料を御覧いただきたいと思ひます。資料1から資料8まで合計8点でございます。本日、当日配布いたしました資料が、資料3、小金井市環境基本計画（案）に対する答申書、資料6、令和3年度環境政策課環境係の事業計画について、資料7、小金井市内の空間放射線量測定結果でございます。

　　事前に配布させていただきました資料5点につきましては、皆様に郵送させていただいたものと内容の変更はございません。

　　お手元に資料の不足がございましたら事務局までお申しつけください。

　　いかがでしょうか。大丈夫ですね。

　　また、鈴木委員につきましては、本日御欠席の御連絡をいただいて

おりますので、あらかじめお知らせいたします。

以上でございます。

池上会長

ありがとうございます。何か御質問ございますでしょうか。

ないようでしたら、次第の「2 報告事項」に入りたいと思います。

まず、報告事項の（1）番、第3次小金井市環境基本計画（案）の諮問について、事務局のほうから報告お願いいたします。

山口係長

報告事項（1）、第3次小金井市環境基本計画（案）の諮問について、報告いたします。

改めまして、本審議会の役割といたしましては、小金井市環境基本条例において、市の環境保全等に関する重要な事項を調査審議するため、環境基本法の規定に基づき市長の附属機関として設置された会議体でございます。市長の諮問に応じた調査審議事項においては、環境基本計画に関することとございます。

第3次環境基本計画の策定におきましては、新たに別の会議体である策定委員会を設置することなく、本審議会において策定に御尽力をいただくこととなり、令和元年度から約2か年にわたりまして御検討いただいた結果、先日、第5回の審議会後の会長、副会長御確認の後、計画最終案の作成完了に至りました。

その後、この最終案が適当、適切であるかどうか、令和3年3月1日に小金井市長から環境審議会会長へ諮問をさせていただいております。本日その諮問に対して本審議会から答申をいただく予定であります。

策定委員会を別途設置せず、本審議会において計画を策定し、計画への答申も行っていただくという2つの役割をさせていただいておりますので、多少分かりづらいかと思いますけれども、そういった流れを説明させていただきました。

報告1は以上でございます。

池上会長

ありがとうございます。何か御質問等ございますでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、続いて報告事項の（2）番に入りたいと思います。小金井市内の空間放射線量測定結果についてということで事務局のほうから報告をお願いいたします。

荻原専任主査 今年度の市内空間放射線量測定結果について報告させていただきます。資料7を御覧ください。

これは例年、市内の小中学校及び幼稚園、保育園、それから児童館・学童保育所など、児童、子供たちのいる施設について放射線量の測定を行っているものです。

表面の下のほうに、小金井市の除染実施基準が書いてありますけれども、例年、この数値を超えるようなところは出ておりません。今年度の測定につきましては、裏面のほうで、保育園、それから、幼稚園の測定はしていないんですけれども、こちらにつきましては、コロナの関係で、なかなかこういう小さい子供たちのいる施設に部外者が立ち入ることができないというような状況下にありまして、保育園、幼稚園につきましては、今年度は未実施となっております。

数値のほうにつきましては、例年と変わらない値で推移しておりますので、特に問題はないと考えております。

簡単ではありますが、以上です。

池上会長 ありがとうございます。ただいまの報告に関しまして、何か御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

ありがとうございます。

それでは、続きまして、報告の3番に入りたいと思います。

令和3年度環境政策課の主な事業計画についてということで事務局のほうから報告をお願いいたします。

山口係長 令和3年度環境政策課の主な事業計画について御報告申し上げます。

資料6を御用意いただければと思います。

環境政策に係る令和3年度の予算について、環境係所管部につきましては6事業でございます。総額3,022万3,000円でございます。前年度の令和2年度対比で1,258万6,000円の減額、増減比は約マイナス30%でございます。

主な減額要因といたしましては、現在実施してございます第3次小金井市環境基本計画及び第2次地球温暖化対策地域推進計画の計画策定経費分がそのまま減額要素となっております。

それでは、予算の増減が多い事業についてかいつまんで説明申し上げます。



上から、こん虫等駆除及び雑草除去に要する経費でございます。本事業は、前年比82万4,000円の増額となっております。増額要因は、新たにアライグマ・ハクビシンの防除委託事業を実施すること。また、市民向けに貸出しを現在行っている蜂の防護服の買換えを行うための経費を新たに計上したことが挙げられます。

続きまして、環境対策事務に要する経費でございます。

本事業は前年比1,425万円の減額となりまして、主な要因といたしましては、先ほど申し上げましたが、第3次環境基本計画及び第2次地球温暖化対策地域推進計画の策定を終了するため減額となるものでございます。

環境啓発に要する経費でございます。

本事業は、前年比137万4,000円の増額となりました。主な要因としましては、第3次環境基本計画において計画推進の基盤づくりの一つとして掲げてございます環境教育、環境学習を推進するものとして、環境保全の重要性を学んでもらうため、小学生を対象とした環境教育の充実を図る環境教育事業支援委託、また、小金井子供子育て世代を対象に、身近な環境問題をテーマとした親子参加型ワークショップを開催するための子ども環境ワークショップ支援委託を新たに計上し、また、地球温暖化防止の観点からは、市民の皆様に省エネ意識の向上を持っていただくための省エネチャレンジ事業を実施するための経費を新たに予算計上したことによります。

参考ではございますが、これら環境係所管の事業費に緑と公園係所管の事業費を合算いたしますと、小金井市の令和3年度における環境政策経費は4億5,307万5,000円となります。

詳細は資料の最終ページを御覧いただければと思います。

以上でございます。

池上会長           ありがとうございます。ただいまの御説明に関しまして、何か質問等ございますでしょうか。

羽田野委員       1つだけ。5ページのところにあります小計費の中に、都市公園等の整備に関する経費が2億8,700万と一番多いんですね。これは前年度に比べてもかなり多いんですが、内容を簡単に教えていただけますか。

小林係長 今、御質問いただいた都市公園等の整備に要する経費につきまして  
は、主に小長久保公園、あとは三楽公園の用地取得費が増額の要因と  
なっております。

以上です。

羽田野委員 場所的としてはどこですか、公園の場所。

小林係長 小長久保公園につきましては、本町の3丁目です。

あと、三楽公園につきましては、貫井南町3丁目です。

羽田野委員 ありがとうございます。

池上会長 ほかにございませんでしょうか。

お願いします。

石田委員 単なる質問なんですけれども、一番最初の昆虫等とのところで、予  
算の増え方が4倍ぐらいになっていて、理由はハクビシン、アライグ  
マ等々というような説明があるんですが、これ、かなり大きな被害が  
出ているのでこんなに予算がたくさん必要なんですか。

山口係長 アライグマ及びハクビシンは、アライグマが特定外来生物、ハクビ  
シンのほうは特定外来生物ではないんですけれども、特に被害がこれ  
だけ出ているという調査を私どもがしているわけではなくて、ハクビ  
シンとかアライグマを見かけたがどうしたらいいかという問合せは年  
間20件から30件ぐらいございます。

ただ、そういったお声をいただいていると、例えば空き家に住みつ  
いているからどうしようだとか、ふんをされて困っているだとか、農  
業被害ですとか生活環境被害、そういった声はございますので、こう  
いったアライグマ、ハクビシンを防除駆除できる東京都の計画がござ  
います。その東京都の計画に我々も参加することによって、防除を推  
進していきたいということでございます。

金額につきましては、例えば先ほど申し上げましたけど、年間20  
件から30件の御相談のうち、どれだけ捕獲ができるかというのは  
我々もまだ分からない部分がございます。ですので、大体、現状では  
10件ぐらいのものを見込んではいますけれども、他市さんもやって  
いる事業ではございますけど、捕獲がそこまでできるというものでも  
ないようございますので、来年度の様子を一旦見てから予算の増減  
というのは今後検討してくる部分かなと考えてございます。

以上です。

石田委員        どうもありがとうございます。そうすると、必ずしもこれが今後続くという話ではなくて、場合によってはかなり減ってしまう可能性も当然あるわけですね。

山口係長        先ほど申し上げましたとおり、実績がどれくらい出るかということによって、まず連絡をいただきまして、調査、わなの設置、捕獲という順番を取るんですけども、捕獲できるかどうか、もしくは、その前段階で終わるどうかによっても金額が変わってきますので、まず、実績がどれくらい出るかということが、その辺の検討課題かなと考えてございます。

以上です。

池上会長        長森委員、お願いします。

長森委員        その1行上のあき地除草委託料、これは新たに予算に組まれたわけなんですけれども、これは何か理由があったわけなんですか。それと同じように、最後から2枚目の紙なんですけど、環境教育3事業、支援委託料とか子ども環境ワークショップ支援委託料を今回新たに組み込まれたんですけど、これも何か理由があるんですか。

山口係長        まず、空き地除草委託料については、ちょっと見づらくてすみません。令和3年度当初予算が9万3,000円で、真横にいらっしゃいますと、令和2年度当初予算も9万3,000円でございます。なので、新規ではなく、こちらは例年どおりの予算措置ということでございます。

長森委員        ごめんなさい、間違えました。その後の蜂用防護服一式、これも何か理由があるんですか。

山口係長        主な増減理由に記載をさせていただきましたが、現在蜂の巣を市民の方自ら駆除をされる方を対象に蜂の防護服を貸出ししております。現在4体防護服がございますけれども、耐用年数がございまして、耐用年数を過ぎたものというのは、対象が対象だけに大変危険を伴う場合もございますので、それ以上は使用せず、買換えを行うものでございます。今回は4体中2体の買換えを行い、残ったものについては耐用年数が到来すれば、また、買換えを行うというものでございます。

以上です。

すみません、もう1点ございました。

4ページでございます。環境教育事業支援委託料と子ども環境ワークショップ支援委託料、こちらは新規で新たに予算計上をさせていただいたものということで、先ほど御説明をしたんですけども、今回の第3次環境基本計画策定に当たって、計画推進の基盤づくりの一つとして掲げてございます環境教育と環境学習、今回の資料2-1で申し上げますと、22ページにその記載がございますけれども、こちらを推進するものとして、環境保全の重要性を学んでもらうための小学生を対象とした環境教育事業の支援委託、また、環境問題等をテーマとした親子参加型のワークショップを開催するための子ども環境ワークショップの支援経費を新たに計上したものでございます。

池上会長

ありがとうございます。ほかに御質問ございませんでしょうか。よろしいですか。

池上から、ちょっと内容ではないんですけども、来年度も同じような資料が出てくるのかと思うので、来年度以降お願いしたいのが、今回項目があって、予算の前年と今年度のものがある、その後に事業概要、主な増減理由があって、内訳があると思うんですけども、その下に次の項目のまとめた行が出てきていると思うんですけど、前の項目の詳細なものの下に次のやつ来ているので、そこを集計したかのように見えてしまって、ここにちょっと隙間を空けて違う項目だというのは分かるようにしていただけると見やすくありがたいなと思います。

山口係長

申し訳ございません、そのように分かりやすく修正をさせていただきたいと思います。

以上です。

池上会長

ほかにございませんでしょうか。

それでは、報告の4番に入りたいと思います。意見・提案シートの提出についてというところで事務局のほうから報告をお願いいたします。

山口係長

資料8を御覧ください。意見・提案シートとは、会議の傍聴に来られた方が、傍聴の結果、審議会の検討内容などについて意見提案があった場合に事務局まで御提出をいただくものでございまして、次回開

催日の10日前までにシートの提出があった場合は、その審議会へ資料として提出することとなっております。

前回第5回審議会の傍聴者の方からシートの提出が期日までにごさ  
いましたので、今回資料として提出いたします。

詳細は資料8を御覧いただきまして、また、その取扱いについて御  
意見等がございましたらお願いいたします。

以上です。

池上会長

ありがとうございます。何か御質問等ございますでしょうか。

本件も資料が事前配布されておりますので、内容は御確認いただけ  
ていることと思いますが、この意見・提案シートも前回のパブリック  
コメントにありましたように、都市計画道路の話と、桜の景観の話の  
御意見をいただいているということかと思えます。

前回のパブリックコメントを受けて、この審議会の場でいろいろと  
意見をいただいた上で、前回一定の議論は行った上で、今回最終案の  
答申を行うというところですので、なかなか現段階で修正をするとい  
うことはできないわけですが、この都市計画道路と桜の景観の  
点についても、個別の事業について、環境基本計画の中で言及するの  
は少しやり過ぎではないかというところが私の意見でございます。

環境を保全しながら、その他の活動を行っていくということがもち  
ろん大事なわけですが、環境が最優先ではないというところは、  
注意しなければいけないところかなと個人的には思っております。

環境最優先だと本当に我々は地球に住んでいいのかという話にまで、  
極端に言えばいってしまうわけで、我々の活動の中で、もちろん環境  
ではない部分も含めて評価されて事業を行っていくというものだと認  
識しております。ですので、この事業も別の場で、そういうところは  
議論されるべきことであって、環境基本計画の中で個別の事業を注視  
すべきというようなことを書いてしまうと、それが優先されてしまう  
というのはよくないことだと考えております。

そういう点では、この環境基本計画の中でも生物多様性をないがし  
ろにしてよいとは決して書いてないわけで、この基本方針を示すとい  
う点では十分に環境基本計画の中にも記載されているかなと認識をし  
ております。

そういう点では、都市計画道路ですとか桜の景観の話は、環境以外の目的も含めて、それは政治の場なのか分かりませんが、特に都の道路に関しては、都が中心に環境評価等もやるのかと思いますし、その推移も含めて状況を注視しながら見守っていくということで、環境基本計画には特に言及せず、このままでよいかなと思いますがいかがでしょうか。何か御意見ありましたら。よろしいですか。

それでは、いただいた貴重な御意見はしっかりと受け止めて、今後の状況は見守っていきたいと考えております。

それでは、続いて審議事項に入りたいと思います。「3 議事」に入りたいと。

まず、(1) 前回審議会の会議録についてということで事務局のほうから説明をお願いいたします。

山口係長

資料1、令和2年度第5回小金井市環境審議会会議録を御用意いただければと思います。前回審議会における御発言については、本資料を事前にお目通しいただきまして、御確認もいただけていることと思います。

訂正等ございます場合は、ページ番号と発言委員名及び訂正内容をお知らせください。本日本審議会において御承認いただいた後は、市ホームページ等への掲載を行う予定でございます。

以上です。

池上会長

ありがとうございます。

それでは、前回審議会における各自の御発言について訂正等ございましたら、お知らせいただけたらと思います。

長森委員、お願いします。

長森委員

12ページです。12ページの11行目、「単事業を市に遠慮して」と書いてありますが、これは「3事業を市に返還して」と発言したと思います。ここは御訂正をお願いしたいと思います。

池上会長

ありがとうございます。ほかにはございませんでしょうか。

よろしいようでしたら、ただいまの修正を反映した上で承認ということでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、続いて次第3の(2)番、第3次小金井市環境基本計画

(案)に対する答申についてということで、事務局のほうからまず説明をお願いいたします。

山口係長 先ほど、冒頭、計画最終案が適当、適切であるかどうか、令和3年3月1日に市から環境審議会会長に諮問をさせていただいた旨の報告をいたしました。市の諮問に応じた本審議会の計画最終案に対する答申書、こちらが資料3でございます。

内容は御覧のとおりでございます。

本日、この審議会が終わりましたら、本審議会で最終的に御同意がいただけた後、本日の審議会終了後、会長から市長に答申書を直接お渡しいただく時間を設けてございます。

以上です。

池上会長 ありがとうございます。何か御質問等ございますでしょうか。

高橋委員、お願いします。

高橋委員 1つだけ注文というか、希望なんです、この会議の冒頭に、小金井ならではの環境資源とか、特徴ある資源を保全活用するというか、そういう視点がどうしても欲しいんで、そういうような内容にされたいという希望をしたかと思うんです。

最終案は、前回私欠席したので十分に議論できなかったので申し訳ないんですが、この案でいいとは思いますが、特に本文のほうの20ページ、21ページに環境像というのがありますよね。これにもう限っていいんですが、これは小金井市ならではの環境像を書かれてほしいところですが、あんまり書くとまたいろいろ問題があって、先ほど池上会長が発言されたことなんです、環境だけで突っ走るわけにはいかないというか、他の部門との協働事業が多いわけです。

ただ、環境計画のサイドからは、例えば都市計画部門にはこうしてほしい、あるいは都市農業の観点から見たらこうしてほしいとか、河川関係はこうやってほしいという希望が、この基本計画に書かれていることが各部局に対する注文になるわけなんで、そういう視点で、この基本計画が各部局に問う内容が記載されていると考えていいのではないかなと思うんです。

したがって、この21ページ以降は具体的にいろいろ書かれていますから、これはこれでいいと思うんで、20ページと21ページの内

容については、もうちょっと何か小金井らしさというものが書かれてほしいなというのが私の希望です。

もちろん委員の皆さんの御意見に従いますけれども、例えば、20ページの一番上段の「緑・水・生きもの」のところに、「小金井の環境を構成する基本要素」と書いてありますが、ここで初めて「小金井」という字が載っているなど、なるほど、これは小金井の基本計画なんだなというのは分かるんですが、これがないと、隣の国分寺の環境計画かも分からないし、三鷹市の環境計画かも分からないというふうに読み取れなくもないんで、何とかここをちょっと工夫していただいて、もうこれで合意されているんだったら意見は撤回します。そういう小金井らしさの環境資源を生かして、これから推進するんだということを、ぜひ入れていただければなという希望です。

ちょっと長くなりましたけれども、以上です。

山口係長

御意見ありがとうございます。こちらの20ページ、21ページに掲載をさせていただきました将来の環境像という部分につきましては、幾度か御説明をさせていただいていると思うんですけども、現在の第2次小金井市環境基本計画というのがございます。こちらは3月31日で満了するわけですけども、こちらの将来の環境像というものの、「緑・水・生きもの・人…わたしたちが心豊かに暮らすまち小金井」という環境像をそのまま引き継いだものとして、こちらに掲載をさせていただいているものでございます。

委員おっしゃるように、小金井市が消えてしまえばという部分に対する御懸念もあろうかと思うんですけども、こちら、引継いでいるものとして掲載をさせていただいているというように御理解をいただければ幸いです。

以上です。

池上会長

ありがとうございます。高橋委員の御指摘する内容は、これまで議論している中でもちよくちよく出てきていることで、内側のほうには比較的小金井らしさを極力入れてもらえるようにしてきたかなと思いますので、ここに関しては今事務局のほうからありましたけど、引継ぎの部分ということで、そこは御了承いただいて、内側のほうは、そういう意味では何度も修正していただいて、小金井らしいところをで



きるだけ出してもらったというところがありますので、その方向でいきたいと思います。ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

石田委員、お願いします。

石田委員 すみません、ちょっと確認なんですけど、地下水何とかというところも含めてですか。これは後？ ここの箇所は。ここも含めていいですか。

池上会長 含めて、お願いします。

石田委員 ちょっと心配で御意見を伺いたかったんですが、例えば118ページ、一番最後に、雨水タンクの目標数が出ているんですけど、年間10件以上となっていて、この数をひねり出した理由は、過去10年間ぐらいの実績で出しているんだけど、ただ、このデータの根拠になる103ページの数字を見ると、雨水タンクに関しては24年を境にひたすら減少の数があって、10年間で平均すると、10件というのは単純に考えると非常に厳しいんじゃないかと。何か数を上げるための戦略とかがあれば数字としては可能だと思うんですけど、何もないととても難しい数字を上げているように思うので、心配だなと思って御質問したんですけど、大丈夫でしょうか。

山口係長 今年度の数値が現在出ておまして、昨年度、令和1年度が2件だったんですけども、こちらは国の補助金をもらいながらやっていたものなんですけど、お問合せ9件で実績8件、ここ数年にしてみれば今年と比較的、平成27年度ぐらいのレベルにはなっているかなと思います。こちら、我々としてもPRをもうちょっとうまくできないかなという部分もございます。これをつけていただくことによってどれだけのメリットがあったりですとか、施策に対しての影響ですとか、そういったことのPRをもうちょっと、回数を増やすだとか、内容を見直すだとか、そういったことも含めて、目標値の達成に向かってやっていければと考えてございます。差し当たって、今年度、令和2年度は8件ございました。

以上です。

石田委員 分かりました。どうもありがとうございます。ぜひ頑張ってください。よろしくお願いします。

池上会長　　ちなみに環境基本計画の後ろについている第3次地下水及び湧水の保全利用に係る計画の部分というのは、この場ではあまり議論してなかったことかなと思いますので、その辺、説明をお願いいたします。

山口係長　　地下水及び湧水の利用に係る計画でございます。こちらは地下水保全会議というのが別途条例設置されてございます。そちらの会議体において、令和2年度においては3回、昨年度から引き続き5回か6回程度の審議をいただいた結果、本日こちらの環境基本計画の中に定めるものとして1冊の計画となっているものでございまして、こちらの環境基本計画の中に定めるものという決まりも、条例上そのように規定がされてございますので、本日は1つのものの計画としてお出し、お見せしている次第でございます。

　　以上です。

池上会長　　ありがとうございます。ほかに概要版も含めて、資料2-1、2-2を含めて何かございましたらお願いいたします。

　　石田委員、お願いします。

石田委員　　確認なんですけれども、前回までの90ページまでの資料の中では「国分寺崖線（はけ）」というのは全部削って今回つくられているんですけど、91ページ以降で「（はけ）」というのを使っているのは、意図的ですよ。意識して使われているんですよ。

　　例えば91ページ、一番上、「国分寺崖線（通称：はけ）」と文書の中には時々出てくるんです。だから、これは意図的にやって、前回、90ページまでは意図的に削ったけど、90ページ以降は意図的に使っているという具合に理解してよろしいですか。

山口係長　　意図的ということよりは、91ページ以降の地下水及び湧水の保全の利用に係る計画には、この国分寺崖線（はけ）が非常に重要な要素を占めているものでございます。ですので、意図的、意識的といえどそうなんですけれども、必ず説明が要る要素のものでございます。ですので、このような表記をさせていただいている次第でございます。

　　以上です。

池上会長　　ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

　　羽田野委員、お願いします。

羽田野委員　　すみません、細かいことであれなんですけど、80ページの下のは

うに小学生の取組アイデアの中で、最後のほうに、水素をもっと利用  
するとか風力発電を活発にするとか書いてあるんですけど、この辺の  
今後の計画みたいのがあれば教えていただければと思ったんですけど。

山口係長

こちら、コラム的な形で載せさせていただいております。小学生ワ  
ークショップを9月の下旬に行ったんですけども、これは小学生か  
ら出た生の意見をそのままコラム的なものとして掲載させていただ  
いておりますので、現段階においては、例えば水素をもっと利用する  
ですとか、風力発電をどうこうするといったアイデアに応じた市の計  
画が現段階であるわけではございません。

以上です。

池上会長

ちょうど次のページに検討しますではありませんけれども、真ん中の、  
「公共施設への急速充電設備や水素ステーションの整備……を検討し  
ます」というのは入っているようです。

ほかにもございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、特にないようでしたら、先ほどの資料3にもありますけ  
れども、市の諮問に応じて内容について妥当と認め、資料3のように  
答申するということになりますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。承認いただいたということで、この会議の  
後、答申することといたします。ありがとうございました。

それでは、議事3に移りまして、環境保全実施計画（案）について  
ということで、（3）と（4）もですかね。（4）は環境行動指針（案）  
についてということですけども、この2つは、今回第3次環境基本計  
画の策定に伴いまして、改定を行う計画、あるいは指針の審議になり  
ます。

まずは3の環境保全実施計画（案）について事務局のほうから説明  
をお願いいたします。

鳴海主事

資料4、小金井市環境保全実施計画（案）を御用意ください。

小金井市環境保全実施計画とは、小金井市環境基本条例第11条に  
規定される環境基本計画を推進するための計画です。

2枚目の1ページからお示ししましたとおり、具体的な事業や取組  
の内容と担当の所管課を示しております。この実施計画に基づき事業  
を実施し、その実施状況を毎年点検評価してまいります。

環境保全実施計画の計画期間は、環境基本計画の前期、後期の期間に合わせて策定するため、計画運用開始から5年で見直しを行います。環境保全実施計画の構成と環境基本計画との対応につきましては、資料の一番最初のページの真ん中辺りを御確認ください。

2 ページ目を御覧ください。実施計画の進捗状況については、毎年1回、各課へ照会いたします。ここで取組指標の現状値、成果や効果、課題等を把握いたします。点検により把握した内容を基に評価してまいります。評価の視点については、現在事務局で検討中のものになります。

評価の結果については、これまで同様環境報告書で公表し、環境指標、取組指標の現状値についても整理して公表してまいりたいと思います。

簡単ですが、説明は以上です。

池上会長 ありがとうございます。それでは、ただいまの資料に関しまして、質問等ございましたらよろしく願いいたします。

石田委員、お願いします。

石田委員 すみません、ちょっと言葉の定義を教えてくださいなのですが、一覧表の中でも、前、説明があったのかもしれないのですが、一覧表の中で、事業等の重複とあるんですが、この重複というのはどういう意味でしたっけ。

鳴海主事 取組として1つのことをやっているんですけども、効果として多方面に寄与するというものを重複としています。

例えば緑を保全すると地下水の保全になるというようなものです。分かりやすいところでいうと、1 ページ目の上のほうの真ん中辺り、11の6番、重複で、くるカメ出張講座となっているかと思うんですけども、こちらはごみ減量のための取組として行っているものですが、環境学習の場としてももちろん効果があるものですので、メインとしては、ごみ減量の基本目標の取組として扱っていますけれども、こちらにも効果があるということで重複として記載をしているような内容でございます。

以上です。

石田委員 分かりました。効果が重複しているという意味ですね。項目がどこ

かと重なるという意味じゃないですね。

鳴海主事　　そうですね、取組は1つで、効果が多岐にわたるという意味で使っております。

池上会長　　ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。  
高木委員、お願いします。

高木委員　　私もちょっと言葉の定義なんですけど、ここでいう実施計画の精査中というのはどういう意味なんでしょうか。

鳴海主事　　すみません、精査中というところは、担当の所管課のほうからまだ回答が得られてないという部分と、環境政策課の部分に関しましては、どのような形で進めていくかというところで具体的な方向性が定まっていないというところで、精査中という形で現時点では使わせていただいております。

高木委員　　ありがとうございます。それは精査の内容によっては、この項目から抜けるという意味ですか。

鳴海主事　　抜けるというふうには考えてはないんですけども、継続になるのか、検討になるのか、実施になるのかというところで、そこが現時点で明確にお示しできないという意味で、事業としてなくなるというような形では想定はしておりません。

以上です。

池上会長　　小柳委員、お願いします。

小柳副会長　　具体的な事業名として掲載されていると思うんですが、例えば、別の資料6のほうで、新たに計上された環境教育事業支援委託とか、子ども環境ワークショップというのは、この表の中でどこに含まれるのかというのは、いかがでしょうか。

鳴海主事　　3ページになるんですけども、まず、3ページの一番下の行で、番号で言うと、131-3というところで、環境学習の充実、小学生や子育て世代などを対象とした環境学習の充実を図るというところで1つ記載がございます。

あとすみません、9ページの713-2というところで、新規事業の省エネチャレンジ事業というところも記載してございます。

小柳副会長　　すみません、この省エネチャレンジ事業というのが、ワークショップとかに該当するということですか。

鳴海主事 小学生ワークショップの件に関しては、ちょっとこの記載には入っていないので、省エネチャレンジ事業とは別のものになっております。

池上会長 今回の点に関して、例えば131-3の環境学習の充実とありますけれども、これは基盤づくりの、最初のほうの環境教育の中にはなくて、あえて緑の枠の中に入っている理由みたいなのは何かあるんですかね。

山口係長 おっしゃるとおり、先ほど重複という御質問がございましたけれども、例えばおっしゃった部分に重複で記載があってもよいものかと思しますので、可能な限り精査して、そのようにさせていただければと思います。

池上会長 ありがとうございます。

もう1点。

この右側の実施計画の「R3～7年度」の左側のほうの「継続」というのは、今年度もやっていて継続するという意味になりますでしょうか。

先ほどの省エネチャレンジというのが新しく始まるのかと思っていましたけれども、既に何かやっているということになりますか。

鳴海主事 池上会長がおっしゃっていただいたように、省エネチャレンジに関してはまだ実施してないものになりますので、正確に言うと、運用開始などになってくるかと思うんですけれども、まず、中期的な視点で、記載したものでございまして、環境保全実施計画作成に当たっては、1年ごとの実施継続ですとか拡充といった形で示すようになりますので、こちらの中期的な視点に関しては、まず参考という形で御認識いただければと思います。

以上です。

池上会長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

中里委員、お願いします。

中里委員 同じような質問なんですけれども、この準備を検討しているということも非常に微妙な表現だと思うんですが、それが1点と、2ページの「これまで同様に、各事業の実施状況及び評価結果を環境報告書で公表します」、これは了解して理解しているんですが、同時に、「現状値についても整理して公表します」とありますが、これはいつ、どの

タイミングでどういうふうに公表されて、我々の目に届くことになるんでしょうか。2点ちょっと教えていただきたいと思います。

鳴海主事

まず1点目の、こちらの実施計画の継続とかそういった書き方の表現に関してなんですけれども、庁内に調査をかけるタイミングで、具体的にこういう場合はこの単語を使ってくださいというような形での案内をしていないものですから、各担当がこのような形で考えているという回答をそのままに記載させていただいているような状態でございます。

したがって、ニュアンスが統一されていない部分がございますので、先ほども御説明差し上げたんですが、参考として、こちらに関しては捉えていただければと思います。

2点目の指標の公表に関してなんですけれども、今まで第2次基本計画のほうでは指標というものがなかったため、実施していないので次年度以降新たな取組として公表を行っていくということになるんですが、現状値というのも、この環境保全実施計画の調査の中で各所管課から数値を、毎年収集できるものに関しては、毎年確認していくような形になりますので、今までの環境報告書と形を変えまして、新たに何か指標が分かるようなメニューといいますか、項目をつくって、そこで毎年お示しできるようにしたいなと現時点では検討しております。

以上です。

中里委員

了解です。指標を収集して評価するというのがこういう計画は一番大事かと思っておりますので、ぜひそこはやっていただきたいと思っております。お願いいたします。

池上会長

ありがとうございます。

そういう意味では、それぞれの事業が今回の環境基本計画の中の基本目標の何番、4-1なのか、4-2とか、それぞれ取組指標が書かれていますけれども、どんな取組指標につながるものなのかというのは一度整理しておくのと、評価するタイミングで便利かなと思えました。ほかに。

羽田野委員、お願いします。

羽田野委員

最初にあったんですけれども、今の実施計画の、前期5年間と後期

5年間に分けてあって、前期の精査中というのは分かるんですが、後期も精査中というのは、10年間ずっと精査中というのは長過ぎるような気がして、ちょっとその辺、言葉で申し訳ないんですけど、後期は何かこう、検討していただければと思うんですが。

山口係長

先ほど鳴海から説明をさせていただきました。この資料、今、作成してお出ししている段階で、事業を実施する主管課等々から、まだ考えがまとまらなくて回答をもらってないものについては精査中という形で記載を今はさせていただいてございます。こちらの計画自体は、来年度4月1日から発行するものでございますので、いずれかの継続ですとか、そういった言葉、精査中ということはございません。

前期5年間に例えば継続というものが入るんだとすれば、後期の5年間は当然精査中ということにはならないものと考えてございますので、そのように御理解ください。

羽田野委員

分かりました。

池上会長

長森委員、お願いします。

長森委員

最後の9ページのところで、「エネルギーを賢く使い、低炭素なまちをつくる」という課題に関して、特にこれは環境政策課さん自体が取り組むことになっている部分で幾つか、例えば、722、723、731、732、733辺り、精査中はずっと多いんですね。これはエネルギー問題、低炭素問題というのが、これから取扱いが大きくなっていく方向に、全国的あるいは都のレベルにおいても、非常に取組がどんどん変わっていくということで、まだ決まらないという意味ですか。それとも何かほかに理由があるんですか。

山口係長

項目の中で、環境政策課の所管であり、かつ低炭素化の部分が精査中が多いということに関して、特に特別な理由はございません。ここにどういった言葉を持ってこようかというのは、今現在精査中というか、検討しております。ですので、こういった項目、今後実施していくに当たって、継続ですとか、検討ですとか、どういった言葉が入るかというのは、先ほども申し上げましたとおり、4月1日に、こちらの計画というのは発行していきますので、しかるべき言葉を入れていくということになるかと思えます。特段何か問題があったというようなことではございません。



以上です。

池上会長 石田委員、お願いします。

石田委員 似たようなことで申し訳ないんですが、実施計画の中で継続とかがあるんですけども、新規にやるよというのが分かるような表現をしてもらえると、ここをこれから頑張るんだなというのが見えるんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。新規と分かりやすいような表現を使われたらいかがかと思うんです。

山口係長 おっしゃっているのは、先ほど鳴海が説明させていただきましたけれども、前期5年間と後期5年間でどういった形態でこの事業をやっていますかということが、その中で前期5年間、令和3年から7年間は継続して行っていますよというのが継続という意味なんですね。どの事業が新しくなったかというのが、例えば、欄でもあって、そこに印がついていれば新規とか、縮小とかというのが分かれば分かりやすいというような御意見ということでもいいでしょうか。

石田委員 継続となっていると、これまでやってきた計画を、さらに延長してやるよというふうにしなさい。計画の場合多いので、それだけだと新規であるということが分からないので申し上げただけですので、今、おっしゃったように、欄を設けて分かるような形にされるのであればそれでもいいですし、あくまでもできたらということの提案なんで、よろしくをお願いします。

山口係長 今、お手持ちじゃないかもしれませんが、環境報告書の71ページ、年次計画になるんですけども、こちらに入ってくる言葉が一応決まっています、実施、充実、継続、検討、完了と5つの言葉が入ってくるんですね。今回のちょっと分かりづらくなってしまったこの資料ですけども、これは今回お出しする用に作ったものでございまして、おっしゃるように右側の欄が、ずっと継続されてきたものが新規なのかが分かりづらかったというふうなものでございます。それは申し訳ございませんでした。

実際は、環境報告書の71ページのような形で、今、ここに見えるのは継続が多いですけども、申し上げたように、実施、充実、継続、検討、完了、この言葉のどれかがまず入ってきて、その後継続になっていくのかというような報告の仕方になろうかと思えます。

以上です。

池上会長  
高木委員

高木委員、お願いします。

前のほうの実施計画の説明に関する資料の2ページ目、「点検結果の活用」というところで、①番で、施策の実施状況を評価します、そのやり方については検討中ですと書いてあるんですけども、上の(3)番のほうには効果や課題というのがあるんで、実施状況だけじゃなくて環境面から見た成果・効果を把握しますとあるんですけど、前回たしか、これの最初の頃に、私、自分で質問したのを覚えているんですけども、やったかやらないかの評価も大事だけど、効果があるかないかということをやらないと、やったやらないだけじゃ意味がないんじゃないかということをやらないと、ちょっと言っていた気がしたので、今回この辺はどう考えているのかなと。

要するに、やったやらないだけをまた評価するようにしていくのか、効果について確認する方法を今検討中なのかどうかということをお教えいただければと思います。

鳴海主事

今、高木委員におっしゃっていただいたように、取組自体の評価と取組によってどういう成果が得られたのかという評価について必要と考えておまして、現在事務局で検討中というような形で書かせていただいております。

取組として実施した、例えば、計画に書いてあることが100%全部できたとしても、どういう成果につながったのか、例えば、成果が足りなかったのかということとか、そういった部分というのは、各課から自由記述ですかね、取組によってこういう成果が得られたみたいな文章でもらうことになろうかと想定はしているんですけども、それも、どのように評価、整理していくのかということまでは現在至っていない状況ですので、御理解いただければと思います。

以上です。

高木委員

分かりました。基本的には、そうやって検討中だということに理解しているんですけども、意見としましては、各課、ここにいない方が実施する中で、目的、目標、要するにこういう効果を得たいんだということが共有されてないと、同じことをやるにしても意味がなくなってしまいう可能性があるんで、点検するときに必要なんじゃないかと、どんな

効果を狙っているかということが、実施内容と割と近いところで説明されるような内容に持っていくことが大事なと意見として思いますので、参考程度にさせていただければと思います。

以上です。

池上会長

ありがとうございます。今のところは、2ページ目の(4)の④、「同時に、環境指標・取組指標の現状値についても整理して公表します」というところがありますので、何らかの環境指標、取組指標は評価していて、特に今回の環境基本計画の中にある取組指標、これは5年目なのか、10年目なのかの目標ですけれども、今、どういう到達状況なのかということが毎年見えるというところがいいのかなと思います。

ほかにご覧いませんか。ありがとうございました。

それでは、(3)番については以上としまして、続いて(4)番の環境行動指針(案)のほうに移りたいと思います。事務局のほうから説明をお願いいたします。

鳴海主事

資料5、環境行動指針(案)を御覧ください。小金井市環境行動指針とは、小金井市環境基本条例第12条に規定される、市、市民及び事業者が、環境基本計画に沿って環境の保全等に資する行動を取るための指針です。

現行の環境行動指針は、平成19年3月に作成されたもので、社会情勢の変化等を反映した新たな情報を掲載する必要があるため、第3次小金井市環境基本計画の策定に伴い、資料5にお示ししたとおり、環境行動指針(案)を作成いたしました。

この環境行動指針(案)の作成に当たっては、市民ワークショップ及び小学生ワークショップを開催し、市民の皆様御自身に環境配慮行動を御検討いただきました。いただいた御意見は環境行動指針(案)の行動メニューへ反映しております。

また、現行の環境行動指針は、環境面における市民協働の主体である小金井市環境市民会議の皆様にも作成に御協力いただき、市民目線で行えること、やるべきことが盛り込まれたものになっています。

今回の行動指針見直しに当たっても、小金井市環境市民会議の皆様から御意見をいただき、行動指針(案)の行動メニュー及びチェック

リストに反映しています。いただいた御意見につきましては、2 ページ目に記載させていただきましたので、御確認いただければと存じます。

その次のページ、環境行動指針（案）の表紙となります。一枚めくっていただき、1 ページ目を御覧ください。

このページでは、先ほど御説明させていただきましたとおり、環境行動指針とはこういったものなのかということに記載しております。第3次小金井市環境基本計画では、7つの基本目標と基本目標で共通する環境教育・環境学習、環境活動、情報発信・共有を計画推進の基盤と定めているため、この計画推進の3つの基盤に沿って行動メニューを示しております。

2 ページを御覧ください。行動メニューについては、3つの基盤の3項目ごとに行動の難易度に応じて、ステップ1、身近な取組、ステップ2、チャレンジ取組に分かれております。また、行動メニューに関連したコラムの情報も多数掲載しております。詳細につきましては、資料を御確認いただきたいと思います。と存じます。

次に、17 ページを御覧ください。こちらに環境行動チェックシートというのがございます。環境行動チェックシートは毎日の生活・事業活動において環境に優しい行動を心がけ、継続して取り組んでいくためのシートで、市民用と事業者用に分かれております。

チェックシートの内容、詳細については、18 ページ、19 ページにそれぞれございますので御覧いただければと存じます。

説明は以上です。

池上会長           ありがとうございます。それでは、ただいまの資料に関して、質問、コメント等ございましたらよろしく願いいたします。

中里委員、お願いします。

中里委員           このチェックシートはやる気がある方が自発的に用紙なりをゲットして自分でやっていくというものなんでしょうか。

鳴海主事           今、おっしゃっていただいたとおりの形で考えております。市といたしましても、広く皆様の手にとっていただけるように、イベントで周知をしていきたいと考えております。

以上です。

中里委員 個別に各戸配布は難しいにしても、広報を大きくしていただいて、身近な主婦でも手に取れるような形で、市報の合間にでも1ページほど入れていただくとか、何か目に留まるのであれば、ごみ問題と同様に意識が高まるのではないかと考えております。

環境に関しては、身近な人間に聞いてみたんですけれども、ごみは物すごく神経質になっているんですが、一般的な緑、環境ということについては、環境基本計画についてもあまり知らない人が多いんですね。それはとても残念なことだと思いますので、もちろん行政と、それから、市民と事業所が協働できるような体制、アプローチがかけられるように、ぜひお願いいたします。

鳴海主事 来年度から、今までやってなかった取組として、市報に環境に特化した中4面の特集号というものを行っていきたいなと考えているところでございます。

そこで、どれだけ扱えるかというのはまだ検討してないんですけれども、そういったところも含めて情報発信をしていきたいなと考えております。

御意見ありがとうございます。以上です。

池上会長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

高木委員、お願いします。

高木委員 ちょっと細かなことなんですけれども、内容が書いてある7ページ、8ページのところで、特に7ページの下から2個目の箱のところで、「移動の際は、できるだけ低公害車」と書いてあるんですけれども、この言葉はあんまり見なかったなと思って、「次世代自動車」とかそんな言葉、後ろのほうの解説にはそういう言葉を使っていたので、ここには意味があるのかなと思いました。

あと、逆に言うと、「徒歩」という言葉がないけどいいのかなとか、少しその辺の、このものがそのまま出るのかどうかも分からなかったんで、ちょっと意見として、そのように思いました。

鳴海主事 御指摘ありがとうございます。言葉の使い方につきましては、基本計画と合わせて精査してまいりたいと思います。ありがとうございます。

池上会長 ありがとうございます。基本計画の最後のチェックをしていたとき

に、私も「低公害車」と「次世代自動車」の区別についてちょっと気になってはいたんですけども、最後の用語の資料編で、すみません、資料2-1の本編の資料編にも「低公害車」というのが出てきています。そういう意味では「次世代自動車」のくくりと必ずしも一緒じゃない定義がされているのかなと読んだんですが、今回の行動指針の中はどちらがいいのかというのは検討いただいて、恐らく区別して使ってくださいっているんだと思います。

ありがとうございます。

小柳委員、お願いします。

小柳副会長 最初の御説明のときに、ワークショップなどで出てきた御意見を踏まえて取組のメニューを定められたということだったと思うんですけども、項目1、2、3の種類ごとに取組の数に差があるなという印象だったんですが、それもワークショップなどで出てきたものに違いを反映しているという理解でいいのでしょうか。ワークショップ以外、資料とかなども参考されたのかなという部分と、それを「行動指針とは」の部分で、どういう背景でこれが取組としてピックアップされたのかというところも簡単に説明されているといいなと思いました。

山口係長 1点目、ワークショップでお渡しいただいた意見を反映させていた部分ではございますけれども、ワークショップで出していたいただいた意見がそれぞれの項目によって数のばらつきがあったがゆえに、今回の数がなかなか多いもの少ないものがあるというものではございません。

以上です。

池上会長 羽田野委員、お願いします。

羽田野委員 18ページの市民用チェックシートのところなんですけど、13番に「ベランダや玄関先などで打ち水を行ったり」とあるんですけども、マンションのベランダで打ち水を行うのは非常に問題があると思うんですよね。私も前マンションに住んでいたときに、上の人が水をまいて洗濯物が汚れたとか、いろいろ問題も起きているので、あまりこういう表現はしないほうがいいんじゃないかと思います。私の意見ですけども、検討をお願いします。

鳴海主事 こちらで伝えたいことは、住まいの周囲を涼しくする工夫をします

ということではあるんですけれども、そういった御懸念があるということですので、表現については検討したいと思います。

以上です。

池上会長 石田委員、お願いします。

石田委員 先ほどの中里さんの質問にあったのかもしれませんが、チェックシートは戸別配布じゃなくて、イベントのときに分けたりなんかするようなお話をされていたんですが、この行動指針の書類というのは、どういう形で市民に届けるんですか。全戸配布は多分しないでしょう。ただ、より多くの人にこの中身を知ってもらったほうがいいことは間違いないと思うんですけど、その辺、どうお考えですか。

山口係長 先ほど冒頭説明させていただいたとおり、市民の皆様にご直接気軽に手に取っていただきたい思いはございます。ですが、いかんせん12万部作るわけにもまいらず、世帯といっても6万部作るわけにもまいらず、その点、例えば公民館、集会施設等の各公共施設に必要な部数を配布するということがまず紙ベースでは考えられます。

あとは、先ほど御説明いたしましたけれども、今年度初めて環境に関する特集号というのを、7月か6月ぐらいの市報で組まさせていただこうかなと思います。

理由としましては、今年度、計画が4つ策定されました。この環境基本計画をはじめとした地球温暖化計画もそうですし、緑の計画もそうです。そういったものがまずできましたよということと、その中身、これからどのように進めていきたいかということをお知らせする中に、当然この環境行動指針というものの御案内も必要になってくるかと思えます。そこでまず目にさせていただくということと、あとは、今、インターネットの時代でございますので、こういったものでも紙で印刷できるものはPDF化できます。ですので、そこを手にとっていただくというか、クリックしようと思っただけのような仕組みですとか内容のものを考えていければと思っております。

以上です。

石田委員 分かりました。ありがとうございます。

池上会長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

木村委員、お願いします。

木村委員 先ほども意見が出たんですけれども、やはりチェックシートの中身がちょっと隔たっているかなという気がしました。例えば、市民向けについては、緑関係はかなりあるんですけれども、温暖化対策に関する部分というのがかなり少ないような気がするので、もう少し省エネ意識を高めるような取組というのも加えるとか、そういったものやっていた方がいいのかなと思いました。

以上です。

鳴海主事 そのように省エネ意識を盛り込んだ項目を加えるように検討してまいります。御意見ありがとうございます。

池上会長 ほかにございませんでしょうか。

中里委員、お願いします。

中里委員 ちょっと議題とは反れるかもしれないんですが、ごみを捨てるときに、先日も水銀が混入されていてと問題になりましたよね。浅川清流などのニュースを見ますと、それが大きく扱われているんですが、市民の耳には案外届いていないんです。ですから、そういう危険なことは絶対してはいけないと、これはもう努力目標ではないですよ、禁止項目だと思うんですけれども、その辺をもっと強く、このチェックシートにはそぐわない中身かと思うんですが、危険なことは絶対やめるということをもっと強く発信していただけたらと思っておりますのでお願いいたします。

昨年の7月に続いて、今年になってからもありましたかしら。

石田委員 ありました。

中里委員 ありましたよね。

石田委員 3回目。

中里委員 水銀が混入されていてというのが、非常に平たい何でもないニュースのところにちょこっと出てくるだけなんですね。ちょっと見逃してしまいそうなんですが、これはもう大変危険なことだと。下手をしたら死に至る、オーバーに言えばそういうことなので、そこをもっと大きくアピールしていただきたいと思います。

山口係長 御意見ありがとうございます。

おっしゃった、御意見いただいたこと、もっともでございます。特にごみ問題等に関しては、市報で特集号を頻繁に組んでございます。



水銀に関しても、特集号で所管課が取り扱う内容であると思いますし、もちろんそのようにして話していると思いますので、あと、水銀混入製品についての回収事業もごみ対策課でやってございます。そちらの部分についても、所管課に御意見を伝えさせていただきたいと思えます。

以上です。

中里委員

よろしいでしょうか。

ですから、このチェックシートの中でも、生ごみは水切りを行いというような前にもっと水銀の項目などは厳禁ですということ、もちろん分かっている人は分かっているんですが、現実的に混入されている事件というか、そういう事故的なことがあるものですから、大きな事故になる前に手を打っていただければと思います。

以上です。

池上会長

ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

高木委員、お願いします。

高木委員

後でやれば気づくと思うんですけども、事業者用チェックシートの一番後ろに、従業員・職員の取組は10項目しかないんですけど、下のほうの評価は11から15まであって、多分これは違うのかなと思ったので、一応念のため、お伝えしておきます。

鳴海主事

すみません、ありがとうございます。訂正いたします。

池上会長

ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

池上から、この行動指針とは直接は関係ないんですが、先ほども御意見ありましたけれども、市民の皆さんにこういうのを手に取ってもらったりとか、イベントに参加してもらったりというところが非常に大事になってくると思うんですが、固定された参加者が参加するだけではなくて、どんどん新たに参加してもらえよう仕掛けというのを、急には難しいかもしれませんが、徐々に検討していただけたらなと思います。

例えば、お金になるポイントでは決してなくてもいいと思うんですが、参加するイベントごとに、これに参加すると何ポイントもらえますとか、エコ経験ポイントじゃないですけども、そういうのが蓄積していくと何らか表彰されるとか、ステータスが上がるとか、そうい

うのを目標にどんどん参加してもらえそうな仕組みづくりとか、何かしらして、裾野を広げていく仕組みが必要じゃないかなと感じました。ぜひこれから取組に期待したいと思います。よろしくお願いします。

それでは、ほかにはないようでしたら、この議題を終わりにしたいと思えます。

ありがとうございました。

それでは、議事（５）番のその他になります。本日は追加の議第等ありますでしょうか。

山口係長 特にございませぬ。

池上会長 ありがとうございます。それでは、その他について何か委員の皆様からありましたらお願いいたします。特にございませぬか。

ありがとうございます。

それでは、続いて、次第「４ その他」に行きます。

山口係長 特に議題とかそういったものではないんですが、本日の審議会をもちまして第３次環境基本計画の案を答申いただくわけでございます。昨年度から２か年にわたって、我々と、あと策定の事業者さん、今日で最後になりますので、何か感想があったら一言もらえたらなと思うんですけども、プレックさんいかがですか。

プレック研究所 プレック研究所の磯谷と申します。私、今年度から担当となりまして参加させていただいたんですけども、業務を進める中で小金井市の魅力みたいなものもたくさん知ることができて、その魅力の一つである環境というものを保全、活用していく計画に携われたということ自体とてもうれしく思っております。１０年後もよりよい環境が維持されていることを期待して、１０年後また見に来ようかなと思っております。

どうもありがとうございました。お世話になりました。

プレック研究所 すみません、同じくプレック研究所の山中と申します。私はもと生まれが関西のほうで、東京の自治体で初めて自分の町より詳しくなったんじゃないかと思えました。特にごみの問題ですとか、今回執筆にちょっと関わらせていただいたんですけども、かなり詳しくなったかなと思います。そんな小金井市の方の意識の高いところにす

ごく感心したというか、すごいなと思えるところがありましたので、10年後も意識の高い市民の皆様でいていただければなと思いました。ありがとうございました。

池上会長       では、最後になります。環境政策課長から一言御挨拶をいただきたいと思えます。

平野課長       それでは、私から環境審議会の閉会の前に一言御挨拶をさせていただきます。

環境審議会におきまして、令和元年8月より本格的に開始させていただきました第3次小金井市環境基本計画につきまして、おかげさまで、本日をもちまして審議終了とさせていただくことになりました。委員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い審議日程等がタイトとなる中で計画策定に御尽力いただき、誠にありがとうございました。

計画の審議は本日で終了となりますが、計画はつくって終わりではなく、ここからスタートでございます。特に第3次環境基本計画において、新たに横断目標とさせていただきました環境教育・環境啓発につきましては繰り返し実施し、浸透できて初めて意味のある事業と考えてございます。このため、令和3年度からは、次世代を担う子供たちへの環境教育を新たに事業化するなど、特に力を入れてまいります。第3次環境基本計画を推進する中で、環境審議会の皆様には、今後も様々な御相談をさせていただくこともあるかと思っておりますので、計画の点検、評価と合わせ、引き続き御協力いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

池上会長       ありがとうございました。

それでは、最後の次第になります。次回審議会の日程について、事務局のほうから日程調整等についての説明はありますでしょうか。

山口係長       今年度、日程がタイトな中、6回にわたって環境基本計画の御審議をいただいていたわけでございます。来年度、4月からでございますけれども、例年どおり、年3回及び年4回の日程で審議会のほうを開催させていただければと考えてございます。

例年、第1回の審議会は5月下旬頃か、6月の初旬頃を日程として開催をしているところでございますので、また事務局から皆様に日程

調整のほうをさせていただきたいと思いますので、その際は御協力、  
どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

池上会長

ありがとうございました、何か質問等ございますでしょうか。よろ  
しいですか。

それでは、以上をもちまして、本日の議事は全て終了いたしました。

以上をもちまして、令和2年度第6回小金井市環境審議会の会議を  
閉会いたします。ありがとうございました。

—— 了 ——

## (仮称) 小金井市気候非常事態宣言の発出検討について

## 1 経緯について

近年、気候変動による危機は、全人類に共通の身近に迫った脅威となっており、待ったなしの対策が求められている。市では、令和3年3月に「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、子どもたちへの環境教育、情報発信の充実など、新たな目標及び施策の下、オール小金井による温暖化対策に取り組んでいるが、これをもう一段階押し上げるために、普及・啓発の手段としても有効な(仮称)小金井市気候非常事態宣言の発出について検討を進めているところである。

## 2 現在の状況

現在、環境政策課では、宣言文の素案を作成し、宣言発出の是非及びその内容等について小金井市環境基本計画推進本部に意見照会を行ったところである。今後、小金井市環境審議会や市議会からの御意見等を踏まえ、小金井市市民参加条例等に規定された所要の市民の提言制度などの手続を経た後、発出に向けて調整を行う予定である。

## 3 検討スケジュール(案)

令和3年	7月	環境基本計画推進本部に意見照会 環境審議会に意見照会 閉会中建設環境委員会に所管事務調査報告
	9月	パブリックコメント実施(約1か月間) 建設環境委員会に所管事務調査報告
	10月	環境基本計画推進本部に報告・意見照会
	11月	環境審議会に報告・意見照会
	12月	建設環境委員会に所管事務調査報告 小金井市気候非常事態宣言の発出

4 東京都内のゼロカーボンシティ表明団体 (令和3年6月現在)

団体名	表明方法	表明時期
葛飾区	ゼロエミッションかつしか宣言	令和2年 2月
多摩市	多摩市気候非常事態宣言	令和2年 6月
世田谷区	世田谷区気候非常事態宣言	令和2年10月
豊島区	(環境基本計画の中で表明)	令和3年 2月
武蔵野市	(市長施政方針の中で表明)	令和3年 2月
国立市	(市長施政方針の中で表明)	令和3年 2月
足立区	足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言	令和3年 3月
調布市	調布市ゼロカーボンシティ宣言	令和3年 4月
狛江市	狛江市ゼロカーボンシティ宣言	令和3年 4月

5 主な動向 (参考)

- 1997年 世界が初めて「京都議定書」により温室効果ガス削減に合意
- 2015年 「パリ協定」により平均気温上昇抑制の目標を共有
- 2018年 IPCCの特別報告書により、パリ協定の目標達成には2050年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロとすることが必要と共有
- 2019年
- ・「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」策定開始
  - ・長崎県壱岐市を始め、自治体による気候非常事態宣言が徐々に発出される。
  - ・東京都が「ゼロエミッション東京戦略」を策定
  - ・環境省から「ゼロカーボンシティ」表明の依頼 (全国)
  - ・小金井市独自の宣言等について研究開始
- 2020年
- ・市長年頭挨拶にて気候変動への対策強化を指示
  - ・市長施政方針にて気候変動への対策強化を指示
  - ・政府による「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」表明
- 2021年
- ・「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」完成
  - ・計画完成と同時に、更なる普及・啓発について検討開始
  - ・東京都が「ゼロエミッション東京戦略」をアップデートし、「2030・カーボンハーフスタイル」を提起



## (仮称) 小金井市気候非常事態宣言 (案)

～ 2050年 二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、世界各地で熱波や干ばつ、大規模な森林火災など、地球温暖化による異常気象が頻発しています。日本各地でも、猛暑や熱帯夜の増加、記録的な集中豪雨や強大化した台風による崖崩れや洪水など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると、私たちの市民生活に多大な影響が出ることが予想されています。気候変動による気象災害は極めて深刻で身近に迫った脅威であり、私たちの生存基盤を揺るがす、まさに「気候危機」です。

この危機的状況を脱するために、2015年に国連で採択された「パリ協定」では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保つとともに、1.5℃以下に抑える努力を追求する目標が定められています。

しかし、世界の二酸化炭素排出量は今なお増加し続けており、この危機的状況は、私たちの日々の行動が引き起こしているものであることから、今こそ、私たちは気候危機を自らの問題として認識し、経済社会活動やライフスタイルの変革に取り組むなど、気候危機への対策を加速させなければなりません。この非常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要であり、そのためには、幼い頃から地球環境に興味を持ち、自ら積極的に取り組もうとする意欲や態度を醸成するなどの「環境教育」を充実させることも大切です。

本市の豊かな自然と、この美しい地球環境を将来世代に継承するため、市、市民、教育委員会、事業者等が協働し、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と、気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組むことを共有するとともに、SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、ここに気候非常事態であることを宣言します。

令和3年 月 日 小金井市長

西岡真一郎

# ダイオキシン類測定委託

## 報告書

令和2年度

小金井市



## 目 次

1. 調査目的 .....	1
2. 試料採取日 .....	1
3. 調査項目及び分析方法 .....	1
4. 調査地点及び調査方法 .....	1
5. 調査結果 .....	6
6. ま と め .....	12

### 資料

- 小金井市の二重測定の評価詳細
- 大気試料分析法フローシート
- 分析条件
- 同定及び定量
- 採取状況写真

## 1. 調査目的

ダイオキシン類に係る大気環境調査の実施により、市内の環境濃度を把握する基礎資料とする。

## 2. 試料採取日

(夏季)

① 小金井市東センター

令和2年8月24日(月)14:08～令和2年8月25日(火)14:08

② 小金井市保健センター

令和2年8月24日(月)13:25～令和2年8月25日(火)13:25

(冬季)

① 小金井市東センター

令和3年2月8日(月)14:41～令和3年2月9日(火)14:41

② 小金井市保健センター

令和3年2月8日(月)13:57～令和3年2月9日(火)13:57

## 3. 調査項目及び分析方法

大気中のダイオキシン類(ポリ塩化ジベンゾ-*p*-ジオキシン「PCDDs」、ポリ塩化ジベンゾフラン「PCDFs」及びコプラナ「PCBs」)の濃度を測定した。なお、分析項目を表1に示した。

試料採取及び分析方法は、「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」(平成20年3月 環境省 水・大気環境管理局総務課ダイオキシン対策室大気環境課)に準拠した。

## 4. 調査地点及び調査方法

### (1) 調査地点

① 小金井市東センター

小金井市東町 1-39-1

② 小金井市保健センター

小金井市貫井北町 5-18-18

調査地点図を図1～3に示した。

### (2) 調査方法

市内2地点において1日間(24時間)採取を行い、②小金井市保健センターを二重測定とした。また、検体採取はハイボリウムエアサンプラ(石英繊維ろ紙及びポリウレタンフォーム捕集)を使用し、700ℓ/minの一定流量で24時間吸引した。

調査期間中の気象条件(風向・風速・温度・湿度)については、東京都一般環境大気測定局のデータを使用した。小金井市本町のデータ欠測のため府中市宮西町の値を使用した。

表1 分析項目

		分析項目	略号
PCDDs		1,3,6,8-Tetrachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,3,6,8-T <sub>e</sub> CDD
		1,3,7,9-Tetrachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,3,7,9-T <sub>e</sub> CDD
		2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	2,3,7,8-T <sub>e</sub> CDD
		Total Tetrachlorodibenzo- $\rho$ -dioxins	Total T <sub>e</sub> CDDs
		1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,2,3,7,8-P <sub>e</sub> CDD
		Total Pentachlorodibenzo- $\rho$ -dioxins	Total P <sub>e</sub> CDDs
		1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,2,3,4,7,8-H <sub>x</sub> CDD
		1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,2,3,6,7,8-H <sub>x</sub> CDD
		1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,2,3,7,8,9-H <sub>x</sub> CDD
		Total Hexachlorodibenzo- $\rho$ -dioxins	Total H <sub>x</sub> CDDs
		1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	1,2,3,4,6,7,8-H <sub>p</sub> CDD
		Total Heptachlorodibenzo- $\rho$ -dioxins	Total H <sub>p</sub> CDDs
		Octachlorodibenzo- $\rho$ -dioxin	OCDD
PCDFs		1,2,7,8-Tetrachlorodibenzofuran	1,2,7,8-T <sub>e</sub> CDF
		1,3,6,8-Tetrachlorodibenzofuran	1,3,6,8-T <sub>e</sub> CDF
		2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran	2,3,7,8-T <sub>e</sub> CDF
		Total Tetrachlorodibenzofurans	Total T <sub>e</sub> CDFs
		1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran	1,2,3,7,8-P <sub>e</sub> CDF
		2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran	2,3,4,7,8-P <sub>e</sub> CDF
		Total Pentachlorodibenzofurans	Total P <sub>e</sub> CDFs
		1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran	1,2,3,4,7,8-H <sub>x</sub> CDF
		1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran	1,2,3,6,7,8-H <sub>x</sub> CDF
		1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran	1,2,3,7,8,9-H <sub>x</sub> CDF
		2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran	2,3,4,6,7,8-H <sub>x</sub> CDF
		Total Hexachlorodibenzofurans	Total H <sub>x</sub> CDFs
		1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran	1,2,3,4,6,7,8-H <sub>p</sub> CDF
		1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran	1,2,3,4,7,8,9-H <sub>p</sub> CDF
	Total Heptachlorodibenzofurans	Total H <sub>p</sub> CDFs	
	Octachlorodibenzofuran	OCDF	
コブラナ-PCBs	ノンオルト	3,4,4',5'-Tetrachlorobiphenyl #81	3,4,4',5'-T <sub>e</sub> CB
		3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl #77	3,3',4,4'-T <sub>e</sub> CB
		3,3',4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #126	3,3',4,4',5'-P <sub>e</sub> CB
		3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl #169	3,3',4,4',5,5'-H <sub>x</sub> CB
	モノオルト	2',3,4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #123	2',3,4,4',5'-P <sub>e</sub> CB
		2,3',4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #118	2,3',4,4',5'-P <sub>e</sub> CB
		2,3,3',4,4'-Pentachlorobiphenyl #105	2,3,3',4,4'-P <sub>e</sub> CB
		2,3,4,4',5'-Pentachlorobiphenyl #114	2,3,4,4',5'-P <sub>e</sub> CB
		2,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl #167	2,3',4,4',5,5'-H <sub>x</sub> CB
		2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl #156	2,3,3',4,4',5'-H <sub>x</sub> CB
		2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl #157	2,3,3',4,4',5'-H <sub>x</sub> CB
		2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl #189	2,3,3',4,4',5,5'-H <sub>p</sub> CB

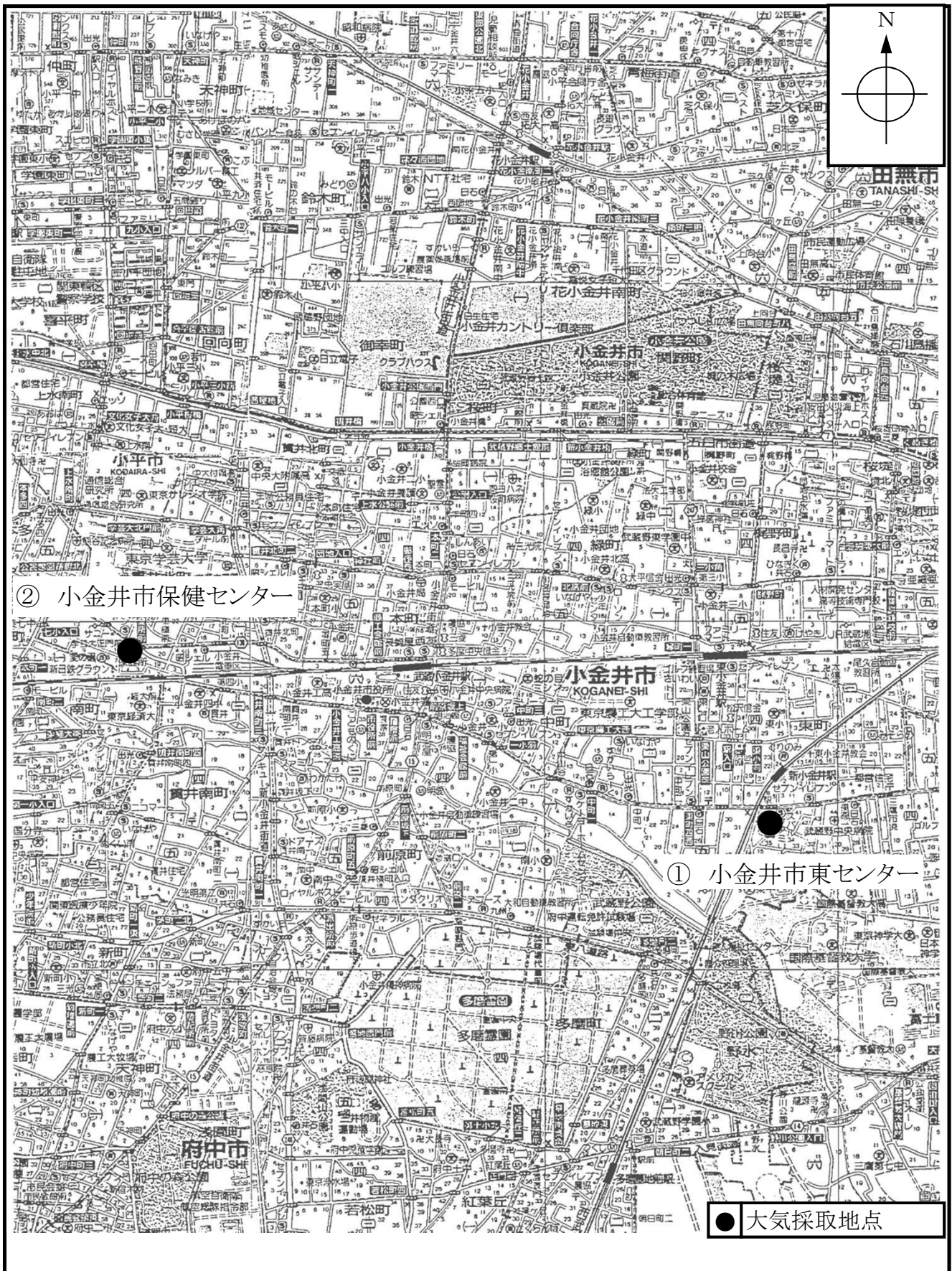


図1 調査地点図

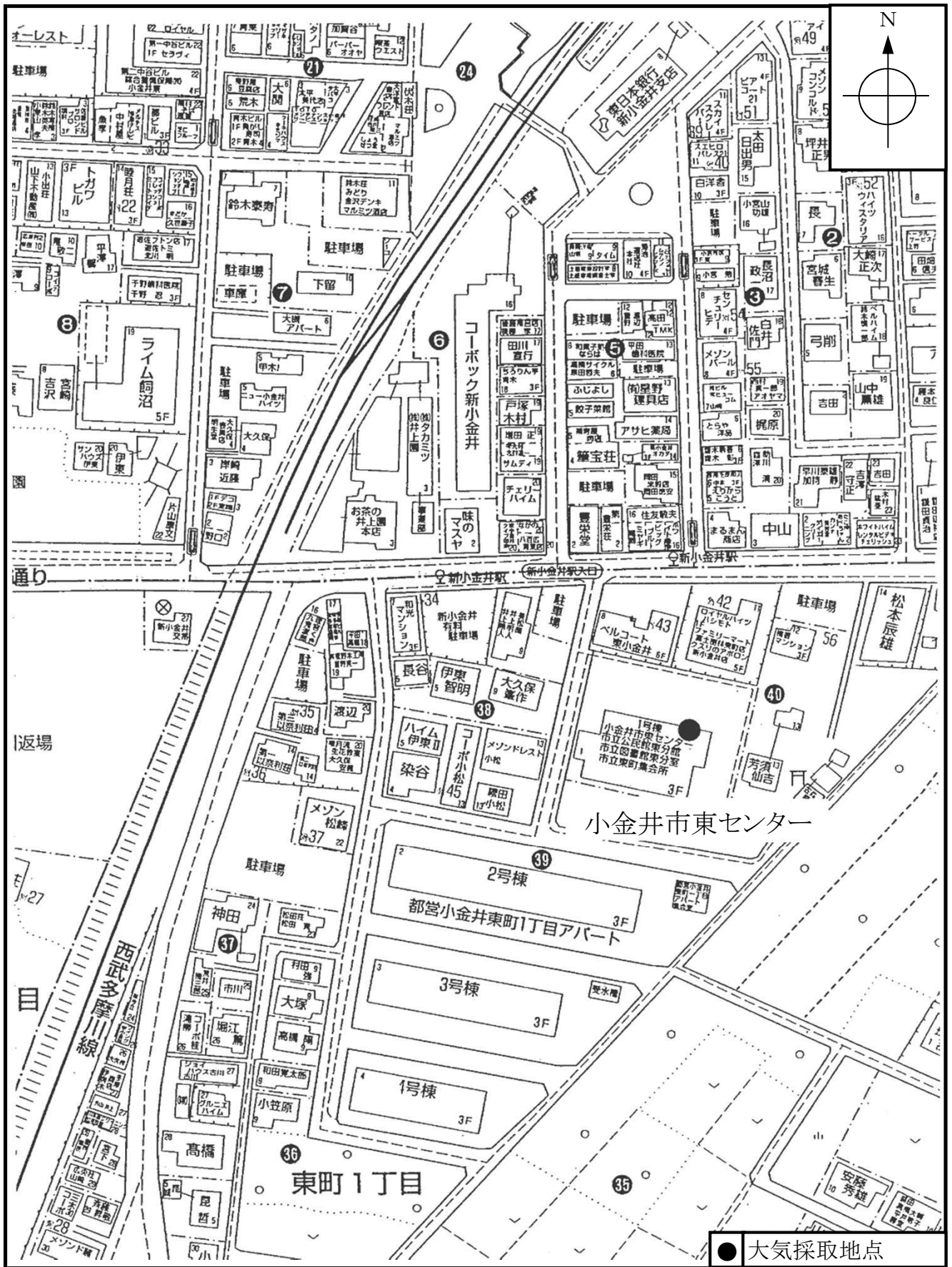


図2 調査地点図

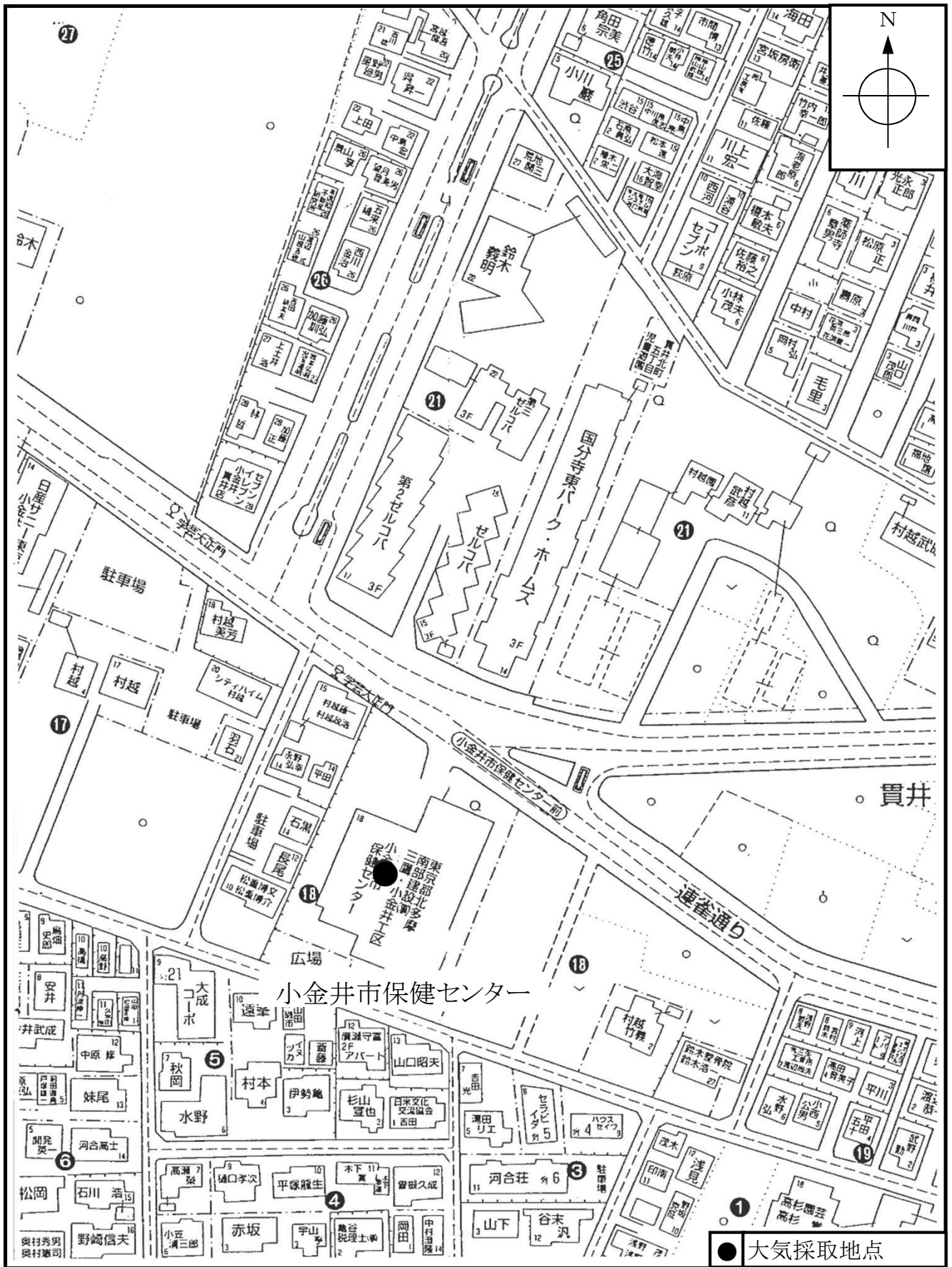


図3 調査地点図

## 5. 調査結果

調査結果を表2に、採取中の気象状況を表3～4及び図4～5に示し、比較参考データとして都内のダイオキシン類調査結果を表5に示した。

表2 調査結果(毒性等量)

(環境基準:0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点	8/24～8/25	2/8～2/9
	毒性等量(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	
① 小金井市東センター	0.018	0.013
② 小金井市保健センター	0.017	0.024
平均値	0.018	0.019
令和2年度平均値	0.018	

### 二重測定

調査地点	8/24～8/25	2/8～2/9
	毒性等量(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	
② 小金井市保健センター	0.016	0.024

注1) 二重測定の詳細結果を資料-1～2に示した。

平均値からの差が30%以内であったため測定の信頼性に問題はなかった。

注2) 二重測定試料の採取は可能であれば一連の試料採取において試料数の10%程度の頻度で行う。

【ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル(環境省)】

表3 調査期間中の気象データ

令和2年8月24日～25日

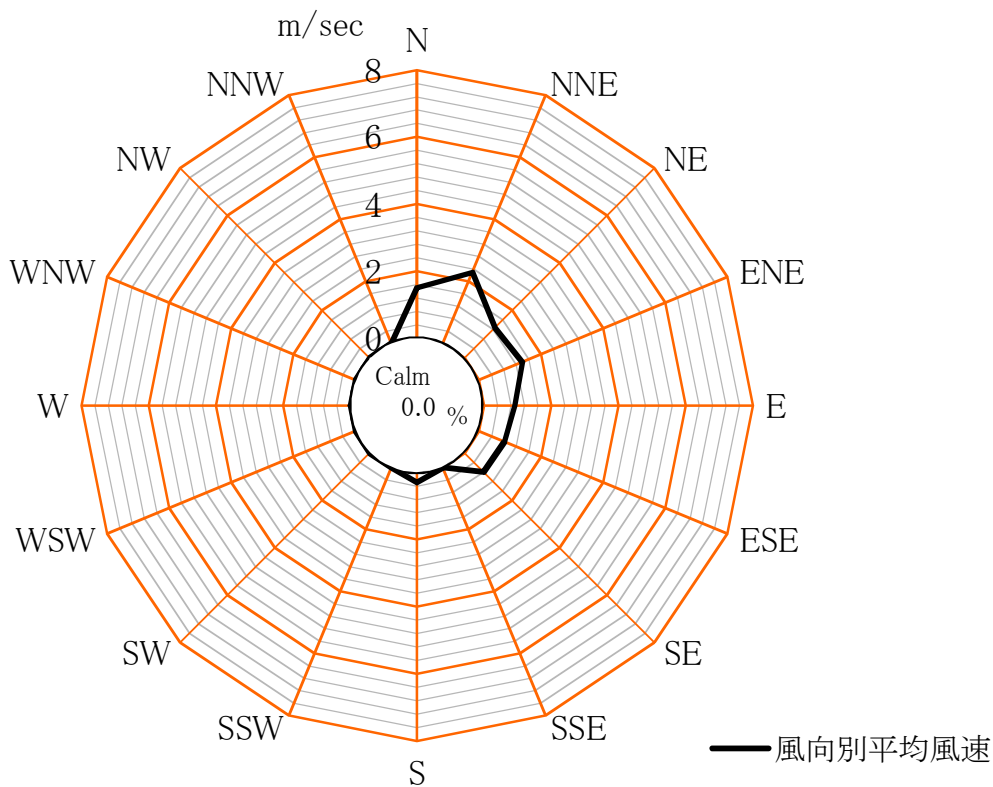
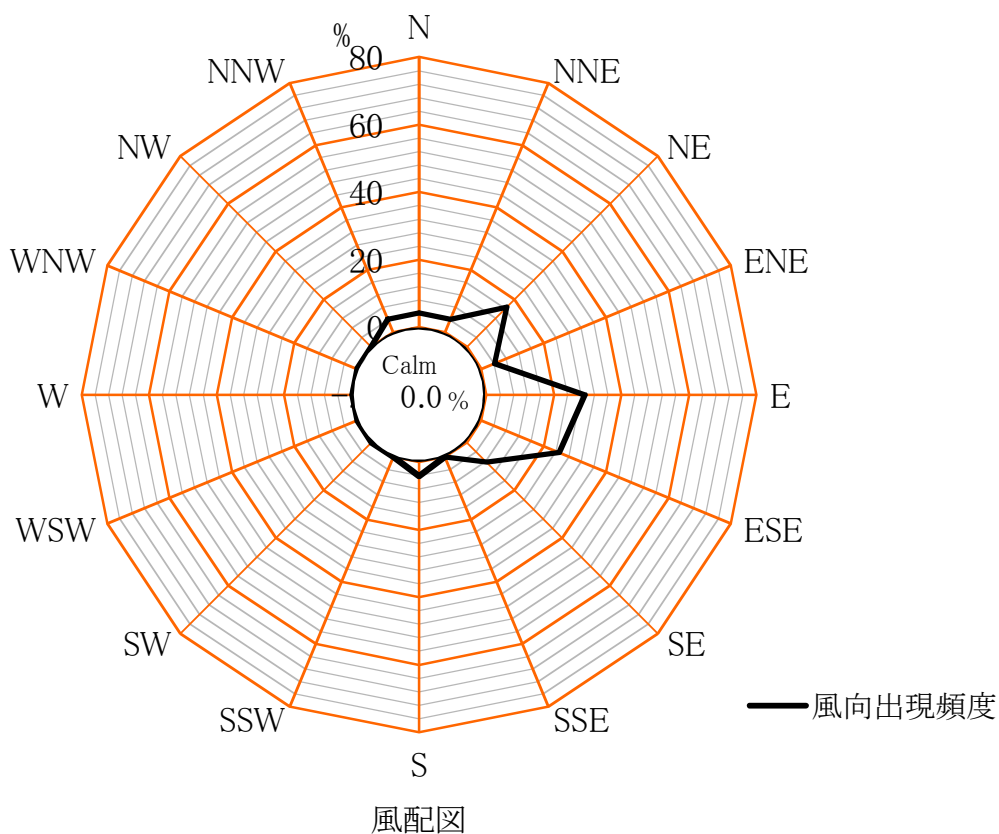
月/日	時刻	風向	風速 (m/sec)	気温 (℃)	湿度 (%)
8/24	10:00	NNW	2.4	30.3	63
	11:00	N	1.5	31.7	56
	12:00	NNE	2.3	32.2	55
	13:00	NE	1.7	33.2	49
	14:00	NE	1.6	32.9	48
	15:00	NE	1.1	33.5	49
	16:00	ESE	1.6	33.8	52
	17:00	ENE	1.4	32.1	55
	18:00	E	0.8	31.2	56
	19:00	E	0.9	30.8	57
	20:00	E	1.3	29.6	64
	21:00	E	1.1	28.7	70
	22:00	E	0.9	28.0	71
	23:00	E	0.8	27.8	72
8/25	0:00	ESE	0.5	27.3	75
	1:00	E	0.6	27.2	77
	2:00	NE	0.7	26.9	72
	3:00	ESE	0.9	26.3	75
	4:00	ESE	0.4	26.2	79
	5:00	ESE	0.4	25.9	78
	6:00	SE	0.3	26.2	78
	7:00	S	0.3	26.7	74
	8:00	SE	1.3	28.2	71
	9:00	ESE	1.1	30.3	64

注) 小金井市本町の都大気環境監視速報データが欠測の為、  
府中市宮西町のデータを使用した。

(速報データのため変更がある場合があります)



令和2年8月24日～25日



平均風速 1.1 m/sec    Calm: 静穏(0.2m/sec以下)

図4 風配図及び平均風速

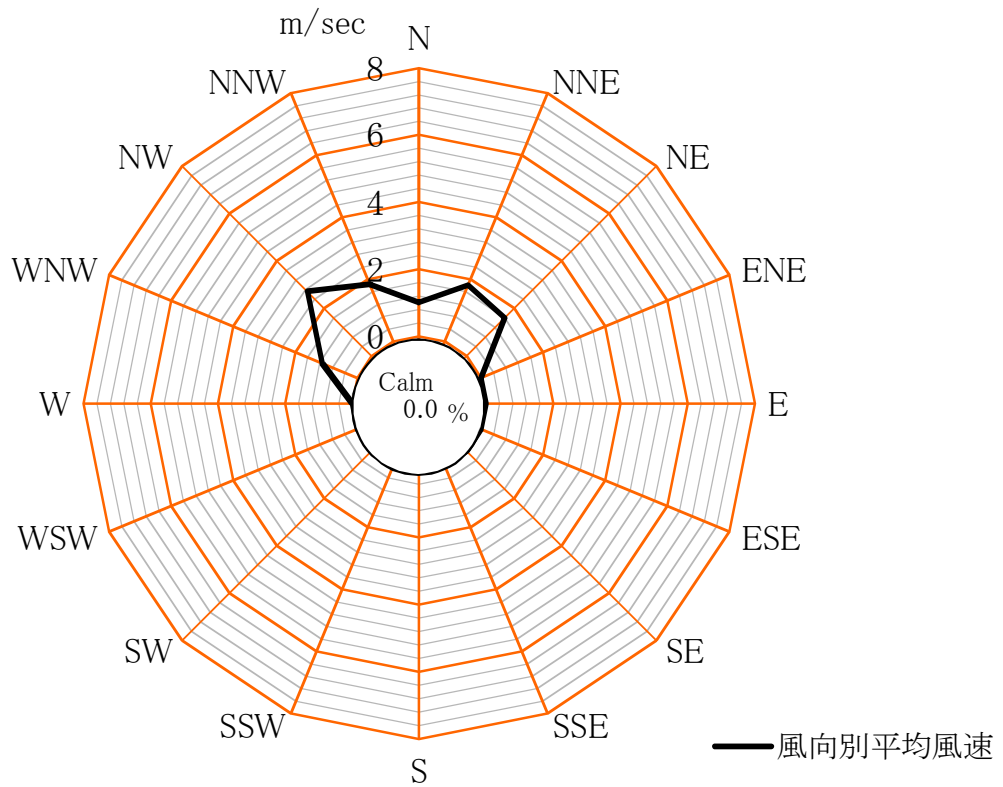
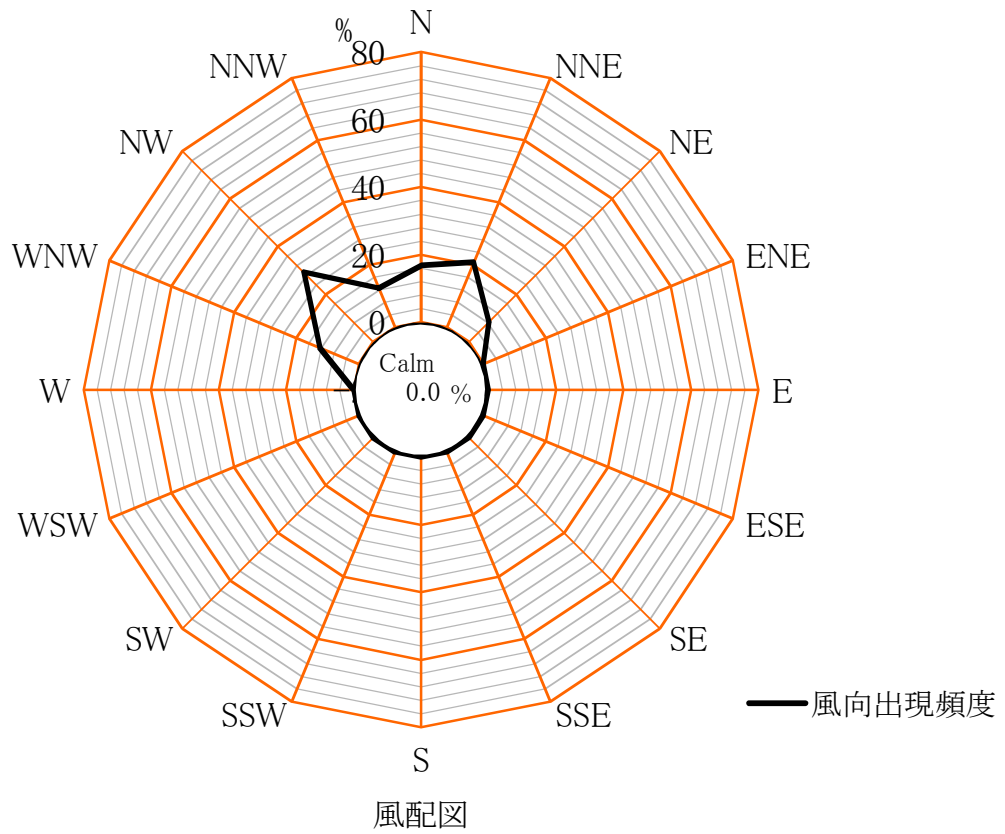
表4 調査期間中の気象データ

令和3年2月8日～9日

月/日	時刻	風向	風速 (m/sec)	気温 (°C)	湿度 (%)
2/8	10:00	N	2.3	6.6	41
	11:00	NNE	1.5	7.3	39
	12:00	NE	1.5	8.6	36
	13:00	NW	1.6	8.9	36
	14:00	NE	1.7	9.8	33
	15:00	NNW	1.9	9.7	30
	16:00	NNE	2.4	8.6	29
	17:00	NNE	2.5	7.8	29
	18:00	NNE	1.6	7.4	29
	19:00	NNE	1.1	6.6	29
	20:00	NNW	1.9	6.5	31
	21:00	N	1.2	5.8	33
	22:00	NW	3.3	4.7	37
23:00	NNW	1.7	4.1	40	
2/9	0:00	NW	2.8	3.7	39
	1:00	NW	3.3	3.2	42
	2:00	N	1.0	2.8	42
	3:00	N	0.8	2.1	47
	4:00	WNW	0.9	1.9	45
	5:00	NW	3.4	1.9	40
	6:00	NW	2.5	2.1	36
	7:00	WNW	1.4	1.5	36
	8:00	WNW	1.1	2.3	35
	9:00	NW	2.1	3.7	31

注) 小金井市本町の都大気環境監視速報データが欠測の為、  
府中市宮西町のデータを使用した。  
(速報データのため変更がある場合があります)

令和3年2月8日～9日



平均風速 1.9 m/sec    Calm: 静穏(0.2m/sec以下)

図5 風配図及び平均風速

表5 環境大気中のダイオキシン類調査結果(東京都環境局 平成31年度)

(単位:pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点	平成31年度結果							平成30年度	平成29年度
	5月22日～5月29日	8月21日～8月28日	11月13日～11月20日	2月7日～2月14日(注2)	平均値	平均値	平均値		
1 中央区晴海局	0.017	0.015	0.017	0.027	0.019	0.021	0.026		
2 大田区東糞谷局	0.020	0.014	0.021	0.016	0.018	0.024	0.017		
3 世田谷区世田谷局	0.012	0.014	0.015	0.024	0.016	0.020	0.016		
4 板橋区水川町局	0.014	0.017	0.025	0.028	0.021	0.022	0.018		
5 練馬区石神井町局	0.0098	0.010	0.013	0.025	0.014	0.017	0.019		
6 足立区西新井局	0.020	0.018	0.035	0.036	0.027	0.025	0.029		
7 葛飾区鎌倉	0.019	0.018	0.045	0.037	0.030	0.030	0.033		
8 江戸川区春江町局	0.013	0.012	0.030	0.048	0.026	0.025	0.021		
9 八王子市片倉町局	0.011	0.016	0.013	0.024	0.016	0.014	0.018		
10 八王子市大栗寺町局	0.0065	0.0088	0.011	0.012	0.0096	0.015	0.0093		
11 立川市錦町	0.012	0.0095	0.029	0.031	0.020	0.018	0.015		
12 町田市能ヶ谷局	0.0080	0.011	0.0090	0.019	0.012	0.020	0.013		
13 小金井市貫井北町(注1)	0.0081	0.0086	0.022	0.020	0.015	0.014	0.014		
14 福生市本町局	0.010	0.011	0.017	0.014	0.013	0.011	0.011		
15 東大和市奈良橋局	0.010	0.0072	0.013	0.013	0.011	0.015	0.014		
16 清瀬市下宿	0.014	0.014	0.022	0.027	0.019	0.020	0.020		
17 西多摩郡繪原局	0.011	0.0062	0.0027	0.0046	0.0061	0.0085	0.0057		
平均	0.013	0.012	0.020	0.024	0.017	0.019	0.018		
最大	0.020	0.018	0.045	0.048	0.030	0.030	0.033		
最小	0.0065	0.0062	0.0027	0.0046	0.0061	0.0085	0.0057		

備考:(1)毒性等価係数:WHO-TEF(2006)。

(2)TEQを換算する際に、分析値が検出下限未満のものについては“検出下限×1/2”として扱った。

(3)調査は1週間連続採取。採取大気量はいずれも約1000m<sup>3</sup>(西多摩郡繪原測定局)については、採取大気量を約3000m<sup>3</sup>。

(注1)③小金井市貫井北町は平成30年12月より本町局から測定地点を変更した。このため平成29年度の平均値は本町局の測定結果の平均値であり、平成30年度の平均値は

本町局の測定結果(5月、8月、11月)と貫井北町の測定結果(2月)の平均値である。

(注2)⑤練馬区石神井局においては測定が一時中断したため、停止していた時間分サンプリングを延長した。このため他地点とは測定時間が異なり2月7日～2月15日である。

出典:東京都環境局「平成31年度東京都内における環境中のダイオキシン類調査結果」令和2年8月31日

## 6.まとめ

### 6-1 環境基準及び公表データとの比較

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、環境基準(人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準)が大気 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下と定められ平成12年1月15日から適用された。(平成11年環境庁告示第68号)

今年度の調査における大気中のダイオキシン類濃度を、WHO-TEF(2006)で見ると最大値は冬季の小金井市保健センターの0.024pg-TEQ/m<sup>3</sup>で、最小値は冬季の小金井市東センターの0.013pg-TEQ/m<sup>3</sup>であり、年間の平均値は0.018pg-TEQ/m<sup>3</sup>で環境基準を十分満足する値であった(表2)。

また、今年度の調査結果を東京都環境局が行った平成31年度の調査結果(表5)の都内17箇所の年平均値(0.017pg-TEQ/m<sup>3</sup>)と比較すると、ほぼ同等な値であった。

### 6-2 地域住民への環境評価

今回の調査地点周辺住民の一日呼吸量を15m<sup>3</sup>、体重を50kgと仮定し、大気からのダイオキシン類のばく露量を、本年度の調査結果0.018pg-TEQ/m<sup>3</sup>を用いて計算すると0.0054pg-TEQ/kg/日となる。(計算式:[調査結果]×[一日呼吸量]÷[体重])

これをダイオキシン類の「ダイオキシンの耐容一日摂取量(TDI)について」(平成11年6月「環境庁」)である4pg-TEQ/kg/日と比較すると0.14%の寄与率であった。

### 6-3 年間平均値の経年変化(毒性等量)

年間平均値の経年変化を表6及び図6に示した。

平成14年度は環境基準の約1/9(0.064 pg-TEQ/m<sup>3</sup>)の濃度であったが、徐々に下降傾向を示し、令和2年度は環境基準の約1/33(0.018 pg-TEQ/m<sup>3</sup>)の濃度であった。

表6 年間平均値の経年変化(毒性等量)

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
8月	0.077	0.045	0.045	0.033	0.024	0.020	0.024	0.017	0.022	0.020	0.017	0.015	0.020	0.016	0.015	0.013	0.009	0.016	0.018
2月	0.051	-	0.030	0.019	0.038	0.054	0.055	0.025	0.052	0.024	0.038	0.011	0.017	0.017	0.016	0.017	0.025	0.019	0.019
年間	0.064	0.045	0.038	0.026	0.031	0.037	0.039	0.021	0.037	0.022	0.027	0.013	0.019	0.017	0.016	0.015	0.017	0.018	0.018

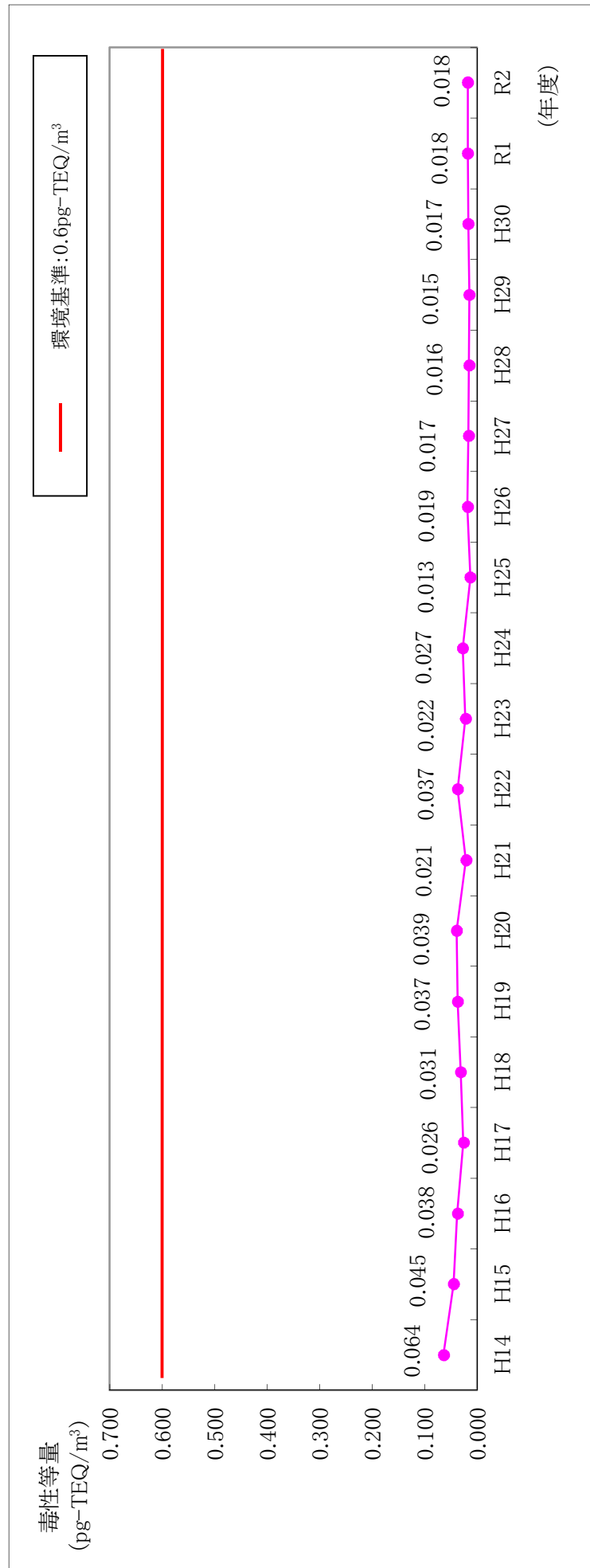


図6 年間平均値の経年変化(毒性等量)

資 料

## 資料-1 小金井市の二重測定の評価詳細

依頼者	小金井市長
試料名	小金井市保健センター
調査開始年月日 (時刻)	令和2年8月24日
調査終了年月日 (時刻)	令和2年8月25日

		実測濃度 東 測定結果1 二重測定 (pg/m <sup>3</sup> )	実測濃度 西 測定結果2 (pg/m <sup>3</sup> )	検出下限 (pg/m <sup>3</sup> )	平均値	平均値 からの差 (%)	
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	0.11	0.10	0.003	0.105	4.8	
	1,3,7,9-TeCDD	0.052	0.052	0.003	0.052	0.0	
	2,3,7,8-TeCDD	ND	ND	0.003	-	-	
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	ND	0.003	-	-	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	ND	0.007	-	-	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.043	0.046	0.007	0.0445	-3.4	
	OCDD	0.30	0.29	0.01	0.295	1.7	
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	0.014	0.014	0.003	0.014	0.0	
	2,3,7,8-TeCDF	(0.008)	(0.009)	0.003	0.0085	-5.9	
	1,2,3,7,8-PeCDF	(0.009)	(0.008)	0.003	0.0085	5.9	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.013	0.014	0.003	0.0135	-3.7	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	(0.012)	(0.013)	0.007	0.0125	-4.0	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	(0.012)	(0.013)	0.007	0.0125	-4.0	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	ND	0.007	-	-	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.010)	(0.009)	0.007	0.0095	5.3	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.034	0.033	0.007	0.0335	1.5	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	(0.008)	(0.009)	0.007	0.0085	-5.9	
OCDF	(0.03)	(0.03)	0.01	0.03	0.0		
コプラナー-PCBs	ナンオルト	3,4,4',5-TeCB #81	0.030	0.029	0.007	0.0295	1.7
		3,3',4,4'-TeCB #77	0.31	0.33	0.007	0.32	-3.1
		3,3',4,4',5-PeCB #126	0.024	0.023	0.007	0.0235	2.1
	モノオルト	3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	ND	ND	0.007	-	-
		2',3,4,4',5-PeCB #123	0.040	0.043	0.007	0.0415	-3.6
		2,3',4,4',5-PeCB #118	2.0	1.9	0.007	1.95	2.6
		2,3,3',4,4'-PeCB #105	0.72	0.70	0.007	0.71	1.4
		2,3,4,4',5-PeCB #114	0.060	0.059	0.007	0.0595	0.8
		2,3',4,4',5,5'-HxCB #167	0.046	0.044	0.007	0.045	2.2
		2,3,3',4,4',5-HxCB #156	0.084	0.085	0.007	0.0845	-0.6
		2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	(0.019)	(0.019)	0.007	0.019	0.0
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	ND	ND	0.007	-	-

- (備考) 1. 表中の“ND”は検出下限未満であることを示す。
2. 二重測定の誤差は、実測濃度 (検出下限以上) について、下記の数式で±30%以内であること。  

$$\frac{\{測定結果1 - (測定結果1と測定結果2の平均値)\}}{(測定結果1と測定結果2の平均値)} \times 100$$
3. 検証の結果、二重測定の誤差は、±30%以内にあることを確認できた。



## 資料-2 小金井市の二重測定の評価詳細

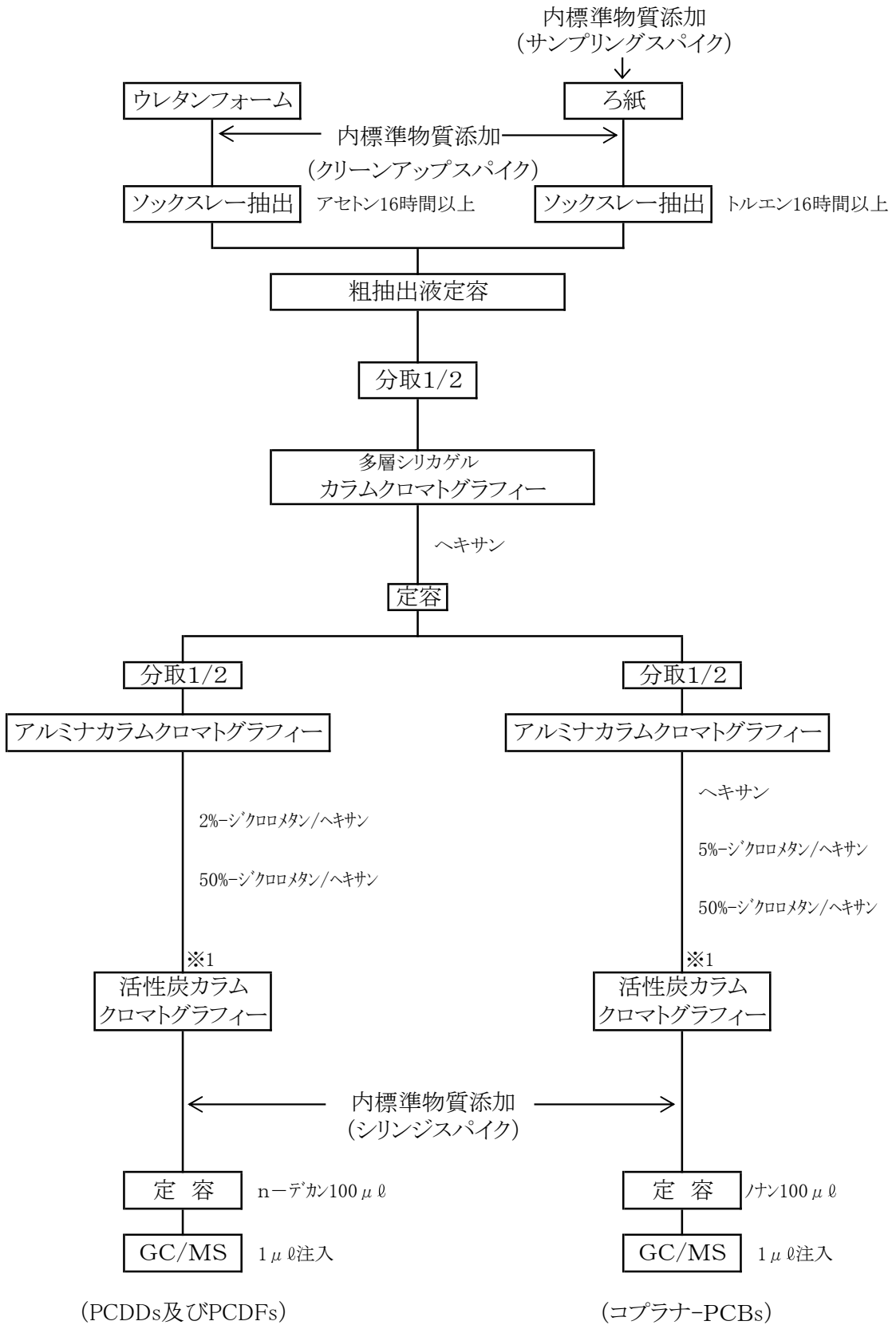
依頼者	小金井市長
試料名	小金井市保健センター
調査開始年月日 (時刻)	令和3年2月8日
調査終了年月日 (時刻)	令和3年2月9日

		実測濃度 東 測定結果1 二重測定 (pg/m <sup>3</sup> )	実測濃度 西 測定結果2 (pg/m <sup>3</sup> )	検出下限 (pg/m <sup>3</sup> )	平均値	平均値 からの差 (%)		
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	0.043	0.045	0.003	0.044	-2.3		
	1,3,7,9-TeCDD	0.032	0.032	0.003	0.032	0.0		
	2,3,7,8-TeCDD	ND	ND	0.003	—	—		
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	ND	0.003	—	—		
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	ND	0.007	—	—		
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	(0.012)	(0.013)	0.007	0.0125	-4.0		
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	(0.012)	(0.013)	0.007	0.0125	-4.0		
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.093	0.095	0.007	0.094	-1.1		
	OCDD	0.18	0.21	0.01	0.195	-7.7		
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	(0.008)	(0.008)	0.003	0.008	0.0		
	2,3,7,8-TeCDF	(0.006)	(0.006)	0.003	0.006	0.0		
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.010	0.010	0.003	0.010	0.0		
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.019	0.019	0.003	0.019	0.0		
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.024	0.023	0.007	0.0235	2.1		
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	(0.017)	(0.017)	0.007	0.017	0.0		
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	(0.012)	(0.012)	0.007	0.012	0.0		
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.031	0.030	0.007	0.0305	1.6		
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.10	0.098	0.007	0.099	1.0		
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.020	(0.019)	0.007	0.020	2.6		
OCDF	0.14	0.15	0.01	0.145	-3.4			
コブライナー-PCBs	ノンオハルト	3,4,4',5-TeCB #81	(0.011)	(0.011)	0.007	0.011	0.0	
		3,3',4,4'-TeCB #77	0.13	0.14	0.007	0.135	-3.7	
		3,3',4,4',5-PeCB #126	(0.011)	(0.011)	0.007	0.011	0.0	
		3,3',4,4',5,5'-HxCB #169	ND	ND	0.007	—	—	
		モノオハルト	2',3,4,4',5-PeCB #123	(0.008)	(0.007)	0.007	0.0075	6.7
			2,3',4,4',5-PeCB #118	0.52	0.51	0.007	0.515	1.0
	2,3,3',4,4'-PeCB #105		0.21	0.23	0.007	0.22	-4.5	
	2,3,4,4',5-PeCB #114		0.021	0.021	0.007	0.021	0.0	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB #167		(0.012)	(0.013)	0.007	0.0125	-4.0	
	2,3,3',4,4',5-HxCB #156		0.024	0.023	0.007	0.0235	2.1	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB #157	ND	ND	0.007	—	—		
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB #189	ND	ND	0.007	—	—		

- (備考) 1. 表中の“ND”は検出下限未満であることを示す。
2. 二重測定の誤差は、実測濃度 (検出下限以上) について、下記の数式で±30%以内であること。  

$$\frac{\{測定結果1 - (測定結果1と測定結果2の平均値)\}}{(測定結果1と測定結果2の平均値)} \times 100$$
3. 検証の結果、二重測定の誤差は、±30%以内にあることを確認できた。

# 大気試料分析法フローシート



※1 必要に応じて処理を実施





## 同定及び定量

各PCDDs, PCDFs及びPCBsのイオン強度の強い $M^+$ ,  $(M+2)^+$ ,  $(M+4)^+$ のイオンの内、各塩化物ごとに標準物質と $^{13}C_{12}$ -内標準物質について各々2つをモニターし、各2つのイオンの面積比率が標準品とほぼ同じで、塩素原子の天然同位体比の理論値に対しても $\pm 15\%$ 以内のもの（検出下限の3倍以下の濃度では $\pm 25\%$ 以内）をPCDDs, PCDFs及びPCBsとして同定する。さらに同定されたPCDDs, PCDFsの中の2,3,7,8位塩素置換化合物、並びに同定されたPCBsの中のコプラナーPCBsを、クロマトグラム上のピークの保持時間が標準物質とほぼ同じである事と、対応する内標準物質との相対保持時間が標準物質と一致することで同定し、内標準法によりS/N 3以上のピーク的面積を用いて定量した。

同定、定量に用いた標準品はWellington Laboratories 製で以下に示す。

標準物質	
T <sub>e</sub> CDD	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
P <sub>e</sub> CDD	1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
H <sub>x</sub> CDDs	1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
H <sub>p</sub> CDD	1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
OCDD	1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
T <sub>e</sub> CDF	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran
P <sub>e</sub> CDFs	1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran
	2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran
H <sub>x</sub> CDFs	1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran
	2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
H <sub>p</sub> CDFs	1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran
	1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran
OCDF	1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzofuran

内標準物質	
$^{13}C_{12}$ -T <sub>e</sub> CDDs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4-Tetrachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	$^{13}C_{12}$ -2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -P <sub>e</sub> CDD	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -H <sub>x</sub> CDDs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -H <sub>p</sub> CDD	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -OCDD	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzo- <i>p</i> -dioxin
$^{13}C_{12}$ -T <sub>e</sub> CDF	$^{13}C_{12}$ -2,3,7,8-Tetrachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -P <sub>e</sub> CDFs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8-Pentachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -2,3,4,7,8-Pentachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -H <sub>x</sub> CDFs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,7,8,9-Hexachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -2,3,4,6,7,8-Hexachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -H <sub>p</sub> CDFs	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8-Heptachlorodibenzofuran
	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,7,8,9-Heptachlorodibenzofuran
$^{13}C_{12}$ -OCDF	$^{13}C_{12}$ -1,2,3,4,6,7,8,9-Octachlorodibenzofuran

標準物質		
T <sub>e</sub> CBs	3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl	#77
	3,4,4',5-Tetrachlorobiphenyl	#81
P <sub>e</sub> CBs	2,3,3',4,4'-Pentachlorobiphenyl	#105
	2,3,4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#114
	2,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#118
	2',3,4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#123
	3,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#126
H <sub>x</sub> CBs	2,3,3',4,4',5-Hexachlorobiphenyl	#156
	2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl	#157
	2,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl	#167
	3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl	#169
H <sub>p</sub> CBs	2,2',3,3',4,4',5-Heptachlorobiphenyl	#170
	2,2',3,4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl	#180
	2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl	#189

内標準物質		
<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -T <sub>e</sub> CBs	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -2,3',4',5-Tetrachlorobiphenyl	#70
	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -3,3',4,4'-Tetrachlorobiphenyl	#77
	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -3,4,4',5-Tetrachlorobiphenyl	#81
<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -P <sub>e</sub> CBs	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -2,3,4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#114
	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -2,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#118
	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -3,3',4,4',5-Pentachlorobiphenyl	#126
<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -H <sub>x</sub> CBs	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -2,3,3',4,4',5'-Hexachlorobiphenyl	#157
	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -3,3',4,4',5,5'-Hexachlorobiphenyl	#169
<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -H <sub>p</sub> CBs	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -2,2',3,3',4,4',5-Heptachlorobiphenyl	#170
	<sup>13</sup> C <sub>12</sub> -2,3,3',4,4',5,5'-Heptachlorobiphenyl	#189

採取状況写真

# 夏季



① 小金井市東センター



② 小金井市保健センター

(写真 左: 東 右: 西)



## 冬季



① 小金井市東センター



② 小金井市保健センター

(写真 左：東 右：西)

# ダイオキシン類測定委託報告書

令和3年3月発行

小金井市環境部環境政策課  
〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号  
ダイヤル 042(387)9817

※古紙を配合しています。

令和2年度  
自動車騒音常時監視調査委託  
自動車騒音の常時監視に係る調査

報告書

令和3年3月

小 金 井 市

# 目 次

<b>1. 業務概要</b> .....	<b>1</b>
1.1 件名 .....	1
1.2 目的 .....	1
1.3 履行期限 .....	1
1.4 準拠する法令等 .....	1
1.5 実施機関 .....	1
<b>2. 業務内容</b> .....	<b>2</b>
2.1 評価対象路線について .....	2
2.2 調査日時 .....	5
2.3 調査項目 .....	5
2.4 調査方法 .....	6
2.4.1 騒音測定 .....	6
2.4.2 交通量測定 .....	7
2.4.3 平均走行速度測定 .....	8
<b>3. 関係法令</b> .....	<b>9</b>
3.1 騒音に係る環境基準 .....	9
<b>4. 調査結果</b> .....	<b>10</b>
4.1 道路調査および沿道調査 .....	10
4.2 騒音等調査 .....	11
4.2.1 道路近傍騒音レベル .....	11
4.2.2 背後地騒音 .....	14
4.3 交通量・平均走行速度の調査結果 .....	15
<b>5. 面的評価支援システムによる評価</b> .....	<b>16</b>
5.1 初期設定 .....	16
5.2 道路設定 .....	16
5.3 沿道設定 .....	16
5.4 騒音設定 .....	17
5.5 騒音推計前 .....	18
5.6 騒音推計 .....	19
5.7 指定出力 .....	20
<b>6. 環境基準の地域評価結果</b> .....	<b>21</b>
6.1 環境基準の達成状況(今年度評価区間) .....	21
6.2 環境基準の達成状況(全体) .....	23
6.3 環境基準の達成状況(道路種別) .....	25
6.4 環境基準の達成状況(路線別) .....	26

## 資料編

- ・実測時間別騒音レベル一覧表
- ・現場写真
- ・令和2年度 自動車騒音常時監視結果報告(環境省提出資料)  
常時監視フォーマット  
詳細図(騒音測定地点の位置図・断面図)
- ・環境基準達成状況の評価区間別の一括評価

## 1. 業務概要

### 1.1 件名

自動車騒音常時監視調査委託  
自動車騒音の常時監視に係る調査

### 1.2 目的

騒音規制法第 18 条第1項の規定に基づき、小金井市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施した。また、自動車騒音常時監視報告書および環境省への報告資料を作成した。なお、環境省が配布する面的評価支援システムを用いて、「自動車騒音常時監視マニュアル」(平成 27 年 10 月 環境省)及び「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 23 年 9 月 14 日付け環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知)に沿った評価対象路線の環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策への反映を図る資料とすることを目的とした。

### 1.3 履行期限

契約締結日から令和 3 年 3 月 26 日まで

### 1.4 準拠する法令等

本業務は発注仕様書によるほか、下記の関係法令等に基づいて行うものとした。

- (1) 環境基本法(平成 5 年 11 月 19 日 法律第 91 号)
- (2) 騒音規制法(昭和 43 年 6 月 10 日 法律第 98 号)
- (3) 騒音に係る環境基準(平成 10 年 9 月 30 日 環境庁告示第 64 号)
- (4) 「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 23 年 9 月 14 日 環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知)
- (5) 自動車騒音常時監視マニュアル(平成 27 年 10 月 環境省水・大気環境局自動車環境対策課以下「常時監視マニュアル」という。)
- (6) その他関係法令等

### 1.5 実施機関

株式会社アクト音響振動調査事務所 東京営業所  
計量証明事業所登録 大阪府知事登録 第 10146 号(音圧レベル)  
第 10231 号(振動加速度レベル)  
〒111-0051 東京都台東区蔵前 4 丁目 21-9  
TEL 03-5835-2141 FAX 03-5835-2140

## 2. 業務内容

### 2.1 評価対象路線について

本業務の業務対象は、表 2.1 に示す路線とし、評価対象とする区間の両側の道路端から各 50m の範囲を対象とした。また各路線のうち表 2.2 に示す 2 地点で道路騒音等の調査を行った。調査地点の全体図を図 2.1 に、調査地点ごとの詳細を図 2.2(1)～(2)に示す。

表 2.1 調査対象路線

一連 番号	路 線			起終点住所		車 線 数	調査単位 区間番号 <small>注2</small>	区間 延長 (km)
	道路 種別 <small>注1</small>	路線 番号	路線名	起点側	終点側			
7	6	14	新宿国立線 A	小金井市前原町1-1	小金井市前原町5-8	4	40790	1.3
8	6	248	府中小平線 B	小金井市前原町5-7	小金井市貫井北町3-33	2	62820	2.6
総区間延長								3.9

※ 道路種別 6:一般都道

※※ 調査単位区間番号は、平成27年道路交通センサス番号を示す。

表 2.2 騒音等調査地点

地点 番号	路線名	調査単位 区間番号	調査地点 住所
地点7	新宿国立線 A	40790	小金井市前原町4-16
地点8	府中小平線 B	62820	小金井市貫井南町2-9



● 騒音等調査地点

図 2.1 調査対象路線・騒音等調査地点



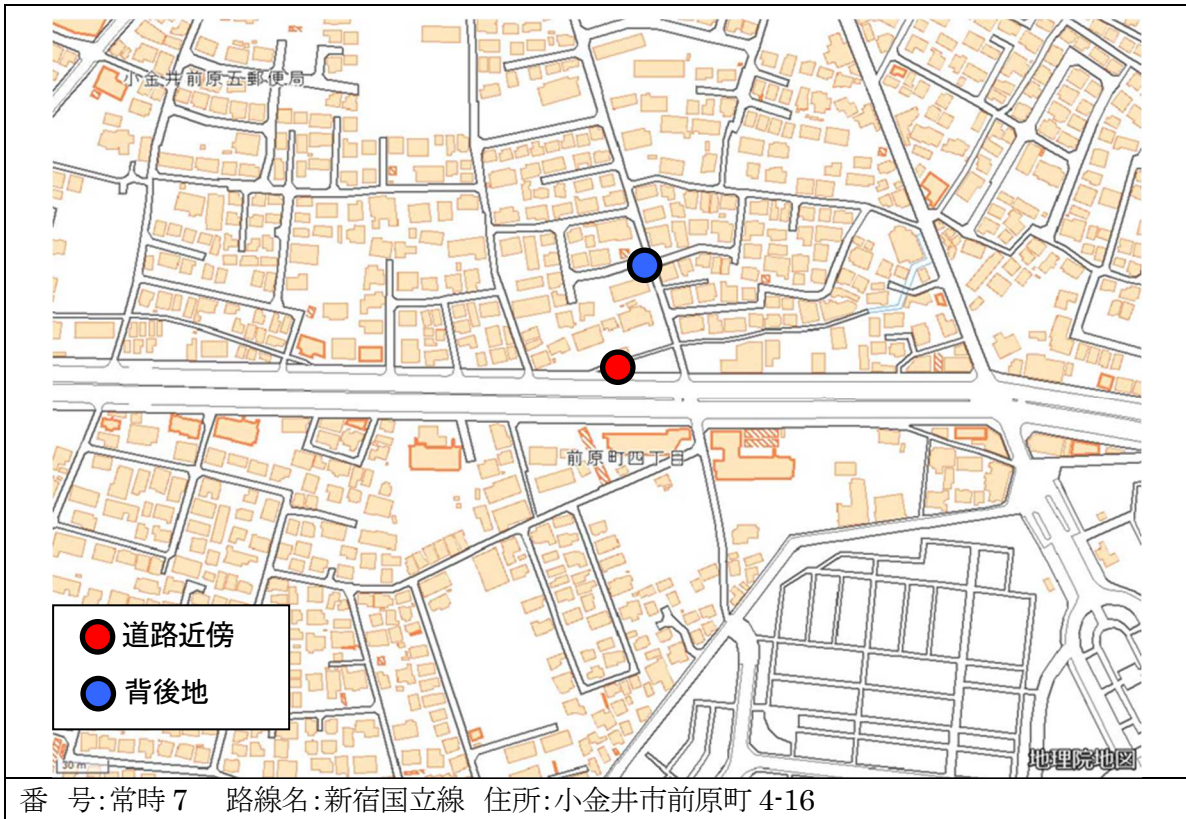


図 2.2(1) 調査地点の詳細図 地点 7 新宿国立線 A(40790) 前原町 4-16 付近

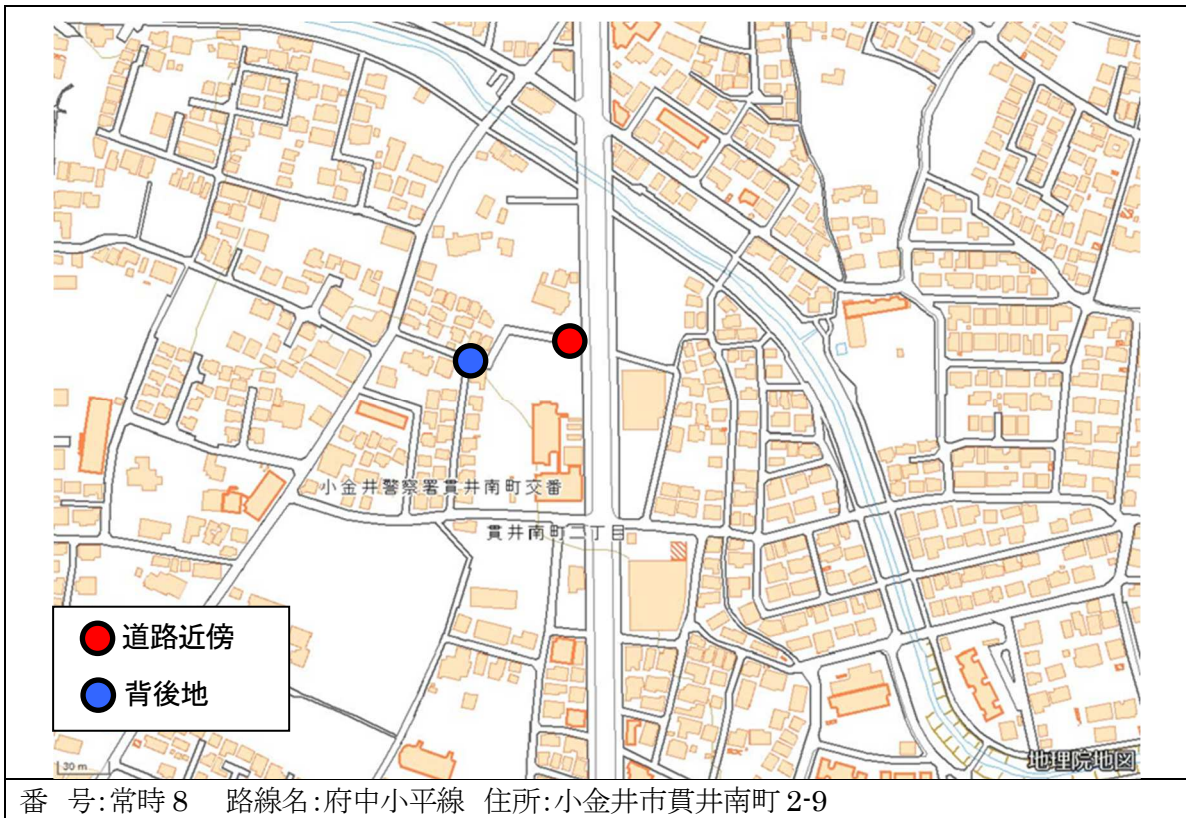


図 2.2(2) 調査地点の詳細図 地点 8 府中小平線 B(62820) 貫井南町 2-9 付近

## 2.2 調査日時

令和2年12月1日(火)13:00 ~ 12月2日(水)13:00

## 2.3 調査項目

調査項目を表 2.3 に示す。

表 2.3 調査項目の一覧

項目		調査の内容
騒音測定	道路近傍騒音レベル	測定項目：昼間等価騒音レベル( $L_{Aeq,16h}$ ) 夜間等価騒音レベル( $L_{Aeq,8h}$ ) 時間率騒音レベル( $L_{A5}$ 、 $L_{A10}$ 、 $L_{A50}$ 、 $L_{A90}$ 、 $L_{A95}$ ) 騒音レベルの最大値( $L_{Amax}$ ) 測定頻度：24 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間)
	背後地騒音レベル	測定項目：昼間等価騒音レベル( $L_{Aeq,16h}$ ) 夜間等価騒音レベル( $L_{Aeq,8h}$ ) 時間率騒音レベル( $L_{A5}$ 、 $L_{A10}$ 、 $L_{A50}$ 、 $L_{A90}$ 、 $L_{A95}$ ) 騒音レベルの最大値( $L_{Amax}$ ) 測定頻度：昼間(6~22 時)・夜間(22~6 時)にそれぞれ 2 回(10 分間×4 回)
交通量・平均走行速度測定	交通量測定	測定項目：方向別・車種別・時間別の走行車両台数 車種分類：4 車種分類(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車) 測定頻度：昼間(6~22 時)・夜間(22~6 時)にそれぞれ 2 回(10 分間×4 回)
	平均走行速度測定	測定項目：方向別・時間帯別の平均走行速度(各 10 台) 測定頻度：車種別交通量の調査と同時

## 2.4 調査方法

### 2.4.1 騒音測定

#### ①測定項目

- 昼間等価騒音レベル( $L_{Aeq,16h}$ )
- 夜間等価騒音レベル( $L_{Aeq,8h}$ )
- 時間率騒音レベル( $L_{A5}$ 、 $L_{A10}$ 、 $L_{A50}$ 、 $L_{A90}$ 、 $L_{A95}$ )
- 騒音レベルの最大値( $L_{Amax}$ )

#### ②測定方法

騒音レベルの測定は、「環境基準の表示・測定方法」(JIS Z 8731-2019)及び「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成 27 年 10 月 環境省)に準じて実施した。測定地点に JIS C 1509-1 に定める積分型普通騒音計(周波数重み特性:A 時間重み特性:F)を地上高さ 1.2m に設置し、200m 秒間隔の瞬時値を騒音計内部のメモリに順次保存した。

後日事務所にて、騒音レベルの瞬時値を計算機に取り込み、10 分間の等価騒音レベル、時間率騒音レベル、騒音レベルの最大値を算出した。

#### ③測定頻度

- 道路近傍 24 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間)
- 背後地 昼間・夜間にそれぞれ 2 回(10 分間×4 回)

#### ④測定機器及び測定条件

使用する測定機器及び測定条件を表 2.4 に示す。測定機器の構成を図 2.3 に示す。

表 2.4 使用測定機器及び測定条件

機器名称	製造メーカー	型式	主な仕様／測定条件
積分型普通騒音計	リオン(株)	NL-21	適合規格:JIS C 1509-1 クラス 2 測定レベル範囲:A 特性 28~130dB 測定周波数範囲:20 Hz ~ 8 kHz 周波数重み特性:A 時間重み特性:F サンプリング間隔:200m 秒



図 2.3 測定機器の構成図(騒音レベル)

## 2.4.2 交通量測定

### ①測定項目

交通量 方向別(上り方向・下り方向)  
車種別(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車)

### ②測定方法

対象道路を走行する車両の台数を方向別、車種別、時間別に、目視によりマニュアルカウンターを用いて計測した。なお、車種の分類は表 2.5 に示すとおりとする。

### ③測定頻度

昼間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回  
夜間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回

表 2.5 車種分類表

区 分		ナンバープレート	その他の特徴	代表的な車種
大型車Ⅰ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(大型番号標)	車両総重量 8 トン以上 最大積載量 5 トン以上  車両前部上部に速度表示灯(バスを除く) ※1999 年以降、速度表示灯は廃止された	キャブオーバートラック ダンプ トラクタ
	特種用途自動車	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(大型番号標)		コンクリートミキサー車 タンク車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(大型番号標)		観光バス 路線バス
大型車Ⅱ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(小型番号標)	車両総重量 8 トン未満 最大積載量 5 トン未満	キャブオーバートラック バン型トラック
	特種用途自動車 (注)	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(小型番号標)		冷蔵冷凍車 塵芥車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(小型番号標)	乗車定員 11 人以上 29 人以下	レンタカー マイクロバス
小型車	大型車Ⅰ及び大型車Ⅱ、二輪車を除く自動車			
二輪車	二輪自動車、原動機付自転車			

注) 大型車Ⅱの特種用途自動車には、改造前の自動車(乗用車、小型貨物)と同程度の大きさのものは含めない。それらは小型車にカウントするものとした。

### 2.4.3 平均走行速度測定

#### ①測定項目

平均走行速度 方向別(上り方向・下り方向)

#### ②測定方法

一般部の平均走行速度は、自動車が一定区間を走行するときの所要時間をストップウォッチで計測し、以下に示す計算式により求めた。

$$\text{走行速度 (km/h)} = \text{区間距離 (m)} \div \text{通過時間 (s)} \times 3.6$$

#### ③測定頻度

昼間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回

夜間の基準時間帯で 10 分間の測定を 2 回

### 3. 関係法令

#### 3.1 騒音に係る環境基準

##### ◆ 道路に面する地域以外の地域(一般地域)

地域の類型	時間の区分(L <sub>Aeq</sub> (dB))	
	昼間	夜間
AA	50 以下	40 以下
A 及び B	55 以下	45 以下
C	60 以下	50 以下

備考 環境基本法では、騒音に係る環境基準の地域類型をあてはめる地域を知事が指定することになっており、東京都での指定状況は次のとおりである。

(次表以下同じ)

##### ① 地域の類型該当地域

AA:清瀬市の区域のうち、松山3丁目1番、竹丘1丁目17番、竹丘3丁目1番から3番まで及び竹丘3丁目10番の区域(療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域)

A :第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域(専ら住居の用に供する地域)

B :第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域(主として住居の用に供する地域)

C :近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

##### ② 時間の区分

昼間:午前6時から午後10時まで

夜間:午後10時から翌日午前6時まで

##### ◆ 道路に面する地域(この地域には、上表によらず次表の基準値が適用される)

道路に面する地域の環境基準については、平成12年度から、一定地域内の住居等のうち騒音レベルが環境基準を超過する戸数及び超過する割合により評価(面的評価)することとなっている。「騒音に係る環境基準について」環境庁告示 平成11年4月施行)

地域の区分	時間の区分(L <sub>Aeq</sub> (dB))	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60 以下	55 以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65 以下	60 以下

※ 車線とは、1縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な一定の復員を有する帯状の車道部をいう。

※※ 「道路に面する地域」とは、道路騒音が支配的な音源である地域のことである。「騒音に係る環境基準の改正について」(平成10年9月30日 環大企第257号)

##### ◆ 幹線交通を担う道路※(この地域には、特例として次表の基準値が適用される)

昼間	夜間
70 以下	65 以下

備考 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれているときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあっては45dB以下、夜間にあっては40dB以下)によることができる。

※ 「幹線交通を担う道路」とは、高速自動車国道・都市高速道路・一般国道・都道府県道・4車線以上の市町村道のことをいう。「幹線交通を担う道路に近接する空間」とは、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離により範囲が特定される。

- ・ 2車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15m
- ・ 2車線を越える車線を有する幹線交通を担う道路 20m

## 4. 調査結果

### 4.1 道路調査および沿道調査

表 4.1 の評価対象路線について道路構造条件・騒音対策状況・交通流条件、沿道の土地利用状況等を調査した。

#### ① 道路調査

評価対象路線について、現地道路調査により、道路構造条件・騒音対策状況・交通流条件を調査し、騒音の影響が一定とみなせる区間に細分化し、評価区間を設定した。

本年度業務における評価区間の設定を表 4.1 に示す。

表 4.1 評価区間の設定

一連 番号	路線 番号	路線名	令和2年度の評価区間						測定地点
			区間番号	起点側住所	終点側住所	車 線 数	舗装 種別	区間 延長 (km)	
7	14	新宿国立線 A	40790-1	小金井市前原町1-1	小金井市前原町5-8	4	低騒音	1.3	小金井市前原町4-16
8	248	府中小平線 B	62820-1	小金井市前原町5-7	小金井市貫井南町3-21	2	低騒音	1.1	小金井市貫井南町2-9
			62820-2	小金井市貫井南町3-21	小金井市貫井北町1-11	2	密粒	0.3	62820-1を準用
			62820-3	小金井市貫井北町1-11	小金井市貫井北町3-33	2	低騒音	1.3	62820-1を準用

※ 区間延長は面的評価支援システムの集計による

#### ② 道路横断面調査

道路近傍騒音を測定した位置において、道路横断情報を現地計測もしくは既存資料により調査し整理した。

計測結果は、添付資料「詳細図(騒音測定地点の平面図・横断図)」に示した

#### ③ 建物調査

「5.3 沿道設定」と合わせてデジタル住宅地図より建物情報を取得する。

## 4.2 騒音等調査

### 4.2.1 道路近傍騒音レベル

道路近傍の騒音レベルは、1時間あたり6回実施した結果の中から、改造バイクや緊急自動車のサイレン等の影響を受けていると思われるデータを除外し、残りのデータをエネルギー的に平均して観測時間帯別、基準時間帯別の等価騒音レベル(L<sub>Aeq</sub>)を算出した。

道路近傍における騒音レベル調査結果を表 4.2、観測時間別の騒音レベル調査結果を表 4.3(1)～(2)および図 4.1(1)～(2)に示す。また、実測時間別の騒音調査結果を資料編に示す。

昼間、夜間の時間区分ともに、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点 8 府中小平線 B(62820)であり、昼間が 67dB、夜間が 65dB であった。

環境基準達成状況は、地点 7 新宿国立線 A(40790)、地点 8 府中小平線 B(62820)で昼間、夜間ともに環境基準・要請限度を達成した。

表 4.2 道路近傍騒音レベルの調査結果

調査日：令和2年12月1日(火)13:00～12月2日(水)13:00

地点 番号	路線名	調査単位 区間番号	調査地点	時間 区分	等価騒音レベル L <sub>Aeq</sub> (dB)				
					調査結果	環境基準		要請限度	
						基準値	適合状況	基準値	適合状況
地点7	新宿国立線A	40790	小金井市前原町4-16	昼間	65	70	○	75	○
				夜間	59	65	○	70	○
地点8	府中小平線B	62820	小金井市貫井南町2-9	昼間	67	70	○	75	○
				夜間	65	65	○	70	○

※ 昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00

※※ 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。



表 4.3(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 7

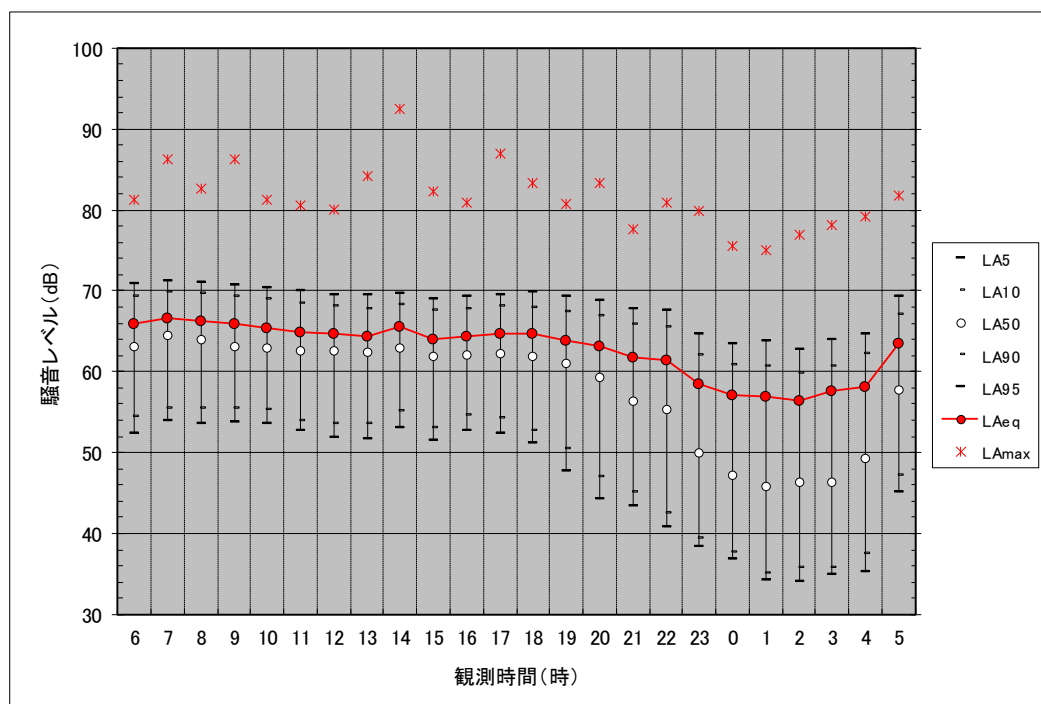
調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~ 12月2日(水)13:00

路線名: 新宿国立線

調査地点: 小金井市前原町4-16

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	65.9	71.0	69.4	63.2	54.6	52.5	81.3	
	7:00~8:00		66.6	71.3	69.9	64.5	55.5	54.0	86.3	
	8:00~9:00		66.3	71.1	69.7	64.0	55.6	53.6	82.7	
	9:00~10:00		66.0	70.8	69.4	63.2	55.5	53.8	86.3	
	10:00~11:00		65.4	70.5	69.1	63.0	55.3	53.6	81.3	
	11:00~12:00		64.9	70.0	68.6	62.7	54.0	52.7	80.6	
	12:00~13:00		64.7	69.5	68.1	62.6	53.6	51.9	80.1	
	13:00~14:00		64.4	69.5	67.9	62.4	53.6	51.8	84.2	
	14:00~15:00		65.6	69.7	68.3	63.0	55.2	53.1	92.5	
	15:00~16:00		64.1	69.1	67.7	61.9	53.1	51.6	82.4	
	16:00~17:00		64.3	69.3	67.8	62.1	54.7	52.7	81.0	
	17:00~18:00		64.7	69.6	68.1	62.3	54.4	52.5	87.0	
	18:00~19:00		64.7	69.9	68.0	62.0	52.8	51.2	83.4	
	19:00~20:00		63.9	69.4	67.5	61.0	50.6	47.7	80.7	
20:00~21:00	63.2	68.8	67.0	59.3	47.0	44.4	83.4			
21:00~22:00	61.8	67.9	65.9	56.5	45.1	43.5	77.7			
夜間	22:00~23:00	65	61.5	67.7	65.6	55.3	42.6	40.9	80.9	
	23:00~0:00		58.5	64.7	62.2	50.1	39.5	38.5	79.9	
	0:00~1:00		57.1	63.5	60.9	47.3	37.7	36.8	75.6	
	1:00~2:00		57.0	63.8	60.7	45.9	35.2	34.3	75.1	
	2:00~3:00		56.4	62.8	59.9	46.4	35.8	34.1	76.9	
	3:00~4:00		57.6	64.0	60.8	46.4	35.8	34.9	78.2	
	4:00~5:00		58.2	64.7	62.3	49.4	37.6	35.4	79.2	
	5:00~6:00		63.5	69.3	67.1	57.8	47.3	45.2	81.9	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	65	70	68	62	53	51	93
		夜間	65	59	65	62	50	39	38	82

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 7

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~ 12月2日(水)13:00

路線名: 新宿国立線

調査地点: 小金井市前原町4-16

図 4.1(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 8

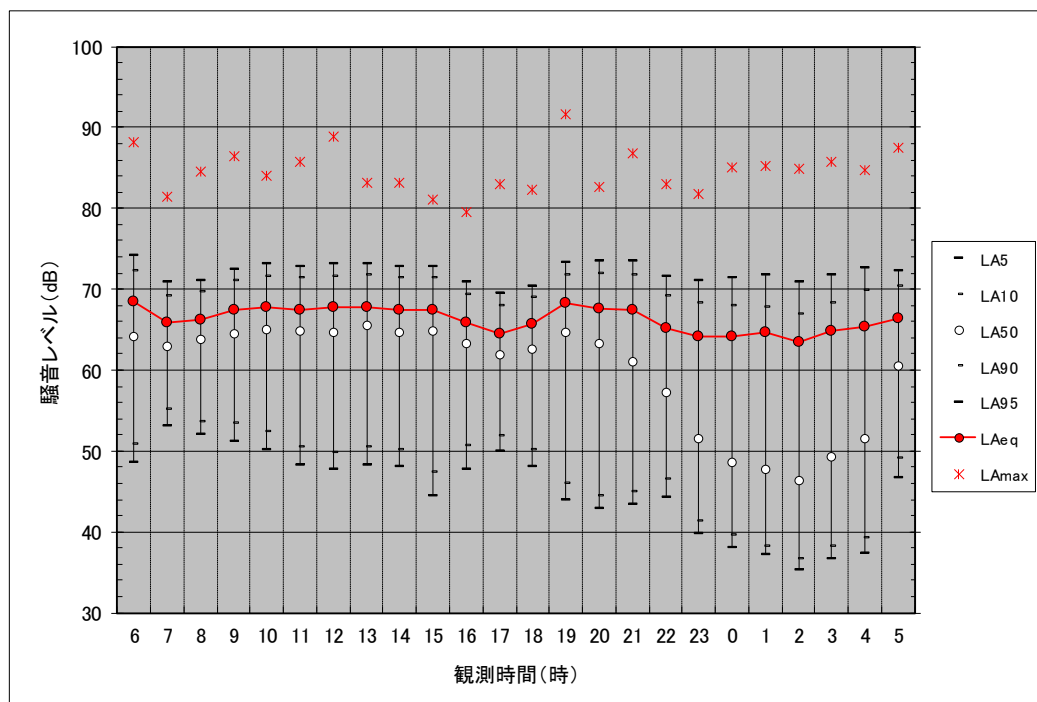
調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~ 12月2日(水)13:00

路線名: 府中小平線

調査地点: 小金井市貫井南町2-9

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	68.4	74.1	72.3	64.1	50.9	48.5	88.1	
	7:00~8:00		65.9	70.8	69.1	63.0	55.2	53.1	81.4	
	8:00~9:00		66.2	71.1	69.7	63.8	53.6	52.1	84.6	
	9:00~10:00		67.4	72.5	71.0	64.5	53.4	51.1	86.5	
	10:00~11:00		67.8	73.1	71.6	65.0	52.3	50.2	84.0	
	11:00~12:00		67.4	72.8	71.4	64.8	50.5	48.3	85.7	
	12:00~13:00		67.8	73.1	71.6	64.6	49.8	47.7	88.8	
	13:00~14:00		67.7	73.1	71.7	65.5	50.5	48.3	83.1	
	14:00~15:00		67.4	72.8	71.4	64.6	50.2	48.0	83.2	
	15:00~16:00		67.4	72.8	71.4	64.9	47.4	44.4	81.0	
	16:00~17:00		65.8	70.8	69.3	63.2	50.7	47.7	79.6	
	17:00~18:00		64.5	69.5	67.9	61.9	51.9	50.0	83.0	
	18:00~19:00		65.7	70.4	68.9	62.6	50.2	48.1	82.2	
	19:00~20:00		68.3	73.3	71.8	64.7	46.0	43.9	91.7	
20:00~21:00	67.6	73.5	71.9	63.2	44.4	42.8	82.6			
21:00~22:00	67.4	73.5	71.7	61.1	45.0	43.4	86.8			
夜間	22:00~23:00	65	65.1	71.5	69.2	57.3	46.5	44.2	83.0	
	23:00~0:00		64.1	71.1	68.2	51.6	41.3	39.7	81.7	
	0:00~1:00		64.2	71.4	68.0	48.6	39.6	38.0	85.0	
	1:00~2:00		64.6	71.7	67.8	47.7	38.2	37.2	85.3	
	2:00~3:00		63.5	70.8	66.9	46.3	36.6	35.2	84.9	
	3:00~4:00		64.8	71.8	68.2	49.3	38.2	36.7	85.7	
	4:00~5:00		65.4	72.6	69.8	51.6	39.3	37.4	84.7	
	5:00~6:00		66.3	72.3	70.3	60.5	49.1	46.7	87.4	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	67	72	71	64	50	48	92
		夜間	65	65	72	69	52	41	39	87

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 8

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~ 12月2日(水)13:00

路線名: 府中小平線

調査地点: 小金井市貫井南町2-9

図 4.1(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

#### 4.2.2 背後地騒音

測定点近傍を通過する自動車や歩行者等、等価騒音レベルに影響する特異騒音を除外した後、実測時間 10 分間の等価騒音レベル( $L_{Aeq}$ )及び時間率騒音レベル( $L_{Ax}$ )を算出した。また、基準時間帯ごとの  $L_{A95}$  の算術平均値を残留騒音レベルとした。

背後地における騒音レベルの調査結果を表 4.4 に示す。

各調査地点の残留騒音レベルは昼間の時間区分が地点 7 は 38dB、地点 8 は 38dB、夜間の時間区分が地点 7 は 37dB、地点 8 は 37dB であった。

表 4.4 背後地における騒音レベル調査結果

調査日：令和2年12月1日(火)13:00～12月2日(水)13:00

地点番号	調査単位 区間番号	路線名 調査地点名	時間 区分	測定 開始 時刻	等価騒音 レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)					最大値 (dB)	残留騒音 $L_{A95}$ 平均
					$L_{Aeq}$	$L_{Aeq}$ 平均	$L_{A5}$	$L_{A10}$	$L_{A50}$	$L_{A90}$	$L_{A95}$		
地点7	40790	新宿国立線A 小金井市前原町4-16	昼間	14:30	51.7	55	57	55	46	41	40	69	38
				16:40	56.4		62	58	46	40	36	77	
			夜間	22:40	43.5	44	47	46	43	39	38	57	
				0:50	43.9		47	46	42	36	35	68	
地点8	62820	府中小平線B 小金井市貫井南町2-9	昼間	13:00	51.6	50	56	52	46	39	38	74	38
				11:50	47.2		51	50	46	39	38	70	
			夜間	22:00	48.7	48	53	52	47	40	38	66	
				0:10	47.2		53	51	44	36	36	59	

### 4.3 交通量・平均走行速度の調査結果

交通量・平均走行速度の調査結果を表 4.5(1)～(2)に示す。

表 4.5(1) 交通量・平均走行速度の調査結果

路線名：新宿国立線 40790  
測定日：令和2年12月1日（火）13:00～12月2日（水）13:00

時間区分	測定開始時刻	下り 東行き（測定点側）							上り 西行き（反対車線側）							合計						
		大型車		小型車	二輪車	車両合計	大型車混入率	平均速度	大型車		小型車	二輪車	車両合計	大型車混入率	平均速度	大型車		小型車	二輪車	車両合計	大型車混入率	平均速度
		I	II						I	II						I	II					
		(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)
昼間	14:00	3	7	113	5	128	8.1	34.6	5	12	173	9	199	8.9	43.9	8	19	286	14	327	8.6	39.3
夜間	17:00	3	6	121	5	135	6.9	35.5	1	5	143	13	162	4.0	46.2	4	11	264	18	297	5.4	40.9
夜間	22:00	0	1	40	1	42	2.4	55.6	0	5	48	8	61	9.4	45.5	0	6	88	9	103	6.4	50.6
昼間	1:00	0	3	14	1	18	17.6	46.4	0	5	10	0	15	33.3	45.7	0	8	24	1	33	25.0	46.1
平均	昼間	2	5	64	3	73	9.3	40.5	3	9	92	5	107	10.7	44.8	4	14	155	8	180	10.1	42.7
	夜間	2	4	81	3	89	5.8	45.6	1	5	96	11	112	5.4	45.9	2	9	176	14	200	5.6	45.7

※ 大型車I:大型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車 大型車II:小型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車  
小型車：大型車Iおよび大型車II、二輪車を除く自動車 二輪車:二輪自動車、原動機付自転車  
※※ 昼間の時間区分 6:00～22:00  
夜間の時間区分 22:00～6:00

表 4.5(2) 交通量・平均走行速度の調査結果

路線名：府中小平線 62820  
測定日：令和2年12月1日（火）13:00～12月2日（水）13:00

時間区分	測定開始時刻	下り 北行き（測定点側）							上り 南行き（反対車線側）							合計						
		大型車		小型車	二輪車	車両合計	大型車混入率	平均速度	大型車		小型車	二輪車	車両合計	大型車混入率	平均速度	大型車		小型車	二輪車	車両合計	大型車混入率	平均速度
		I	II						I	II						I	II					
		(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(台/10分)	(%)	(km/h)
昼間	14:00	4	14	77	4	99	18.9	36.9	6	15	96	3	120	17.9	34.5	10	29	173	7	219	18.4	35.7
夜間	17:00	4	5	100	9	118	8.3	27.7	2	12	98	3	115	12.5	23.9	6	17	198	12	233	10.4	25.8
夜間	22:00	1	0	39	3	43	2.5	47.0	3	3	34	4	44	15.0	39.2	4	3	73	7	87	8.8	43.1
昼間	1:00	3	3	10	1	17	37.5	48.1	1	2	8	1	12	27.3	40.5	4	5	18	2	29	33.3	44.3
平均	昼間	4	9	44	3	58	21.6	42.5	4	9	52	2	66	18.8	37.5	7	17	96	5	124	20.1	40.0
	夜間	3	3	70	6	81	6.7	37.4	3	8	66	4	80	13.2	31.6	5	10	136	10	160	10.0	34.5

※ 大型車I:大型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車 大型車II:小型番号表を装着した普通貨物自動車、特殊用途自動車、乗合自動車  
小型車：大型車Iおよび大型車II、二輪車を除く自動車 二輪車:二輪自動車、原動機付自転車  
※※ 昼間の時間区分 6:00～22:00  
夜間の時間区分 22:00～6:00

## 5. 面的評価支援システムによる評価

騒音・交通量等の測定結果等に基づき、常時監視対象路線について、面的評価支援システム<sup>※</sup>へのデータ入力、更新及び演算処理を行った。その結果より、環境省へ報告する「令和 2 年度自動車騒音常時監視結果」等の各種資料の作成を行った。

※ 環境省が配布する「面的評価支援システム Ver.5.0.0」を使用した。

### 5.1 初期設定

使用者の登録をし、各種オブジェクトの表示色・範囲等の初期設定は、原則としてシステムのデフォルト設定をそのまま活用した。ただし、初期設定項目のうち「都道府県・市区町村コード」、「基準年度」については以下のとおりとした。

都道府県コード	13:東京都
市区町村コード	210:小金井市
評価基準年度	2020 年度
道路交通センサス調査年度	2015 年度
騒音データ測定年度	2020 年度

### 5.2 道路設定

#### (1)道路平面線形要素の設定

調査対象区間の道路平面線形オブジェクトについて、平成 27 年度道路交通センサス情報を基に道路種別・路線名・路線番号等の情報を入力した。

#### (2)標準断面の作成

調査対象区間の道路横断面図について、車線数・道路構造・道路種級・道路種別等の情報を平成 27 年度道路交通センサス情報に基づいて入力した。

#### (3)道路交通センサス区間の設定

調査対象区間の道路平面線形オブジェクトを区切って道路交通センサス区間オブジェクトを作成し、センサス区間番号・センサス調査結果等の道路交通センサス情報を入力した。

### 5.3 沿道設定

#### (1)市区町村エリアの設定

市区町村エリアオブジェクトを設定した。

#### (2)都市計画用途地域の設定

調査対象区間の道路に面する地域をカバーする範囲に、都市計画用途地域オブジェクトを用途地域別に作成した。

#### (3)環境基準類型指定地域の設定

調査対象区間の道路に面する地域をカバーする範囲に、環境基準類型指定地域オブジェクトを自動作成させた。

(4)評価区間の設定

道路交通センサス線形オブジェクトを分割して評価区間線形オブジェクトを作成し、評価区間番号・道路構造・車線数・騒音対策状況等の評価区間情報を入力した。

(5)道路端の設定

道路端オブジェクトを作成し、評価区間線形オブジェクトと関連付けた。

(6)道路に面する地域の設定

評価区間ごとに道路に面する地域オブジェクトを自動作成させ、評価区間情報と関連付けた。

(7)距離帯の設定

道路に面する地域(道路端～50m)を0～10m、10～20m、20～30m、30～40m、40～50mの5つの距離帯に分割する距離帯オブジェクトを自動作成させた。

(8)近接空間の設定

近接空間(道路端～15mもしくは20m)を表す近接空間オブジェクトを自動作成させた。

(9)街区の設定

評価区間区オブジェクトを建物立地密度がほぼ均一とみなせる区間で区切って、街区オブジェクトを作成し、地表面種類・街区延長等の情報を入力した。

(10)建物の設定

街区オブジェクト上に建物オブジェクトを作成し、建物の番号・用途・構造等の建物情報を入力した。また、建物の立地面積・用途・構造・階数・都市計画用途地域・環境基準類型指定地域等の建物属性を自動取得した。

(11)立地密度の設定

評価区間・街区ごとの立地密度を計算した。

(12)印刷用メッシュ作成

印刷用のメッシュを自動作成させた。

(13)現地調査用データ作成

沿道建物の現地調査用データ(建物チェックシート・建物図)を作成した。

## 5.4 騒音設定

(1)騒音測定地点

本年度の騒音調査地点位置に騒音測定地点オブジェクトを作成し、定点/準定点の種別等の情報を入力した。また、騒音測定地点の断面図を作成し、情報を入力した。

(2)騒音測定データ

騒音測定地点オブジェクトに関連付けて測定地点の情報及び騒音・交通量等調査結果を入力した。

## 5.5 騒音推計前

### (1)騒音基準位置の設定

騒音推計を行うために評価区間ごとに騒音基準位置(騒音基準点位置オブジェクト)を上り側・下り側それぞれに設定し、騒音測定データとの関連付けを行った。

### (2)騒音レベルの設定

推計の諸元とする基準点騒音レベル、残留騒音レベルを設定した。残留騒音レベルは、背後地測定点による調査結果(90%時間率騒音レベルの下端値:LA95 を基準時間帯ごとに算術平均した値)より設定した。本年度の調査対象区間の基準点騒音レベル及び残留騒音レベルは、表 5.1 に示すとおりである。

表 5.1 基準点騒音レベル及び残留騒音レベルの設定

路線名	評価区間番号	基準点騒音レベル(dB)				残留騒音レベル(dB)				備考
		上り (昼間)	上り (夜間)	下り (昼間)	下り (夜間)	上り (昼間)	上り (夜間)	下り (昼間)	下り (夜間)	
新宿国立線A	2015-40790-1	65.0	59.0	65.0	59.0	38	37	38	37	
府中小平線B	2015-62820-1	67.0	65.0	67.0	65.0	38	37	38	37	

### (3)表示用レイヤの作成

評価区間ごとの道路近傍騒音レベル、残留騒音レベル、騒音観測・非観測区間分のレイヤをそれぞれ作成した。

## 5.6 騒音推計

### (1) データチェック

推計前に、要素設定にて設定したデータのチェックを行った。

### (2) 沿道情報

設定した沿道情報(評価区間・街区・都市計画用途地域等)を画面上で確認した。

### (3) データ照査・諸元

評価区間・街区などの立地密度と、騒音レベルの分布を表示し沿道状況を確認した。

### (4) 推計

騒音レベルの距離減衰計算・建物群による減衰計算、残留騒音との合成、交差道路の騒音予測値との合成等を行い、各住居位置の騒音レベルを推計した。

### (5) 常時監視フォーマット作成

#### ① 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数整理表集計

推計から得られた結果を元に、騒音レベル別住居等戸数整理表を作成した。

#### ② 常時監視フォーマット作成

推計から得られた結果を元に、令和2年度自動車騒音常時監視結果報告に対応する常時監視フォーマット(環境基準を超過する住居等戸数及びその割合等)を作成した。

### (6) 一括表示用レイヤ作成

推計結果を基に、騒音暴露状況、環境基準達成状況・騒音レベル等高線図・減衰横断図などの一括表示用レイヤをそれぞれ作成した。



## 5.7 指定出力

### (1)常時監視フォーマット

令和2年度自動車騒音常時監視結果報告に対応する常時監視フォーマットを出力した。常時監視フォーマットの内容は、表 5.2 に示すとおりである。

表 5.2 常時監視フォーマット

項目	内容
常時監視フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時監視フォーマット</li> <li>・位置図(騒音測定地点・評価区間)</li> <li>・詳細図(騒音測定地点の平面図・横断図)</li> </ul>

### (2)環境 GIS フォーマット

令和2年度自動車騒音常時監視結果報告に対応する環境 GIS フォーマットを出力した。環境 GIS フォーマットのファイル構成は、表 5.3 に示すとおりである。

表 5.3 環境 GIS フォーマットのファイル構成

データ種類	ファイル名	ファイル内容	備考
騒音測定地点	souonYYYYPPQQQ.shp	メインファイル	Point 属性で作成
	souonYYYYPPQQQ.shx	インデックスファイル	
	souonYYYYPPQQQ.dbf	属性ファイル	
評価区間	hyoka.PPQQQ.shp	メインファイル	Polygon 属性で作成
	hyoka.PPQQQ.shx	インデックスファイル	
	hyoka.PPQQQ.dbf	属性ファイル	

※ ファイル名の英記号は、それぞれ以下のデータを表す。

YYYY : 騒音測定データ年度(西暦:2020)

PP : 都道府県コード(東京都:13)

QQQ : 市区町村コード(小金井市:210)

## 6. 環境基準の地域評価結果

小金井市内の評価対象区間における道路に面する地域に立地している住居等 14,506 戸を対象に自動車騒音の常時監視として面的評価を行った。

### 6.1 環境基準の達成状況(今年度評価区間)

今年度評価区間の環境基準の達成状況を表 6.1、図 6.1 および平成 27 年度との比較を図 6.2 に示す。

今年度評価区間の環境基準の達成状況は、昼夜とも基準値以下であった戸数は 2,279 戸(96.7%)で、昼のみ基準値以下であった戸数は 43 戸(1.8%)、夜のみ基準値以下であった戸数は 0 戸(0%)、昼夜とも基準値を超過した戸数は 34 戸(1.4%)であった。

また、前回同区間を評価した平成 27 年度との比較については、環境基準の達成状況は昼夜とも基準値以下の割合が減った。

表 6.1 面的評価結果(今年度評価区間)

		昼夜とも基準値以下		昼のみ基準値以下		夜のみ基準値以下		昼夜とも基準値超過	
		戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)
本年度	全戸数 (2,356戸)	2,279	96.7	43	1.8	0	0.0	34	1.4
	近接空間 (1,225戸)	1,192	97.3	12	1.0	0	0.0	21	1.7
	非近接空間 (1,131戸)	1,087	96.1	31	2.7	0	0.0	13	1.1
平成27年度	全戸数 (2,339戸)	2,270	97.1	36	1.5	0	0.0	33	1.4

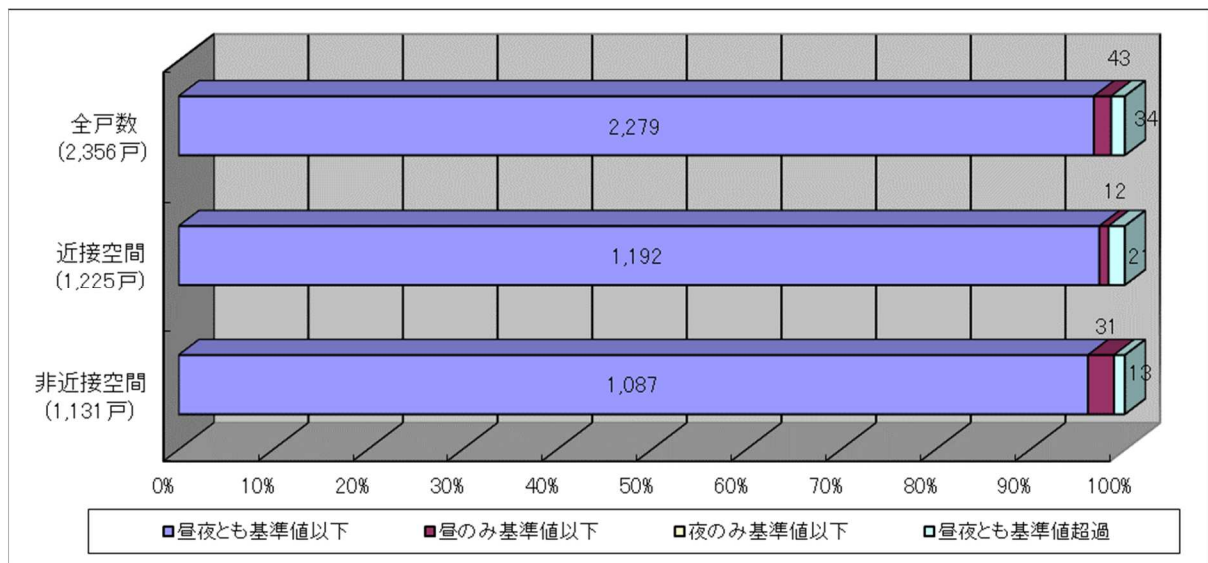


図 6.1 面的評価結果(今年度評価区間)

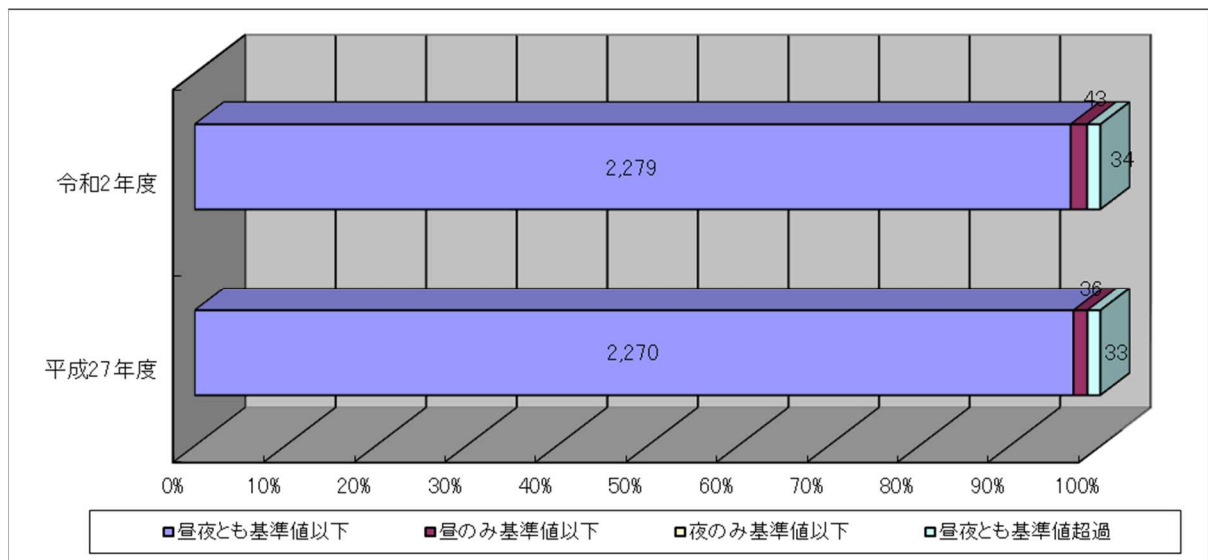


図 6.2 過年度との比較

## 6.2 環境基準の達成状況(全体)

小金井市全体の環境基準の達成状況を表 6.2、図 6.3 および令和元年度(昨年度)との比較を図 6.4 に示す。

小金井市全体の環境基準の達成状況は、昼夜とも基準値以下であった戸数は 13,849 戸(95.5%)で、昼のみ基準値以下であった戸数は 332 戸(2.3%)、夜のみ基準値以下であった戸数は 0 戸(0%)、昼夜とも基準値を超過した戸数は 325 戸(2.2%)であった。

また、令和元年度との比較については、環境基準の達成状況は昼夜とも基準値以下の割合が減った。

表 6.2 面的評価結果(小金井市全体)

		昼夜とも基準値以下		昼のみ基準値以下		夜のみ基準値以下		昼夜とも基準値超過	
		戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)
本年度	全戸数 (14,506戸)	13,849	95.5	332	2.3	0	0.0	325	2.2
	近接空間 (6,943戸)	6,438	92.7	254	3.7	0	0.0	251	3.6
	非近接空間 (7,563戸)	7,411	98.0	78	1.0	0	0.0	74	1.0
令和元年度	全戸数 (14,311戸)	13,722	95.9	313	2.2	0	0.0	276	1.9

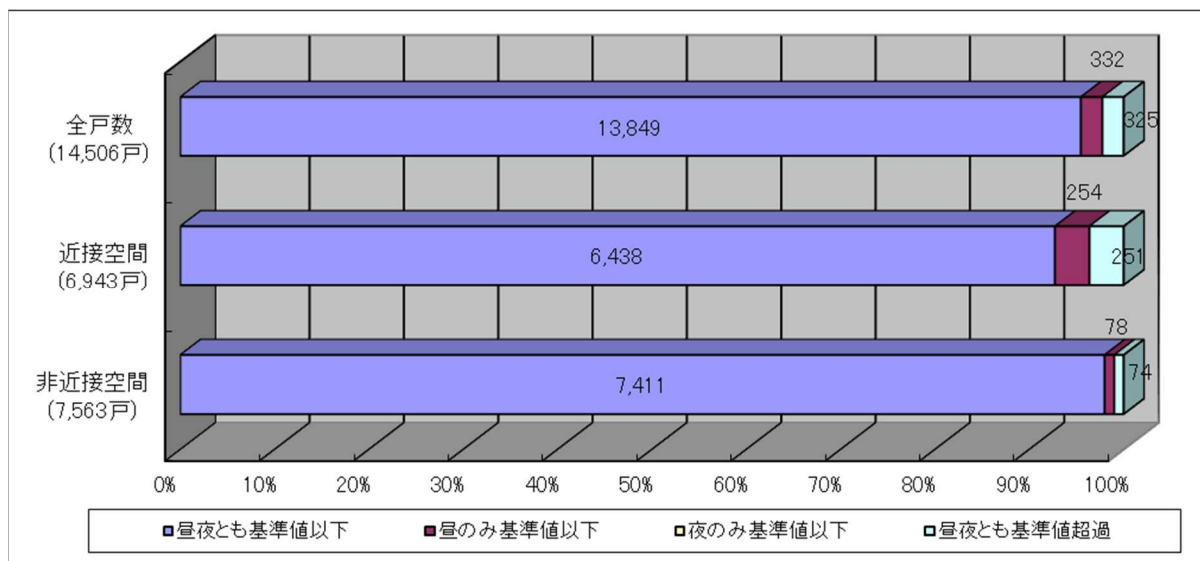


図 6.3 面的評価結果(小金井市全体)

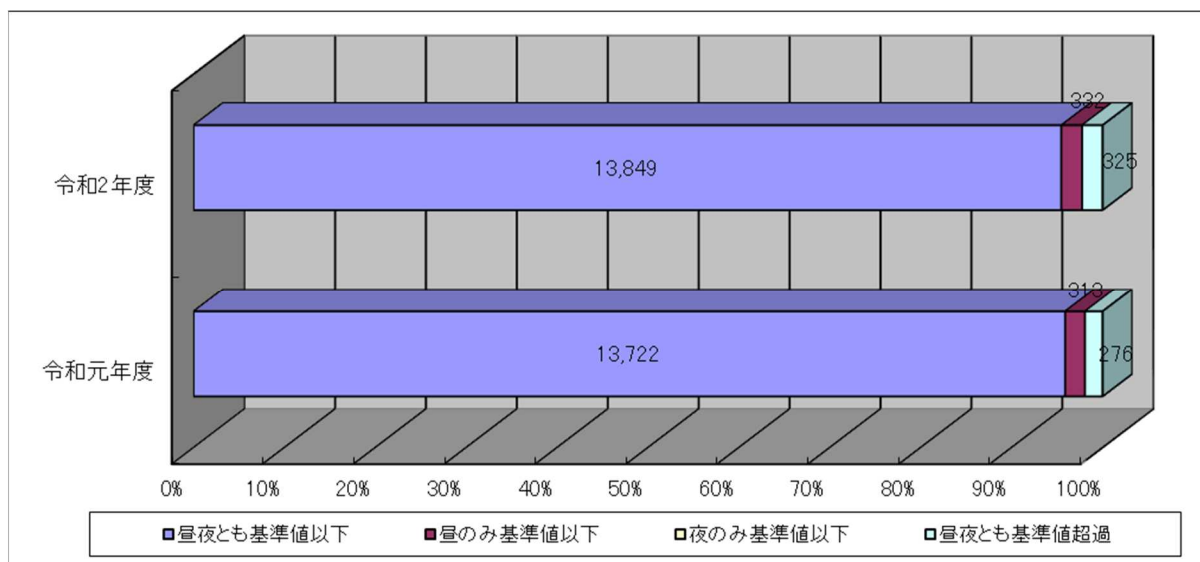


図 6.4 昨年度との比較

### 6.3 環境基準の達成状況(道路種別)

道路の種類別の達成状況を表 6.3、表 6.4 に示す。

都道府県道の面的評価結果は、評価対象戸数 15,295 戸※のうち、昼間・夜間とも基準値以下は 14,554 戸(95.2%)、昼間のみ基準値以下が 365 戸(2.4%)、夜間のみ基準値以下が 0 戸(0.0%)、昼間・夜間とも基準値超過が 376 戸(2.5%)であった。

※道路種類別の評価対象戸数については、路線毎の評価対象戸数の合計となっているため、交差部の重複を含む戸数となっている。

表 6.3 道路種類別の面的評価結果(戸数)

道路種別	面的評価結果(全体)					面的評価結果(近接空間)					面的評価結果(非近接空間)				
	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)
高速自動車国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市高速道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都道府県道	15,295	14,554	365	0	376	7,495	6,925	279	0	291	7,800	7,629	86	0	85
4車線以上の市町村道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体(合計)	15,295	14,554	365	0	376	7,495	6,925	279	0	291	7,800	7,629	86	0	85

表 6.4 道路種類別の面的評価結果(割合)

道路種別	面的評価結果(全体)				面的評価結果(近接空間)				面的評価結果(非近接空間)			
	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)
高速自動車国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市高速道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般国道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都道府県道	95.2	2.4	0.0	2.5	92.4	3.7	0.0	3.9	97.8	1.1	0.0	1.1
4車線以上の市町村道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体(合計)	95.2	2.4	0.0	2.5	92.4	3.7	0.0	3.9	97.8	1.1	0.0	1.1

## 6.4 環境基準の達成状況(路線別)

路線別の達成状況を表 6.5、表 6.6 に示す。

表 6.5 路線別の面的評価結果(戸数)

一連 番号	路線名	面的評価結果(全体)				面的評価結果(近接空間)				面的評価結果(非近接空間)					
		住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (戸)	住居等 戸数 ①+②+ ③+④ (戸)	昼夜とも 基準値 以下 ① (戸)	昼のみ 基準値 以下 ② (戸)	夜のみ 基準値 以下 ③ (戸)
1	杉並あきる野線	671	671	0	0	123	123	0	0	0	548	548	0	0	0
2	新宿国立線A	634	628	2	0	4	323	317	2	4	311	311	0	0	0
3	新宿国立線B	325	323	2	0	0	222	221	1	0	103	102	1	0	0
4	府中清瀬線A	1,639	1,425	75	0	139	747	571	62	0	114	892	854	13	0
5	府中清瀬線B	3,390	3,376	10	0	4	1,808	1,800	4	0	4	1,582	1,576	6	0
6	恋ヶ窪新田三鷹線A	1,589	1,557	9	0	23	758	740	2	0	16	831	817	7	0
7	恋ヶ窪新田三鷹線B	2,568	2,177	222	0	169	1,304	981	194	0	129	1,264	1,196	28	0
8	武蔵小金井停車場貫井線	717	715	2	0	0	389	387	2	0	0	328	328	0	0
9	府中小金井線	1,902	1,900	2	0	0	846	844	2	0	0	1,056	1,056	0	0
10	府中小平線A	138	131	0	0	7	73	66	0	0	7	65	65	0	0
11	府中小平線B	1,722	1,651	41	0	30	902	875	10	0	17	820	776	31	0
	全体(合計)	15,295	14,554	365	0	376	7,495	6,925	279	0	291	7,800	7,629	86	0

表 6.6 路線別の面的評価結果(割合)

一連 番号	路線名	面的評価結果(全体)				面的評価結果(近接空間)				面的評価結果(非近接空間)			
		昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)	昼夜とも 基準値 以下 ① (%)	昼のみ 基準値 以下 ② (%)	夜のみ 基準値 以下 ③ (%)	昼夜とも 基準値 超過 ④ (%)
1	杉並あきる野線	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
2	新宿国立線A	99.1	0.3	0.0	0.6	98.1	0.6	0.0	1.2	100.0	0.0	0.0	0.0
3	新宿国立線B	99.4	0.6	0.0	0.0	99.5	0.5	0.0	0.0	99.0	1.0	0.0	0.0
4	府中清瀬線A	86.9	4.6	0.0	8.5	76.4	8.3	0.0	15.3	95.7	1.5	0.0	2.8
5	府中清瀬線B	99.6	0.3	0.0	0.1	99.6	0.2	0.0	0.2	99.6	0.4	0.0	0.0
6	恋ヶ窪新田三鷹線A	98.0	0.6	0.0	1.4	97.6	0.3	0.0	2.1	98.3	0.8	0.0	0.8
7	恋ヶ窪新田三鷹線B	84.8	8.6	0.0	6.6	75.2	14.9	0.0	9.9	94.6	2.2	0.0	3.2
8	武蔵小金井停車場貫井線	99.7	0.3	0.0	0.0	99.5	0.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
9	府中小金井線	99.9	0.1	0.0	0.0	99.8	0.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
10	府中小平線A	94.9	0.0	0.0	5.1	90.4	0.0	0.0	9.6	100.0	0.0	0.0	0.0
11	府中小平線B	95.9	2.4	0.0	1.7	97.0	1.1	0.0	1.9	94.6	3.8	0.0	1.6
	全体(合計)	95.2	2.4	0.0	2.5	92.4	3.7	0.0	3.9	97.8	1.1	0.0	1.1

令和2年度  
自動車騒音常時監視調査委託  
要請限度に係る自動車交通騒音振動調査

報 告 書

令和3年3月

小 金 井 市



# 目 次

<b>1. 業務概要</b> .....	<b>1</b>
1.1 件名.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 履行期限.....	1
1.4 準拠する法令等.....	1
1.5 実施機関.....	1
<b>2. 業務内容</b> .....	<b>2</b>
2.1 調査対象路線および調査地点.....	2
2.2 調査日時.....	7
2.3 調査項目.....	7
2.4 調査方法.....	8
2.4.1 騒音測定.....	8
2.4.2 振動測定.....	9
2.4.3 交通量測定.....	10
<b>3. 関係法令</b> .....	<b>11</b>
3.1 騒音に係る環境基準.....	11
3.2 自動車騒音の要請限度等.....	12
3.3 道路交通振動の要請限度等.....	12
<b>4. 騒音・振動・交通量等の調査結果</b> .....	<b>13</b>
4.1 騒音測定結果.....	13
4.2 振動測定結果.....	33
4.3 交通量の調査結果.....	41

## 資料編

- ・令和2年度自動車交通騒音振動測定結果調査表(要請限度)
- ・実測時間別騒音レベル一覧表
- ・実測時間別振動レベル一覧表
- ・現場写真

## 1. 業務概要

### 1.1 件名

令和 2 年度自動車騒音常時監視調査委託  
要請限度に係る道路交通騒音振動調査

### 1.2 目的

本業務は騒音規制法第 17 条・第 18 条および第 21 条、振動規制法第 16 条および第 19 条に基づく道路交通騒音・振動測定・交通量調査を実施し、市内主要幹線道路の良好な道路環境を維持することを目的とした。

### 1.3 履行期限

契約締結日から令和 3 年 3 月 26 日まで

### 1.4 準拠する法令等

本業務は発注仕様書によるほか、下記の関係法令等に基づいて行うものとした。

- (1) 環境基本法(平成 5 年 11 月 19 日 法律第 91 号)
- (2) 騒音規制法(昭和 43 年 6 月 10 日 法律第 98 号)
- (3) 振動規制法(昭和 51 年 6 月 10 日 法律第 64 号)
- (4) 騒音に係る環境基準(平成 10 年 9 月 30 日 環境庁告示第 64 号)
- (5) 「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 23 年 9 月 14 日 環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知)
- (6) その他関係法令等

### 1.5 実施機関

株式会社アクト音響振動調査事務所 東京営業所  
計量証明事業所登録 大阪府知事登録 第 10146 号(音圧レベル)  
第 10231 号(振動加速度レベル)  
〒111-0051 東京都台東区蔵前 4 丁目 21-9  
TEL 03-5835-2141 FAX 03-5835-2140

## 2. 業務内容

### 2.1 調査対象路線および調査地点

本業務の業務対象は、表 2.1 に示す 6 路線とし、6 地点で道路騒音、振動等の調査を行った。調査地点の全体図を図 2.1 に、調査地点ごとの詳細を図 2.2(1)～(6)に示す。

表 2.1 調査対象路線

地点番号	調査地点	路線名	備考	車線数	測定日
①	関野町1-6付近	杉並あきる野線	五日市街道	2	騒音 令和2年11月30日(月)13時 ～12月3日(木)13時 振動・交通量 令和2年12月1日(火)13時 ～12月2日(水)13時
②	桜町1-5付近	府中清瀬線	小金井街道	2	
③	東町2-5付近	恋ヶ窪新田三鷹線	連雀通り	2	
④	貫井南町2-9付近	府中小平線	新小金井街道	2	
⑤	前原町4-16付近	新宿国立線	東八道路	4	
⑥	中町2-21付近	府中小金井線	東大通り	2	



● 騒音等調査地点

図 2.1 調査地点全体図

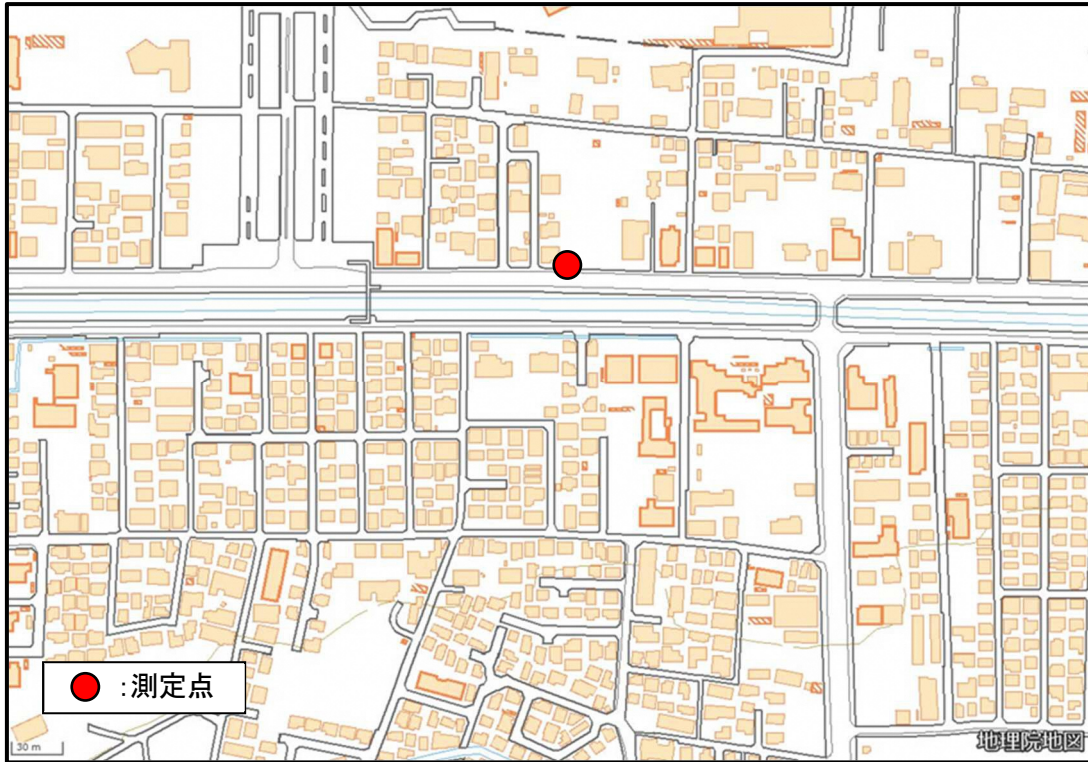


図 2.2(1) 調査地点の詳細図 地点 1 杉並あきる野線(五日市街道) 関野町 1-6 付近

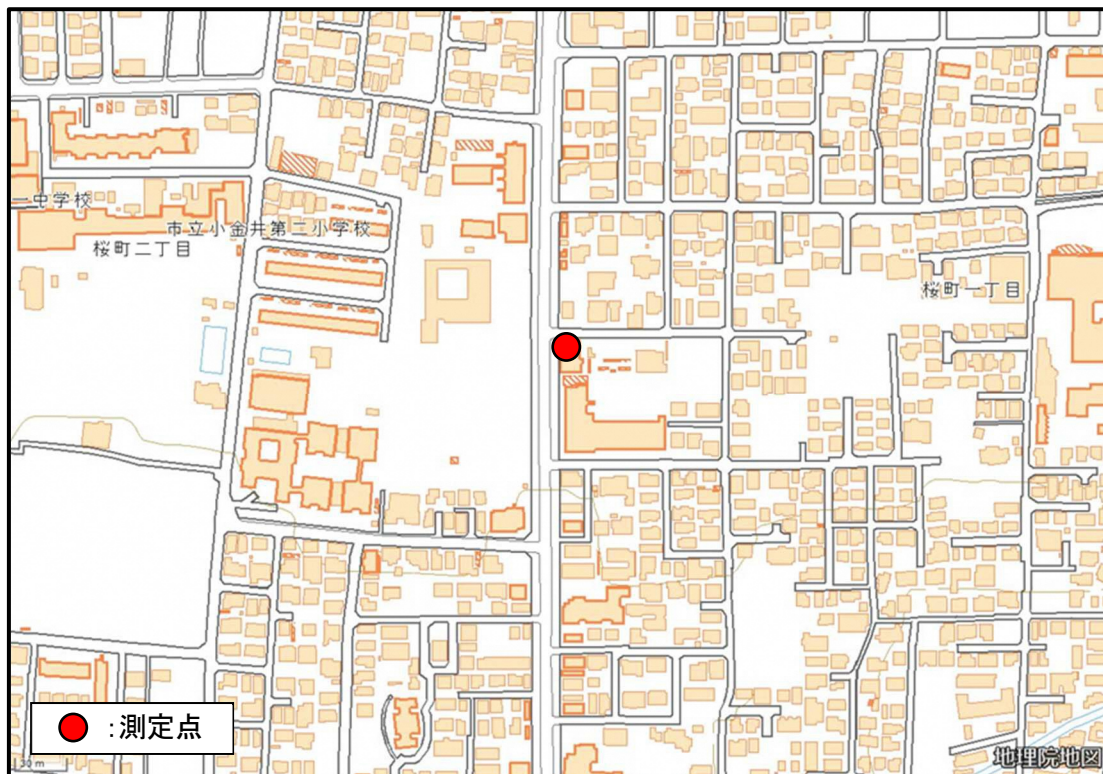


図 2.2(2) 調査地点の詳細図 地点 2 府中清瀬線(小金井街道) 桜町 1-5 付近

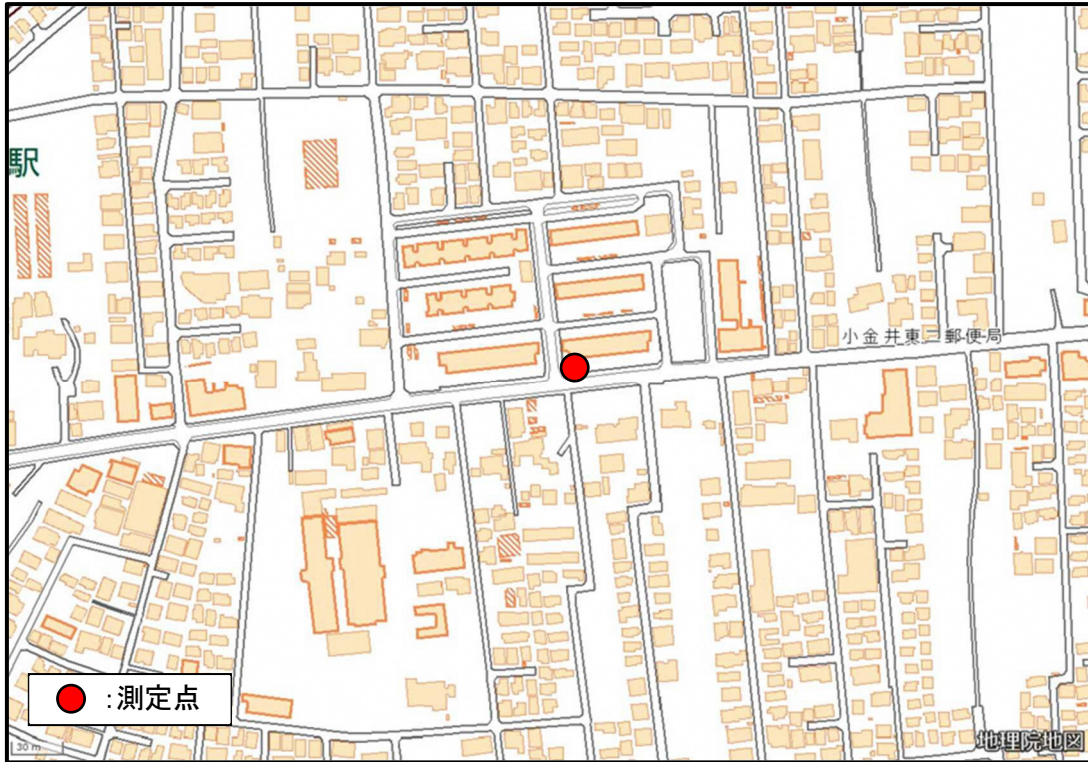


図 2.2(3) 調査地点の詳細図 地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線(連雀通り) 東町 2-5 付近

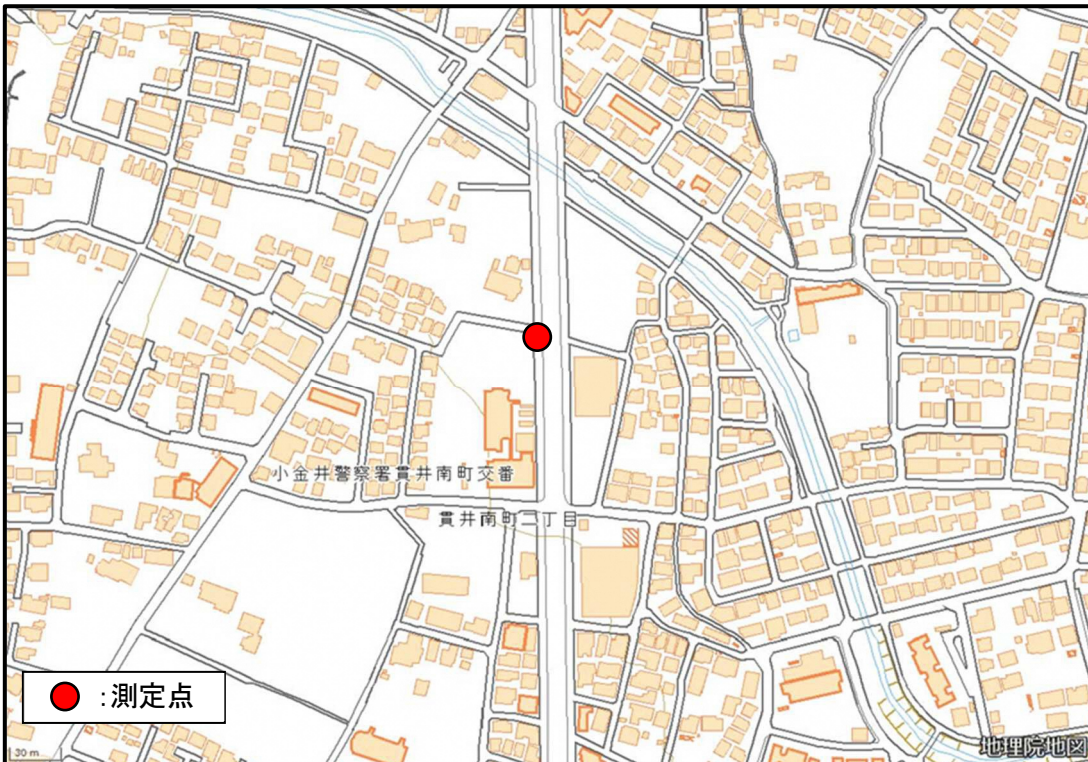


図 2.2(4) 調査地点の詳細図 地点 4 府中小平線(新小金井街道) 貫井南町 2-9 付近

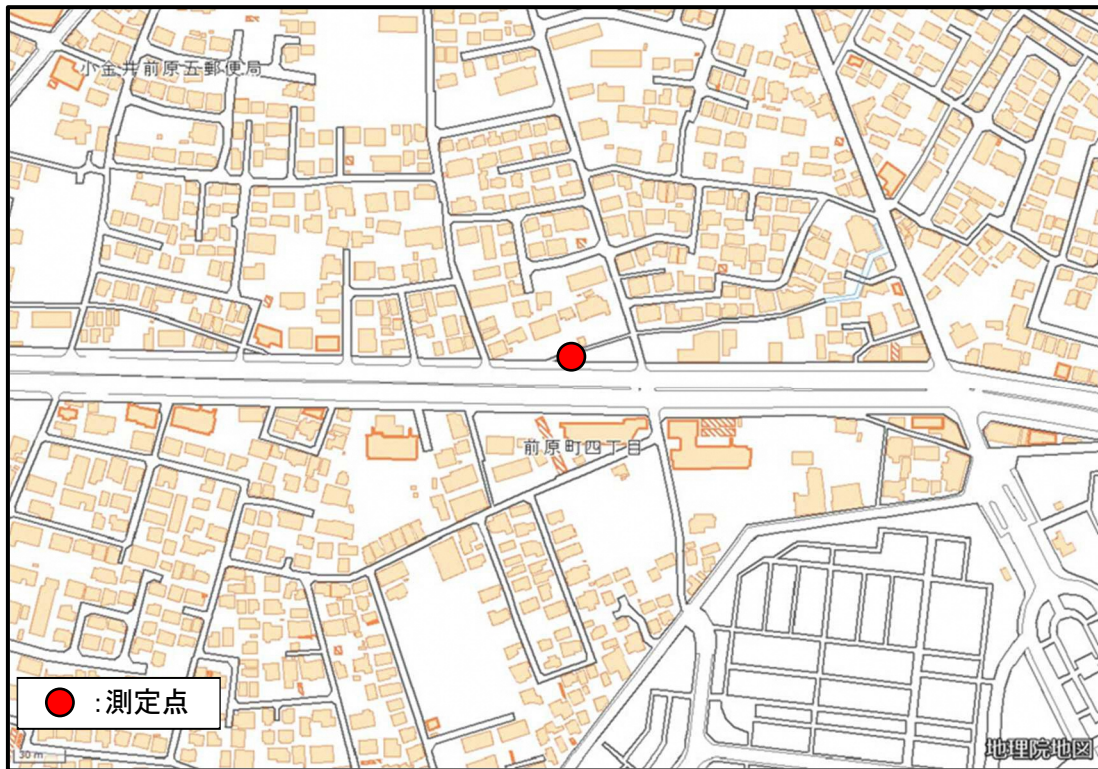


図 2.2(5) 調査地点の詳細図 地点 5 新宿国立線(東八道路) 前原町 4-16 付近

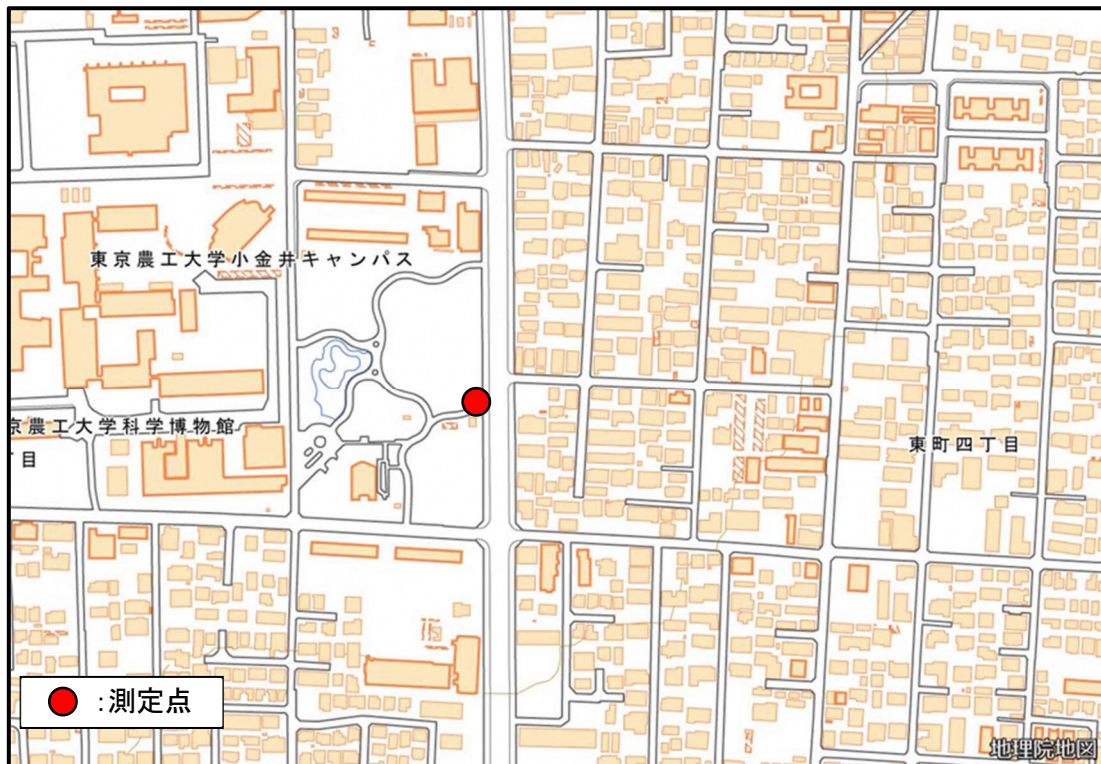


図 2.2(6) 調査地点の詳細図 地点 6 府中小金井線(東大道路) 中町 2-21 付近

## 2.2 調査日時

騒音:令和2年11月30日(月)13:00 ~ 12月3日(木)13:00

振動・交通量:令和2年12月1日(火)13:00 ~ 12月2日(水)13:00

## 2.3 調査項目

調査項目を表 2.2 に示す。

表 2.2 調査項目の一覧

調査の内容	
騒音測定	測定項目: 昼間等価騒音レベル( $L_{Aeq,16h}$ ) 夜間等価騒音レベル( $L_{Aeq,8h}$ ) 時間率騒音レベル( $L_{A5}$ 、 $L_{A10}$ 、 $L_{A50}$ 、 $L_{A90}$ 、 $L_{A95}$ ) 騒音レベルの最大値( $L_{Amax}$ ) 測定頻度: 72 時間連続測定
振動測定	測定項目: 時間率振動レベル( $L_5$ 、 $L_{10}$ 、 $L_{50}$ 、 $L_{90}$ 、 $L_{95}$ ) 振動レベルの最大値( $L_{max}$ ) 測定頻度: 24 時間連続測定
交通量測定	測定項目: 方向別・車種別・時間別の走行車両台数 車種分類: 4 車種分類(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車) 測定頻度: 騒音、振動測定と同時に毎正時 10 分間を 24 回



## 2.4 調査方法

### 2.4.1 騒音測定

#### ①測定項目

- 昼間等価騒音レベル( $L_{Aeq,16h}$ )
- 夜間等価騒音レベル( $L_{Aeq,8h}$ )
- 時間率騒音レベル( $L_{A5}$ 、 $L_{A10}$ 、 $L_{A50}$ 、 $L_{A90}$ 、 $L_{A95}$ )
- 騒音レベルの最大値( $L_{Amax}$ )

#### ②測定方法

騒音レベルの測定は、「環境基準の表示・測定方法」(JIS Z 8731-1999)及び「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成 27 年 10 月 環境省)に準じて実施した。測定地点に JIS C 1509-1 に定める積分型普通騒音計(周波数重み特性:A 時間重み特性:F)を地上高さ 1.2m に設置し、200m 秒間隔の瞬時値を騒音計内部のメモリに順次保存した。

後日事務所にて、騒音レベルの瞬時値を計算機に取り込み、10 分間の等価騒音レベル、時間率騒音レベル、騒音レベルの最大値を算出した。

#### ③測定頻度

- 72 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間×3 日間)
- 除外すべき騒音により適切な測定値が得られなかった 10 分間は除いて整理した。

#### ④測定機器及び測定条件

使用する測定機器及び測定条件を表 2.3 に示す。測定機器の構成を図 2.3 に示す。

表 2.3 使用測定機器及び測定条件

機器名称	製造メーカー	型式	主な仕様／測定条件
積分型普通騒音計	リオン(株)	NL-21	適合規格:JIS C 1509-1 クラス 2 測定レベル範囲:A 特性 28~130dB 測定周波数範囲:20 Hz ~ 8 kHz 周波数重み特性:A 時間重み特性:F サンプリング間隔:200m 秒



図 2.3 測定機器の構成図(騒音レベル)

## 2.4.2 振動測定

### ①測定項目

時間率騒音レベル(L<sub>5</sub>、L<sub>10</sub>、L<sub>50</sub>、L<sub>90</sub>、L<sub>95</sub>)  
振動レベルの最大値(L<sub>max</sub>)

### ②測定方法

振動レベルの測定は、「振動レベル測定方法」(JIS Z 8735-1981)に準じて実施した。測定地点に JIS C 1510 に定める振動レベル計を設置し、1秒間隔の瞬時値を振動レベル計内部のメモリに順次保存した。

後日事務所にて、振動レベルの瞬時値を計算機に取り込み、10 分間の時間率振動レベル、振動レベルの最大値を算出した。

### ③測定頻度

24 時間連続測定(毎正時から 10 分間×6 回×24 時間)

除外すべき振動により適切な測定値が得られなかった 10 分間は除いて整理した。

### ④測定機器及び測定条件

使用する測定機器及び測定条件を表 2.4 に示す。測定機器の構成を図 2.4 に示す。

表 2.4 使用測定機器及び測定条件

機器名称	製造メーカー	型式	主な仕様／測定条件
振動レベル計	リオン(株)	VM-53A	適合規格:JIS C 1510 測定レベル範囲:鉛直方向 25~120dB サンプリング間隔:1秒

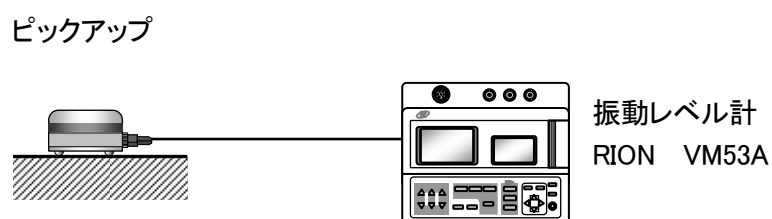


図 2.4 測定機器の構成図(振動レベル)

### 2.4.3 交通量測定

#### ①測定項目

交通量 方向別(上り方向・下り方向)  
車種別(大型車Ⅰ・大型車Ⅱ・小型車・二輪車)

#### ②測定方法

対象道路を走行する車両の台数を方向別、車種別、時間別に、目視によりマニュアルカウンターを用いて計測した。なお、車種の分類は表 2.5 に示すとおりとする。

#### ③測定頻度

毎正時 10 分間の測定を 24 回

表 2.5 車種分類表

区 分		ナンバープレート	その他の特徴	代表的な車種
大型車Ⅰ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(大型番号標)	車両総重量 8トン以上 最大積載量 5トン以上  車両前部上部に速度表示灯(バスを除く)	キャブオーバートラック ダンプ トラクタ
	特種用途自動車	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(大型番号標)	※1999 年以降、速度表示灯は廃止された	コンクリートミキサー車 タンク車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(大型番号標)		観光バス 路線バス
大型車Ⅱ	普通貨物自動車	1, 10～19 まで及び 100～199 まで(小型番号標)	車両総重量 8トン未満 最大積載量 5トン未満	キャブオーバートラック バン型トラック
	特種用途自動車 (注)	8, 80～89 まで及び 800～899 まで(小型番号標)		冷蔵冷凍車 塵芥車
	乗合自動車	2, 20～29 まで及び 200～299 まで(小型番号標)	乗車定員 11 人以上 29 人以下	レンタカー マイクロバス
小型車	大型車Ⅰ及び大型車Ⅱ、二輪車を除く自動車			
二輪車	二輪自動車、原動機付自転車			

注) 大型車Ⅱの特種用途自動車には、改造前の自動車(乗用車、小型貨物)と同程度の大きさのものは含まない。それらは小型車にカウントするものとした。

### 3. 関係法令

#### 3.1 騒音に係る環境基準

##### ◆ 道路に面する地域以外の地域(一般地域)

地域の類型	時間の区分(L <sub>Aeq</sub> (dB))	
	昼間	夜間
AA	50 以下	40 以下
A 及び B	55 以下	45 以下
C	60 以下	50 以下

備考 環境基本法では、騒音に係る環境基準の地域類型をあてはめる地域を知事が指定することとなっており、東京都での指定状況は次のとおりである。

(次表以下同じ)

##### ① 地域の類型該当地域

AA:清瀬市の区域のうち、松山3丁目1番、竹丘1丁目17番、竹丘3丁目1番から3番まで及び竹丘3丁目10番の区域(療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域)

A :第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域(専ら住居の用に供する地域)

B :第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途地域の定めのない地域(主として住居の用に供する地域)

C :近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

##### ② 時間の区分

昼間:午前6時から午後10時まで

夜間:午後10時から翌日午前6時まで

##### ◆ 道路に面する地域(この地域には、上表によらず次表の基準値が適用される)

道路に面する地域の環境基準については、平成12年度から、一定地域内の住居等のうち騒音レベルが環境基準を超過する戸数及び超過する割合により評価(面的評価)することとなっている。〔騒音に係る環境基準について〕環境庁告示 平成11年4月施行)

地域の区分	時間の区分(L <sub>Aeq</sub> (dB))	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60 以下	55 以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65 以下	60 以下

※ 車線とは、1縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な一定の復員を有する帯状の車道部をいう。

※※ 「道路に面する地域」とは、道路騒音が支配的な音源である地域のことである。〔騒音に係る環境基準の改正について〕(平成10年9月30日 環大企第257号)

##### ◆ 幹線交通を担う道路※(この地域には、特例として次表の基準値が適用される)

昼間	夜間
70 以下	65 以下

備考 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれているときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあっては45dB以下、夜間にあっては40dB以下)によることができる。

※ 「幹線交通を担う道路」とは、高速自動車国道・都市高速道路・一般国道・都道府県道・4車線以上の市町村道のことをいう。「幹線交通を担う道路に近接する空間」とは、次の車線数の区分に応じ道路端からの距離により範囲が特定される。

- ・ 2車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路 15m
- ・ 2車線を超える車線を有する幹線交通を担う道路 20m

### 3.2 自動車騒音の要請限度等

#### ◆ 騒音規制法に基づく自動車騒音の限度(第2条)

区域	区域の区分	車線等	時間の区分(L <sub>Aeq</sub> (dB))	
			昼間 (6時～22時)	夜間 (22時～翌6時)
a 区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域	1車線	65	55
	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域(AA地域を含む)	2車線以上	70	65
	これらに接する地先	近接区域	75	70
b 区域	第1種住居地域 第2種住居地域	1車線	65	55
	準住居地域	2車線以上	75	70
	用途地域の定めない地域であつてa区域及びc区域に該当する区域を除く地域	近接区域	75	70
c 区域	近隣商業地域 商業地域	1車線	75	70
	準工業地域	2車線以上	75	70
	工業地域 これらに接する地先	近接区域	75	70
備考	・車線とは1縦列の自動車安全かつ円滑に走行するために必要な幅員を有する帯状の車道部分をいう。			

※近接区域とは、幹線道路を担う道路に近接する区域をいい、幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び4車線以上の区市町村道をいう。

近接する区域とは、車線の区分に応じた道路端からの距離が2車線以下の車線を有する道路は15m、2車線を超える車線を有する道路は20mの範囲とする。

※※幹線交通を担う道路に近接する区域\*にかかる限度の特例(第3条)

第2条に関わらず昼間75(dB)、夜間70(dB)

### 3.3 道路交通振動の要請限度等

#### ◆ 振動規制法に基づく道路交通振動の要請限度

区域	区域の区分	時間の区分	基準値 (L <sub>10</sub> (dB))
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域・第2種住居地域 準住居地域 用途地域の定めのない地域	昼間 8時～19時	65
		夜間 19時～翌8時	60
第2種区域	近隣商業地域・商業地域 準工業地域・工業地域	昼間 8時～20時	70
		夜間 20時～翌8時	65

## 4. 騒音・振動・交通量等の調査結果

### 4.1 騒音測定結果

騒音レベルは、1 時間あたり 6 回実施した結果の中から、改造バイクや緊急自動車のサイレン等の影響を受けていると思われるデータを除外し、残りのデータをエネルギー的に平均して観測時間帯別、基準時間帯別の等価騒音レベル(L<sub>Aeq</sub>)を算出した。

騒音レベル調査結果を表 4.1、過年度調査結果との比較を表 4.2、観測時間別の騒音レベル調査結果を表 4.3(1)～(18)および図 4.1(1)～(18)に示す。また、実測時間別の騒音調査結果を資料編に示す。

昼間の時間区分で、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線及び地点 4 府中小平線であり、68dB であった。夜間の時間区分で、等価騒音レベルが最も大きかったのは地点 4 府中小平線であり、66dB であった。

環境基準達成状況は、地点 4 府中小平線の夜間以外では環境基準を達成した。

要請限度達成状況は、調査を実施した全 6 地点が昼間、夜間ともに要請限度を達成した。

表 4.1 騒音調査結果

測定日：令和2年11月30日(月)13時～12月3日(木)13時

地点番号	路線名	調査地点	時間区分	等価騒音レベル L <sub>Aeq</sub> (dB)							
				調査結果			令和元年度調査結果	環境基準		要請限度	
				1日目	2日目	3日目		基準値	適合状況	基準値	適合状況
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	昼間	64	64	66	66	70	○	75	○
				平均							
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	夜間	61	61	63	63	65	○	70	○
				平均							
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	昼間	62	62	62	69	70	○	75	○
				平均							
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	夜間	58	57	57	65	65	○	70	○
				平均							
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	昼間	67	67	68	70	70	○	75	○
				平均							
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	夜間	64	63	65	67	65	○	70	○
				平均							
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	昼間	68	67	69	69	70	○	75	○
				平均							
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	夜間	66	65	66	66	65	×	70	○
				平均							
地点5	新宿国立線	前原町4-16付近	昼間	65	65	67	67	70	○	75	○
				平均							
地点5	新宿国立線	前原町4-16付近	夜間	60	59	62	61	65	○	70	○
				平均							
地点6	府中小金井線	中町2-21付近	昼間	59	59	61	-	70	○	75	○
				平均							
地点6	府中小金井線	中町2-21付近	夜間	53	52	54	-	65	○	70	○
				平均							

※ 昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00。

※※ 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

過年度調査との比較については、地点 1 杉並あきる野線、地点 5 新宿国立線では昼間、夜間とも 1dB減少、地点 2 府中清瀬線では昼間が 7dB減少、夜間が 8dB減少、地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線では昼間が 2dB減少、夜間が 3dB減少、地点 4 府中小平線では昼間が 1dB減少であった。

表 4.2 過年度調査との比較

地点 番号	路線名	調査地点	年度	等価騒音レベル L <sub>Aeq</sub> (dB)		過年度調査との比較		要請限度適合状況	
				昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	平成25年度	68	65	0	△ 1	○	○
			平成26年度	69	66	1	1	○	○
			平成27年度	69	66	0	0	○	○
			平成28年度	68	65	△ 1	△ 1	○	○
			平成29年度	64	60	△ 4	△ 5	○	○
			平成30年度	64	61	0	1	○	○
			令和元年度	66	63	2	2	○	○
			令和2年度	65	62	△ 1	△ 1	○	○
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	平成25年度	68	65	0	0	○	○
			平成26年度	69	67	1	2	○	○
			平成27年度	66	63	△ 3	△ 4	○	○
			平成28年度	67	64	1	1	○	○
			平成29年度	67	63	0	△ 1	○	○
			平成30年度	69	65	2	2	○	○
			令和元年度	69	65	0	0	○	○
			令和2年度	62	57	△ 7	△ 8	○	○
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	平成25年度	67	65	0	0	○	○
			平成26年度	64	60	△ 3	△ 5	○	○
			平成27年度	67	65	3	5	○	○
			平成28年度	67	65	0	0	○	○
			平成29年度	68	65	1	0	○	○
			平成30年度	68	65	0	0	○	○
			令和元年度	70	67	2	2	○	○
			令和2年度	68	64	△ 2	△ 3	○	○
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	平成25年度	65	62	0	0	○	○
			平成26年度	67	64	2	2	○	○
			平成27年度	67	65	0	1	○	○
			平成28年度	67	65	0	0	○	○
			平成29年度	68	65	1	0	○	○
			平成30年度	68	65	0	0	○	○
			令和元年度	69	66	1	1	○	○
			令和2年度	68	66	△ 1	0	○	○
地点5	新宿国立線	前原町4-16付近	平成25年度	65	60	0	△ 1	○	○
			平成26年度	66	62	1	2	○	○
			平成27年度	63	58	△ 3	△ 4	○	○
			平成28年度	64	58	1	0	○	○
			平成29年度	64	58	0	0	○	○
			平成30年度	65	60	1	2	○	○
			令和元年度	67	61	2	1	○	○
			令和2年度	66	60	△ 1	△ 1	○	○
地点6	府中小金井線	中町2-21付近	令和2年度	60	53	-	-	○	○

※ 昼間は6:00～22:00、夜間は22:00～6:00、令和2年度からは3日間の測定結果のエネルギー平均値とした。

※※ 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

※※※ 地点番号2の平成26年度までの測定地点は、小金井市前原町5-14付近

地点番号3の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m東へ移動

地点番号5の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m西へ移動

地点番号1の平成29年度測定結果の低減は、平成29年3月に舗装工事を実施した効果と思われる。

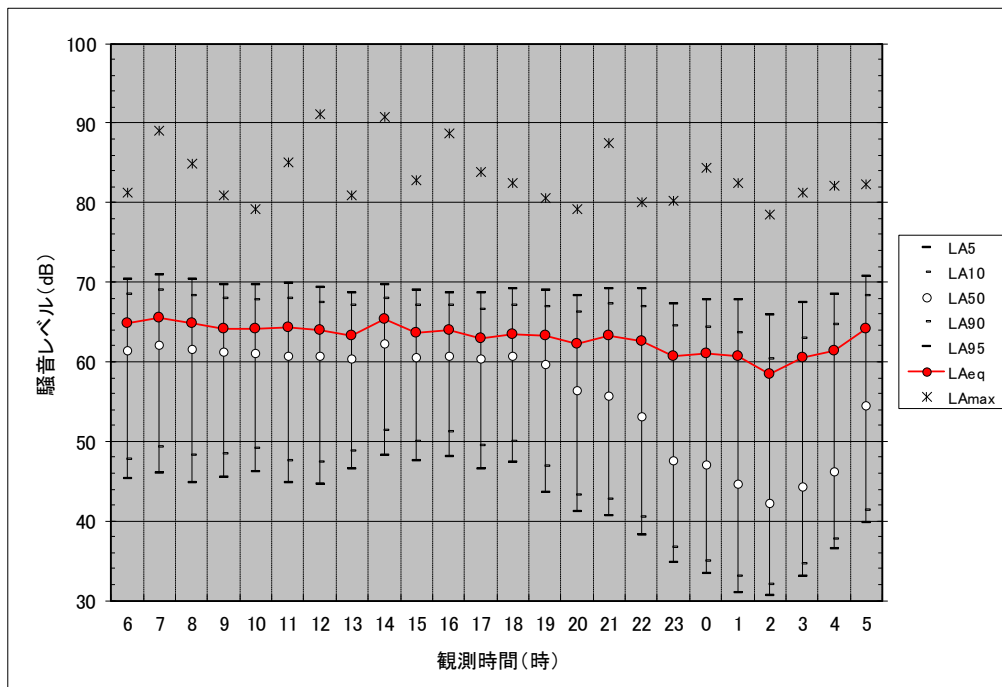
地点番号6は令和2年度から測定開始した。

表 4.3(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	64.8	70.4	68.4	61.3	47.7	45.3	81.2	
	7:00~8:00		65.5	70.8	68.9	62.0	49.2	46.0	89.1	
	8:00~9:00		64.8	70.3	68.3	61.5	48.2	44.7	84.9	
	9:00~10:00		64.2	69.7	67.9	61.2	48.4	45.4	80.9	
	10:00~11:00		64.1	69.7	67.7	61.0	49.1	46.1	79.1	
	11:00~12:00		64.3	69.8	68.0	60.6	47.5	44.7	85.0	
	12:00~13:00		63.9	69.3	67.5	60.7	47.3	44.6	91.1	
	13:00~14:00		63.2	68.7	67.0	60.3	48.8	46.5	80.9	
	14:00~15:00		65.4	69.6	67.9	62.3	51.4	48.3	90.8	
	15:00~16:00		63.7	69.0	67.1	60.5	49.9	47.5	82.8	
	16:00~17:00		63.9	68.7	67.0	60.7	51.1	48.0	88.6	
	17:00~18:00		63.0	68.6	66.6	60.4	49.4	46.5	83.8	
	18:00~19:00		63.5	69.1	67.1	60.6	50.0	47.3	82.5	
	19:00~20:00		63.2	68.9	66.9	59.7	46.8	43.5	80.5	
20:00~21:00	62.2	68.2	66.2	56.4	43.3	41.1	79.1			
21:00~22:00	63.3	69.1	67.2	55.7	42.7	40.6	87.5			
夜間	22:00~23:00	65	62.5	69.1	66.9	53.1	40.5	38.2	80.0	
	23:00~0:00		60.6	67.3	64.5	47.5	36.6	34.7	80.2	
	0:00~1:00		61.1	67.8	64.3	47.0	34.9	33.3	84.4	
	1:00~2:00		60.7	67.7	63.7	44.6	33.0	30.9	82.4	
	2:00~3:00		58.5	65.8	60.3	42.2	32.0	30.6	78.4	
	3:00~4:00		60.5	67.5	63.0	44.2	34.5	33.0	81.3	
	4:00~5:00		61.4	68.5	64.6	46.2	37.7	36.5	82.1	
	5:00~6:00		64.1	70.7	68.3	54.4	41.3	39.8	82.2	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	64	69	67	60	48	45	91
		夜間	65	61	68	64	47	36	35	84

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

図 4.1(1) 観測時間別の騒音レベル調査結果

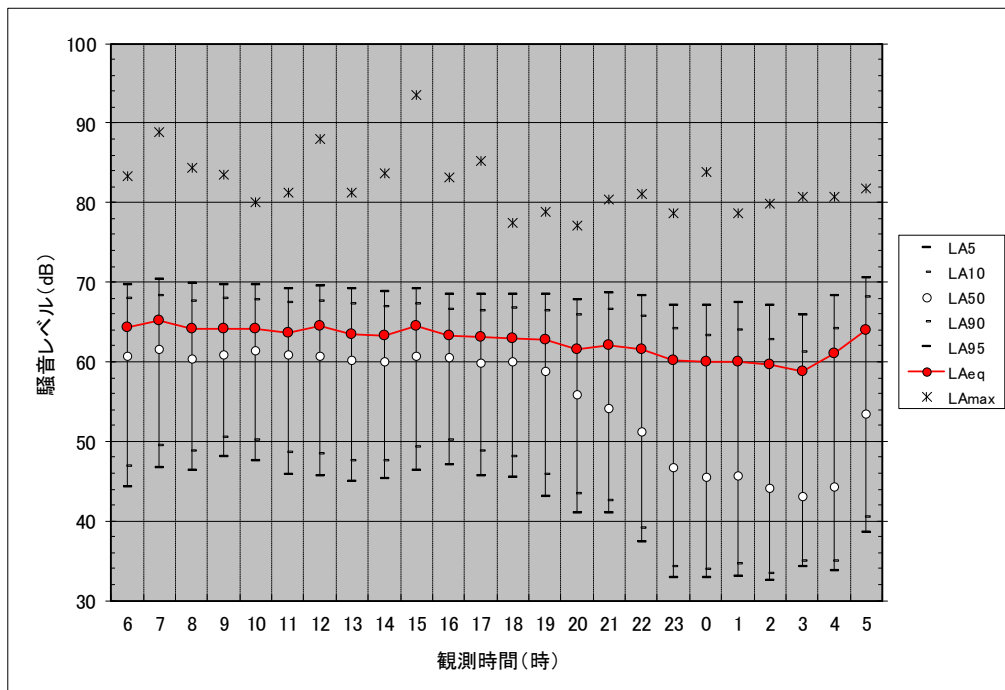


表 4.3(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	64.3	69.7	67.9	60.7	46.9	44.2	83.3	
	7:00~8:00		65.2	70.4	68.3	61.5	49.5	46.7	88.9	
	8:00~9:00		64.2	69.8	67.6	60.4	48.8	46.4	84.3	
	9:00~10:00		64.2	69.7	68.0	60.8	50.4	48.0	83.5	
	10:00~11:00		64.2	69.7	67.8	61.3	50.2	47.6	80.0	
	11:00~12:00		63.7	69.2	67.4	60.8	48.5	45.9	81.3	
	12:00~13:00		64.5	69.5	67.6	60.7	48.4	45.7	88.0	
	13:00~14:00		63.5	69.1	67.2	60.1	47.5	44.9	81.2	
	14:00~15:00		63.3	68.8	66.9	60.0	47.6	45.3	83.6	
	15:00~16:00		64.4	69.2	67.3	60.7	49.2	46.4	93.6	
	16:00~17:00		63.3	68.4	66.6	60.5	50.1	47.1	83.1	
	17:00~18:00		63.1	68.5	66.4	59.9	48.8	45.7	85.2	
	18:00~19:00		62.9	68.4	66.7	60.0	48.0	45.4	77.5	
	19:00~20:00		62.7	68.4	66.4	58.8	45.8	43.0	78.9	
20:00~21:00	61.6	67.7	65.8	55.8	43.4	41.0	77.1			
21:00~22:00	62.1	68.6	66.6	54.1	42.6	40.9	80.4			
夜間	22:00~23:00	65	61.6	68.3	65.7	51.1	39.0	37.3	81.0	
	23:00~0:00		60.1	67.1	64.2	46.6	34.3	32.9	78.6	
	0:00~1:00		60.0	67.0	63.2	45.5	33.9	32.9	83.8	
	1:00~2:00		60.0	67.4	63.9	45.6	34.5	33.1	78.7	
	2:00~3:00		59.7	67.1	62.8	44.1	33.4	32.5	79.8	
	3:00~4:00		58.7	65.8	61.2	43.0	35.0	34.2	80.8	
	4:00~5:00		61.1	68.2	64.2	44.2	34.9	33.8	80.7	
	5:00~6:00		63.9	70.6	68.1	53.4	40.4	38.5	81.7	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	64	69	67	60	48	45	94
		夜間	65	61	68	64	47	36	34	84

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

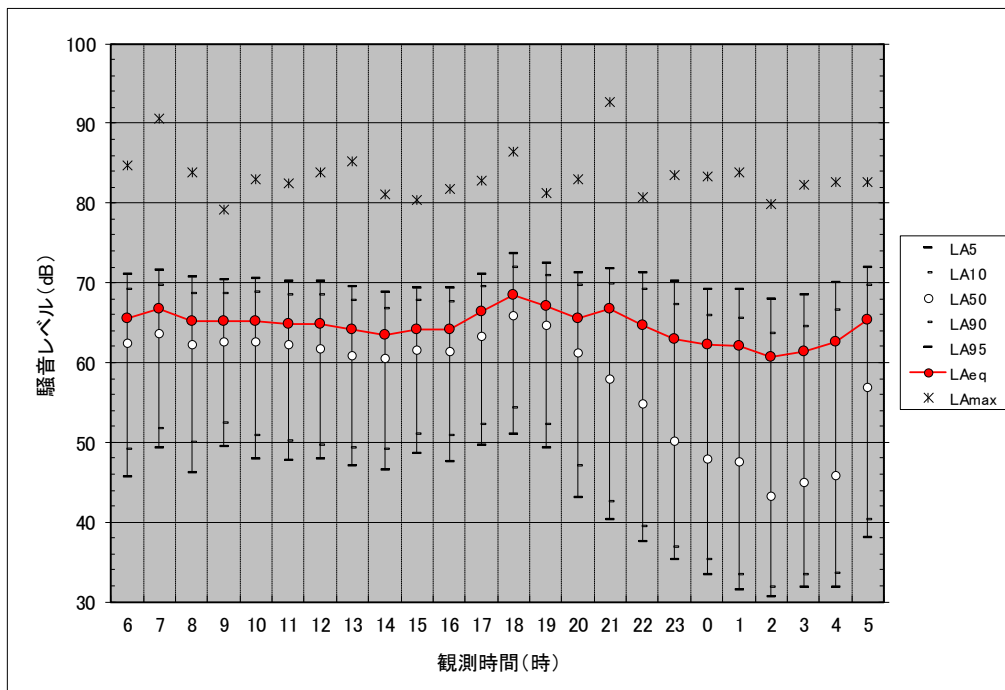
図 4.1(2) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(3) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	65.5	71.0	69.2	62.4	49.1	45.6	84.7	
	7:00~8:00		66.8	71.6	69.7	63.6	51.7	49.2	90.6	
	8:00~9:00		65.2	70.7	68.7	62.2	50.0	46.1	83.8	
	9:00~10:00		65.2	70.4	68.7	62.5	52.3	49.5	79.1	
	10:00~11:00		65.2	70.5	68.8	62.6	50.8	47.9	82.9	
	11:00~12:00		64.9	70.2	68.4	62.2	50.2	47.7	82.5	
	12:00~13:00		64.8	70.2	68.5	61.8	49.7	47.9	83.8	
	13:00~14:00		64.2	69.5	67.7	60.8	49.3	47.0	85.3	
	14:00~15:00		63.4	68.8	66.8	60.5	49.1	46.5	81.0	
	15:00~16:00		64.1	69.3	67.8	61.5	51.0	48.6	80.3	
	16:00~17:00		64.2	69.4	67.6	61.4	50.8	47.6	81.7	
	17:00~18:00		66.3	71.1	69.5	63.2	52.2	49.7	82.8	
	18:00~19:00		68.4	73.6	71.9	65.8	54.3	51.0	86.4	
	19:00~20:00		67.1	72.5	70.8	64.6	52.2	49.3	81.2	
20:00~21:00	65.5	71.2	69.6	61.2	47.0	43.1	82.9			
21:00~22:00	66.8	71.7	69.9	57.9	42.5	40.3	92.7			
夜間	22:00~23:00	65	64.6	71.2	69.2	54.8	39.4	37.5	80.8	
	23:00~0:00		62.9	70.1	67.3	50.1	36.8	35.3	83.5	
	0:00~1:00		62.3	69.2	65.8	47.9	35.2	33.4	83.4	
	1:00~2:00		62.0	69.1	65.5	47.5	33.4	31.5	83.8	
	2:00~3:00		60.7	68.0	63.7	43.3	31.9	30.6	79.9	
	3:00~4:00		61.3	68.5	64.5	44.9	33.4	31.9	82.3	
	4:00~5:00		62.5	70.0	66.5	45.8	33.6	31.9	82.7	
	5:00~6:00		65.4	71.9	69.6	56.8	40.3	38.0	82.7	
基準時間帯		昼間	70	66	71	69	62	50	47	93
平均値・最大値		夜間	65	63	70	67	49	36	34	84

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

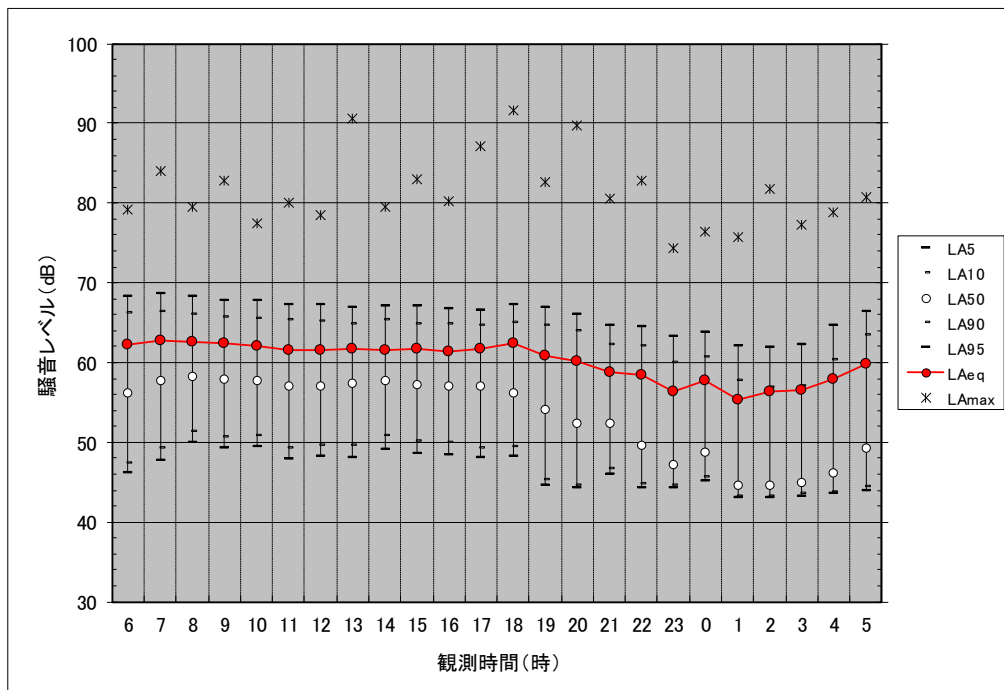
図 4.1(3) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(4) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)						騒音レベルの最大値 (dB)
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	62.2	68.3	66.2	56.1	47.3	46.2	79.1	
	7:00~8:00		62.8	68.6	66.4	57.7	49.2	47.8	84.0	
	8:00~9:00		62.5	68.2	66.0	58.2	51.3	50.0	79.6	
	9:00~10:00		62.4	67.7	65.7	58.0	50.6	49.3	82.8	
	10:00~11:00		62.1	67.8	65.6	57.8	50.9	49.5	77.4	
	11:00~12:00		61.6	67.3	65.3	57.0	49.2	47.9	80.0	
	12:00~13:00		61.5	67.2	65.1	57.1	49.7	48.3	78.5	
	13:00~14:00		61.7	66.9	64.9	57.4	49.6	48.0	90.6	
	14:00~15:00		61.6	67.1	65.4	57.8	50.8	49.1	79.5	
	15:00~16:00		61.8	67.0	64.9	57.2	50.1	48.6	82.9	
	16:00~17:00		61.4	66.8	64.8	57.0	50.0	48.4	80.2	
	17:00~18:00		61.7	66.5	64.7	57.0	49.3	48.0	87.2	
	18:00~19:00		62.4	67.3	65.0	56.1	49.4	48.2	91.6	
	19:00~20:00		60.9	66.9	64.6	54.1	45.3	44.6	82.7	
20:00~21:00	60.2	66.0	63.9	52.4	44.6	44.2	89.7			
21:00~22:00	58.7	64.6	62.3	52.3	46.6	46.0	80.6			
夜間	22:00~23:00	65	58.5	64.4	62.1	49.6	44.7	44.3	82.8	
	23:00~0:00		56.4	63.2	60.0	47.2	44.6	44.3	74.3	
	0:00~1:00		57.8	63.8	60.7	48.8	45.6	45.2	76.4	
	1:00~2:00		55.3	62.0	57.8	44.6	43.3	43.1	75.7	
	2:00~3:00		56.4	61.9	56.9	44.6	43.2	43.0	81.8	
	3:00~4:00		56.6	62.2	57.1	44.9	43.5	43.2	77.3	
	4:00~5:00		58.0	64.6	60.4	46.1	43.8	43.5	78.8	
	5:00~6:00		59.8	66.3	63.5	49.3	44.4	44.0	80.7	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	62	67	65	56	49	48	92
		夜間	65	58	64	60	47	44	44	83

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

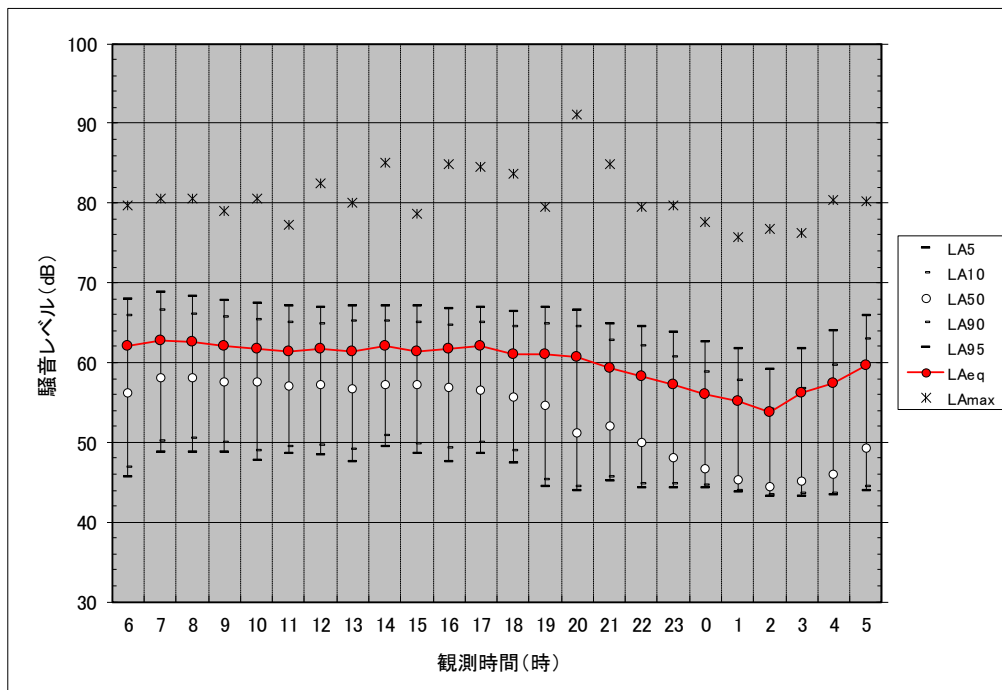
図 4.1(4) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(5) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	62.0	68.0	65.9	56.2	46.9	45.7	79.7	
	7:00~8:00		62.8	68.8	66.5	58.1	50.2	48.7	80.5	
	8:00~9:00		62.6	68.2	66.1	58.1	50.4	48.8	80.6	
	9:00~10:00		62.0	67.7	65.7	57.5	50.0	48.7	79.0	
	10:00~11:00		61.7	67.5	65.3	57.5	49.0	47.8	80.6	
	11:00~12:00		61.3	67.0	65.0	57.1	49.5	48.5	77.3	
	12:00~13:00		61.7	66.9	64.8	57.2	49.7	48.4	82.4	
	13:00~14:00		61.3	67.1	65.2	56.7	49.1	47.6	80.1	
	14:00~15:00		62.1	67.1	65.1	57.2	50.8	49.5	85.1	
	15:00~16:00		61.4	67.0	65.0	57.3	49.8	48.5	78.7	
	16:00~17:00		61.7	66.8	64.7	56.9	49.2	47.6	84.8	
	17:00~18:00		62.1	66.9	65.0	56.6	49.9	48.6	84.5	
	18:00~19:00		61.0	66.4	64.4	55.7	48.9	47.4	83.6	
	19:00~20:00		61.0	66.9	64.8	54.6	45.3	44.5	79.5	
20:00~21:00	60.7	66.5	64.4	51.1	44.4	43.9	91.1			
21:00~22:00	59.3	64.9	62.7	52.0	45.7	45.2	84.8			
夜間	22:00~23:00	65	58.2	64.5	62.1	50.0	44.7	44.3	79.5	
	23:00~0:00		57.2	63.8	60.6	48.1	44.7	44.3	79.7	
	0:00~1:00		56.0	62.6	58.8	46.7	44.6	44.3	77.7	
	1:00~2:00		55.2	61.8	57.8	45.3	43.9	43.7	75.7	
	2:00~3:00		53.8	59.2	54.1	44.5	43.4	43.2	76.7	
	3:00~4:00		56.2	61.8	56.7	45.1	43.5	43.3	76.3	
	4:00~5:00		57.4	63.9	59.7	46.0	43.6	43.4	80.4	
	5:00~6:00		59.6	65.8	63.0	49.3	44.4	44.0	80.2	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	62	67	65	56	49	47	91
		夜間	65	57	63	59	47	44	44	80

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

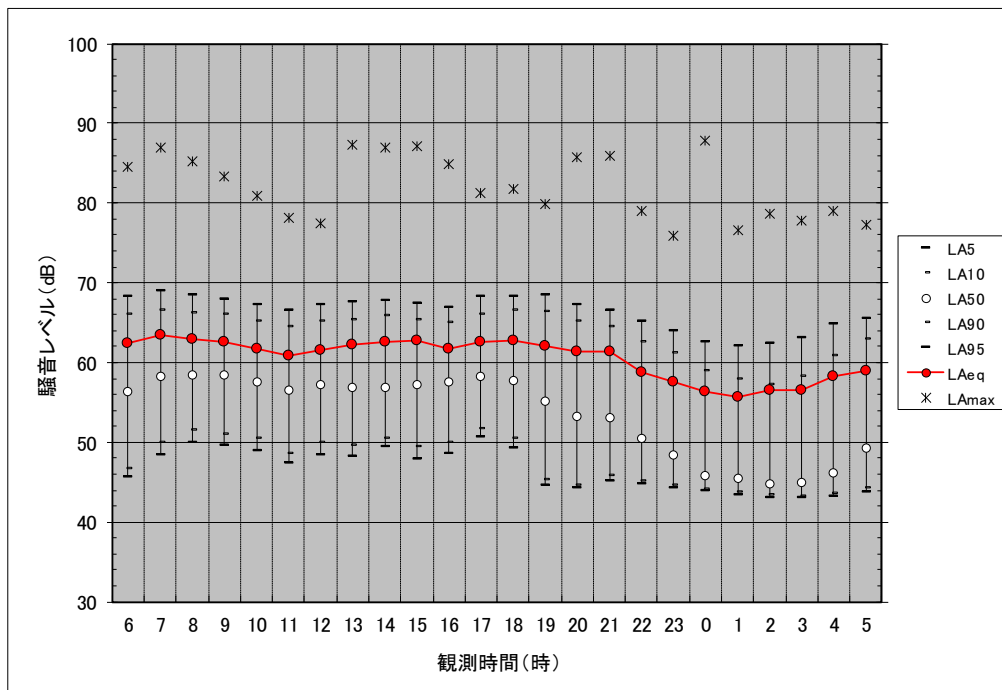
図 4.1(5) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(6) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	62.4	68.3	66.0	56.4	46.6	45.6	84.5	
	7:00~8:00		63.4	69.0	66.6	58.3	50.0	48.4	87.0	
	8:00~9:00		62.9	68.5	66.2	58.5	51.5	49.9	85.3	
	9:00~10:00		62.6	67.9	66.0	58.4	51.0	49.6	83.3	
	10:00~11:00		61.8	67.2	65.1	57.6	50.4	49.0	80.9	
	11:00~12:00		60.8	66.5	64.5	56.5	48.6	47.3	78.2	
	12:00~13:00		61.5	67.2	65.2	57.3	49.9	48.4	77.5	
	13:00~14:00		62.2	67.6	65.4	56.9	49.7	48.3	87.3	
	14:00~15:00		62.6	67.8	65.8	56.9	50.5	49.4	86.9	
	15:00~16:00		62.8	67.5	65.4	57.2	49.4	47.9	87.2	
	16:00~17:00		61.8	66.9	65.0	57.6	50.0	48.5	84.8	
	17:00~18:00		62.6	68.2	66.1	58.3	51.7	50.6	81.2	
	18:00~19:00		62.7	68.3	66.5	57.8	50.4	49.2	81.8	
	19:00~20:00		62.1	68.4	66.3	55.2	45.3	44.6	79.9	
20:00~21:00	61.3	67.3	65.2	53.3	44.6	44.2	85.7			
21:00~22:00	61.4	66.5	64.4	53.1	45.9	45.2	85.9			
夜間	22:00~23:00	65	58.7	65.1	62.5	50.5	45.2	44.8	79.0	
	23:00~0:00		57.5	64.0	61.2	48.4	44.6	44.3	75.9	
	0:00~1:00		56.4	62.6	58.9	45.9	44.1	43.9	87.8	
	1:00~2:00		55.7	62.0	57.9	45.4	43.7	43.4	76.6	
	2:00~3:00		56.6	62.4	57.2	44.8	43.4	43.1	78.7	
	3:00~4:00		56.6	63.1	58.3	45.0	43.3	43.0	77.8	
	4:00~5:00		58.2	64.8	60.9	46.1	43.6	43.3	79.0	
	5:00~6:00		58.9	65.5	62.9	49.2	44.2	43.8	77.2	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	62	68	66	57	49	48	87
		夜間	65	57	64	60	47	44	44	88

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

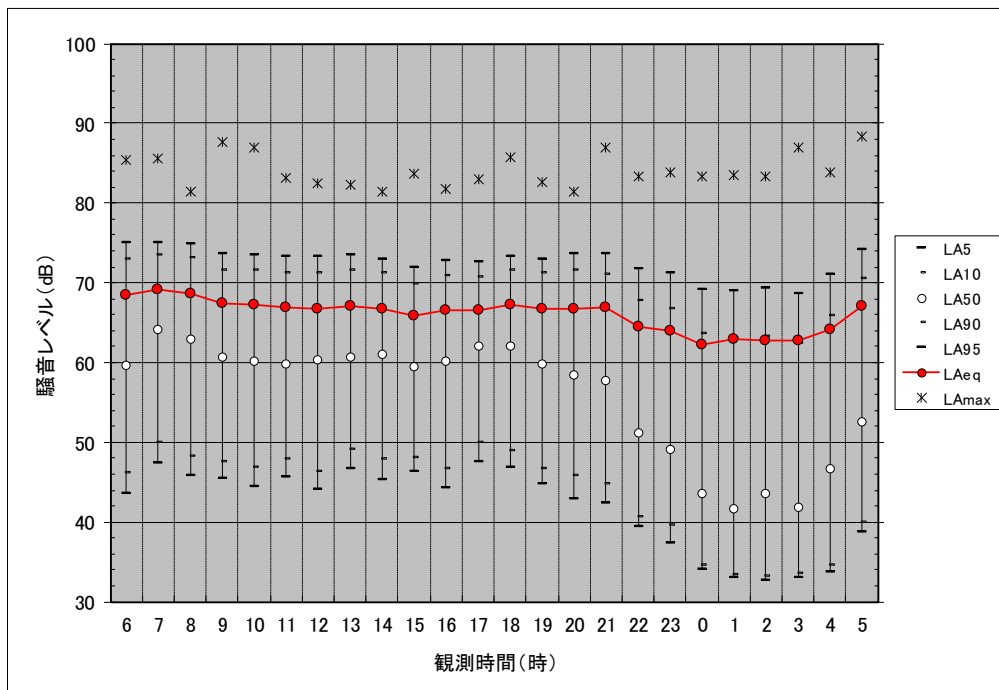
図 4.1(6) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(7) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	68.5	75.1	72.9	59.6	46.1	43.6	85.4	
	7:00~8:00		69.2	75.1	73.4	64.2	50.0	47.4	85.5	
	8:00~9:00		68.7	74.9	73.2	63.0	48.2	45.9	81.5	
	9:00~10:00		67.5	73.7	71.6	60.6	47.6	45.5	87.6	
	10:00~11:00		67.2	73.5	71.6	60.2	46.9	44.4	86.9	
	11:00~12:00		66.9	73.3	71.3	59.8	47.9	45.6	83.1	
	12:00~13:00		66.8	73.3	71.3	60.3	46.4	44.1	82.5	
	13:00~14:00		67.1	73.4	71.5	60.7	49.1	46.7	82.3	
	14:00~15:00		66.8	73.0	71.2	61.0	47.9	45.3	81.5	
	15:00~16:00		65.8	72.0	69.9	59.4	48.1	46.4	83.6	
	16:00~17:00		66.5	72.7	70.8	60.2	46.7	44.2	81.8	
	17:00~18:00		66.6	72.6	70.7	62.0	50.0	47.5	82.9	
	18:00~19:00		67.3	73.3	71.6	62.0	48.9	46.9	85.7	
	19:00~20:00		66.7	73.0	71.2	59.8	46.7	44.7	82.6	
20:00~21:00	66.8	73.6	71.6	58.4	45.9	42.8	81.5			
21:00~22:00	66.9	73.6	71.0	57.7	44.7	42.3	87.0			
夜間	22:00~23:00	65	64.4	71.7	67.7	51.2	40.7	39.4	83.3	
	23:00~0:00		64.0	71.2	66.7	49.1	39.6	37.4	83.8	
	0:00~1:00		62.3	69.2	63.6	43.5	34.6	34.0	83.4	
	1:00~2:00		63.0	69.0	63.1	41.6	33.4	33.0	83.5	
	2:00~3:00		62.8	69.4	63.3	43.5	33.2	32.7	83.4	
	3:00~4:00		62.7	68.6	62.4	41.9	33.6	33.0	87.0	
	4:00~5:00		64.2	71.1	65.8	46.6	34.5	33.7	83.8	
	5:00~6:00		67.1	74.1	70.5	52.6	40.0	38.8	88.3	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	67	74	72	61	48	45	88
		夜間	65	64	71	65	46	36	35	88

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

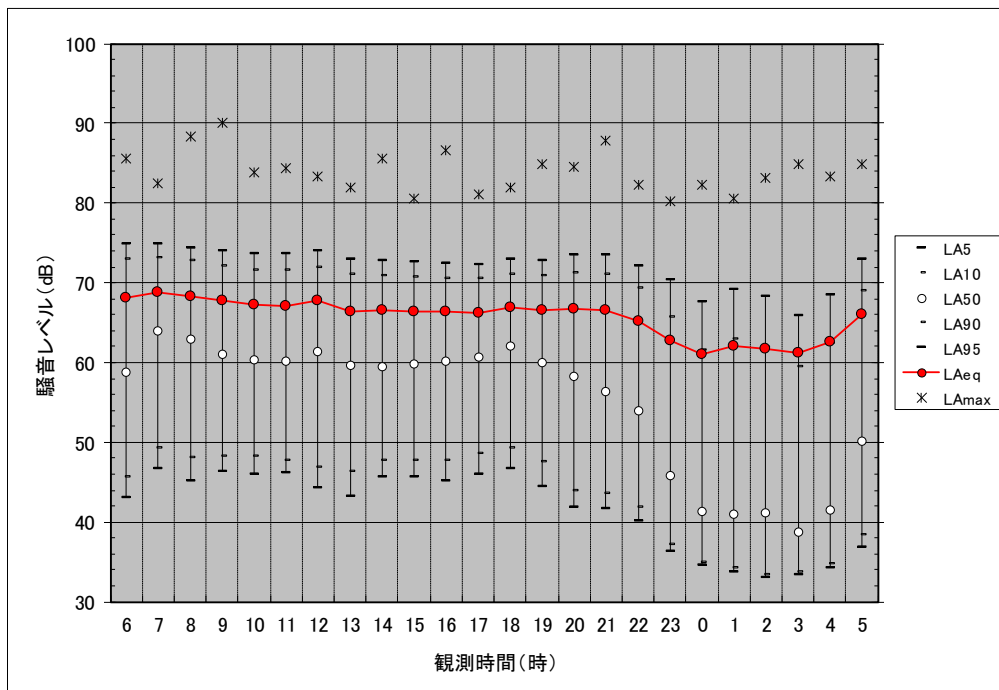
図 4.1(7) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(8) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	68.1	74.9	72.9	58.7	45.6	43.1	85.5	
	7:00~8:00		68.8	74.8	73.2	64.0	49.3	46.6	82.5	
	8:00~9:00		68.3	74.3	72.7	62.9	48.0	45.2	88.3	
	9:00~10:00		67.8	74.0	72.1	61.0	48.3	46.4	90.1	
	10:00~11:00		67.2	73.7	71.6	60.4	48.3	46.0	83.8	
	11:00~12:00		67.1	73.6	71.6	60.2	47.8	46.1	84.3	
	12:00~13:00		67.7	74.0	72.0	61.4	46.9	44.3	83.4	
	13:00~14:00		66.4	73.0	71.0	59.7	46.3	43.2	81.9	
	14:00~15:00		66.5	72.8	70.8	59.5	47.8	45.7	85.6	
	15:00~16:00		66.3	72.6	70.7	59.9	47.8	45.6	80.6	
	16:00~17:00		66.4	72.5	70.6	60.1	47.7	45.1	86.6	
	17:00~18:00		66.2	72.3	70.5	60.6	48.5	46.0	81.0	
	18:00~19:00		66.9	72.9	71.1	62.0	49.2	46.6	82.0	
	19:00~20:00		66.6	72.8	70.9	60.0	47.5	44.4	84.9	
20:00~21:00	66.7	73.5	71.3	58.3	43.9	41.9	84.6			
21:00~22:00	66.6	73.5	71.0	56.3	43.5	41.6	87.9			
夜間	22:00~23:00	65	65.1	72.1	69.3	54.0	41.8	40.1	82.3	
	23:00~0:00		62.7	70.4	65.7	45.8	37.2	36.3	80.2	
	0:00~1:00		61.1	67.6	61.6	41.4	35.0	34.5	82.2	
	1:00~2:00		62.0	69.1	62.9	40.9	34.2	33.8	80.5	
	2:00~3:00		61.7	68.2	61.9	41.2	33.4	33.1	83.2	
	3:00~4:00		61.2	65.9	59.4	38.8	33.7	33.4	84.8	
	4:00~5:00		62.5	68.4	62.4	41.5	34.7	34.2	83.4	
	5:00~6:00		66.0	72.9	69.0	50.1	38.3	36.8	84.9	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	67	73	72	60	47	45	90
		夜間	65	63	69	64	44	36	35	85

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

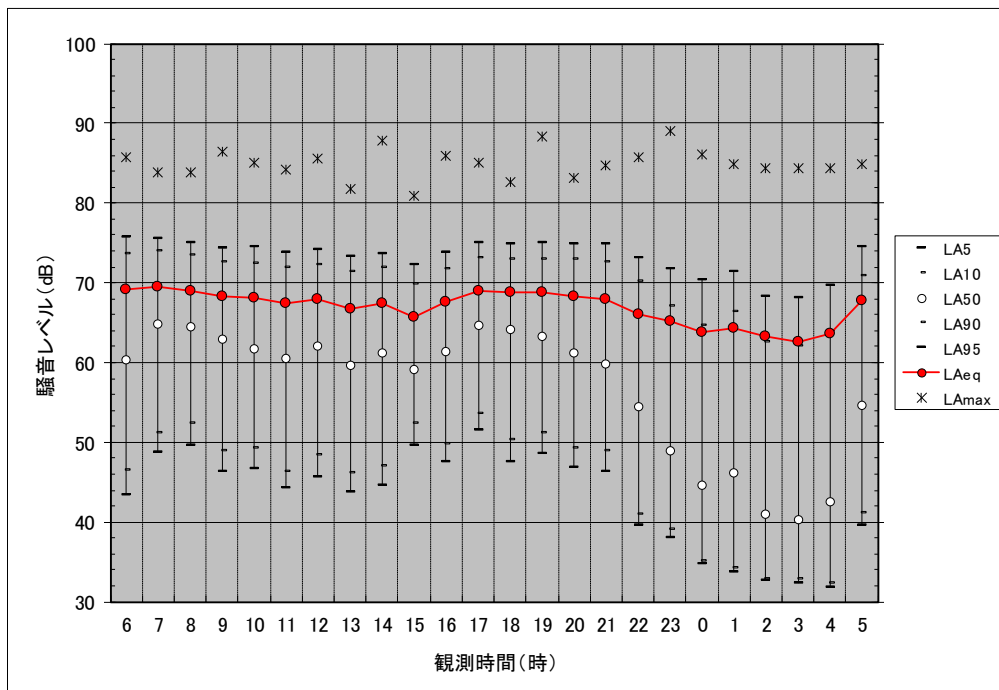
図 4.1(8) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(9) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	69.1	75.7	73.7	60.4	46.5	43.4	85.8	
	7:00~8:00		69.5	75.5	74.0	64.9	51.1	48.8	83.8	
	8:00~9:00		69.0	75.1	73.5	64.5	52.3	49.6	83.9	
	9:00~10:00		68.3	74.4	72.6	62.9	48.9	46.3	86.4	
	10:00~11:00		68.1	74.5	72.5	61.8	49.3	46.7	85.1	
	11:00~12:00		67.4	73.8	71.9	60.5	46.4	44.2	84.2	
	12:00~13:00		68.0	74.2	72.3	62.1	48.4	45.6	85.5	
	13:00~14:00		66.8	73.3	71.4	59.7	46.2	43.8	81.7	
	14:00~15:00		67.5	73.7	72.0	61.2	47.1	44.6	87.9	
	15:00~16:00		65.7	72.3	69.8	59.2	52.3	49.6	80.9	
	16:00~17:00		67.6	73.8	71.7	61.4	49.8	47.5	85.9	
	17:00~18:00		69.0	75.0	73.2	64.7	53.6	51.6	85.0	
	18:00~19:00		68.8	74.9	72.9	64.2	50.3	47.6	82.6	
	19:00~20:00		68.8	75.0	73.0	63.3	51.2	48.6	88.3	
20:00~21:00	68.3	74.8	73.0	61.2	49.2	46.8	83.2			
21:00~22:00	68.0	74.9	72.6	59.9	49.0	46.3	84.7			
夜間	22:00~23:00	65	66.0	73.2	70.2	54.4	40.9	39.6	85.8	
	23:00~0:00		65.1	71.7	67.1	49.0	39.1	38.0	89.0	
	0:00~1:00		63.8	70.4	64.7	44.6	35.1	34.7	86.1	
	1:00~2:00		64.3	71.4	66.3	46.1	34.3	33.7	84.8	
	2:00~3:00		63.2	68.2	62.6	41.0	32.9	32.6	84.3	
	3:00~4:00		62.6	68.1	62.0	40.2	32.9	32.4	84.4	
	4:00~5:00		63.6	69.7	64.0	42.5	32.3	31.9	84.4	
	5:00~6:00		67.7	74.5	70.9	54.7	41.1	39.6	84.9	
基準時間帯		昼間	70	68	74	73	62	49	47	88
平均値・最大値		夜間	65	65	71	66	47	36	35	89

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

図 4.1(9) 観測時間別の騒音レベル調査結果

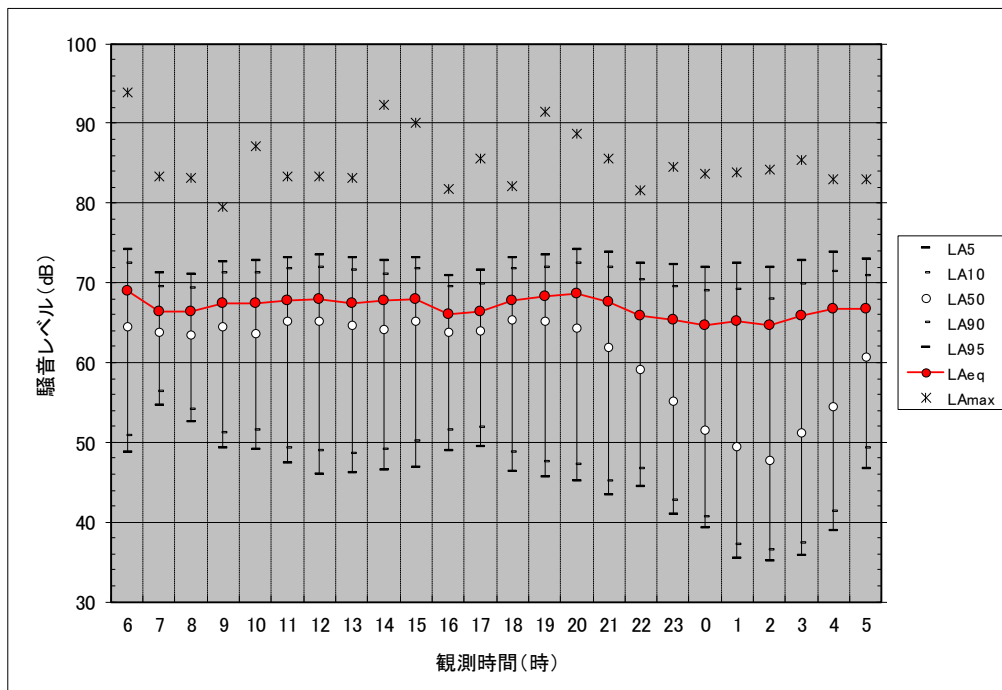


表 4.3(10) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	68.9	74.2	72.5	64.4	50.8	48.7	93.8	
	7:00~8:00		66.3	71.2	69.5	63.8	56.3	54.7	83.4	
	8:00~9:00		66.3	71.1	69.4	63.4	54.1	52.5	83.2	
	9:00~10:00		67.4	72.6	71.2	64.5	51.2	49.2	79.5	
	10:00~11:00		67.4	72.8	71.2	63.6	51.6	49.1	87.1	
	11:00~12:00		67.8	73.1	71.8	65.2	49.3	47.4	83.4	
	12:00~13:00		67.9	73.4	71.9	65.2	49.0	46.0	83.3	
	13:00~14:00		67.4	73.1	71.5	64.6	48.5	46.1	83.1	
	14:00~15:00		67.7	72.7	71.1	64.2	49.1	46.5	92.3	
	15:00~16:00		68.0	73.2	71.8	65.2	50.2	46.8	90.0	
	16:00~17:00		66.0	70.9	69.5	63.8	51.5	48.9	81.8	
	17:00~18:00		66.4	71.5	69.9	63.9	51.9	49.4	85.5	
	18:00~19:00		67.8	73.1	71.7	65.3	48.7	46.3	82.1	
	19:00~20:00		68.3	73.5	72.0	65.1	47.5	45.7	91.5	
20:00~21:00	68.6	74.1	72.4	64.3	47.2	45.1	88.7			
21:00~22:00	67.6	73.8	72.0	61.9	45.2	43.4	85.6			
夜間	22:00~23:00	65	65.9	72.4	70.3	59.2	46.7	44.5	81.6	
	23:00~0:00		65.3	72.2	69.5	55.2	42.7	40.9	84.5	
	0:00~1:00		64.7	72.0	68.9	51.5	40.7	39.3	83.7	
	1:00~2:00		65.1	72.4	69.2	49.4	37.1	35.4	83.9	
	2:00~3:00		64.7	72.0	68.0	47.8	36.5	35.1	84.1	
	3:00~4:00		65.8	72.7	69.8	51.1	37.4	35.8	85.4	
	4:00~5:00		66.7	73.9	71.4	54.5	41.3	38.9	83.0	
	5:00~6:00		66.7	72.9	70.9	60.7	49.2	46.6	83.0	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	68	73	71	64	50	48	94
		夜間	65	66	73	70	54	41	40	85

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

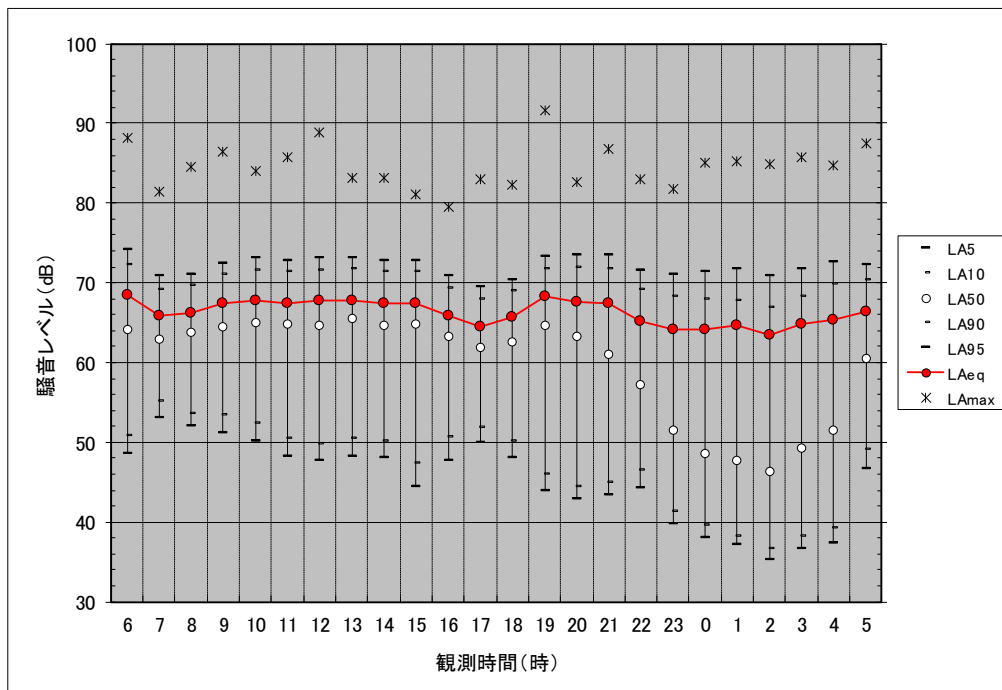
図 4.1(10) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(11) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	68.4	74.1	72.3	64.1	50.9	48.5	88.1	
	7:00~8:00		65.9	70.8	69.1	63.0	55.2	53.1	81.4	
	8:00~9:00		66.2	71.1	69.7	63.8	53.6	52.1	84.6	
	9:00~10:00		67.4	72.5	71.0	64.5	53.4	51.1	86.5	
	10:00~11:00		67.8	73.1	71.6	65.0	52.3	50.2	84.0	
	11:00~12:00		67.4	72.8	71.4	64.8	50.5	48.3	85.7	
	12:00~13:00		67.8	73.1	71.6	64.6	49.8	47.7	88.8	
	13:00~14:00		67.7	73.1	71.7	65.5	50.5	48.3	83.1	
	14:00~15:00		67.4	72.8	71.4	64.6	50.2	48.0	83.2	
	15:00~16:00		67.4	72.8	71.4	64.9	47.4	44.4	81.0	
	16:00~17:00		65.8	70.8	69.3	63.2	50.7	47.7	79.6	
	17:00~18:00		64.5	69.5	67.9	61.9	51.9	50.0	83.0	
	18:00~19:00		65.7	70.4	68.9	62.6	50.2	48.1	82.2	
	19:00~20:00		68.3	73.3	71.8	64.7	46.0	43.9	91.7	
20:00~21:00	67.6	73.5	71.9	63.2	44.4	42.8	82.6			
21:00~22:00	67.4	73.5	71.7	61.1	45.0	43.4	86.8			
夜間	22:00~23:00	65	65.1	71.5	69.2	57.3	46.5	44.2	83.0	
	23:00~0:00		64.1	71.1	68.2	51.6	41.3	39.7	81.7	
	0:00~1:00		64.2	71.4	68.0	48.6	39.6	38.0	85.0	
	1:00~2:00		64.6	71.7	67.8	47.7	38.2	37.2	85.3	
	2:00~3:00		63.5	70.8	66.9	46.3	36.6	35.2	84.9	
	3:00~4:00		64.8	71.8	68.2	49.3	38.2	36.7	85.7	
	4:00~5:00		65.4	72.6	69.8	51.6	39.3	37.4	84.7	
	5:00~6:00		66.3	72.3	70.3	60.5	49.1	46.7	87.4	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	67	72	71	64	50	48	92
		夜間	65	65	72	69	52	41	39	87

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

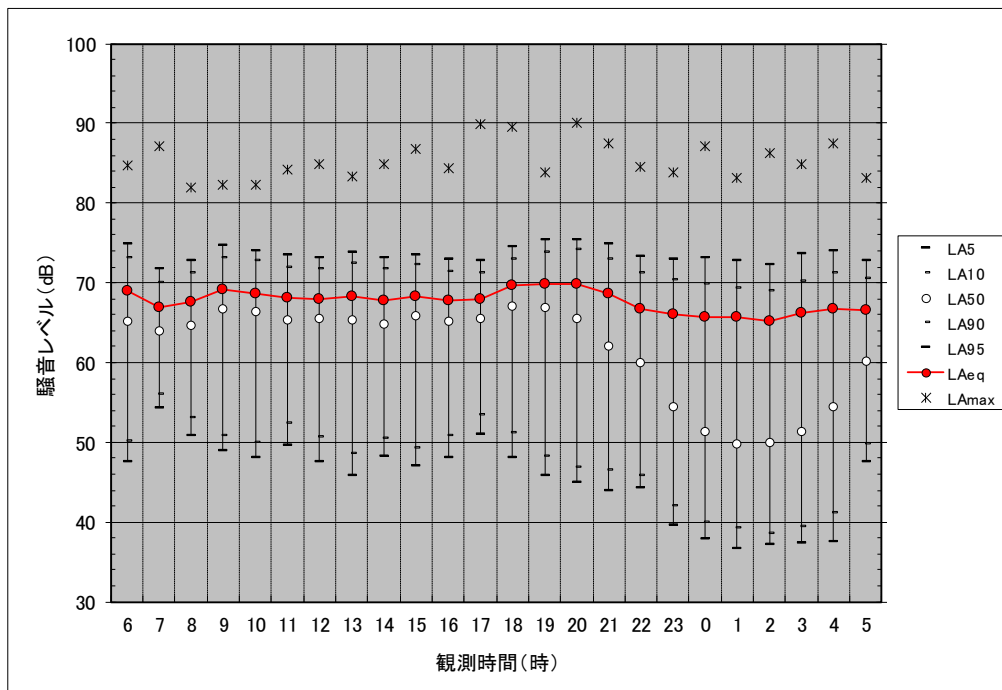
図 4.1(11) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(12) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	69.0	74.8	73.2	65.2	50.1	47.5	84.7	
	7:00~8:00		66.9	71.8	70.0	64.0	56.0	54.2	87.1	
	8:00~9:00		67.6	72.7	71.2	64.6	53.0	50.9	82.0	
	9:00~10:00		69.2	74.6	73.2	66.7	50.8	48.9	82.2	
	10:00~11:00		68.7	74.0	72.7	66.3	50.0	48.0	82.2	
	11:00~12:00		68.1	73.5	71.9	65.3	52.3	49.7	84.2	
	12:00~13:00		68.0	73.2	71.8	65.6	50.7	47.5	84.8	
	13:00~14:00		68.3	73.8	72.4	65.4	48.5	45.9	83.3	
	14:00~15:00		67.7	73.2	71.7	64.8	50.4	48.2	84.9	
	15:00~16:00		68.3	73.5	72.2	65.8	49.3	47.0	86.8	
	16:00~17:00		67.7	72.9	71.4	65.1	50.9	48.1	84.4	
	17:00~18:00		67.9	72.7	71.3	65.6	53.4	51.0	89.9	
	18:00~19:00		69.7	74.5	73.0	67.0	51.1	48.1	89.5	
	19:00~20:00		69.8	75.3	73.8	66.9	48.3	45.9	83.8	
20:00~21:00	69.9	75.4	74.1	65.5	46.9	45.0	90.0			
21:00~22:00	68.7	74.9	73.0	62.1	46.5	44.0	87.4			
夜間	22:00~23:00	65	66.8	73.3	71.3	60.0	45.8	44.3	84.5	
	23:00~0:00		66.0	73.0	70.4	54.5	42.0	39.6	83.9	
	0:00~1:00		65.7	73.1	69.8	51.4	39.9	37.9	87.1	
	1:00~2:00		65.7	72.8	69.3	49.8	39.2	36.6	83.2	
	2:00~3:00		65.2	72.3	68.9	49.9	38.5	37.1	86.2	
	3:00~4:00		66.2	73.6	70.1	51.3	39.4	37.4	84.8	
	4:00~5:00		66.7	74.0	71.2	54.5	41.1	37.5	87.4	
	5:00~6:00		66.6	72.7	70.6	60.2	49.8	47.5	83.1	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	69	74	72	65	51	48	90
		夜間	65	66	73	70	54	42	40	87

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

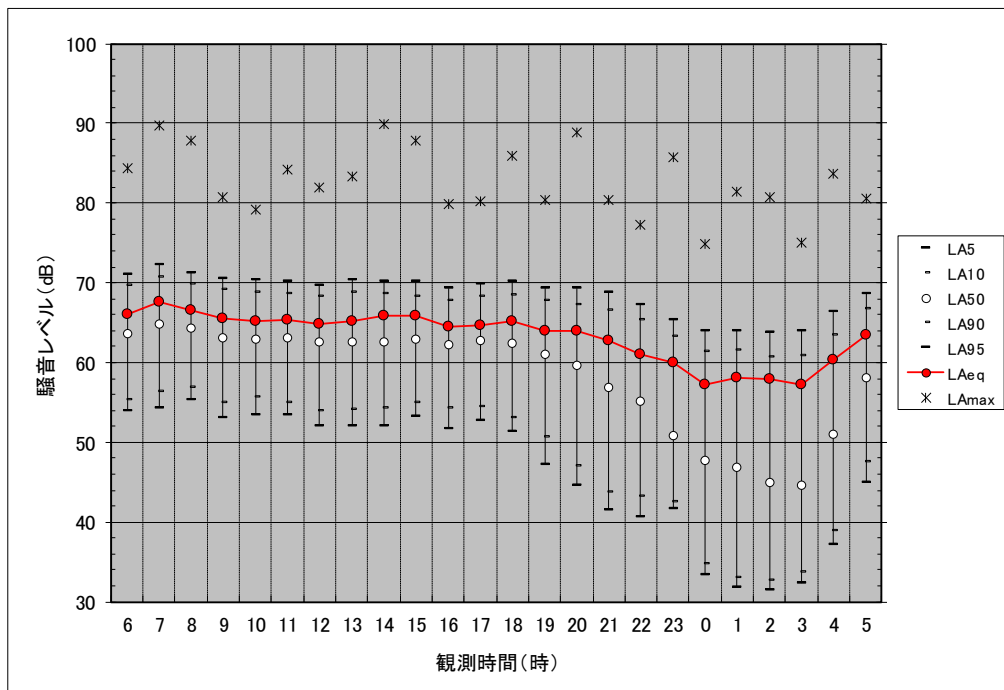
図 4.1(12) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(13) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	66.1	71.0	69.7	63.7	55.4	53.9	84.3	
	7:00~8:00		67.6	72.2	70.7	64.9	56.3	54.3	89.8	
	8:00~9:00		66.5	71.3	69.9	64.3	56.8	55.3	87.8	
	9:00~10:00		65.6	70.5	69.1	63.1	55.0	53.0	80.8	
	10:00~11:00		65.2	70.3	68.8	63.0	55.7	53.4	79.2	
	11:00~12:00		65.3	70.2	68.7	63.1	55.0	53.4	84.2	
	12:00~13:00		64.8	69.6	68.2	62.6	54.0	52.1	81.9	
	13:00~14:00		65.1	70.3	68.8	62.5	54.1	52.1	83.3	
	14:00~15:00		65.9	70.2	68.6	62.5	54.3	52.1	89.9	
	15:00~16:00		65.9	70.1	68.3	62.9	55.0	53.3	87.9	
	16:00~17:00		64.4	69.3	67.8	62.3	54.2	51.7	79.9	
	17:00~18:00		64.7	69.8	68.2	62.8	54.5	52.8	80.2	
	18:00~19:00		65.2	70.1	68.4	62.4	53.0	51.3	86.0	
	19:00~20:00		63.9	69.4	67.8	61.1	50.7	47.2	80.3	
20:00~21:00	63.9	69.4	67.3	59.7	47.0	44.6	88.9			
21:00~22:00	62.7	68.8	66.6	56.9	43.8	41.5	80.4			
夜間	22:00~23:00	65	61.1	67.3	65.4	55.1	43.3	40.6	77.3	
	23:00~0:00		60.0	65.4	63.3	50.8	42.6	41.6	85.7	
	0:00~1:00		57.3	64.0	61.3	47.8	34.7	33.4	74.9	
	1:00~2:00		58.1	64.0	61.5	46.8	33.1	31.9	81.5	
	2:00~3:00		58.0	63.8	60.6	44.9	32.6	31.5	80.8	
	3:00~4:00		57.3	63.9	60.9	44.6	33.8	32.3	75.1	
	4:00~5:00		60.3	66.4	63.5	51.0	38.9	37.1	83.6	
	5:00~6:00		63.4	68.7	66.8	58.1	47.5	45.0	80.6	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	65	70	69	62	53	51	90
		夜間	65	60	65	63	50	38	37	86

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

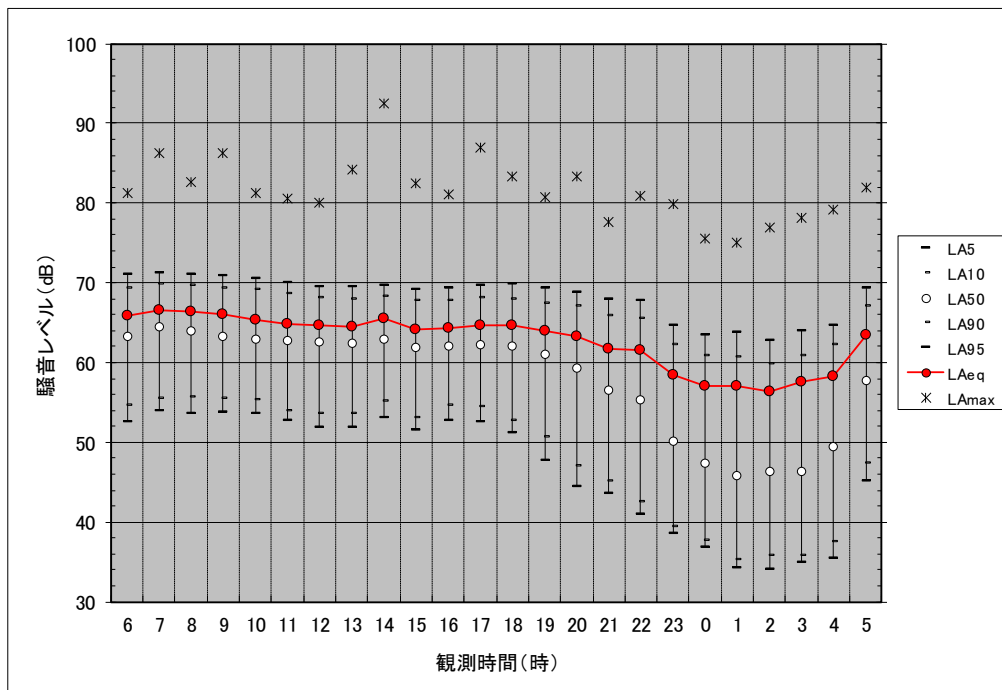
図 4.1(13) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(14) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	65.9	71.0	69.4	63.2	54.6	52.5	81.3	
	7:00~8:00		66.6	71.3	69.9	64.5	55.5	54.0	86.3	
	8:00~9:00		66.3	71.1	69.7	64.0	55.6	53.6	82.7	
	9:00~10:00		66.0	70.8	69.4	63.2	55.5	53.8	86.3	
	10:00~11:00		65.4	70.5	69.1	63.0	55.3	53.6	81.3	
	11:00~12:00		64.9	70.0	68.6	62.7	54.0	52.7	80.6	
	12:00~13:00		64.7	69.5	68.1	62.6	53.6	51.9	80.1	
	13:00~14:00		64.4	69.5	67.9	62.4	53.6	51.8	84.2	
	14:00~15:00		65.6	69.7	68.3	63.0	55.2	53.1	92.5	
	15:00~16:00		64.1	69.1	67.7	61.9	53.1	51.6	82.4	
	16:00~17:00		64.3	69.3	67.8	62.1	54.7	52.7	81.0	
	17:00~18:00		64.7	69.6	68.1	62.3	54.4	52.5	87.0	
	18:00~19:00		64.7	69.9	68.0	62.0	52.8	51.2	83.4	
	19:00~20:00		63.9	69.4	67.5	61.0	50.6	47.7	80.7	
20:00~21:00	63.2	68.8	67.0	59.3	47.0	44.4	83.4			
21:00~22:00	61.8	67.9	65.9	56.5	45.1	43.5	77.7			
夜間	22:00~23:00	65	61.5	67.7	65.6	55.3	42.6	40.9	80.9	
	23:00~0:00		58.5	64.7	62.2	50.1	39.5	38.5	79.9	
	0:00~1:00		57.1	63.5	60.9	47.3	37.7	36.8	75.6	
	1:00~2:00		57.0	63.8	60.7	45.9	35.2	34.3	75.1	
	2:00~3:00		56.4	62.8	59.9	46.4	35.8	34.1	76.9	
	3:00~4:00		57.6	64.0	60.8	46.4	35.8	34.9	78.2	
	4:00~5:00		58.2	64.7	62.3	49.4	37.6	35.4	79.2	
	5:00~6:00		63.5	69.3	67.1	57.8	47.3	45.2	81.9	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	65	70	68	62	53	51	93
		夜間	65	59	65	62	50	39	38	82

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

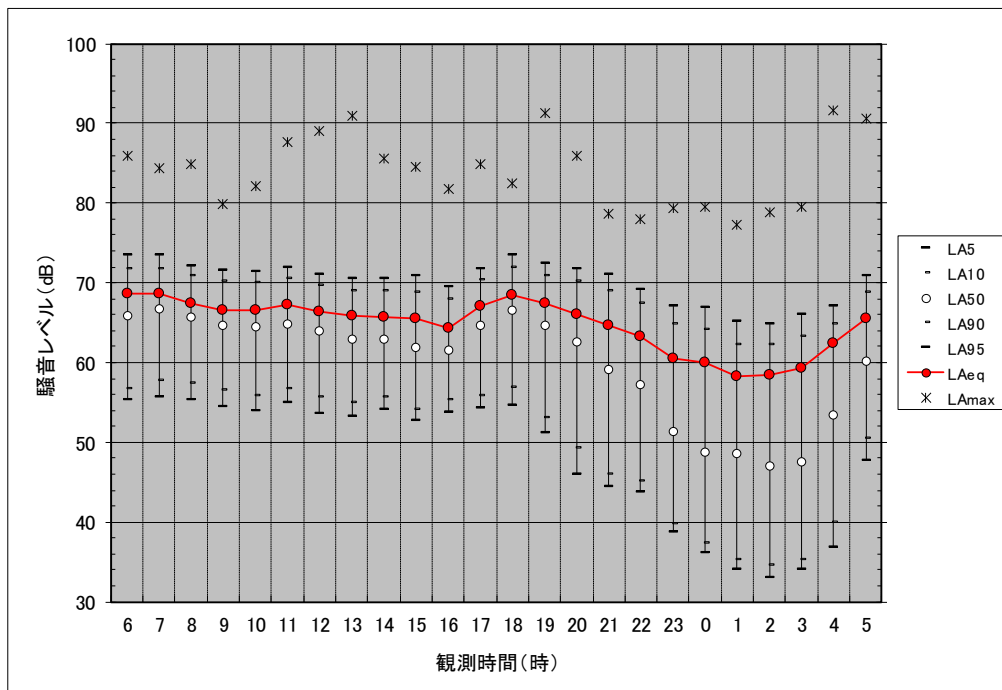
図 4.1(14) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(15) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	68.6	73.5	71.8	65.8	56.7	55.3	86.0	
	7:00~8:00		68.6	73.4	71.8	66.7	57.7	55.7	84.3	
	8:00~9:00		67.4	72.1	70.8	65.7	57.4	55.3	84.8	
	9:00~10:00		66.6	71.5	70.2	64.7	56.5	54.4	79.8	
	10:00~11:00		66.5	71.4	70.0	64.4	55.8	53.9	82.1	
	11:00~12:00		67.3	72.0	70.6	64.8	56.7	54.9	87.6	
	12:00~13:00		66.4	71.1	69.7	64.0	55.6	53.6	89.1	
	13:00~14:00		65.8	70.6	68.9	63.0	55.0	53.3	90.9	
	14:00~15:00		65.7	70.6	68.9	62.9	55.6	54.1	85.5	
	15:00~16:00		65.5	70.8	68.8	61.9	54.1	52.7	84.6	
	16:00~17:00		64.3	69.5	67.9	61.6	55.3	53.7	81.7	
	17:00~18:00		67.1	71.8	70.3	64.7	55.8	54.2	84.8	
	18:00~19:00		68.4	73.5	71.9	66.5	56.8	54.7	82.4	
	19:00~20:00		67.4	72.5	70.9	64.7	53.1	51.1	91.3	
20:00~21:00	66.1	71.8	70.1	62.6	49.2	46.0	85.9			
21:00~22:00	64.7	71.0	68.9	59.1	46.0	44.4	78.7			
夜間	22:00~23:00	65	63.2	69.2	67.4	57.2	45.2	43.8	77.9	
	23:00~0:00		60.5	67.0	64.9	51.4	39.8	38.7	79.3	
	0:00~1:00		60.0	66.9	64.1	48.7	37.3	36.2	79.5	
	1:00~2:00		58.2	65.1	62.3	48.6	35.3	34.0	77.3	
	2:00~3:00		58.4	64.8	62.2	47.0	34.5	33.1	78.8	
	3:00~4:00		59.3	66.1	63.2	47.6	35.3	34.0	79.5	
	4:00~5:00		62.4	67.1	64.8	53.4	40.0	36.9	91.6	
	5:00~6:00		65.6	70.9	68.8	60.1	50.4	47.8	90.6	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	67	72	70	64	55	53	91
		夜間	65	62	67	65	52	40	38	92

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

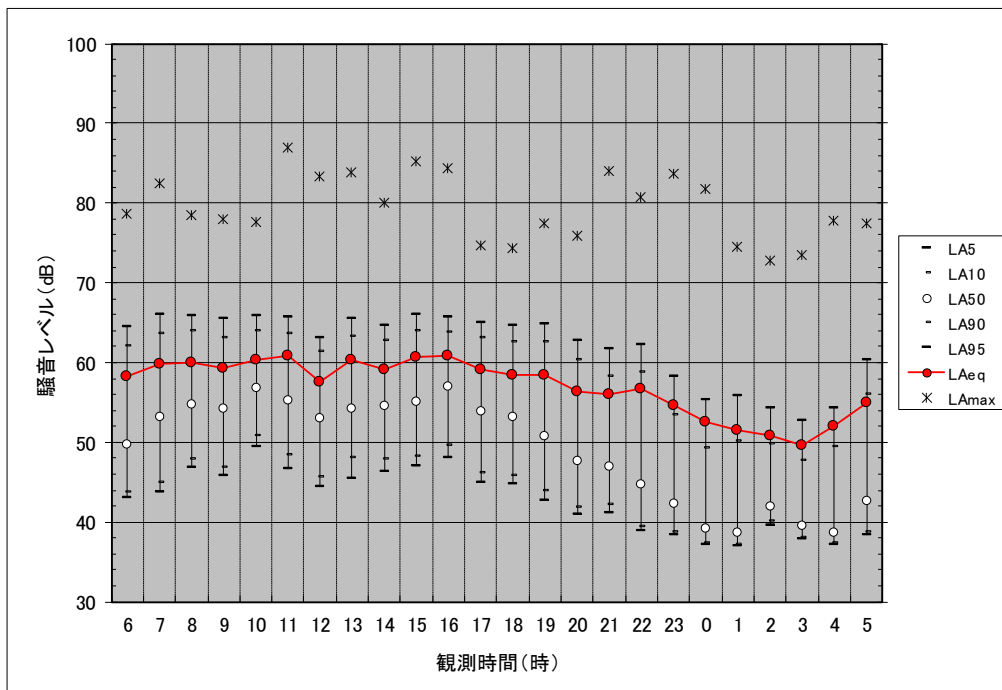
図 4.1(15) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(16) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)			
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>			
昼間	6:00~7:00	70	58.3	64.4	62.0	49.8	43.8	43.0	78.7			
	7:00~8:00		59.9	66.1	63.6	53.3	44.9	43.8	82.4			
	8:00~9:00		60.0	65.9	64.0	54.8	47.9	46.9	78.5			
	9:00~10:00		59.3	65.6	63.1	54.3	46.9	45.9	77.9			
	10:00~11:00		60.3	65.9	63.9	56.8	50.9	49.4	77.7			
	11:00~12:00		60.9	65.7	63.7	55.4	48.4	46.7	86.9			
	12:00~13:00		57.6	63.1	61.4	53.0	45.6	44.4	83.4			
	13:00~14:00		60.3	65.5	63.3	54.3	48.0	45.5	83.8			
	14:00~15:00		59.2	64.7	62.7	54.6	47.9	46.4	80.0			
	15:00~16:00		60.7	66.0	64.0	55.2	48.3	47.0	85.3			
	16:00~17:00		60.8	65.7	63.8	57.0	49.6	48.1	84.3			
	17:00~18:00		59.1	65.0	63.1	54.0	46.2	44.9	74.6			
	18:00~19:00		58.4	64.6	62.6	53.3	45.9	44.7	74.3			
	19:00~20:00		58.4	64.8	62.5	50.8	43.9	42.7	77.4			
20:00~21:00	56.3	62.8	60.4	47.7	41.9	41.0	75.9					
21:00~22:00	56.0	61.8	58.3	47.0	42.2	41.2	84.0					
夜間	22:00~23:00	65	56.7	62.3	58.7	44.7	39.5	38.9	80.8			
	23:00~0:00		54.7	58.3	53.5	42.4	38.8	38.3	83.6			
	0:00~1:00		52.6	55.4	49.2	39.2	37.3	37.1	81.7			
	1:00~2:00		51.5	55.9	50.1	38.8	37.2	37.0	74.5			
	2:00~3:00		50.8	54.2	49.8	42.0	40.1	39.6	72.7			
	3:00~4:00		49.7	52.7	47.8	39.6	38.0	37.8	73.5			
	4:00~5:00		52.0	54.3	49.4	38.8	37.3	37.1	77.8			
	5:00~6:00		54.9	60.4	56.0	42.7	38.8	38.4	77.5			
	基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	59	65	63	53	46	45	87	
			夜間	65	53	57	52	41	38	38	84	

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

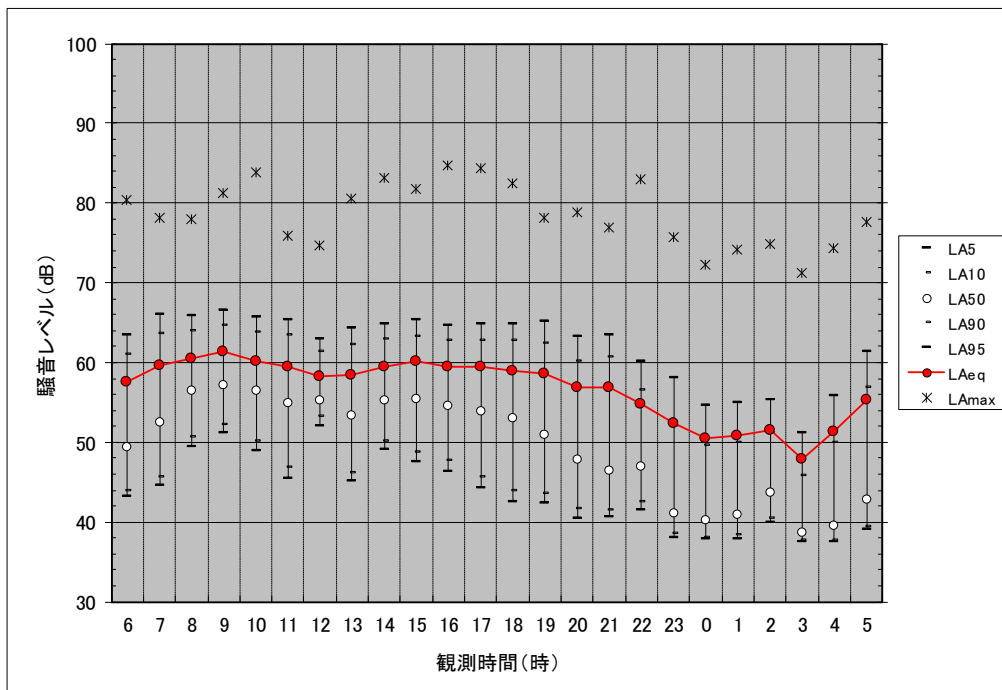
図 4.1(16) 観測時間別の騒音レベル調査結果

表 4.3(17) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和2年12月1日(火)13:00~12月2日(水)13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	57.6	63.5	61.0	49.4	44.0	43.3	80.3	
	7:00~8:00		59.7	66.0	63.7	52.6	45.6	44.6	78.2	
	8:00~9:00		60.5	65.8	63.9	56.5	50.7	49.4	77.9	
	9:00~10:00		61.3	66.6	64.6	57.3	52.2	51.1	81.2	
	10:00~11:00		60.2	65.7	63.8	56.5	50.1	48.9	83.8	
	11:00~12:00		59.4	65.4	63.4	54.9	46.8	45.5	75.9	
	12:00~13:00		58.2	63.0	61.3	55.4	53.2	52.1	74.7	
	13:00~14:00		58.5	64.3	62.3	53.5	46.2	45.1	80.6	
	14:00~15:00		59.5	64.9	62.9	55.4	50.2	49.1	83.1	
	15:00~16:00		60.1	65.3	63.3	55.5	48.8	47.5	81.8	
	16:00~17:00		59.5	64.6	62.8	54.6	47.7	46.4	84.7	
	17:00~18:00		59.4	64.8	62.8	53.9	45.7	44.3	84.3	
	18:00~19:00		58.9	64.9	62.7	53.0	44.0	42.5	82.4	
	19:00~20:00		58.6	65.1	62.4	51.0	43.5	42.4	78.1	
20:00~21:00	56.9	63.2	60.2	47.9	41.6	40.5	78.9			
21:00~22:00	56.8	63.4	60.6	46.5	41.5	40.6	76.9			
夜間	22:00~23:00	65	54.8	60.1	56.5	47.1	42.5	41.5	82.9	
	23:00~0:00		52.4	58.1	52.0	41.2	38.5	38.1	75.8	
	0:00~1:00		50.5	54.6	49.6	40.3	38.1	37.8	72.3	
	1:00~2:00		50.9	55.0	50.0	40.9	38.3	37.8	74.2	
	2:00~3:00		51.6	55.4	51.2	43.8	40.5	40.0	74.9	
	3:00~4:00		47.9	51.2	45.9	38.7	37.7	37.5	71.2	
	4:00~5:00		51.4	55.8	50.0	39.6	37.7	37.5	74.3	
	5:00~6:00		55.3	61.4	56.8	42.9	39.4	39.1	77.7	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	59	65	63	53	47	46	85
		夜間	65	52	56	52	42	39	39	83

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

図 4.1(17) 観測時間別の騒音レベル調査結果

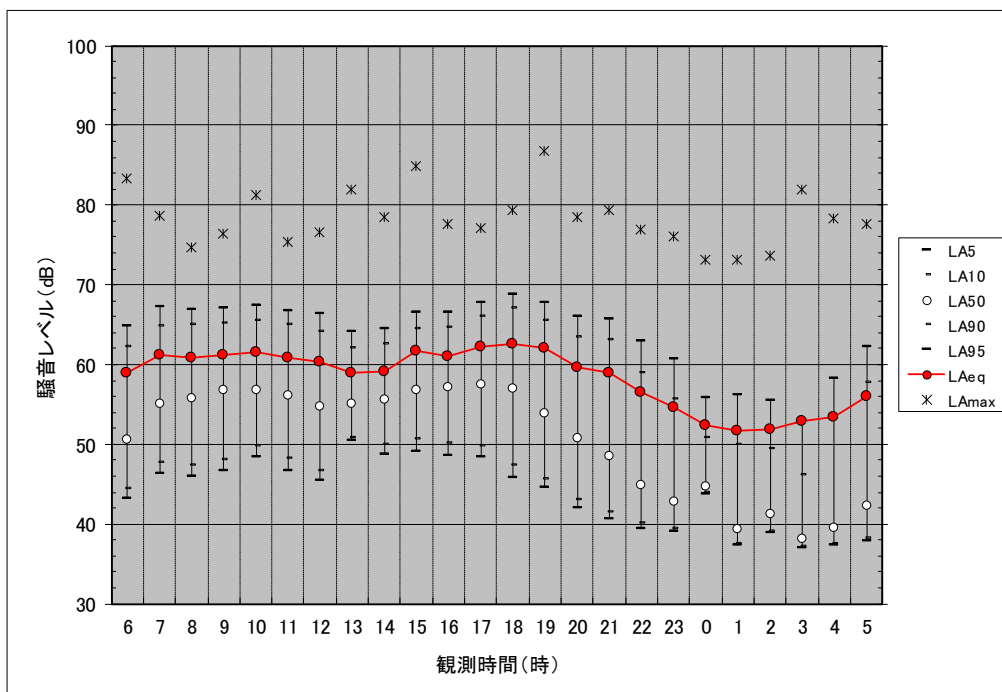


表 4.3(18) 観測時間別の騒音レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和2年12月2日(水)13:00~12月3日(木)13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

時間帯	観測時間	環境基準	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)					騒音レベルの最大値 (dB)	
			L <sub>Aeq</sub>	L <sub>A5</sub>	L <sub>A10</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A90</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Amax</sub>	
昼間	6:00~7:00	70	59.0	64.8	62.3	50.7	44.5	43.2	83.3	
	7:00~8:00		61.2	67.3	64.9	55.1	47.8	46.4	78.7	
	8:00~9:00		60.8	66.9	65.0	55.9	47.4	46.0	74.6	
	9:00~10:00		61.2	67.1	65.1	56.8	48.1	46.6	76.4	
	10:00~11:00		61.6	67.4	65.5	56.9	49.8	48.4	81.2	
	11:00~12:00		60.9	66.8	65.0	56.2	48.2	46.7	75.4	
	12:00~13:00		60.3	66.3	64.1	54.8	46.6	45.4	76.6	
	13:00~14:00		58.9	64.2	62.1	55.2	50.9	50.4	81.9	
	14:00~15:00		59.2	64.5	62.6	55.6	49.9	48.8	78.5	
	15:00~16:00		61.7	66.6	64.5	56.9	50.7	49.1	84.8	
	16:00~17:00		61.1	66.5	64.7	57.3	50.2	48.6	77.6	
	17:00~18:00		62.3	67.8	66.1	57.6	49.8	48.4	77.1	
	18:00~19:00		62.6	68.8	67.0	57.1	47.4	45.8	79.3	
	19:00~20:00		62.1	67.7	65.5	54.0	45.6	44.6	86.7	
20:00~21:00	59.6	66.1	63.5	50.9	43.1	42.0	78.5			
21:00~22:00	59.0	65.7	63.1	48.6	41.5	40.7	79.4			
夜間	22:00~23:00	65	56.6	62.9	58.9	45.0	40.1	39.5	76.9	
	23:00~0:00		54.6	60.7	55.6	42.9	39.5	39.1	76.1	
	0:00~1:00		52.4	55.8	50.9	44.8	44.0	43.8	73.2	
	1:00~2:00		51.7	56.1	50.0	39.4	37.6	37.4	73.2	
	2:00~3:00		51.9	55.5	49.4	41.3	39.1	38.9	73.6	
	3:00~4:00		52.9	53.0	46.2	38.2	37.2	37.0	82.0	
	4:00~5:00		53.5	58.3	53.2	39.6	37.5	37.3	78.3	
	5:00~6:00		56.0	62.2	57.8	42.4	38.2	37.8	77.7	
基準時間帯 平均値・最大値		昼間	70	61	67	64	55	48	46	87
		夜間	65	54	58	53	42	39	39	82

※ 基準時間帯平均値は、等価騒音レベルはエネルギー平均値、時間率騒音レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和2年11月30日(月)13:00~12月1日(火)13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

図 4.1(18) 観測時間別の騒音レベル調査結果

## 4.2 振動測定結果

振動レベルは、1 時間あたり 6 回実施した結果の中から、除外すべき振動の影響を受けていると思われるデータを除外した。

振動レベル調査結果を表 4.4、過年度調査結果との比較を表 4.5、観測時間別の振動レベル調査結果を表 4.6(1)～(6)および図 4.2(1)～(6)に示す。また、実測時間別の振動レベル調査結果を資料編に示す。

昼間、夜間の時間区分ともに、振動レベルが最も大きかったのは地点 2 府中清瀬線及び地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線であり、昼間が 47dB、夜間が 41dB であった。

要請限度達成状況は、調査を実施した全 6 地点が昼間、夜間ともに要請限度を達成した。

表 4.4 振動レベルの調査結果

地点 番号	路線名	調査地点	時間 区分	時間率振動レベル L <sub>10</sub> (dB)			
				調査結果	令和元年度 調査結果	要請限度	
						基準値	適合状況
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	昼間	42	42	65	○
			夜間	38	39	60	○
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	昼間	47	48	65	○
			夜間	41	44	60	○
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	昼間	47	47	65	○
			夜間	41	43	60	○
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	昼間	43	42	65	○
			夜間	40	39	60	○
地点5	新宿国立線	前原町4-16付近	昼間	44	44	65	○
			夜間	38	39	60	○
地点6	府中小金井線	中町2-21付近	昼間	40	-	65	○
			夜間	32	-	60	○

※ 昼間は8:00～19:00、夜間は19:00～8:00

※※ 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

※※※ 地点番号6は令和2年度から測定開始した。

前年度調査との比較については、地点 1 杉並あきる野線、地点 5 新宿国立線では夜間は 1dB減少、地点 2 府中清瀬線では、昼間は 1dB減少、夜間は 3dB減少、地点 3 恋ヶ窪新田三鷹線では、夜間は 2dB減少、地点 4 府中小平線では昼間夜間ともに 1dB増加した。

表 4.5 過年度調査との比較

地点番号	路線名	調査地点	年度	振動レベル L10 (dB)		過年度調査との比較		要請限度適合状況	
				昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
地点1	杉並あきる野線	関野町1-6付近	平成25年度	50	45	0	△ 1	○	○
			平成26年度	50	45	0	0	○	○
			平成27年度	51	46	1	1	○	○
			平成28年度	49	46	△ 2	0	○	○
			平成29年度	43	38	△ 6	△ 8	○	○
			平成30年度	43	39	0	1	○	○
			令和元年度	42	39	△ 1	0	○	○
			令和2年度	42	38	0	△ 1	○	○
地点2	府中清瀬線	桜町1-5付近	平成25年度	47	43	△ 1	0	○	○
			平成26年度	49	44	2	1	○	○
			平成27年度	50	45	1	1	○	○
			平成28年度	49	45	△ 1	0	○	○
			平成29年度	47	41	△ 2	△ 4	○	○
			平成30年度	50	45	3	4	○	○
			令和元年度	48	44	△ 2	△ 1	○	○
			令和2年度	47	41	△ 1	△ 3	○	○
地点3	恋ヶ窪新田三鷹線	東町2-5付近	平成25年度	47	43	0	△ 1	○	○
			平成26年度	49	44	2	1	○	○
			平成27年度	48	44	△ 1	0	○	○
			平成28年度	48	43	0	△ 1	○	○
			平成29年度	47	41	△ 1	△ 2	○	○
			平成30年度	48	42	1	1	○	○
			令和元年度	47	43	△ 1	1	○	○
			令和2年度	47	41	0	△ 2	○	○
地点4	府中小平線	貫井南町2-9付近	平成25年度	41	39	0	△ 1	○	○
			平成26年度	42	40	1	1	○	○
			平成27年度	42	40	0	0	○	○
			平成28年度	42	40	0	0	○	○
			平成29年度	43	40	1	0	○	○
			平成30年度	42	38	△ 1	△ 2	○	○
			令和元年度	42	39	0	1	○	○
			令和2年度	43	40	1	1	○	○
地点5	新宿国立線	前原町4-16付近	平成25年度	49	42	3	1	○	○
			平成26年度	42	36	△ 7	△ 6	○	○
			平成27年度	47	41	5	5	○	○
			平成28年度	46	41	△ 1	0	○	○
			平成29年度	44	38	△ 2	△ 3	○	○
			平成30年度	46	40	2	2	○	○
			令和元年度	44	39	△ 2	△ 1	○	○
			令和2年度	44	38	0	△ 1	○	○
地点6	府中小金井線	中町2-21付近	令和2年度	40	32	-	-	○	○

※ 昼間は8:00～19:00、夜間は19:00～8:00

※※ 適合状況の○は測定結果が基準以下であったことを、×は基準を超過したことを示す。

※※※ 地点番号2の平成26年度までの測定地点は、小金井市前原町5-14付近

地点番号3の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m東へ移動

地点番号5の平成26年度測定地点は、工事のため測定位置を約50m西へ移動

地点番号1の平成29年度測定結果の低減は、平成29年3月に舗装工事を実施した効果と思われる。

地点番号6は令和2年度から測定開始した。

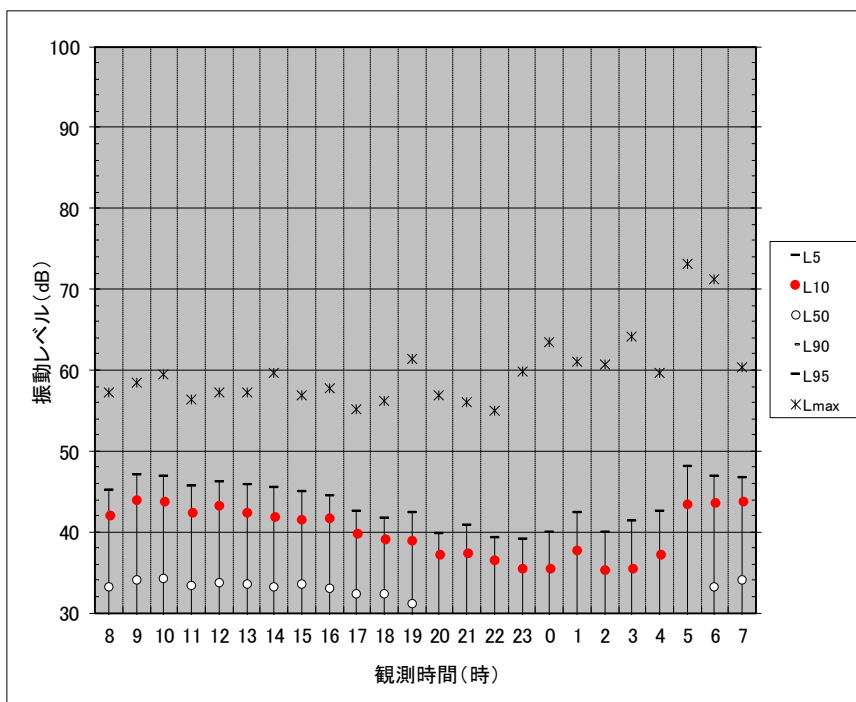
表 4.6(1) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点1 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00

路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>	
昼間	8:00~9:00	65	45	<b>42</b>	33	25	23	57
	9:00~10:00		47	<b>44</b>	34	26	24	58
	10:00~11:00		47	<b>44</b>	34	25	24	59
	11:00~12:00		46	<b>43</b>	33	24	22	56
	12:00~13:00		46	<b>43</b>	34	25	23	57
	13:00~14:00		46	<b>43</b>	34	25	23	57
	14:00~15:00		45	<b>42</b>	33	24	22	60
	15:00~16:00		45	<b>42</b>	34	24	22	57
	16:00~17:00		45	<b>42</b>	33	25	23	58
	17:00~18:00		43	<b>40</b>	32	23	20	55
18:00~19:00	42	<b>39</b>	32	23	21	56		
夜間	19:00~20:00	60	42	<b>39</b>	31	20	18	61
	20:00~21:00		40	<b>37</b>	28	18	17	57
	21:00~22:00		41	<b>37</b>	27	16	15	56
	22:00~23:00		39	<b>37</b>	27	22	21	55
	23:00~0:00		39	<b>36</b>	26	23	23	60
	0:00~1:00		40	<b>36</b>	24	20	20	63
	1:00~2:00		42	<b>38</b>	25	19	18	61
	2:00~3:00		40	<b>35</b>	17	13	12	61
	3:00~4:00		41	<b>36</b>	17	12	12	64
	4:00~5:00		43	<b>37</b>	20	17	17	60
5:00~6:00	48	<b>43</b>	27	18	17	73		
6:00~7:00	47	<b>44</b>	33	22	20	71		
7:00~8:00	47	<b>44</b>	34	25	24	60		
基準時間帯 平均値・最大値	昼間	65	45	<b>42</b>	33	24	22	57
	夜間	60	42	<b>38</b>	26	19	18	62

※ 基準時間帯平均値は、等価振動レベルはエネルギー平均値、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点1 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00

路線名: 杉並あきる野線 関野町1-6付近

図 4.2(1) 観測時間別の振動レベル調査結果

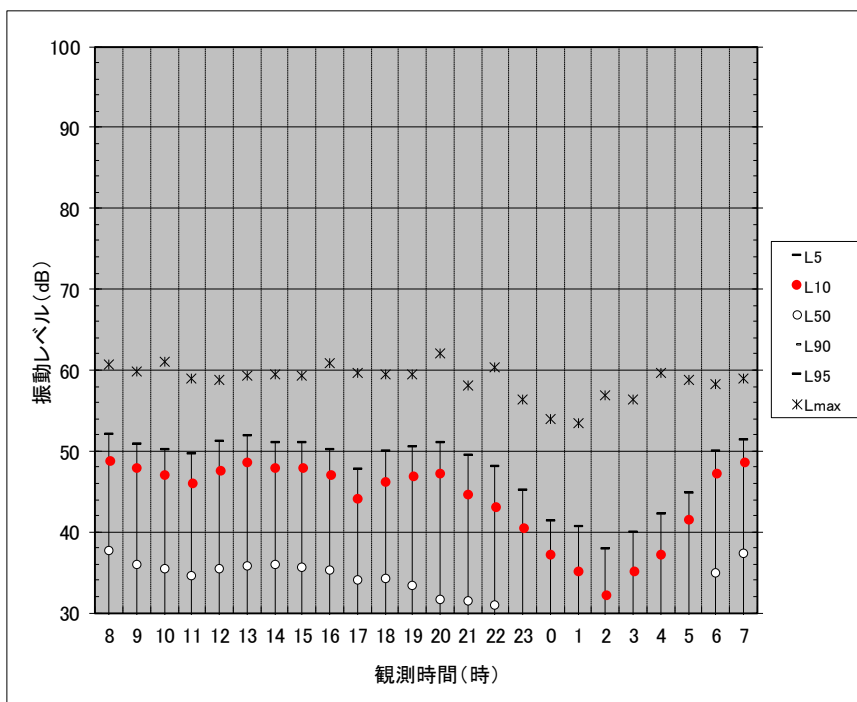
表 4.6(2) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点2 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00

路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>	
昼間	8:00~9:00	65	52	<b>49</b>	38	29	27	61
	9:00~10:00		51	<b>48</b>	36	27	25	60
	10:00~11:00		50	<b>47</b>	36	26	23	61
	11:00~12:00		50	<b>46</b>	35	26	24	59
	12:00~13:00		51	<b>48</b>	35	27	25	59
	13:00~14:00		52	<b>49</b>	36	26	24	59
	14:00~15:00		51	<b>48</b>	36	27	25	60
	15:00~16:00		51	<b>48</b>	36	28	26	59
	16:00~17:00		50	<b>47</b>	35	27	25	61
	17:00~18:00		48	<b>44</b>	34	27	25	60
18:00~19:00	50	<b>46</b>	34	26	24	59		
夜間	19:00~20:00	60	51	<b>47</b>	33	21	19	59
	20:00~21:00		51	<b>47</b>	32	21	19	62
	21:00~22:00		49	<b>45</b>	32	23	22	58
	22:00~23:00		48	<b>43</b>	31	25	24	60
	23:00~0:00		45	<b>41</b>	27	17	16	56
	0:00~1:00		41	<b>37</b>	23	15	14	54
	1:00~2:00		41	<b>35</b>	20	13	13	54
	2:00~3:00		38	<b>32</b>	16	12	11	57
	3:00~4:00		40	<b>35</b>	18	13	12	56
	4:00~5:00		42	<b>37</b>	22	17	16	60
5:00~6:00	45	<b>42</b>	28	21	20	59		
6:00~7:00	50	<b>47</b>	35	26	24	58		
7:00~8:00	51	<b>49</b>	37	28	27	59		
基準時間帯 平均値・最大値	昼間	65	51	<b>47</b>	35	27	25	60
	夜間	60	46	<b>41</b>	27	19	18	58

※ 基準時間帯平均値は、等価振動レベルはエネルギー平均値、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点2 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00

路線名: 府中清瀬線 桜町1-5付近

図 4.2(2) 観測時間別の振動レベル調査結果

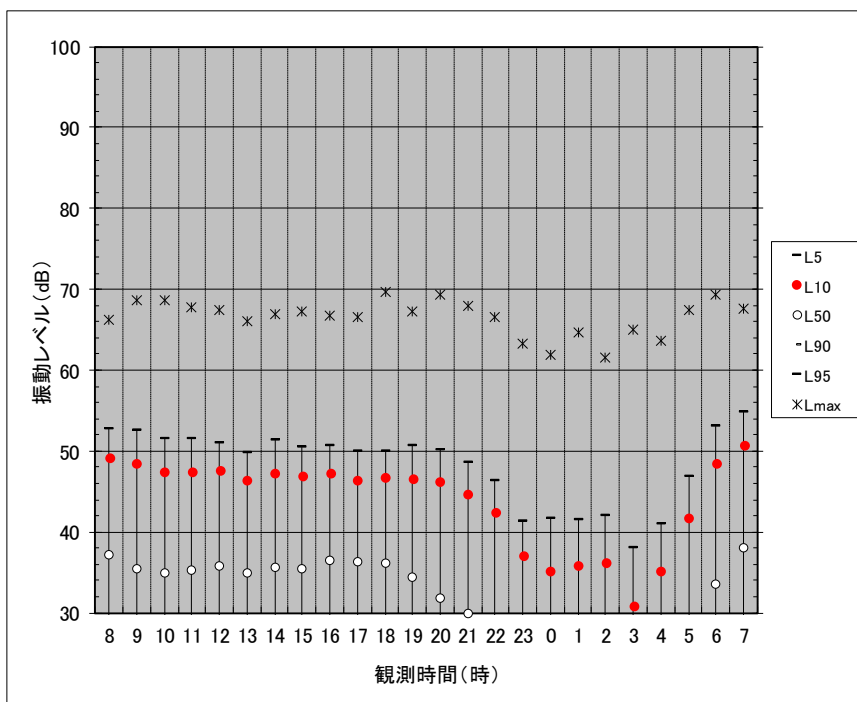
表 4.6(3) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点3 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00

路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>	
昼間	8:00~9:00	65	53	<b>49</b>	37	26	23	66
	9:00~10:00		53	<b>49</b>	36	24	22	69
	10:00~11:00		52	<b>47</b>	35	24	22	69
	11:00~12:00		52	<b>47</b>	35	23	22	68
	12:00~13:00		51	<b>48</b>	36	23	21	67
	13:00~14:00		50	<b>47</b>	35	23	21	66
	14:00~15:00		51	<b>47</b>	36	24	22	67
	15:00~16:00		51	<b>47</b>	36	24	22	67
	16:00~17:00		51	<b>47</b>	37	25	23	67
	17:00~18:00		50	<b>46</b>	36	25	23	67
18:00~19:00	50	<b>47</b>	36	25	22	70		
夜間	19:00~20:00	60	51	<b>47</b>	34	22	20	67
	20:00~21:00		50	<b>46</b>	32	18	16	69
	21:00~22:00		49	<b>45</b>	30	18	16	68
	22:00~23:00		46	<b>43</b>	28	17	15	67
	23:00~0:00		41	<b>37</b>	19	13	13	63
	0:00~1:00		42	<b>35</b>	16	12	11	62
	1:00~2:00		42	<b>36</b>	13	11	10	65
	2:00~3:00		42	<b>36</b>	13	10	10	62
	3:00~4:00		38	<b>31</b>	12	10	10	65
	4:00~5:00		41	<b>35</b>	16	11	11	64
	5:00~6:00		47	<b>42</b>	23	14	13	68
	6:00~7:00		53	<b>49</b>	34	19	17	69
7:00~8:00	55	<b>51</b>	38	25	22	68		
基準時間帯 平均値・最大値	昼間	65	51	<b>47</b>	36	24	22	67
	夜間	60	46	<b>41</b>	24	15	14	66

※ 基準時間帯平均値は、等価振動レベルはエネルギー平均値、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点3 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00

路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線 東町2-5付近

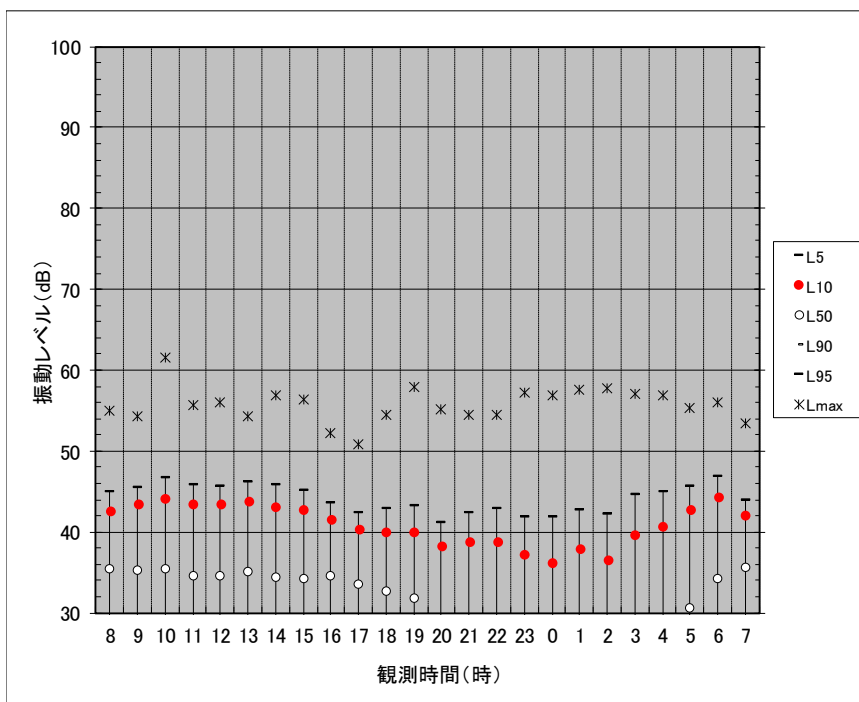
図 4.2(3) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(4) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点4 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>	
昼間	8:00~9:00	65	45	<b>43</b>	35	27	24	55
	9:00~10:00		45	<b>43</b>	35	25	23	54
	10:00~11:00		47	<b>44</b>	36	26	24	62
	11:00~12:00		46	<b>44</b>	35	24	22	56
	12:00~13:00		46	<b>44</b>	35	23	21	56
	13:00~14:00		46	<b>44</b>	35	25	23	54
	14:00~15:00		46	<b>43</b>	34	24	22	57
	15:00~16:00		45	<b>43</b>	34	23	21	56
	16:00~17:00		44	<b>42</b>	35	25	23	52
	17:00~18:00		42	<b>40</b>	34	25	23	51
18:00~19:00	43	<b>40</b>	33	24	22	55		
夜間	19:00~20:00	60	43	<b>40</b>	32	20	19	58
	20:00~21:00		41	<b>38</b>	29	18	17	55
	21:00~22:00		42	<b>39</b>	28	17	16	55
	22:00~23:00		43	<b>39</b>	27	17	16	54
	23:00~0:00		42	<b>37</b>	21	15	14	57
	0:00~1:00		42	<b>36</b>	19	13	13	57
	1:00~2:00		43	<b>38</b>	18	12	12	58
	2:00~3:00		42	<b>37</b>	16	12	11	58
	3:00~4:00		45	<b>40</b>	18	12	11	57
	4:00~5:00		45	<b>41</b>	21	13	13	57
	5:00~6:00		46	<b>43</b>	31	18	17	55
6:00~7:00	47	<b>44</b>	34	23	20	56		
7:00~8:00	44	<b>42</b>	36	28	25	53		
基準時間帯	昼間	65	45	<b>43</b>	35	25	22	55
平均値・最大値	夜間	60	43	<b>40</b>	25	17	16	56

※ 基準時間帯平均値は、等価振動レベルはエネルギー平均値、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点4 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00  
 路線名: 府中小平線 貫井南町2-9付近

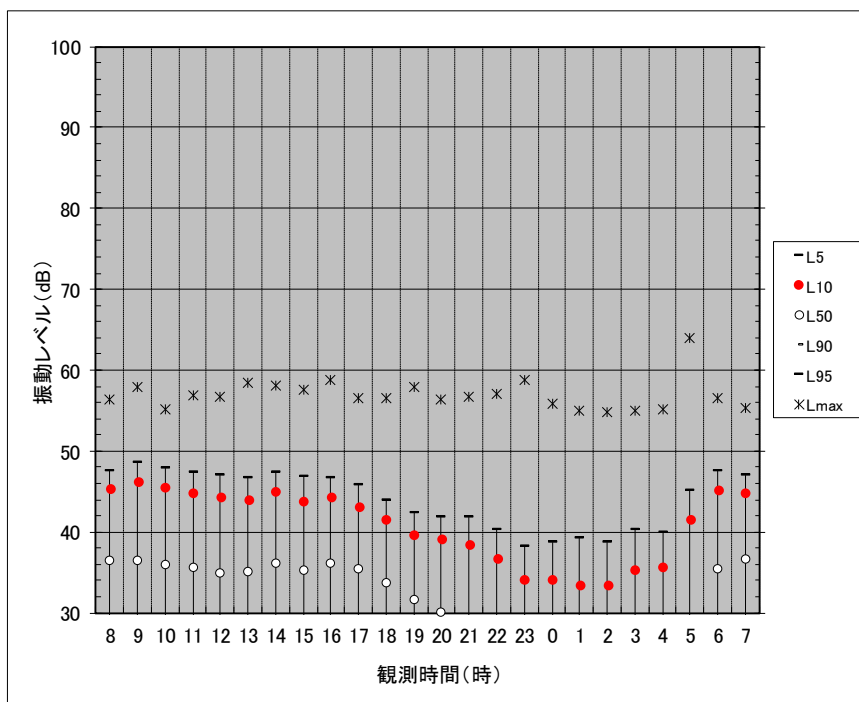
図 4.2(4) 観測時間別の振動レベル調査結果

表 4.6(5) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点5 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>	
昼間	8:00~9:00	65	48	<b>45</b>	37	28	27	56
	9:00~10:00		49	<b>46</b>	37	27	25	58
	10:00~11:00		48	<b>46</b>	36	27	25	55
	11:00~12:00		47	<b>45</b>	36	26	25	57
	12:00~13:00		47	<b>44</b>	35	27	25	57
	13:00~14:00		47	<b>44</b>	35	25	23	58
	14:00~15:00		47	<b>45</b>	36	27	25	58
	15:00~16:00		47	<b>44</b>	35	26	24	58
	16:00~17:00		47	<b>44</b>	36	27	25	59
	17:00~18:00		46	<b>43</b>	35	27	25	57
18:00~19:00	44	<b>42</b>	34	25	23	57		
夜間	19:00~20:00	60	42	<b>40</b>	32	22	20	58
	20:00~21:00		42	<b>39</b>	30	19	17	56
	21:00~22:00		42	<b>39</b>	28	18	16	57
	22:00~23:00		40	<b>37</b>	24	16	15	57
	23:00~0:00		38	<b>34</b>	19	14	14	59
	0:00~1:00		39	<b>34</b>	18	13	12	56
	1:00~2:00		39	<b>34</b>	16	12	11	55
	2:00~3:00		39	<b>33</b>	16	12	11	55
	3:00~4:00		40	<b>35</b>	17	12	12	55
	4:00~5:00		40	<b>36</b>	20	13	12	55
	5:00~6:00		45	<b>42</b>	29	19	17	64
	6:00~7:00		48	<b>45</b>	35	27	25	57
	7:00~8:00		47	<b>45</b>	37	28	27	55
基準時間帯 平均値・最大値	昼間	65	47	<b>44</b>	36	27	25	57
	夜間	60	42	<b>38</b>	25	17	16	57

※ 基準時間帯平均値は、等価振動レベルはエネルギー平均値、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点5 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00  
 路線名: 新宿国立線 前原町4-16付近

図 4.2(5) 観測時間別の振動レベル調査結果

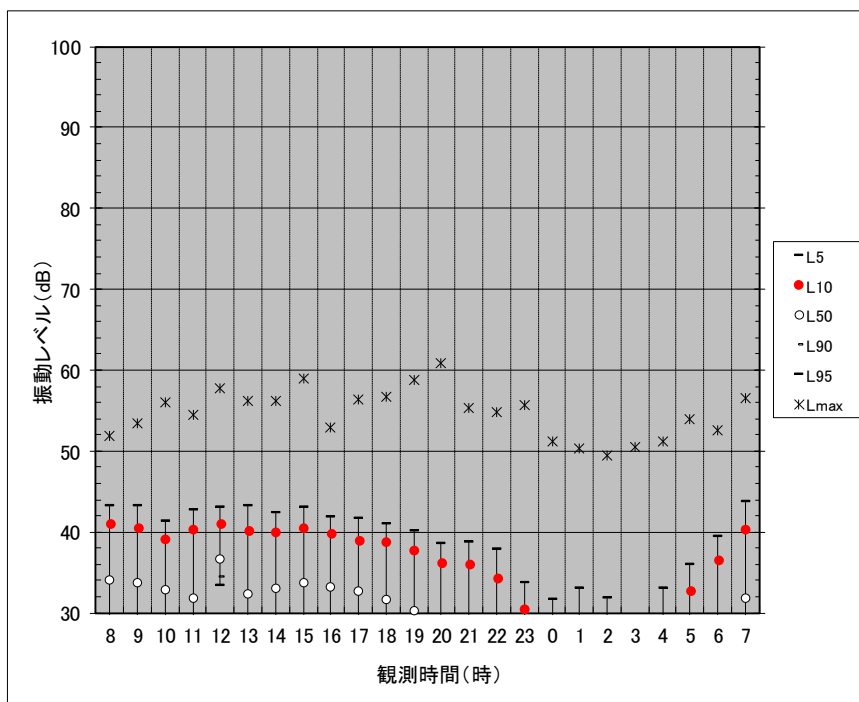


表 4.6(6) 観測時間別の振動レベル調査結果

地点番号: 地点6 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

時間帯	観測時間	環境基準	時間率振動レベル(dB)					振動レベルの最大値(dB)
			L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>	
昼間	8:00~9:00	65	43	<b>41</b>	34	29	28	52
	9:00~10:00		43	<b>41</b>	34	29	28	54
	10:00~11:00		41	<b>39</b>	33	28	27	56
	11:00~12:00		43	<b>40</b>	32	26	24	55
	12:00~13:00		43	<b>41</b>	37	34	33	58
	13:00~14:00		43	<b>40</b>	32	26	25	56
	14:00~15:00		42	<b>40</b>	33	28	28	56
	15:00~16:00		43	<b>41</b>	34	29	28	59
	16:00~17:00		42	<b>40</b>	33	29	28	53
	17:00~18:00		42	<b>39</b>	33	27	26	56
18:00~19:00	41	<b>39</b>	32	26	25	57		
夜間	19:00~20:00	60	40	<b>38</b>	30	25	23	59
	20:00~21:00		39	<b>36</b>	29	23	22	61
	21:00~22:00		39	<b>36</b>	28	22	21	55
	22:00~23:00		38	<b>34</b>	25	22	21	55
	23:00~0:00		34	<b>31</b>	23	20	20	56
	0:00~1:00		32	<b>28</b>	21	20	20	51
	1:00~2:00		33	<b>29</b>	21	20	20	50
	2:00~3:00		32	<b>28</b>	22	20	20	49
	3:00~4:00		27	<b>23</b>	20	20	19	51
	4:00~5:00		33	<b>29</b>	21	20	20	51
5:00~6:00	36	<b>33</b>	23	21	21	54		
6:00~7:00	39	<b>37</b>	28	23	22	53		
7:00~8:00	44	<b>40</b>	32	26	25	57		
基準時間帯 平均値・最大値	昼間	65	42	<b>40</b>	33	28	27	56
	夜間	60	36	<b>32</b>	25	22	21	54

※ 基準時間帯平均値は、等価振動レベルはエネルギー平均値、時間率振動レベルは算術平均値。



地点番号: 地点6 調査日: 令和2年12月1日(火) 13:00~12月2日(水) 13:00  
 路線名: 府中小金井線 中町2-21付近

図 4.2(6) 観測時間別の振動レベル調査結果

### 4.3 交通量の調査結果

交通量の調査結果一覧を表 4.7 に、観測時間別交通量を表 4.8(1)~(6)に示す。

交通量が最も多かった路線は地点 5 新宿国立線で、1 日換算交通量は 28,080 台/日であった。

交通量が最も少なかった路線は地点 6 府中小金井線で、1 日換算交通量は 6,312 台/日であった。

表 4.7 交通量の調査結果一覧

地点 番号	路線名	調査地点	時間 区分	換算断面交通量(台/日)					大型車 混入率 (%)
				大型車Ⅰ	大型車Ⅱ	小型車	二輪車	合計	
1	杉並あきる野線 (五日市街道)	関野町1-6付近	昼間	186	918	10,176	492	11,772	9.8
			夜間	0	198	1,080	78	1,356	15.5
			一日	186	1,116	11,256	570	13,128	10.4
2	府中清瀬線 (小金井街道)	桜町1-5付近	昼間	750	984	8,508	480	10,722	16.9
			夜間	72	222	1,044	72	1,410	22
			一日	822	1,206	9,552	552	12,132	17.5
3	恋ヶ窪新田三鷹線 (連雀通り)	東町2-5付近	昼間	228	492	6,906	450	8,076	9.4
			夜間	12	78	678	108	876	11.7
			一日	240	570	7,584	558	8,952	9.6
4	府中小平線 (新小金井街道)	貫井南町2-9付近	昼間	864	1,770	15,834	906	19,374	14.3
			夜間	306	300	1,302	78	1,986	31.8
			一日	1,170	2,070	17,136	984	21,360	15.9
5	新宿国立線 (東八道路)	前原町4-16付近	昼間	546	1,722	22,038	1,254	25,560	9.3
			夜間	78	306	2,010	126	2,520	16
			一日	624	2,028	24,048	1,380	28,080	9.9
6	府中小金井線 (東大通り)	中町2-21付近	昼間	30	414	5,040	402	5,886	8.1
			夜間	0	42	342	42	426	10.9
			一日	30	456	5,382	444	6,312	8.3

注) 換算断面交通量は、10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値から算出した。

大型車混入率には二輪車交通量を含まない。

表 4.8(1) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号: 1

調査地点: 小金井市関野町1-6付近

路線名: 杉並あきる野線(五日市街道)

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~12月2日(水)13:00

路線番号: 7

時間区分	観測時間	騒音測定側(上り)					騒音測定反対側(下り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	13:00~14:00	6	6	258	12	282	6	12	348	6	372	12	18	606	18	654
	14:00~15:00	6	18	294	6	324	18	18	300	30	366	24	36	594	36	690
	15:00~16:00	6	18	366	0	390	18	12	396	6	432	24	30	762	6	822
	16:00~17:00	0	6	408	24	438	6	42	384	12	444	6	48	792	36	882
	17:00~18:00	6	12	432	18	468	0	24	354	12	390	6	36	786	30	858
	18:00~19:00	0	6	288	24	318	12	30	366	30	438	12	36	654	54	756
	19:00~20:00	0	18	294	24	336	6	36	402	12	456	6	54	696	36	792
	20:00~21:00	6	6	180	12	204	0	6	354	30	390	6	12	534	42	594
	21:00~22:00	0	18	234	12	264	0	6	198	18	222	0	24	432	30	486
夜間	22:00~23:00	0	6	96	12	114	0	6	198	12	216	0	12	294	24	330
	23:00~0:00	0	0	60	0	60	0	6	102	24	132	0	6	162	24	192
	0:00~1:00	0	6	66	6	78	0	12	60	6	78	0	18	126	12	156
	1:00~2:00	0	24	60	0	84	0	24	48	12	84	0	48	108	12	168
	2:00~3:00	0	6	48	0	54	0	12	72	0	84	0	18	120	0	138
	3:00~4:00	0	24	54	0	78	0	6	30	0	36	0	30	84	0	114
	4:00~5:00	0	6	66	0	72	0	12	24	6	42	0	18	90	6	114
	5:00~6:00	0	18	54	0	72	0	30	42	0	72	0	48	96	0	144
昼間	6:00~7:00	6	72	342	12	432	0	42	102	0	144	6	114	444	12	576
	7:00~8:00	12	42	414	30	498	0	36	360	24	420	12	78	774	54	918
	8:00~9:00	12	30	264	48	354	0	18	300	12	330	12	48	564	60	684
	9:00~10:00	0	30	228	0	258	6	42	288	6	342	6	72	516	6	600
	10:00~11:00	0	42	234	6	282	6	78	420	6	510	6	120	654	12	792
	11:00~12:00	18	60	348	18	444	6	42	366	6	420	24	102	714	24	864
	12:00~13:00	12	42	342	24	420	12	48	312	12	384	24	90	654	36	804
合計	昼間	90	426	4,926	270	5,712	96	492	5,250	222	6,060	186	918	10,176	492	11,772
	夜間	0	90	504	18	612	0	108	576	60	744	0	198	1,080	78	1,356
	一日	90	516	5,430	288	6,324	96	600	5,826	282	6,804	186	1,116	11,256	570	13,128

注) 交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(2) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号: 2

調査地点: 小金井市桜町1-5付近

路線名: 府中清瀬線(小金井街道)

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~12月2日(水)13:00

路線番号: 15

時間区分	観測時間	騒音測定側(上り)					騒音測定反対側(下り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	13:00~14:00	18	30	246	6	300	24	24	330	12	390	42	54	576	18	690
	14:00~15:00	30	18	258	18	324	30	36	294	12	372	60	54	552	30	696
	15:00~16:00	30	18	300	18	366	24	24	258	24	330	54	42	558	42	696
	16:00~17:00	12	18	318	0	348	30	48	336	6	420	42	66	654	6	768
	17:00~18:00	18	18	330	24	390	18	36	372	30	456	36	54	702	54	846
	18:00~19:00	42	6	258	12	318	6	6	396	12	420	48	12	654	24	738
	19:00~20:00	12	18	270	12	312	24	24	228	18	294	36	42	498	30	606
	20:00~21:00	30	12	198	12	252	30	24	120	24	198	60	36	318	36	450
21:00~22:00	18	18	204	6	246	24	12	222	6	264	42	30	426	12	510	
夜間	22:00~23:00	24	12	174	0	210	18	30	84	12	144	42	42	258	12	354
	23:00~0:00	18	24	78	6	126	12	12	90	6	120	30	36	168	12	246
	0:00~1:00	0	6	90	6	102	0	30	60	6	96	0	36	150	12	198
	1:00~2:00	0	12	54	6	72	0	12	60	6	78	0	24	114	12	150
	2:00~3:00	0	0	30	0	30	0	6	18	6	30	0	6	48	6	60
	3:00~4:00	0	0	30	0	30	0	6	36	0	42	0	6	66	0	72
	4:00~5:00	0	18	30	12	60	0	12	42	0	54	0	30	72	12	114
	5:00~6:00	0	24	132	0	156	0	18	36	6	60	0	42	168	6	216
昼間	6:00~7:00	30	48	324	18	420	0	18	180	12	210	30	66	504	30	630
	7:00~8:00	24	6	258	30	318	36	48	222	48	354	60	54	480	78	672
	8:00~9:00	30	30	318	12	390	24	24	276	24	348	54	54	594	36	738
	9:00~10:00	42	66	180	12	300	30	84	240	12	366	72	150	420	24	666
	10:00~11:00	12	42	372	24	450	18	78	192	0	288	30	120	564	24	738
	11:00~12:00	0	54	258	6	318	30	48	276	6	360	30	102	534	12	678
	12:00~13:00	36	30	222	12	300	18	18	252	12	300	54	48	474	24	600
合計	昼間	384	432	4,314	222	5,352	366	552	4,194	258	5,370	750	984	8,508	480	10,722
	夜間	42	96	618	30	786	30	126	426	42	624	72	222	1,044	72	1,410
	一日	426	528	4,932	252	6,138	396	678	4,620	300	5,994	822	1,206	9,552	552	12,132

注) 交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(3) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号: 3

調査地点: 小金井市東町2-5付近

路線名: 恋ヶ窪新田三鷹線(連雀通り)

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~12月2日(水)13:00

路線番号: 124

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	13:00~14:00	0	24	120	6	150	6	0	204	12	222	6	24	324	18	372
	14:00~15:00	6	54	228	6	294	12	18	252	12	294	18	72	480	18	588
	15:00~16:00	12	12	138	12	174	6	18	252	6	282	18	30	390	18	456
	16:00~17:00	6	30	246	12	294	6	6	270	6	288	12	36	516	18	582
	17:00~18:00	6	18	294	36	354	6	12	270	18	306	12	30	564	54	660
	18:00~19:00	0	12	216	12	240	0	18	378	24	420	0	30	594	36	660
	19:00~20:00	6	6	210	6	228	0	12	258	30	300	6	18	468	36	528
	20:00~21:00	0	6	150	0	156	12	0	246	30	288	12	6	396	30	444
21:00~22:00	0	0	108	12	120	12	6	126	6	150	12	6	234	18	270	
夜間	22:00~23:00	0	0	60	18	78	6	0	144	48	198	6	0	204	66	276
	23:00~0:00	0	6	18	6	30	6	6	78	6	96	6	12	96	12	126
	0:00~1:00	0	6	36	0	42	0	0	30	6	36	0	6	66	6	78
	1:00~2:00	0	0	30	0	30	0	6	30	12	48	0	6	60	12	78
	2:00~3:00	0	12	48	0	60	0	6	36	0	42	0	18	84	0	102
	3:00~4:00	0	0	36	6	42	0	6	12	0	18	0	6	48	6	60
	4:00~5:00	0	6	36	0	42	0	18	0	0	18	0	24	36	0	60
	5:00~6:00	0	6	42	0	48	0	0	42	6	48	0	6	84	6	96
昼間	6:00~7:00	6	0	156	12	174	12	6	72	0	90	18	6	228	12	264
	7:00~8:00	36	6	384	18	444	6	0	126	24	156	42	6	510	42	600
	8:00~9:00	30	30	342	36	438	0	30	204	18	252	30	60	546	54	690
	9:00~10:00	12	0	204	6	222	12	24	150	12	198	24	24	354	18	420
	10:00~11:00	6	30	210	18	264	6	30	240	18	294	12	60	450	36	558
	11:00~12:00	6	36	192	0	234	0	18	222	12	252	6	54	414	12	486
	12:00~13:00	0	12	228	18	258	0	18	210	12	240	0	30	438	30	498
合計	昼間	132	276	3,426	210	4,044	96	216	3,480	240	4,032	228	492	6,906	450	8,076
	夜間	0	36	306	30	372	12	42	372	78	504	12	78	678	108	876
	一日	132	312	3,732	240	4,416	108	258	3,852	318	4,536	240	570	7,584	558	8,952

注) 交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(4) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号: 4

調査地点: 小金井市貫井南町2-9付近

路線名: 府中小平線(新小金井街道)

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~12月2日(水)13:00

路線番号: 248

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	13:00~14:00	12	90	528	24	654	42	54	492	24	612	54	144	1,020	48	1,266
	14:00~15:00	24	84	462	24	594	36	90	576	18	720	60	174	1,038	42	1,314
	15:00~16:00	18	24	600	24	666	18	66	570	18	672	36	90	1,170	42	1,338
	16:00~17:00	30	54	558	54	696	18	60	456	18	552	48	114	1,014	72	1,248
	17:00~18:00	24	30	600	54	708	12	72	588	18	690	36	102	1,188	72	1,398
	18:00~19:00	12	18	432	48	510	24	60	654	24	762	36	78	1,086	72	1,272
	19:00~20:00	0	36	468	54	558	12	12	522	12	558	12	48	990	66	1,116
	20:00~21:00	12	6	474	6	498	12	0	516	18	546	24	6	990	24	1,044
21:00~22:00	12	12	348	12	384	12	12	270	18	312	24	24	618	30	696	
夜間	22:00~23:00	6	0	234	18	258	18	18	204	24	264	24	18	438	42	522
	23:00~0:00	6	6	78	6	96	12	30	84	6	132	18	36	162	12	228
	0:00~1:00	6	12	72	0	90	18	6	66	12	102	24	18	138	12	192
	1:00~2:00	18	18	60	6	102	6	12	48	6	72	24	30	108	12	174
	2:00~3:00	12	24	42	0	78	60	18	66	0	144	72	42	108	0	222
	3:00~4:00	12	18	42	0	72	30	30	30	0	90	42	48	72	0	162
	4:00~5:00	6	30	36	0	72	42	42	78	0	162	48	72	114	0	234
	5:00~6:00	12	6	42	0	60	42	30	120	0	192	54	36	162	0	252
昼間	6:00~7:00	24	66	240	12	342	66	84	408	6	564	90	150	648	18	906
	7:00~8:00	36	72	462	30	600	42	60	528	48	678	78	132	990	78	1,278
	8:00~9:00	48	60	630	78	816	30	84	498	102	714	78	144	1,128	180	1,530
	9:00~10:00	30	84	432	24	570	24	84	534	24	666	54	168	966	48	1,236
	10:00~11:00	42	48	438	6	534	36	78	612	54	780	78	126	1,050	60	1,314
	11:00~12:00	30	78	480	12	600	42	60	432	36	570	72	138	912	48	1,170
	12:00~13:00	24	60	510	0	594	60	72	516	6	654	84	132	1,026	6	1,248
合計	昼間	378	822	7,662	462	9,324	486	948	8,172	444	10,050	864	1,770	15,834	906	19,374
	夜間	78	114	606	30	828	228	186	696	48	1,158	306	300	1,302	78	1,986
	一日	456	936	8,268	492	10,152	714	1,134	8,868	492	11,208	1,170	2,070	17,136	984	21,360

注) 交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(5) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号: 5

調査地点: 小金井市前原町4-16付近

路線名: 新宿国立線(東八道路)

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~12月2日(水)13:00

路線番号: 14

時間区分	観測時間	騒音測定側(上り)					騒音測定反対側(下り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型車	二輪車	合計
昼間	13:00~14:00	0	54	750	42	846	18	54	654	18	744	18	108	1,404	60	1,590
	14:00~15:00	18	42	678	30	768	30	72	1,038	54	1,194	48	114	1,716	84	1,962
	15:00~16:00	30	96	678	48	852	6	24	720	36	786	36	120	1,398	84	1,638
	16:00~17:00	12	30	570	24	636	24	42	840	36	942	36	72	1,410	60	1,578
	17:00~18:00	18	36	726	30	810	6	30	858	78	972	24	66	1,584	108	1,782
	18:00~19:00	6	18	678	48	750	6	24	894	126	1,050	12	42	1,572	174	1,800
	19:00~20:00	0	6	582	24	612	6	42	864	66	978	6	48	1,446	90	1,590
	20:00~21:00	0	12	414	12	438	6	12	474	42	534	6	24	888	54	972
夜間	21:00~22:00	0	42	384	36	462	18	18	546	18	600	18	60	930	54	1,062
	22:00~23:00	0	6	240	6	252	0	30	288	48	366	0	36	528	54	618
	23:00~0:00	24	12	150	12	198	18	12	174	6	210	42	24	324	18	408
	0:00~1:00	0	36	108	0	144	6	6	90	18	120	6	42	198	18	264
	1:00~2:00	0	18	84	6	108	0	30	60	0	90	0	48	144	6	198
	2:00~3:00	0	12	42	6	60	6	30	72	0	108	6	42	114	6	168
	3:00~4:00	0	0	60	0	60	0	24	60	6	90	0	24	120	6	150
	4:00~5:00	0	18	108	0	126	0	24	72	0	96	0	42	180	0	222
昼間	5:00~6:00	18	18	300	12	348	6	30	102	6	144	24	48	402	18	492
	6:00~7:00	36	66	768	18	888	18	60	276	6	360	54	126	1,044	24	1,248
	7:00~8:00	18	66	984	72	1,140	30	120	456	24	630	48	186	1,440	96	1,770
	8:00~9:00	36	60	1,062	114	1,272	30	78	744	60	912	66	138	1,806	174	2,184
	9:00~10:00	48	84	852	48	1,032	18	84	528	12	642	66	168	1,380	60	1,674
	10:00~11:00	12	126	666	48	852	18	78	510	18	624	30	204	1,176	66	1,476
	11:00~12:00	6	60	720	30	816	18	48	600	18	684	24	108	1,320	48	1,500
合計	12:00~13:00	42	84	792	12	930	12	54	732	6	804	54	138	1,524	18	1,734
	昼間	282	882	11,304	636	13,104	264	840	10,734	618	12,456	546	1,722	22,038	1,254	25,560
	夜間	42	120	1,092	42	1,296	36	186	918	84	1,224	78	306	2,010	126	2,520
一日	324	1,002	12,396	678	14,400	300	1,026	11,652	702	13,680	624	2,028	24,048	1,380	28,080	

注) 交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。

表 4.8(6) 観測時間別の交通量調査結果

地点番号: 6

調査地点: 小金井市中町2-21付近

路線名: 府中小金井線(東大通り)

調査日時: 令和2年12月1日(火)13:00 ~12月2日(水)13:00

路線番号: 247

時間区分	観測時間	騒音測定側(下り)					騒音測定反対側(上り)					断面合計				
		交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)					交通量(台/1時間)				
		大型 I	大型 II	小型車	二輪車	合計	大型 I	大型 II	小型車	二輪車	合計	大型 I	大型 II	小型車	二輪車	合計
昼間	13:00~14:00	0	18	114	6	138	0	12	150	12	174	0	30	264	18	312
	14:00~15:00	0	18	192	18	228	6	12	108	24	150	6	30	300	42	378
	15:00~16:00	0	24	168	12	204	0	18	156	12	186	0	42	324	24	390
	16:00~17:00	0	24	174	18	216	0	12	210	6	228	0	36	384	24	444
	17:00~18:00	0	6	210	12	228	0	12	180	0	192	0	18	390	12	420
	18:00~19:00	0	6	198	18	222	0	12	240	24	276	0	18	438	42	498
	19:00~20:00	6	6	156	12	180	0	6	168	30	204	6	12	324	42	384
	20:00~21:00	0	0	126	18	144	6	0	138	12	156	6	0	264	30	300
21:00~22:00	0	0	96	12	108	0	0	72	18	90	0	0	168	30	198	
夜間	22:00~23:00	0	0	66	6	72	0	0	48	12	60	0	0	114	18	132
	23:00~0:00	0	0	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	48	0	48
	0:00~1:00	0	6	42	0	48	0	0	18	0	18	0	6	60	0	66
	1:00~2:00	0	18	0	6	24	0	6	6	0	12	0	24	6	6	36
	2:00~3:00	0	0	18	0	18	0	0	12	0	12	0	0	30	0	30
	3:00~4:00	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0	0	6	0	6
	4:00~5:00	0	0	12	12	24	0	12	30	0	42	0	12	42	12	66
	5:00~6:00	0	0	18	6	24	0	0	18	0	18	0	0	36	6	42
昼間	6:00~7:00	0	12	66	0	78	0	6	60	12	78	0	18	126	12	156
	7:00~8:00	0	24	126	0	150	0	12	162	6	180	0	36	288	6	330
	8:00~9:00	0	30	138	12	180	0	18	198	18	234	0	48	336	30	414
	9:00~10:00	0	18	210	6	234	0	18	114	18	150	0	36	324	24	384
	10:00~11:00	0	12	162	0	174	0	12	192	0	204	0	24	354	0	378
	11:00~12:00	0	30	216	30	276	0	12	240	24	276	0	42	456	54	552
	12:00~13:00	6	6	150	6	168	6	18	150	6	180	12	24	300	12	348
合計	昼間	12	234	2,502	180	2,928	18	180	2,538	222	2,958	30	414	5,040	402	5,886
	夜間	0	24	180	30	234	0	18	162	12	192	0	42	342	42	426
	一日	12	258	2,682	210	3,162	18	198	2,700	234	3,150	30	456	5,382	444	6,312

注) 交通量は10分間観測値を6倍して1時間交通量に換算した値を示す。



# 大気質調査委託報告書

令和2年度

小 金 井 市

## 目 次

1 件名 .....	1
2 調査概要 .....	1
2-1 調査目的 .....	1
2-2 調査期間 .....	1
2-3 調査地点 .....	1
2-4 調査方法 .....	4
3 調査結果 .....	5
3-1 二酸化窒素 .....	5
3-2 浮遊粒子状物質 .....	10
3-3 調査期間中の気象条件 .....	11
4 添付資料	
4-1 二酸化窒素データ .....	14
4-2 浮遊粒子状物質データ .....	17
4-3 環境基準について .....	21
4-4 二酸化窒素と浮遊粒子状物質について .....	24

## 1 件名

大気質調査委託

## 2 調査概要

### 2-1 調査目的

自動車排気ガスが主な原因である二酸化窒素濃度を住宅地や交差点で測定するとともに、大気中の浮遊粒子状物質を調査して、公害行政の基礎資料とする。

### 2-2 調査期間

#### (1) 二酸化窒素

設置日：令和3年2月16日（火）

回収日：令和3年2月18日（木）

※ フィルターバッジの構造上、設置した時点で曝露が開始されるため、設置から回収までのトータル72時間を調査期間とした。

#### (2) 浮遊粒子状物質

設置日：令和3年2月16日（火）

調査期間：令和3年2月16日（火）0時～令和3年2月18日（木）24時

撤収日：令和3年2月18日（木）

### 2-3 調査地点

#### (1) 二酸化窒素

調査地点は、住宅地域31地点、交差点・沿道地域19地点の計50地点で行った。

調査地点一覧表を表1に、調査地点図を図1にそれぞれ示した。

#### (2) 浮遊粒子状物質

調査地点は、武蔵小金井駅前交番、新小金井交番の2地点で行った。

調査地点一覧表を表2に、調査地点図を図1にそれぞれ示した。

表1 調査地点一覧表（二酸化窒素）

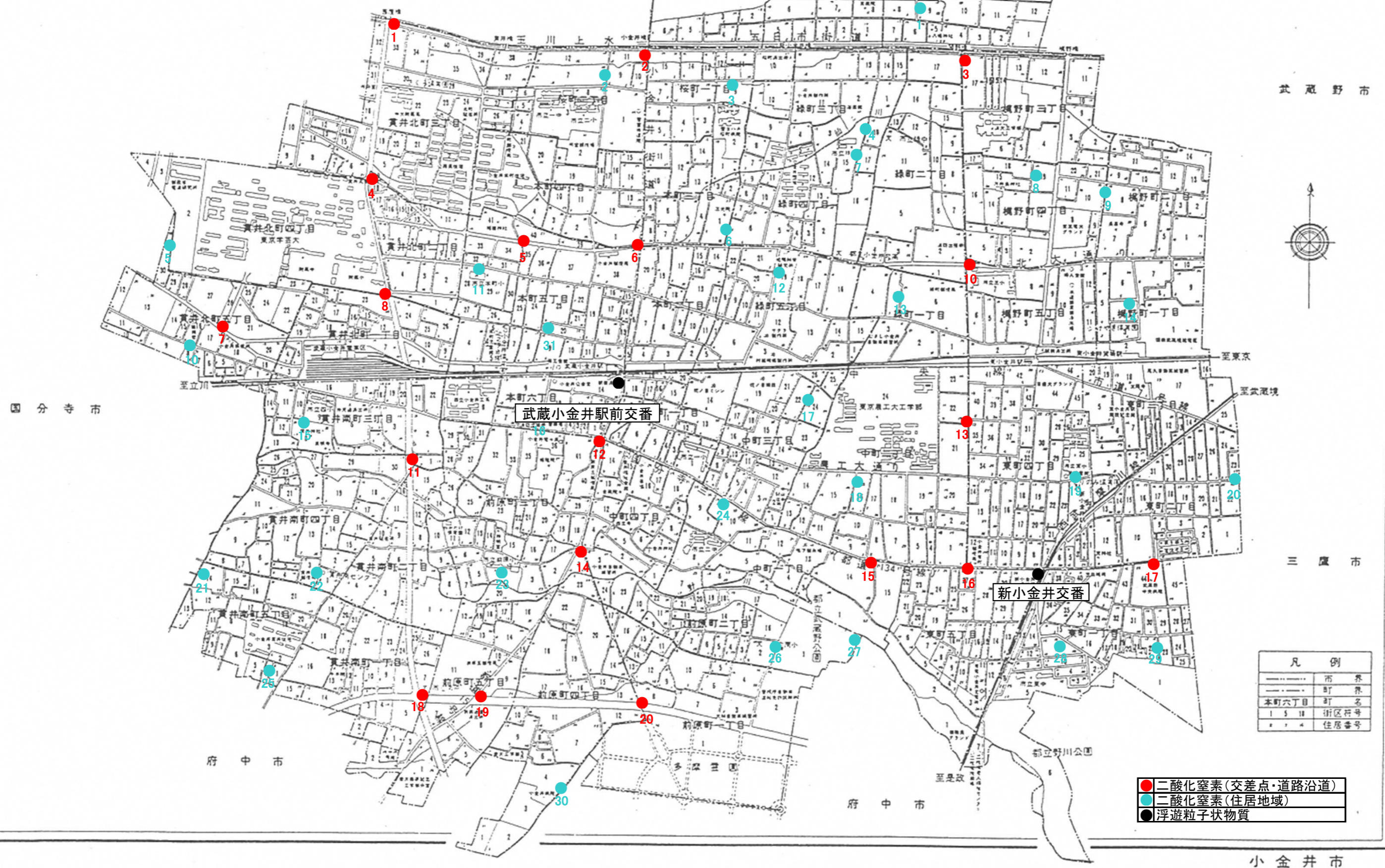
住宅地域		交差点・沿道地域	
調査地点番号	調査地点	調査地点番号	調査地点
住-01	総合体育館	道-01	茜屋橋交差点
住-02	桜町2-7	道-02	小金井橋交差点
住-03	桜町1-9	道-03	関野橋交差点
住-04	浴恩館	道-04	学芸大角交差点
住-05	貫井北町5-30	道-05	稲穂神社前交差点
住-06	本町3-1	道-06	本町二丁目交差点
住-07	市立緑小学校	道-07	貫井北町5-26
住-08	梶野町4-19	道-08	貫井北町4-1
住-09	梶野会館	道-10	小金井三小角交差点
住-10	貫井北町5-8	道-11	貫井トンネル南交差点
住-11	市立本町小学校	道-12	前原坂上交差点
住-12	緑町5-19	道-13	中町2-22
住-13	緑町1-5	道-14	前原坂下交差点
住-14	梶野町1-4	道-15	中町1-14
住-15	貫井南町3-8	道-16	東町四丁目西交差点
住-16	小金井市庁舎	道-17	東町1-44
住-17	中町3-22	道-18	南中西交差点
住-18	中町2-16	道-19	前原交番前交差点
住-19	市立東小学校	道-20	前原一丁目交差点
住-20	東町2-23		
住-21	貫井南町5-14		
住-22	貫井南センター		
住-23	市立前原小学校		
住-24	中町1-10		
住-25	貫井南町5-4		
住-26	市立南小学校		
住-27	都立武蔵野公園		
住-28	東町1-11		
住-29	東町1-22		
住-30	前原町4-4		
住-31	本町5-23		

表2 調査地点一覧表（浮遊粒子状物質）

調査地点	所在地	調査地点の概要
武蔵小金井駅前交番	本町 6-14-40	道路沿道
新小金井交番	東町 5-31-27	道路沿道

# 小金井市全図

小平市



武蔵野市



三鷹市

凡例	
———	市界
---	町界
本町六丁目	町名
1 5 18	街区番号
●	住居番号

- 二酸化窒素(交差点・道路沿道)
- 二酸化窒素(住居地域)
- 浮遊粒子状物質

小金井市

図1 調査地点図

## 2-4 調査方法

### (1) 二酸化窒素

簡易測定法による二酸化窒素の測定を行った。測定には東洋濾紙株式会社製のフィルターバッジ NO<sub>2</sub>を用いた。詳細を表3に示した。なお、この測定方法は公定法ではないが、多地点の同時測定を安価に行うことが可能であり、一般的に用いられる簡易な測定方法のひとつである。

### (2) 浮遊粒子状物質

ベータ線吸収法を用いた自動測定機による測定を行った。測定機器は紀本電子工業株式会社製の浮遊粒子状物質測定装置 (SPM-613) を使用した。詳細を表3に示した。

表3 測定機器等一覧

	二酸化窒素	浮遊粒子状物質
メーカー名	東洋濾紙株式会社	紀本電子工業株式会社
型式など	フィルターバッジ NO <sub>2</sub>	SPM-613
測定原理	吸光度法 (測定波長: 545nm)	JIS B 7954 (ベータ線吸収法)
測定範囲	最低感度 66 ppb (1時間暴露)	0~0.5mg/m <sup>3</sup>
測定精度	±30%以内 (風速 0~4m/s、 湿度 40~80%)	±10 μg/m <sup>3</sup> 以内 (≦100 μg/m <sup>3</sup> ) ±10%以内 (≧100 μg/m <sup>3</sup> )
試料採取法など	パッシブサンプラーによる 大気中暴露 (設計暴露時間は 24 時間以 上 1 週間以下)	ろ過式捕集 (ガラス繊維ろ紙) 分粒方法: サイクロン方式 (10 μm 以上カット) 吸引流量: 18L/min

### 3. 調査結果

#### 3-1 二酸化窒素

##### (1) 令和2年度測定結果

二酸化窒素の測定結果を添付資料4-1に示した。また、得られた測定結果を基に、今年度の最大値、最小値、平均値を表4にまとめた。

全ての調査地点において、環境基準値\*1を下回っていた。

住宅地域については、最大値が「住-05 貫井北町 5-30」の0.008 ppm、最小値が「住-01 総合体育館」「住-07 市立緑小学校」「住-08 梶野町 4-19」「住-28 東町 1-11」の0.004ppmであった。また、住宅地域31地点の平均値は0.006ppmであった。

交差点・沿道地域については、最大値が「道-04 学芸大角交差点」「道-18 南中西交差点」の0.015ppm、最小値が「道-05 稲穂神社前交差点」の0.006ppmであった。また、交差点・沿道地域19地点の平均値は0.010ppmであった。

表4 二酸化窒素の測定結果

単位：ppm

	最大値	最小値	平均値
住宅地域	0.008	0.004	0.006
交差点・沿道地域	0.015	0.006	0.010

\*1 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、またはそれ以下であること。

##### (2) 市内濃度分布

得られた測定結果を基に、市内の二酸化窒素濃度を図2に示した。

主要道路の交差点に高い濃度の地点が多く、住宅地域では地点間で大きな差はみられなかった。

沿道から離れた住宅地域や公園の地点は低い濃度であった。

\*単位の見方：20ppb = 0.020ppm

##### (3) 経年変化

平成5年度から今年度までの経年変化を図3および図4に示した。各年度の値は住宅地域31地点、交差点・沿道地域19地点の平均値、最大値、最小値をそれぞれ用いた。

今年度と昨年度を比較すると、住宅地域、交差点・沿道地域とも、平均値、最大値、最小値すべて低くなった。平成5年度からの変化でみると、今年度調査結果は経年の変動範囲内の結果であった。

#### (4) 市内平均濃度分布

平成5年度から今年度までの測定結果の平均値を用いて、(2)と同様に市内の二酸化窒素濃度を図5に示した。

主要道路に高い濃度の地点が多く、五日市街道、新小金井街道、小金井街道、東八道路では比較的高い濃度の地点が多かった。他の道路では主要道路に比べてやや低めの濃度であった。また、主要道路が通っている市の西側では東側と比較すると高い濃度の地点が多かった。

東大通りは交通量が少なく他の主要道路よりも低い濃度であった。また、沿道から離れた住宅地域や公園の地点も低い濃度であった。この傾向は常態化しているものと思われる。



# 小金井市全図

小平市

武蔵野市

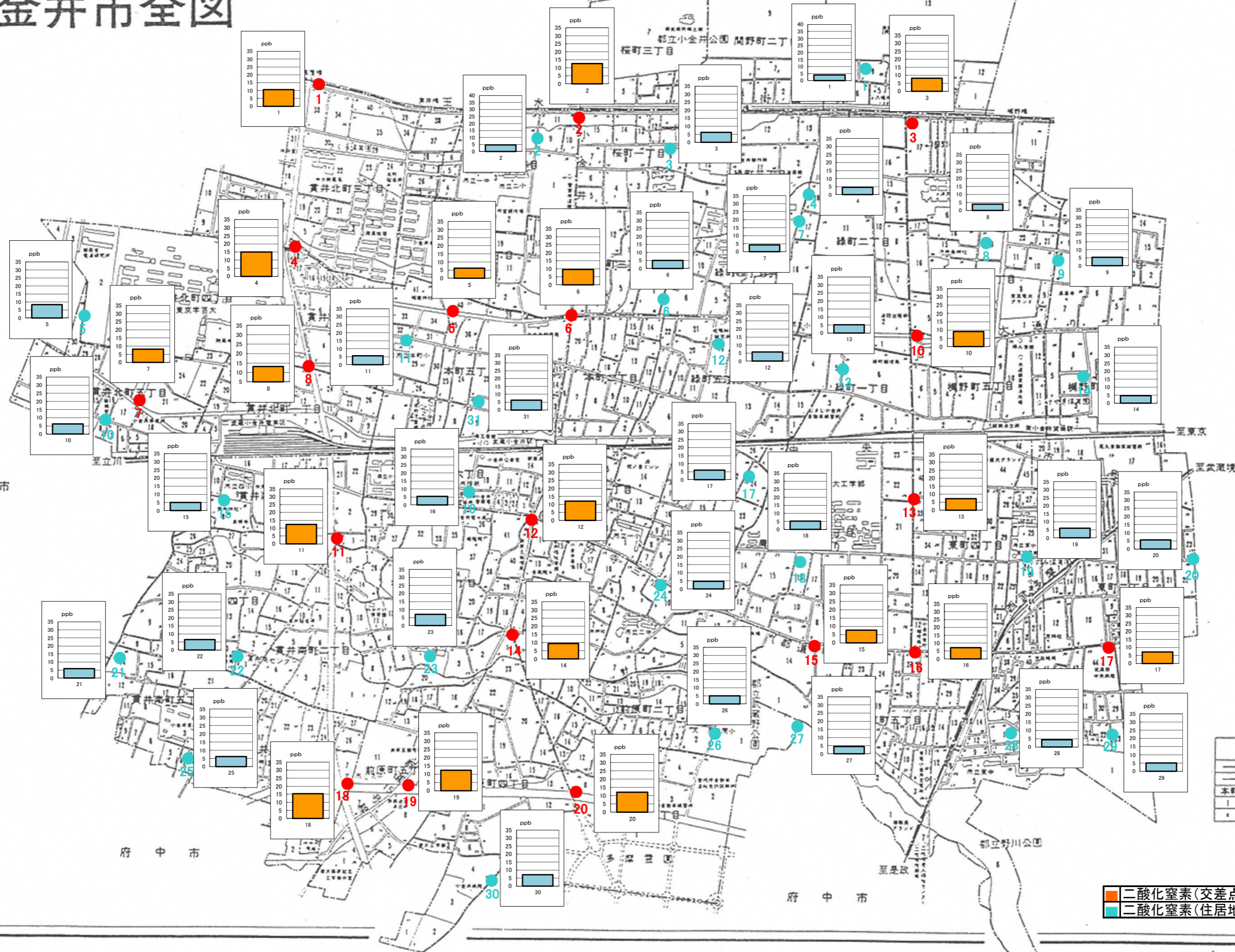
国分寺市

三鷹市

府中市

府中市

小金井市



凡例	
-----	市界
-----	町界
本町六丁目	町名
1 5 18	街区符号
2 7 4	住居番号

二酸化窒素(交差点・道路沿道)  
二酸化窒素(住居地域)

図2 二酸化窒素調査結果図(令和2年度)

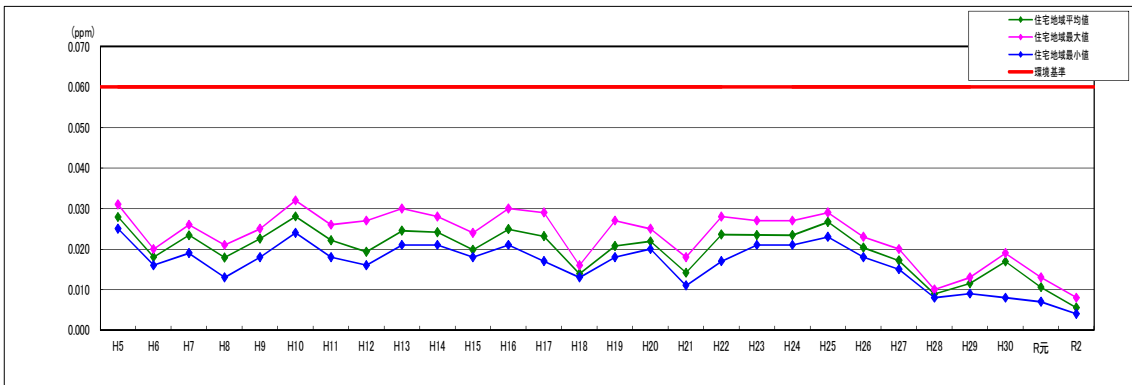


図3 二酸化窒素濃度の経年変化グラフ（住宅地域）

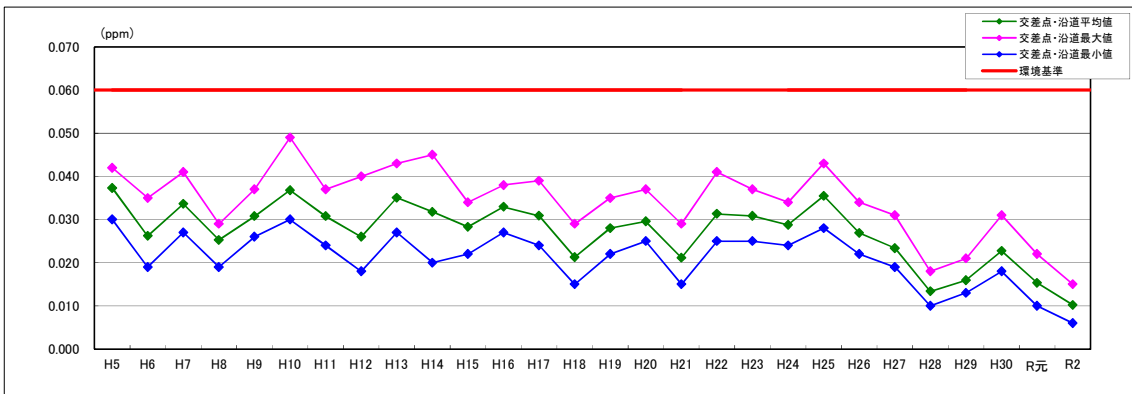


図4 二酸化窒素濃度の経年変化グラフ（交差点・沿道地域）

# 小金井市全図

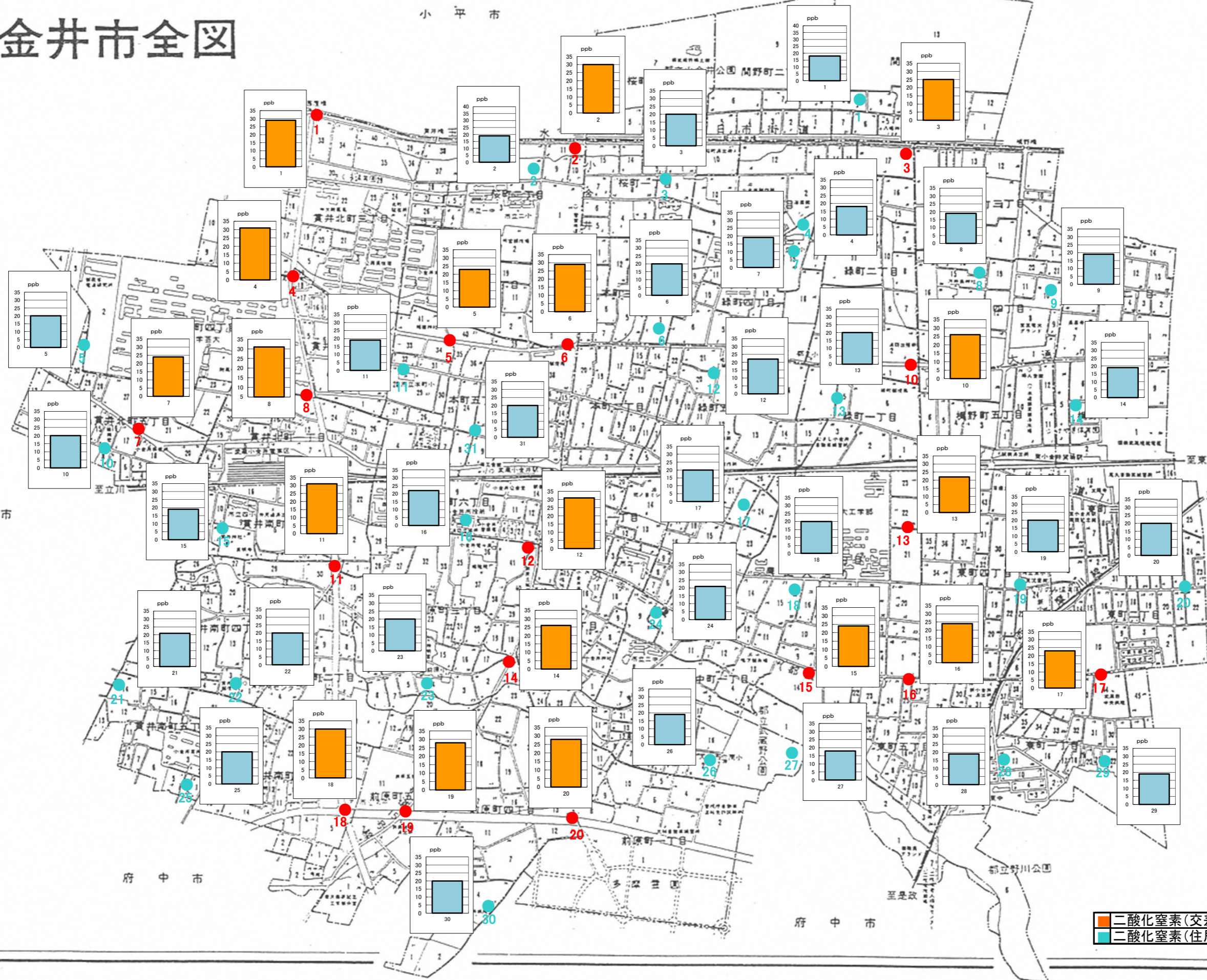
小平市

武蔵野市

国分寺市



三鷹市



凡例	
-----	市界
-----	町界
本町六丁目	町名
1 5 18	街区番号
●	住居番号

■ 二酸化窒素(交差点・道路沿道)  
● 二酸化窒素(住居地域)

府中市

府中市

小金井市

図5 二酸化窒素経年平均図(平成5年度～令和2年度)

### 3-2 浮遊粒子状物質

#### (1) 令和2年度測定結果

浮遊粒子状物質の測定結果を添付資料4-2に示した。また、得られた測定結果を基に、調査期間の平均値と最大値を表5にまとめた。

両地点において、3日間とも環境基準値\*2を下回っていた。

表5 浮遊粒子状物質の測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

調査地点名	2月16日	2月17日	2月18日	3日間 平均値	1時間値の 最大値
武蔵小金井駅前交番	0.008	0.011	0.007	0.009	0.031
新小金井交番	0.012	0.014	0.010	0.012	0.029

\*2 1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること、かつ1時間値の最大値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。

#### (2) 経時変化

得られた測定結果を基に、調査期間の濃度の経時変化をグラフにしたものを図6に示した。なお、比較として市内の常時監視測定局（府中市宮西町）のデータを併記した（東京都環境局大気汚染地図情報速報値より（小金井市本町測定局は期間中欠測））。

期間中の浮遊粒子状物質の濃度は、武蔵小金井駅前交番と新小金井交番は概ね同様の変動を示した。

#### (3) 時間平均グラフ

得られた測定結果を基に、時間平均値をグラフにしたものを図7に示した。なお、比較として市内の常時監視測定局（府中市宮西町）のデータを併記した（東京都環境局大気汚染地図情報速報値より（小金井市本町測定局は期間中欠測））。

武蔵小金井駅前交番では、昼間の時間帯で高めの濃度を示した。

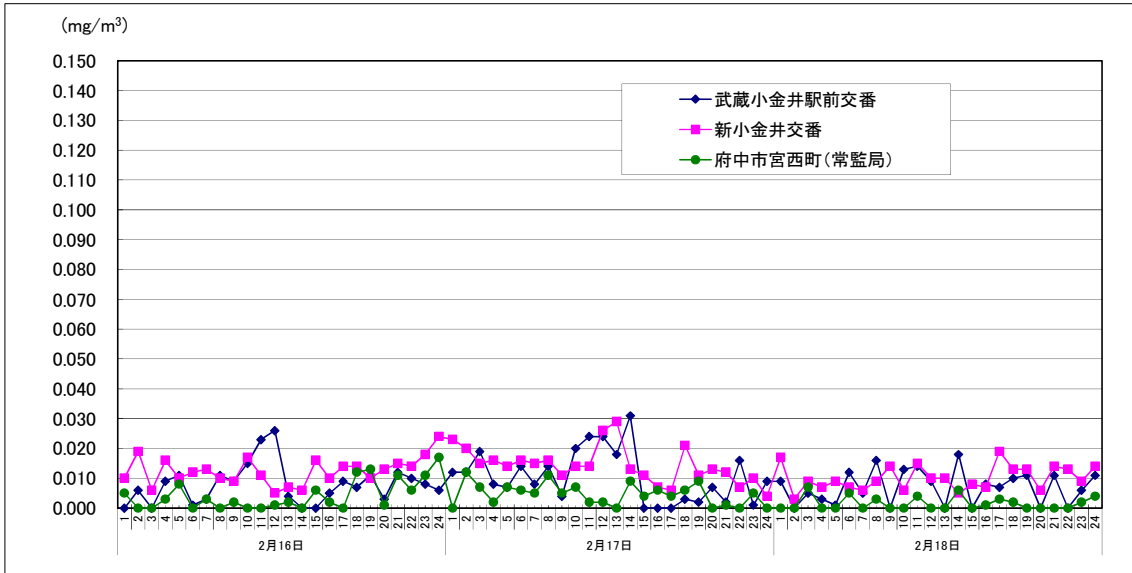


図6 浮遊粒子状物質濃度の経時変化グラフ

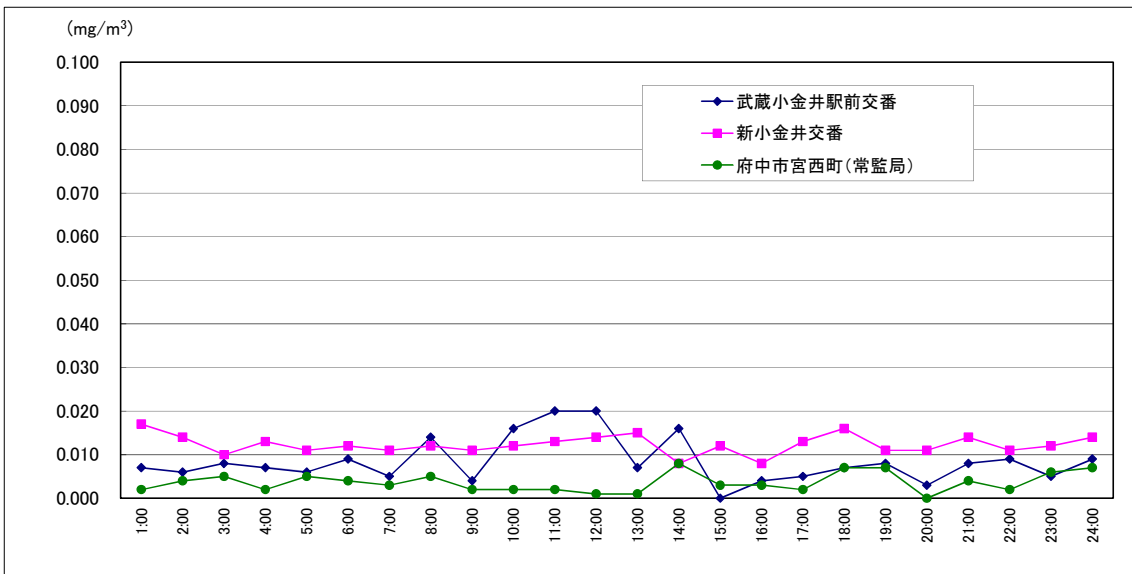


図7 浮遊粒子状物質濃度の時間平均グラフ

### 3-3 調査期間中の気象条件

表 6 に、調査期間中の気象データを示した。気象データは、常時監視測定局のデータ、および気象庁アメダスのデータを引用した。

調査期間中の天候は晴、曇、であり、降水量は0.0mmであった。平均風速は1.8～3.3m/sで、南系の風向であった。平均湿度は28～31%、平均気温は4.9～12.1℃であった。

表 6 調査期間中の気象

月日		2月16日(火)	2月17日(水)	2月18日(木)
天候 <sup>*3</sup>	昼	快晴	晴後一時曇	晴後曇
	夜	快晴	快晴	晴
降水量 <sup>*4</sup> (mm)		0.0	0.0	0.0
平均気温 <sup>*5</sup> (℃)		12.1	7.8	4.9
平均湿度 <sup>*5</sup> (%)		28	31	29
平均風速 <sup>*5</sup> (m/s)		3.3	2.2	1.8
平均風向 <sup>*5</sup>		西南西	西南西	西南西

注) データは各項目について記載されている調査地点最寄りの観測点、測定局のデータを用いた。  
詳細は以下の通り。

\*3 天候は、気象庁アメダス東京観測点（千代田区北の丸公園）のデータを引用。昼は6時～18時、夜は18時～翌日6時。

\*4 降水量は、気象庁アメダス府中観測点（府中市幸町）のデータを引用。

\*5 平均気温、平均湿度、平均風速、平均風向は、市内の常時監視測定局（小金井市本町）が欠測だったため、常時監視測定局（府中西宮町）におけるデータを引用。

## 4 添付資料

4-1 二酸化窒素データ.....	15
4-2 浮遊粒子状物質データ.....	18
4-3 環境基準について.....	22
4-4 二酸化窒素と浮遊粒子状物質について.....	25

#### 4-1 二酸化窒素データ



二酸化窒素測定結果【住宅地域】

地点番号	調査地点	冬季 <sup>1)</sup>																	R2	冬季平均											
		H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	
住-01	総合体育館	0.025	0.017	0.022	0.016	0.018	0.024	0.022	0.018	0.024	0.022	0.018	0.020	0.013	0.018	0.018	0.020	0.014	0.023	0.021	0.022	0.024	0.018	0.015	0.008	0.009	0.016	0.009	0.004	0.018	
住-02	桜町2-7	0.026	0.018	0.023	0.018	0.021	0.027	0.021	0.027	0.021	0.024	0.020	0.024	0.014	0.021	0.024	0.024	0.015	0.023	0.023	0.022	0.027	0.020	0.016	0.009	0.011	0.017	0.010	0.005	0.019	
住-03	桜町1-9	0.028	0.019	0.025	0.019	0.023	0.028	0.023	0.028	0.023	0.025	0.020	0.024	0.015	0.021	0.022	0.022	0.024	0.025	0.023	0.024	0.029	0.020	0.017	0.009	0.011	0.019	0.011	0.006	0.020	
住-04	沿居館	欠測	0.018	0.023	0.016	0.021	0.025	0.019	0.017	0.022	0.022	0.022	0.022	0.014	0.020	0.022	0.014	0.022	0.022	0.022	0.022	0.025	0.020	0.016	0.008	0.011	0.016	0.010	0.005	0.018	
住-05	貫井北町5-30	0.027	0.017	0.023	0.018	0.022	0.028	0.022	0.028	0.022	0.022	0.022	0.022	0.013	0.024	0.022	0.013	0.022	0.023	0.023	0.025	0.027	0.020	0.016	0.009	0.012	0.016	0.010	0.008	0.020	
住-06	本町3-1	0.029	欠測	欠測	0.020	0.024	0.030	0.023	0.017	0.025	0.024	0.019	0.022	0.015	0.022	0.022	0.018	0.017	0.017	0.026	0.024	0.029	0.020	0.017	0.009	0.011	0.019	0.011	0.005	0.020	
住-07	市立緑小学校	0.027	0.018	0.023	0.017	0.022	0.028	0.021	0.016	0.024	0.023	0.019	0.021	0.014	0.019	0.021	0.014	0.023	0.024	0.024	欠測	0.024	0.018	0.016	0.009	0.010	0.017	0.010	0.004	0.019	
住-08	梶野町4-19	0.027	0.018	0.024	0.019	0.022	0.029	0.022	0.018	0.023	0.024	0.019	0.026	0.023	0.013	0.020	0.021	0.014	0.024	0.023	0.021	0.026	0.020	0.016	0.008	0.012	0.017	0.010	0.004	0.019	
住-09	梶野会館	0.027	0.019	0.022	0.016	0.022	0.027	0.023	0.017	0.027	0.023	0.019	0.025	0.021	0.013	0.020	0.021	0.014	0.025	0.023	0.022	0.026	0.020	0.017	0.009	0.011	0.018	0.010	0.005	0.019	
住-10	貫井北町5-8	0.029	0.019	0.023	0.018	0.024	不輸出	0.024	0.020	0.026	0.025	0.023	0.025	0.025	0.013	0.020	0.022	0.014	0.021	0.024	0.024	0.025	0.022	0.019	0.010	0.013	0.008	0.011	0.006	0.020	
住-11	市立本町小学校	0.028	0.018	0.023	0.013	0.023	0.023	0.023	0.018	0.024	0.024	0.020	0.025	0.023	0.014	0.020	0.022	0.014	0.023	0.021	0.021	0.026	0.020	0.016	0.009	0.011	0.017	0.011	0.006	0.019	
住-12	緑町5-19	0.031	0.020	0.026	0.021	0.025	0.031	0.021	0.022	0.028	0.027	0.022	0.029	0.027	0.016	0.027	0.024	0.017	0.027	0.027	0.026	0.023	0.019	0.022	0.018	0.008	0.011	0.019	0.013	0.006	0.022
住-13	緑町1-5	0.029	0.018	0.024	0.019	0.022	0.029	0.025	0.023	0.023	0.025	0.020	0.025	0.022	0.014	0.021	0.022	0.015	0.025	欠測	0.027	0.028	0.020	0.018	0.008	0.011	0.019	0.011	0.005	0.020	
住-14	梶野町1-4	0.028	0.017	0.022	0.018	0.022	0.026	0.026	0.018	0.023	0.023	0.018	0.021	0.013	0.020	0.021	0.014	0.025	0.023	0.022	0.022	0.026	0.020	0.018	0.008	0.011	0.019	0.012	0.005	0.019	
住-15	貫井南町3-8	0.028	0.018	0.024	0.019	0.022	0.028	0.021	0.019	0.025	0.021	0.021	0.025	0.017	0.014	0.021	0.021	0.013	0.023	0.022	0.024	0.026	0.020	0.017	0.009	0.012	0.016	0.007	0.005	0.019	
住-16	小金井市庁舎	0.030	0.020	0.026	0.021	0.024	0.032	0.025	0.027	0.030	0.028	0.022	0.030	0.028	0.015	0.025	0.025	0.016	0.028	0.025	0.025	0.028	0.022	0.018	0.009	0.012	0.018	0.012	0.005	0.022	
住-17	中町3-22	0.027	0.019	0.024	0.019	0.025	0.030	0.023	0.019	0.024	0.024	0.018	0.023	0.024	0.014	0.020	0.023	0.013	0.025	0.024	0.023	0.028	0.020	0.019	0.010	0.012	0.018	0.011	0.006	0.020	
住-18	中町2-16	0.028	0.017	0.024	0.016	0.023	0.028	0.022	0.020	0.023	0.025	0.018	0.024	0.025	0.013	0.020	0.021	0.015	0.024	0.024	0.024	0.028	0.021	0.019	0.009	0.012	0.017	0.011	0.005	0.020	
住-19	市立東小学校	0.027	0.018	0.025	0.020	0.022	0.030	0.024	0.021	0.026	0.025	0.019	0.026	0.022	0.014	0.021	0.021	0.014	0.024	0.023	0.025	0.028	0.020	0.019	0.009	0.011	0.018	0.010	0.006	0.020	
住-20	東町2-23	0.028	0.019	0.024	欠測	0.023	0.029	0.023	0.019	0.024	0.025	0.020	0.027	0.023	0.015	0.021	0.023	0.014	0.025	0.025	0.023	0.027	0.020	欠測	0.009	0.013	0.018	0.012	0.006	0.021	
住-21	貫井南町5-14	0.029	0.018	0.024	0.021	0.023	0.028	0.022	0.021	0.025	0.026	0.019	0.026	0.026	0.013	0.021	0.022	0.014	0.025	0.025	0.024	0.026	0.022	0.017	0.010	0.012	0.018	0.010	0.006	0.020	
住-22	貫井南センター	0.027	0.016	0.025	0.017	0.021	0.028	0.025	0.020	0.025	0.025	0.019	0.024	0.024	0.014	0.021	0.023	0.014	0.019	0.024	0.024	0.026	0.021	0.016	0.009	0.012	0.018	0.010	0.007	0.020	
住-23	市立前原小学校	0.031	0.019	0.024	欠測	0.023	欠測	0.023	0.021	0.023	0.023	0.020	0.025	0.020	0.016	0.021	0.023	0.013	0.026	0.025	0.025	0.029	0.022	0.018	0.008	0.012	0.017	0.010	0.007	0.020	
住-24	中町1-10	0.029	0.018	0.022	0.019	0.021	0.029	0.024	0.024	0.024	0.025	0.021	0.024	0.029	0.014	0.020	0.023	0.014	0.026	0.026	0.026	0.026	0.022	0.020	0.010	0.013	0.016	0.010	0.007	0.021	
住-25	貫井南町5-4	0.028	0.017	0.025	0.019	0.022	0.028	0.023	0.020	0.026	0.025	0.019	0.026	欠測	0.014	0.021	0.022	0.013	0.023	0.023	0.024	0.026	0.020	0.017	0.009	0.013	0.017	0.010	0.006	0.020	
住-26	市立南小学校	0.026	欠測	0.022	0.018	欠測	0.026	0.022	0.017	0.021	0.021	0.019	0.024	0.023	0.014	0.020	0.021	0.013	0.021	0.022	0.022	0.027	0.020	0.016	0.009	0.012	0.017	0.010	0.005	0.019	
住-27	都立武蔵野公園	0.027	0.018	0.021	0.015	0.023	0.026	0.021	0.017	0.022	0.021	0.019	0.021	0.013	0.018	0.021	0.021	0.011	0.021	0.023	0.021	0.023	0.018	0.016	0.009	0.010	0.012	0.010	0.005	0.018	
住-28	東町1-11	0.028	0.017	0.022	0.016	0.024	0.024	0.024	0.021	0.025	0.024	0.019	0.023	0.022	0.015	0.020	0.021	0.013	0.023	0.024	0.022	0.027	0.021	0.015	0.009	0.011	0.013	0.012	0.004	0.019	
住-29	東町1-22	0.026	欠測	0.019	0.015	0.022	0.026	0.023	0.018	0.025	0.023	0.020	0.025	0.022	0.013	0.020	0.021	0.014	0.023	0.021	0.022	0.028	0.019	0.017	0.009	0.012	0.018	0.011	0.005	0.019	
住-30	前原町4-4	0.029	0.017	0.023	0.019	0.023	0.031	0.024	0.019	0.024	0.025	0.021	0.023	0.026	0.014	0.020	0.021	0.014	0.026	0.023	0.023	0.029	0.022	0.019	0.009	0.012	0.018	0.012	0.007	0.020	
住-31	本町5-23	0.028	0.018	0.025	0.017	0.023	欠測	0.022	0.018	0.025	0.025	0.024	0.023	0.023	0.013	欠測	0.023	0.016	0.025	0.022	0.023	0.025	0.020	0.016	0.010	0.012	0.019	0.011	0.006	0.020	
常態値 <sup>3)</sup>	本町6-6-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.031	0.018	0.017	0.011	0.018	—	—	—	—	
住宅地域平均値		0.028	0.018	0.023	0.018	0.023	0.028	0.022	0.019	0.025	0.024	0.020	0.025	0.023	0.014	0.021	0.022	0.014	0.024	0.023	0.023	0.027	0.020	0.017	0.009	0.012	0.017	0.011	0.006	0.020	
住宅地域最大値		0.031	0.020	0.026	0.021	0.025	0.032	0.026	0.027	0.030	0.028	0.024	0.030	0.029	0.016	0.027	0.025	0.018	0.028	0.028	0.027	0.029	0.023	0.020	0.010	0.013	0.019	0.013	0.008	0.022	0.020
住宅地域最小値		0.025	0.016	0.019	0.013	0.018	0.024	0.018	0.016	0.021	0.021	0.018	0.020	0.017	0.013	0.018	0.020	0.011	0.017	0.021	0.021	0.023	0.023	0.015	0.008	0.009	0.008	0.007	0.004	0.018	0.018

凡例  
 : 最大値  
 : 最小値

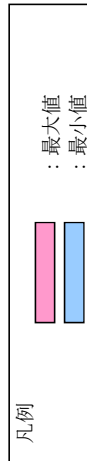
\*1 平成10年度までは夏季調査が行われていた。  
 \*2 平成7年度の住-06は、市立東小学校で実施した。  
 \*3 調査期間に対応する常態値測定局のデータ。小金井市本町測定局のデータを引用。  
 なお、この欄は平均値には組み込まれていない。

二酸化窒素測定結果【交差点・沿道地域】

単位：ppm

地点番号	調査地点	冬季 <sup>*1</sup>																			R2								
		H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
道-01	茜屋橋交差点	0.040	0.029	0.034	0.025	0.035	0.041	欠測	0.031	0.037	0.034	0.029	0.034	0.033	0.022	0.031	0.037	0.028	0.031	0.037	0.028	0.042	0.034	0.028	0.015	0.016	0.024	0.016	0.011
道-02	小金井橋交差点	0.038	0.030	0.035	0.027	0.034	0.039	0.034	0.030	0.041	0.038	欠測	0.038	0.032	0.025	0.035	0.032	0.040	0.030	0.032	0.035	0.028	0.040	0.030	0.024	0.015	0.018	0.026	0.017
道-03	関野橋交差点	0.039	0.026	0.033	0.026	0.031	0.035	0.028	0.025	0.032	0.020	0.025	0.030	0.026	0.018	0.028	0.029	0.026	0.035	0.029	0.026	0.035	0.024	0.020	0.011	0.014	0.021	0.012	
道-04	学芸大角交差点	0.042	0.032	0.040	0.029	0.037	0.035	0.037	0.027	0.039	0.033	0.034	0.035	0.037	0.029	0.034	0.037	0.028	0.035	0.033	0.030	0.035	0.026	0.025	0.018	0.020	0.024	0.020	
道-05	稲穂神社前交差点	0.032	0.019	0.027	0.021	0.028	0.033	0.025	0.023	0.027	0.024	0.023	0.033	0.033	0.027	0.017	欠測	0.027	0.018	0.028	0.029	0.027	0.034	0.023	0.019	0.012	0.014	0.019	
道-06	本町二丁目交差点	0.041	0.035	0.041	0.028	0.031	0.049	0.031	0.029	0.037	0.030	0.030	0.033	0.033	0.022	0.028	0.029	0.034	0.032	0.031	0.029	0.030	0.027	0.024	0.014	0.016	0.023	0.014	
道-07	貫井北町5-26	0.035	0.023	0.030	0.025	0.026	0.030	0.033	0.018	0.034	0.030	0.030	0.029	0.027	0.015	0.025	0.025	0.016	0.027	0.027	0.027	0.038	0.024	0.020	0.010	0.015	0.022	0.010	
道-08	貫井北町4-1	0.042	0.030	0.039	0.028	0.034	0.038	0.034	0.020	0.043	0.034	0.034	0.035	0.034	0.026	0.027	0.035	0.029	0.041	0.037	0.034	0.032	0.031	0.026	0.018	0.019	0.031	0.022	
道-10	小金井三小角交差点	0.034	0.024	0.034	0.025	0.028	0.038	0.035	0.024	0.035	0.033	0.033	0.025	0.030	0.026	0.019	0.026	0.027	0.018	0.030	0.027	0.027	0.038	0.022	0.021	0.013	0.015	0.022	
道-11	貫井トンネル南交差点	0.042	0.029	0.038	0.026	0.037	0.038	0.037	0.031	0.040	0.045	0.029	0.036	0.036	0.029	0.032	0.032	0.026	0.036	0.035	0.030	0.032	0.032	0.028	0.028	0.013	0.017	0.023	
道-12	前原坂上交差点	0.039	0.030	0.036	0.024	0.034	0.042	0.033	0.040	0.036	0.040	0.032	0.038	0.038	欠測	0.032	0.032	0.026	0.038	0.035	0.034	0.040	0.031	0.027	0.016	0.017	0.027	0.020	
道-13	中町2-22	0.030	0.019	0.030	0.019	0.026	0.031	0.024	0.021	0.027	欠測	0.022	0.027	0.024	0.016	0.022	0.025	0.015	0.026	0.025	0.029	0.043	0.023	0.019	0.011	0.013	0.019	0.014	
道-14	前原坂下交差点	0.042	0.030	0.033	0.027	0.027	0.035	0.030	0.026	0.031	0.032	0.028	0.031	0.033	0.019	0.027	0.028	0.020	0.027	0.031	0.028	0.031	0.027	0.023	0.012	0.016	0.022	0.014	
道-15	中町1-14	0.032	0.020	0.030	0.024	0.029	0.036	0.029	0.021	0.032	0.027	0.026	0.029	0.026	0.018	0.023	0.025	0.016	0.027	0.027	0.024	0.037	0.022	0.021	0.011	0.013	0.018	0.013	
道-16	東町四丁目西交差点	0.036	0.023	0.031	0.026	0.029	0.035	0.028	0.025	0.031	0.030	0.024	0.034	0.031	0.017	0.023	0.026	0.016	0.026	0.028	0.028	0.028	0.025	0.021	0.011	0.014	0.018	0.013	
道-17	東町1-44	0.032	0.021	0.029	0.021	0.028	0.033	0.025	0.022	0.033	0.029	0.025	0.031	0.026	0.017	0.023	0.027	0.017	0.025	0.027	0.027	0.030	0.024	0.020	0.011	0.013	0.019	0.013	
道-18	南中西交差点	0.036	0.026	0.031	0.023	0.031	0.034	0.030	0.030	0.041	0.029	0.034	0.037	欠測	0.033	0.035	0.026	0.036	0.036	0.035	0.033	0.034	0.029	0.031	0.017	0.021	0.027	0.020	
道-19	前原交番前交差点	0.038	0.025	0.033	0.027	0.029	0.044	0.030	0.026	0.035	0.035	0.029	0.032	0.034	0.020	0.028	0.030	0.021	0.035	0.027	0.030	0.041	0.029	0.023	0.012	0.016	0.024	0.013	
道-20	前原一丁目交差点	0.039	0.027	0.035	0.029	0.031	0.033	0.031	0.025	0.035	0.029	0.031	0.034	0.039	0.024	0.027	0.030	0.022	0.034	0.031	0.028	0.034	0.028	0.024	0.014	0.016	0.023	0.016	
	交差点・沿道平均値	0.037	0.026	0.034	0.025	0.031	0.037	0.031	0.026	0.035	0.032	0.028	0.033	0.031	0.021	0.028	0.030	0.021	0.031	0.031	0.029	0.035	0.027	0.027	0.023	0.013	0.016	0.023	
	交差点・沿道最大値	0.042	0.035	0.041	0.029	0.037	0.049	0.037	0.040	0.043	0.045	0.034	0.038	0.039	0.029	0.035	0.037	0.029	0.041	0.037	0.034	0.043	0.034	0.031	0.031	0.018	0.021	0.031	
	交差点・沿道最小値	0.030	0.019	0.027	0.019	0.026	0.030	0.024	0.018	0.027	0.020	0.022	0.027	0.024	0.015	0.022	0.025	0.015	0.025	0.025	0.024	0.028	0.022	0.019	0.010	0.013	0.018	0.010	

\*1 平成10年度までは夏季調査が行われている。



## 4-2 浮遊粒子状物質データ

### 浮遊粒子状物質測定結果

調査期間: 令和3年2月16日(火)～2月18日(木)

調査地点: 武蔵小金井駅前交番

単位: mg/m<sup>3</sup>

日時	2/16	2/17	2/18	最小値	最大値	平均値	測定数	標準偏差
0:00 ～ 1:00	0.000	0.012	0.009	0.000	0.012	0.007	3	0.006
1:00 ～ 2:00	0.006	0.012	0.000	0.000	0.012	0.006	3	0.006
2:00 ～ 3:00	0.000	0.019	0.005	0.000	0.019	0.008	3	0.010
3:00 ～ 4:00	0.009	0.008	0.003	0.003	0.009	0.007	3	0.003
4:00 ～ 5:00	0.011	0.007	0.001	0.001	0.011	0.006	3	0.005
5:00 ～ 6:00	0.001	0.014	0.012	0.001	0.014	0.009	3	0.007
6:00 ～ 7:00	0.003	0.008	0.005	0.003	0.008	0.005	3	0.003
7:00 ～ 8:00	0.011	0.014	0.016	0.011	0.016	0.014	3	0.003
8:00 ～ 9:00	0.009	0.004	0.000	0.000	0.009	0.004	3	0.005
9:00 ～ 10:00	0.015	0.020	0.013	0.013	0.020	0.016	3	0.004
10:00 ～ 11:00	0.023	0.024	0.014	0.014	0.024	0.020	3	0.006
11:00 ～ 12:00	0.026	0.024	0.009	0.009	0.026	0.020	3	0.009
12:00 ～ 13:00	0.004	0.018	0.000	0.000	0.018	0.007	3	0.009
13:00 ～ 14:00	0.000	0.031	0.018	0.000	0.031	0.016	3	0.016
14:00 ～ 15:00	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3	0.000
15:00 ～ 16:00	0.005	0.000	0.008	0.000	0.008	0.004	3	0.004
16:00 ～ 17:00	0.009	0.000	0.007	0.000	0.009	0.005	3	0.005
17:00 ～ 18:00	0.007	0.003	0.010	0.003	0.010	0.007	3	0.004
18:00 ～ 19:00	0.011	0.002	0.011	0.002	0.011	0.008	3	0.005
19:00 ～ 20:00	0.003	0.007	0.000	0.000	0.007	0.003	3	0.004
20:00 ～ 21:00	0.012	0.002	0.011	0.002	0.012	0.008	3	0.006
21:00 ～ 22:00	0.010	0.016	0.000	0.000	0.016	0.009	3	0.008
22:00 ～ 23:00	0.008	0.001	0.006	0.001	0.008	0.005	3	0.004
23:00 ～ 24:00	0.006	0.009	0.011	0.006	0.011	0.009	3	0.003
最小値	0.000	0.000	0.000	0.000				
最大値	0.026	0.031	0.018		0.031			
平均値	0.008	0.011	0.007			0.009		
測定数	24	24	24				72	
標準偏差	0.007	0.009	0.006					0.007

標準偏差とは平均値からのデータの散らばり度合いを表す。

### 浮遊粒子状物質測定結果

調査期間: 令和3年2月16日(火)～2月18日(木)

調査地点: 新小金井交番

単位: mg/m<sup>3</sup>

日時	2/16	2/17	2/18	最小値	最大値	平均値	測定数	標準偏差
0:00 ～ 1:00	0.010	0.023	0.017	0.010	0.023	0.017	3	0.007
1:00 ～ 2:00	0.019	0.020	0.003	0.003	0.020	0.014	3	0.010
2:00 ～ 3:00	0.006	0.015	0.009	0.006	0.015	0.010	3	0.005
3:00 ～ 4:00	0.016	0.016	0.007	0.007	0.016	0.013	3	0.005
4:00 ～ 5:00	0.010	0.014	0.009	0.009	0.014	0.011	3	0.003
5:00 ～ 6:00	0.012	0.016	0.007	0.007	0.016	0.012	3	0.005
6:00 ～ 7:00	0.013	0.015	0.006	0.006	0.015	0.011	3	0.005
7:00 ～ 8:00	0.010	0.016	0.009	0.009	0.016	0.012	3	0.004
8:00 ～ 9:00	0.009	0.011	0.014	0.009	0.014	0.011	3	0.003
9:00 ～ 10:00	0.017	0.014	0.006	0.006	0.017	0.012	3	0.006
10:00 ～ 11:00	0.011	0.014	0.015	0.011	0.015	0.013	3	0.002
11:00 ～ 12:00	0.005	0.026	0.010	0.005	0.026	0.014	3	0.011
12:00 ～ 13:00	0.007	0.029	0.010	0.007	0.029	0.015	3	0.012
13:00 ～ 14:00	0.006	0.013	0.005	0.005	0.013	0.008	3	0.004
14:00 ～ 15:00	0.016	0.011	0.008	0.008	0.016	0.012	3	0.004
15:00 ～ 16:00	0.010	0.007	0.007	0.007	0.010	0.008	3	0.002
16:00 ～ 17:00	0.014	0.006	0.019	0.006	0.019	0.013	3	0.007
17:00 ～ 18:00	0.014	0.021	0.013	0.013	0.021	0.016	3	0.004
18:00 ～ 19:00	0.010	0.011	0.013	0.010	0.013	0.011	3	0.002
19:00 ～ 20:00	0.013	0.013	0.006	0.006	0.013	0.011	3	0.004
20:00 ～ 21:00	0.015	0.012	0.014	0.012	0.015	0.014	3	0.002
21:00 ～ 22:00	0.014	0.007	0.013	0.007	0.014	0.011	3	0.004
22:00 ～ 23:00	0.018	0.010	0.009	0.009	0.018	0.012	3	0.005
23:00 ～ 24:00	0.024	0.004	0.014	0.004	0.024	0.014	3	0.010
最小値	0.005	0.004	0.003	0.003				
最大値	0.024	0.029	0.019		0.029			
平均値	0.012	0.014	0.010			0.012		
測定数	24	24	24				72	
標準偏差	0.005	0.006	0.004					0.005

標準偏差とは平均値からのデータの散らばり度合いを表す。

浮遊粒子状物質データ(参考)

調査期間:令和3年2月16日(火)~2月18日(木)

地点名 府中市宮西町(常監局)

単位:mg/m<sup>3</sup>

日時	2/16	2/17	2/18	最小値	最大値	平均値	測定数	標準偏差
0:00 ~ 1:00	0.005	0.000	0.000	0.000	0.005	0.002	3	0.003
1:00 ~ 2:00	0.000	0.012	0.000	0.000	0.012	0.004	3	0.007
2:00 ~ 3:00	0.000	0.007	0.007	0.000	0.007	0.005	3	0.004
3:00 ~ 4:00	0.003	0.002	0.000	0.000	0.003	0.002	3	0.002
4:00 ~ 5:00	0.008	0.007	0.000	0.000	0.008	0.005	3	0.004
5:00 ~ 6:00	0.000	0.006	0.005	0.000	0.006	0.004	3	0.003
6:00 ~ 7:00	0.003	0.005	0.000	0.000	0.005	0.003	3	0.003
7:00 ~ 8:00	0.000	0.011	0.003	0.000	0.011	0.005	3	0.006
8:00 ~ 9:00	0.002	0.005	0.000	0.000	0.005	0.002	3	0.003
9:00 ~ 10:00	0.000	0.007	0.000	0.000	0.007	0.002	3	0.004
10:00 ~ 11:00	0.000	0.002	0.004	0.000	0.004	0.002	3	0.002
11:00 ~ 12:00	0.001	0.002	0.000	0.000	0.002	0.001	3	0.001
12:00 ~ 13:00	0.002	0.000	0.000	0.000	0.002	0.001	3	0.001
13:00 ~ 14:00	-	0.009	0.006	0.006	0.009	0.008	2	0.002
14:00 ~ 15:00	0.006	0.004	0.000	0.000	0.006	0.003	3	0.003
15:00 ~ 16:00	0.002	0.006	0.001	0.001	0.006	0.003	3	0.003
16:00 ~ 17:00	0.000	0.004	0.003	0.000	0.004	0.002	3	0.002
17:00 ~ 18:00	0.012	0.006	0.002	0.002	0.012	0.007	3	0.005
18:00 ~ 19:00	0.013	0.009	0.000	0.000	0.013	0.007	3	0.007
19:00 ~ 20:00	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	3	0.001
20:00 ~ 21:00	0.011	0.001	0.000	0.000	0.011	0.004	3	0.006
21:00 ~ 22:00	0.006	0.000	0.000	0.000	0.006	0.002	3	0.003
22:00 ~ 23:00	0.011	0.005	0.002	0.002	0.011	0.006	3	0.005
23:00 ~ 24:00	0.017	0.000	0.004	0.000	0.017	0.007	3	0.009
最小値	0.000	0.000	0.000	0.000				
最大値	0.017	0.012	0.007		0.017			
平均値	0.004	0.005	0.002			0.004		
測定数	23	24	24				71	
標準偏差	0.005	0.004	0.002					0.004

\*1 -は欠測

標準偏差とは平均値からのデータの散らばり度合いを表す。

#### 4-3 環境基準について

環境基準について

環境基本法第 16 条に基づき、大気の汚染に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準が定められている。大気汚染に係る環境基準を下表に示した。

大気汚染物質に係る環境基準

物質	環境上の条件	測定方法
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> ) (48. 5. 16 告示)* <sup>1</sup>	1 時間値の 1 日平均値が 0. 04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0. 1ppm 以下であること。	溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (JIS B 7952)
一酸化炭素 (CO) (48. 5. 8 告示)* <sup>1</sup>	1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。	非分散型赤外分析計を用いる方法 (JIS B 7951)
浮遊粒子状物質 (SPM) (48. 5. 8 告示)* <sup>1</sup>	1 時間値の 1 日平均値が 0. 10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0. 20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	濾過捕集による重量濃度測定方法又はこの方法によって測定された重量濃度と直線的な関係を有する量が得られる光散乱法、圧電天びん法若しくはベータ線吸収法 (JIS B 7954)
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> ) (53. 7. 11 告示)* <sup>2</sup>	1 時間値の 1 日平均値が 0. 04ppm から 0. 06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。	ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (JIS B 7953)
光化学オキシダント (Ox) (48. 5. 8 告示)* <sup>1</sup>	1 時間値が 0. 06ppm 以下であること。	中性ヨウ化カリウム溶液を用いる吸光光度法若しくは電量法、紫外線吸収法又はエチレンを用いる化学発光法 (JIS B 7957)
ベンゼン (H9. 2. 4 告示)* <sup>3</sup>	1 年平均値が 0. 003mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	キャニスター若しくは捕集管により採取した試料をガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法又はこれと同等以上の性能を有すると認められる方法
トリクロロエチレン (H9. 2. 4 告示)* <sup>3</sup>	1 年平均値が 0. 2mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	
テトラクロロエチレン (H9. 2. 4 告示)* <sup>3</sup>	1 年平均値が 0. 2mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	
ジクロロメタン (H13. 4. 20 告示)* <sup>3</sup>	1 年平均値が 0. 15mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	
ダイオキシン類 (H11. 12. 27 告示)* <sup>4</sup>	1 年平均値が 0. 6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下であること。	ポリウレタンフォームを装着した採取筒をろ紙後段に取り付けたエアサンプラーにより採取した試料を高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法

\*1 大気の汚染に係る環境基準について

\*2 二酸化窒素に係る環境基準について

\*3 ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について

\*4 ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準



## 評価方法について

環境基準の評価方法は、短期的評価と長期的評価がある。

通達では、二酸化硫黄\*1、一酸化炭素\*1、浮遊粒子状物質\*1については短期的評価と長期的評価の二つの方法が、二酸化窒素\*2については長期的評価、オキシダント\*1については短期的評価が定められている。一般に、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質については健康に慢性影響をおよぼすことから長期的評価、一酸化炭素、オキシダントについては急性影響をおよぼすことから短期的評価が使われている。

### (1) 短期的評価

測定を行った日についての1日平均値、8時間値、又は各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。

### (2) 長期的評価

#### (ア) 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質の場合

年間の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるもの(365日分の測定値がある場合に7日分の測定値)を除外した後の最大値(2%除外値)を、環境基準と比較して評価する。ただし、環境基準値を超える日が2日以上連続した場合には、非達成と評価する。

#### (イ) 二酸化窒素の場合

年間の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(98%値)を、環境基準(0.06ppm)と比較して評価する。

((ア)、(イ)とも年間の測定時間が6000時間未満のものは評価することができない。)

\*1 昭和48年6月12日付環大企第143号「大気汚染に係る環境基準について」

\*2 昭和53年7月17日付環大企第262号「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」

#### 4-4 二酸化窒素と浮遊粒子状物質について

## 二酸化窒素と浮遊粒子状物質について

### (1) 二酸化窒素

窒素の酸化物で代表的な大気汚染物質である。発生源はボイラーなどの固定発生源や自動車などの移動発生源のような燃焼の過程、硝酸製造等の工程などがある。燃焼の過程からはほとんど一酸化窒素として排出され、大気中で二酸化窒素に酸化される。

二酸化窒素は細胞内で強い酸化作用を示して細胞を傷害するので、粘膜の刺激、気管支炎、肺水腫などの原因となる。健康影響を考慮した大気環境基準は二酸化窒素について定められているが、排出基準は窒素酸化物として基準値が決められている。

窒素酸化物は、非メタン炭化水素（NMHC）との相互作用により光化学スモッグの原因となり、また水に溶けると硝酸や亜硝酸となるため酸性雨の原因にもなっている。

### (2) 浮遊粒子状物質（SPM）

大気中に浮遊している粒子状物質のうち、粒径  $10\mu\text{m}$  以下のものを指す。Suspended Particulate Matter の頭文字から SPM と略される。

発生源としては自動車排気ガス、特にディーゼル自動車から比較的多く排出され、他に工場や事業場からも排出される。人間活動に伴って発生するもののほか、自然界からも海塩や土壌の飛散、火山、森林火災などによって発生する。また、大気中でガス状物質が反応して粒子化することによって発生する二次生成粒子がある。

粒径により呼吸器系の各部位へ沈着して呼吸器疾患の原因となるなど、人の健康に影響を及ぼす。 $10\mu\text{m}$  を超える粒子は上気道領域で捕捉されるが、 $10\mu\text{m}$  以下の粒子は下気道領域まで侵入、沈着しやすく、 $2.5\mu\text{m}$  以下のもの「微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）」は肺胞領域にまで侵入しやすいとされている。粒子の成分によって人体への様々な健康影響が懸念されている。

# 小金井市大気質調査報告書

令和3年3月発行

小金井市環境部環境政策課  
〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号  
TEL 042(387)9817

※古紙を配合しています。

# 水質監視測定及び湧水調査

## 報 告 書

令 和 2 年 度 版

小 金 井 市

## 目次

1.調査概要	
1-1.調査件名 .....	1
1-2.調査目的 .....	1
1-3.調査地点 .....	1
1-4.調査実施日 .....	3
1-5.調査項目 .....	3
2.調査結果	
2-1.井戸水調査 .....	6
2-2.野川調査 .....	15
2-3.湧水調査 .....	17

### 資料編

井戸水調査結果  
野川調査結果  
湧水調査結果  
環境基準  
調査状況写真

# 1. 調査概要

## 1-1. 調査件名

水質監視測定及び湧水調査

## 1-2. 調査目的

### (1) 井戸水調査

井戸水の有機塩素化合物による汚染状況を監視測定する。

### (2) 野川調査

野川の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

### (3) 湧水調査

湧水の自然環境の状況を把握するため監視測定する。

## 1-3. 調査地点

### (1) 井戸水調査

調査地点は、小金井市内の井戸水13地点である。調査地点を表1-1及び図1-1に示す。

### (2) 野川調査

調査地点は市内下流部に当たる柳橋下の1地点である。調査地点を表1-1及び図1-1に示す。

### (3) 湧水調査

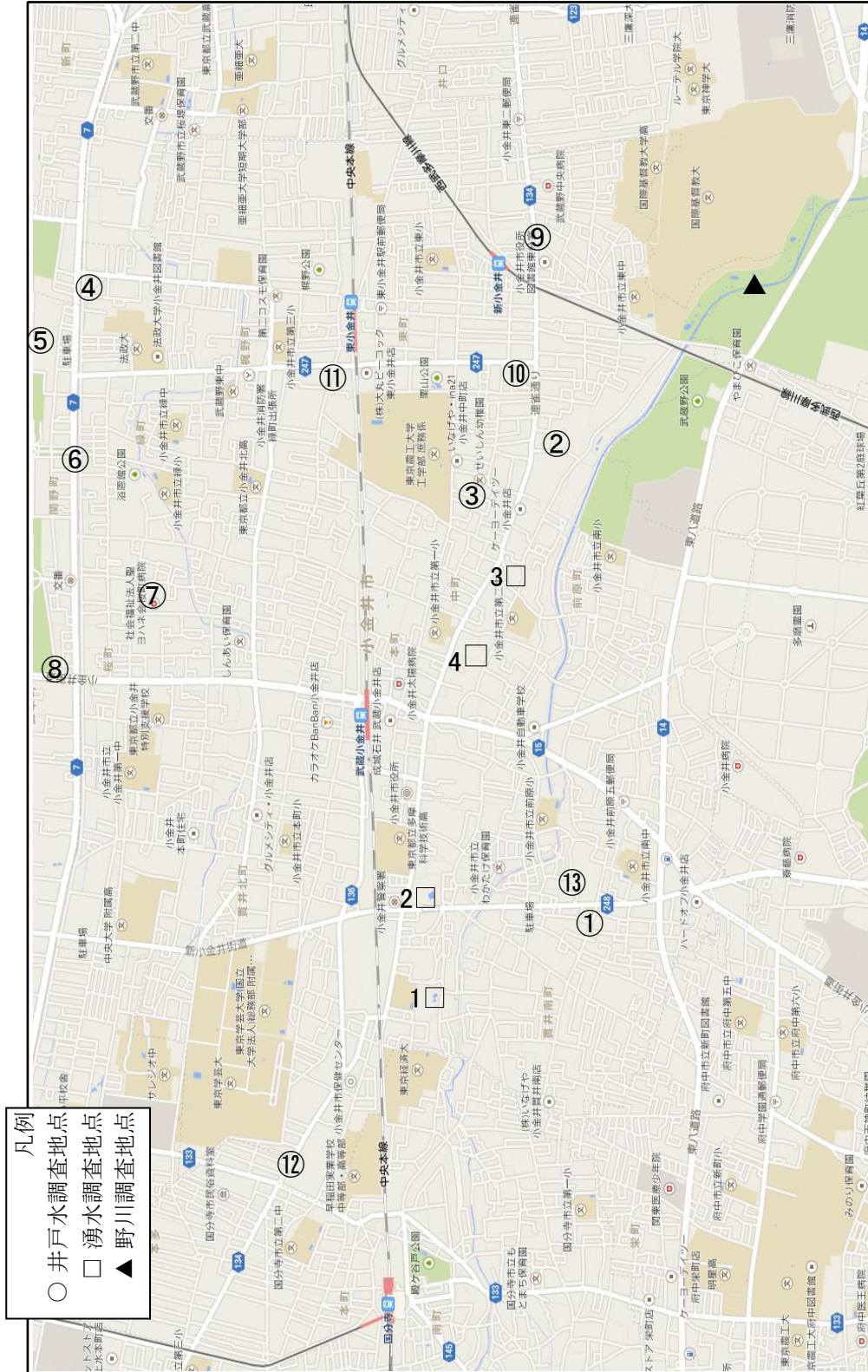
調査地点は市内の湧水4地点である。調査地点を表1-1及び図1-1に示す。

表1-1 調査地点一覧表

調査内容	試料名	試料区分	調査地点
井戸水調査	No.1	井戸水	貫井南町1-24
	No.2	井戸水	中町1-15
	No.3	井戸水	中町2-15
	No.4	井戸水	梶野町3-12
	No.5	井戸水	関野町1-11
	No.6	井戸水	緑町3-13
	No.7	井戸水	桜町1-2
	No.8	井戸水	桜町3-6
	No.9*	井戸水	東町1-41
	No.10*	井戸水	中町2-1
	No.11*	井戸水	緑町1-1
	No.12*	井戸水	貫井北町5-13
	No.13	井戸水	貫井南町2-1
野川調査	柳橋下	河川水	東町1-6
湧水調査	貫井神社	湧水	貫井南町3-8
①水質	滄浪泉園	湧水	貫井南町3-2
②水生生物調査	美術の森緑地	湧水	中町1-11
	中町四丁目公共緑地	湧水	中町4-16

\*地下水位測定調査場所(詳細は地下水位測定報告書のとおり)

図1-1 調査地点





#### 1-4.調査実施日

調査実施日を表1-2に示す。

表1-2 調査実施日一覧表

調査内容	調査実施日		調査地点数
井戸水調査	第1回目	令和2年7月22日	13
	第2回目	令和2年9月29日	
	第3回目	令和2年11月26日	
	第4回目	令和3年2月2日	
野川調査	第1回目	令和2年6月11日	1
	第2回目	令和2年11月5日	
湧水調査 ①水質 ②水生生物調査	第1回目	令和2年6月22日	4
	第2回目	令和2年12月22日	

#### 1-5.調査項目

##### (1) 井戸水調査

井戸水調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表1-3に示す。

表1-3 水質調査項目、分析方法、環境基準

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
電気伝導率	ms/m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
鉛	mg/L	JIS K 0102 54.4	0.001	0.01以下
水位	m	-	-	-

環境基準値：地下水の水質汚濁に係る環境基準について

(平成9年3月13日環境庁告示第10号)

※ 基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として。

## (2) 野川調査

野川調査の調査項目及び分析方法、環境基準を表1-4に示す。

表1-4 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

	項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
現場測定項目	気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
	水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
	外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
	臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
	透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
	流量	m <sup>3</sup> /sec	JIS K 0094 8	-	-
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	6.0以上 8.5以下
	溶存酸素量(DO)	mg/L	JIS K 0102 32.1	0.5	2以上
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	JIS K 0102 21,32.3	0.5	8以下
	化学的酸素要求量(COD <sub>Mn</sub> )	mg/L	JIS K 0102 17	0.5	-
	浮遊物質(SS)	mg/L	S46環境庁告示第59号 付表9	1	100以下
	大腸菌群数	MPN/100mL	S46環境庁告示第59号 別表2最確数による定量法	1.8	-
	全窒素(T-N)	mg/L	JIS K 0102 45.4	0.05	-
	全りん(T-P)	mg/L	JIS K 0102 46.3.1	0.003	-
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> -N、NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> -N)	mg/L	JIS K 0102 43.2,43.2.3 JIS K 0102 43.1	0.01	10以下
その他の項目	陰イオン界面活性剤(MBAS)	mg/L	JIS K 0102 30.1.1	0.02	-
	アンモニア性窒素(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> -N)	mg/L	JIS K 0102 42.1,42.2	0.01	-
	りん酸性りん(PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> -N)	mg/L	JIS K 0102 46.1.1	0.003	-

環境基準値：水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)

- 1 人の健康の保護に関する環境基準
- 2 生活環境の保全に関する環境基準

(3) 湧水調査

湧水調査では、水質調査、底生生物と付着調査を行った。

① 水質調査

調査項目及び分析方法、環境基準を表1-5に示す。

表1-5 水質調査項目、分析方法、基準値一覧表

項目	単位	分析方法	定量下限値	環境基準値
気温	℃	JIS K 0102 7.1	-	-
水温	℃	JIS K 0102 7.2	-	-
外観(色相)	-	JIS K 0102 8	-	-
臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
透視度	度	JIS K 0102 9	-	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	JIS K 0094 8	0.001	-
水素イオン濃度(pH)	-	JIS K 0102 12.1	0.1	-
電気伝導率	m <sup>3</sup> /m	JIS K 0102 13	-	-
硝酸性窒素	mg/L	JIS K 0102 43.2.5	0.01	10以下※
トリクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	0.01以下
1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	JIS K 0125 5.2	0.0002	1以下

環境基準値: 地下水の水質汚濁に係る環境基準について

(平成9年3月13日環境庁告示第10号)

※ 基準値は、亜硝酸性窒素との合量値として。

② 水生生物

調査項目と採取器具を表1-6に示す。

表1-6 水生生物調査項目、調査方法、採取器具一覧表

項目	調査方法	採取器具
底生生物	コドラート(方形枠)法(25cm×25cm)による採取 4箇所(川幅が狭い為、50cm四方は使用せず) ホルマリン固定 肉眼及び実体顕微鏡による同定、計数、湿重量測定	コドラート Dフレームサーバーネット
付着藻類	礫を選定、コドラート法(5cm×5cm)による採取 1箇所 ホルマリン固定 沈殿量測定、生物顕微鏡により固定、計数	コドラート ブラシ、洗瓶

## 2. 調査結果

### 2-1. 井戸水調査

井戸水の調査結果を表2-1に示す。また、検出状況を表2-2に、環境基準の適合状況を表2-3に示す。さらに令和2年度の平均値を表2-4、図2-1及び図2-2に示す。

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.1 貫井南町1-24

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 13:30	R1.7.24 9:25	H30.7.27 9:10	R2.9.29 8:50	R1.9.30 9:32	H30.9.21 9:20	R2.11.26 8:50	R1.11.29 9:00	H30.11.26 8:45	R3.2.2 9:16	R2.2.26 12:00	H31.2.18 8:45		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	30.7	27.8	24.8	19.0	25.8	17.0	13.7	4.3	11.6	8.0	7.4	5.3	-
	水温	℃	22.2	18.0	19.0	19.0	18.0	19.0	16.0	15.2	16.8	15.5	14.2	14.5	-
	外観(色相)	-	中赤褐色	無色透明	無色透明	淡茶褐色	無色透明	無色透明	中茶褐色	中茶褐色	淡茶褐色	中茶色	中赤褐色	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	微金属臭	微さび臭	微さび臭	微金属臭	-
	透視度	度	23.0	>50.0	>50.0	37.0	>50.0	>50.0	15.0	>50.0	>50.0	20.0	16.5	43.0	-
	pH	-	6.8	6.3	6.7	6.3	6.4	7.4	6.6	6.4	6.3	7.0	6.4	6.1	-
	電気伝導率	mS/m	19.8	19.1	20.5	20.9	18.7	18.0	19.0	17.4	17.8	18.3	15.8	16.0	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.86	6.13	4.67	5.64	6.32	1.04	3.47	5.26	5.18	4.30	3.63	3.36	10以下
	鉛	mg/L	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.2 中町1-15

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 11:50	R1.7.24 13:35	H30.7.27 13:40	R2.9.29 11:45	R1.9.30 15:11	H30.9.21 13:25	R2.11.26 11:50	R1.11.29 13:10	H30.11.26 13:20	R3.2.2 13:29	R2.2.26 11:00	H31.2.18 11:35		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	29.0	29.9	30.0	22.5	26.8	17.5	17.8	9.9	18.3	12.6	7.8	12.8	-
	水温	℃	22.2	20.0	18.0	20.0	19.0	18.0	18.0	15.0	14.0	14.0	14.0	14.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.0	6.9	6.6	6.2	7.1	6.7	6.3	6.2	6.9	6.7	6.1	-
	電気伝導率	mS/m	15.1	28.9	15.6	14.7	14.2	14.1	14.1	13.6	14.6	13.9	12.9	15.3	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	3.48	4.97	3.70	4.09	4.27	3.61	3.69	5.70	3.93	5.49	4.34	6.35	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.3 中町2-15

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 11:30	R1.7.24 8:55	H30.7.27 13:50	R2.9.29 12:00	R1.9.30 15:34	H30.9.21 13:15	R2.11.26 12:05	R1.11.29 13:25	H30.11.26 13:35	R3.2.2 13:51	R2.2.26 11:15	H31.2.18 13:10		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	29.0	27.0	29.0	22.0	27.5	17.5	17.5	10.2	18.2	14.8	7.3	17.0	-
	水温	℃	25.0	24.5	20.8	19.5	19.0	18.0	14.2	10.3	13.0	7.9	10.5	10.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	無色透明	-
	臭気	-	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.5	6.7	7.7	7.2	7.1	7.4	7.0	7.2	6.8	7.1	7.1	6.9	-
	電気伝導率	mS/m	18.0	19.2	17.2	16.6	16.2	15.7	15.0	13.0	13.6	12.3	12.6	13.3	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	<0.01	0.07	0.01	0.21	0.06	0.06	0.06	0.04	0.04	0.10	0.02	0.03	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表2-1 井戸水調査結果一覧表

## No.4 梶野町3-12

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 10:40	R1.7.24 11:55	H30.7.27 10:45	R2.9.29 11:00	R1.9.30 12:35	H30.9.21 10:05	R2.11.26 10:55	R1.11.29 13:50	H30.11.26 10:50	R3.2.2 11:52	R2.2.26 10:05	H31.2.18 10:50		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	28.2	29.8	26.5	18.0	27.6	17.5	15.2	8.5	13.4	10.0	6.8	9.7	-
	水温	℃	23.0	21.2	20.0	19.5	20.2	18.0	15.5	12.0	13.3	11.0	13.5	9.6	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.3	7.4	7.6	7.4	7.6	7.4	7.5	7.8	7.6	7.5	7.3	6.9	-
	電気伝導率	mS/m	21.3	26.0	23.8	21.4	18.7	16.4	20.0	12.6	14.0	16.5	14.5	13.5	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	2.99	1.67	3.90	3.74	1.91	1.08	3.92	0.31	1.00	3.76	1.43	1.24	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

## No.5 関野町1-11

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 10:30	R1.7.24 11:19	H30.7.27 10:20	R2.9.29 10:05	R1.9.30 11:53	H30.9.21 10:45	R2.11.26 10:30	R1.11.29 10:30	H30.11.26 10:20	R3.2.2 11:16	R2.2.26 9:55	H31.2.18 10:25		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	28.2	27.2	26.0	17.5	28.5	17.5	14.5	5.9	13.8	8.1	6.8	10.1	-
	水温	℃	21.5	18.0	17.8	18.5	17.9	17.5	16.5	15.7	17.0	15.0	15.4	15.0	-
	外観(色相)	-	淡褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡赤褐色	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.8	6.2	6.7	6.4	6.4	6.8	6.2	6.4	6.2	6.6	6.6	7.0	-
	電気伝導率	mS/m	19.6	23.4	19.4	19.2	20.2	18.8	17.8	16.9	17.8	16.1	16.9	17.0	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.85	5.25	5.40	6.04	6.20	5.77	5.66	5.77	5.21	5.24	5.70	5.36	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

## No.6 緑町3-13

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 11:10	R1.7.24 11:34	H30.7.27 10:35	R2.9.29 10:50	R1.9.30 12:12	H30.9.21 11:00	R2.11.26 10:45	R1.11.29 10:40	H30.11.26 10:35	R3.2.2 11:34	R2.2.26 9:00	H31.2.18 10:40		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	28.5	28.5	27.0	20.0	28.7	17.5	14.6	6.3	15.0	10.0	7.2	12.2	-
	水温	℃	22.2	20.5	20.0	21.0	18.5	19.0	20.0	19.0	18.4	21.4	21.2	20.8	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.1	7.0	7.2	6.9	6.9	7.1	6.9	6.9	6.5	6.7	6.9	6.6	-
	電気伝導率	mS/m	31.8	34.7	35.0	30.3	29.7	30.4	30.2	28.4	27.6	29.2	27.8	28.4	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0034	0.0024	0.0031	0.0026	0.0037	0.0020	0.0019	0.0039	0.0035	0.0020	0.0042	0.0033	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	6.35	6.48	6.37	6.51	6.38	6.28	6.57	6.27	5.99	6.27	6.28	6.50	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.7 桜町1-2

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 10:00	R1.7.24 10:44	H30.7.27 9:55	R2.9.29 10:35	R1.9.30 11:10	H30.9.21 10:15	R2.11.26 10:00	R1.11.29 10:00	H30.11.26 9:55	R3.2.2 10:35	R2.2.26 9:25	H31.2.18 10:00		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	27.3	27.1	24.5	18.0	27.2	17.0	14.0	3.3	14.0	9.8	7.8	10.0	-
	水温	℃	18.0	16.8	17.0	17.5	16.5	17.0	17.5	16.1	16.3	16.4	17.0	16.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.1	6.5	7.0	6.7	6.7	6.9	6.9	6.8	6.6	7.0	6.7	6.8	-
	電気伝導率	mS/m	24.2	26.7	23.7	23.7	23.5	22.9	22.5	21.1	22.3	21.4	21.8	21.4	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0003	0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0030	0.0018	0.0027	0.0050	0.0029	0.0023	0.0056	0.0022	0.0020	0.0054	0.0025	0.0019	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	6.63	6.49	6.48	6.56	6.29	6.31	6.56	6.28	5.98	6.20	6.28	6.62	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.8 桜町3-6

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 10:15	R1.7.24 11:03	H30.7.27 10:10	R2.9.29 9:50	R1.9.30 11:34	H30.9.21 10:35	R2.11.26 10:15	R1.11.29 10:20	H30.11.26 10:10	R3.2.2 10:55	R2.2.26 9:45	H31.2.18 10:10		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	27.3	26.0	24.0	17.0	25.0	17.0	14.3	6.1	14.0	8.2	8.0	10.0	-
	水温	℃	19.8	18.2	18.0	18.5	18.0	18.0	15.0	15.2	17.0	17.2	16.4	16.0	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡赤褐色	淡灰色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.4	6.4	6.7	6.3	6.4	6.8	6.8	6.4	6.2	6.7	6.6	6.6	-
	電気伝導率	mS/m	20.0	20.6	20.6	19.5	20.3	19.5	17.0	17.0	17.9	16.7	16.8	20.5	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0013	0.0014	0.0011	0.0022	0.0013	0.0011	0.0020	0.0014	0.0013	0.0022	0.0017	0.0017	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	6.07	5.46	5.39	5.54	5.69	5.39	5.30	5.66	5.28	5.17	5.47	5.84	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.9 東町1-41

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値
		R2.7.22 9:20	R1.7.24	H30.7.27 13:20	R2.9.29 11:30	R1.9.30	H30.9.21 11:40	R2.11.26 11:35	R1.11.29 11:40	H30.11.26 11:25	R3.2.2 13:07	R2.2.26 10:50	H31.2.18 11:20	
現場測定項目	天候	-		晴	曇		雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	28.2	18.0	21.0		18.0	17.2	7.0	16.5	11.8	7.0	12.5	-
	水温	℃	23.0	19.0	20.5		17.5	15.2	14.9	13.7	15.2	16.0	12.0	-
	外観(色相)	-	淡褐色	無色透明	無色透明		淡灰茶色	中赤褐色	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	無色透明	-
	臭気	-	微土臭	無臭	無臭		無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	-
	透視度	度	48.0	>50.0	>50.0		>50.0	22.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.5	6.9		6.7	6.7	6.2	6.3	6.8	6.1	6.2	-
	電気伝導率	mS/m	19.1	19.2	14.3		16.9	15.5	15.1	15.0	15.2	16.1	14.6	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	<0.0002		0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0003	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	4.96	6.29	0.51		6.11	2.74	6.50	5.89	5.42	6.39	6.26	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001		0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.10 中町2-1

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			H31.2.18	環境 基準値
		R2.7.22 9:35	R1.7.24 13:02	H30.7.27 11:15	R2.9.29 12:25	R1.9.30 14:24	H30.9.21 13:45	R2.11.26 12:20	R1.11.29 12:40	H30.11.26 14:45	R3.2.2 12:42	R2.2.26 12:45			
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	欠測	-
	気温	℃	28.2	29.0	25.0	22.0	28.9	17.5	17.5	10.0	18.5	11.2	11.0		-
	水温	℃	21.0	17.2	18.0	18.5	17.5	17.5	18.0	16.2	16.8	17.0	15.8		-
	水位	m	12.7	13.4	14.0	13.2	13.2	13.8	13.4	12.1	13.8	14.3	13.5		-
	外観(色相)	-	無色透明	淡黄色	無色透明	無色透明	淡黄色	無色透明	淡褐色	淡赤褐色	淡赤褐色	淡黄褐色	淡黄褐色		-
	臭気	-	微土臭	微土臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	微土臭	微土臭	無臭	無臭	無臭		-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	25.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0		-
	pH	-	6.8	6.2	6.9	6.5	6.3	6.5	6.4	6.4	6.4	7.1	6.1		-
調査項目	電気伝導率	mS/m	16.1	16.7	17.8	22.0	16.1	16.7	16.2	14.0	15.5	15.1	15.8	-	
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0003	0.0003	0.0002	0.0002	0.0005	0.0002	0.0003	0.0007	0.0003	0.0004	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	4.42	5.16	4.76	4.17	4.25	4.71	4.59	4.83	4.70	5.49	5.02	10以下	
鉛	mg/L	<0.001	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	0.01以下		

No.11 緑町1-1

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			H31.2.18	環境 基準値
		R2.7.22 11:00	R1.7.24 12:13	H30.7.27 11:00	R2.9.29 11:15	R1.9.30 13:29	H30.9.21 11:20	R2.11.26 11:15	R1.11.29 11:10	H30.11.26 11:10	R3.2.2 12:10	R2.2.26 10:20			
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	29.0	29.5	28.0	20.0	28.5	17.0	18.8	7.2	17.0	11.2	7.6	13.7	-
	水温	℃	23.0	18.4	18.5	19.5	18.0	17.5	16.2	15.0	15.7	15.2	14.8	13.2	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.4	6.8	6.7	6.6	6.9	6.8	6.1	6.6	7.0	6.6	6.3	-
	電気伝導率	mS/m	16.8	17.4	19.8	17.9	16.5	17.2	16.9	14.3	15.3	15.7	15.1	15.4	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0005	0.0046	0.0005	0.0005	0.0007	0.0007	0.0005	0.0007	0.0008	0.0006	0.0008	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.29	5.35	5.54	5.68	5.67	5.61	5.68	6.68	5.30	5.35	5.62	5.74	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

No.12 貫井北町5-13

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			H31.2.18	環境 基準値
		R2.7.22 13:10	R1.7.24 10:16	H30.7.27	R2.9.29 9:25	R1.9.30 10:35	H30.9.21 9:55	R2.11.30 11:10	R1.11.29 14:35	H30.11.26 9:25	R3.2.2 10:09	R2.2.26 11:40			
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	欠測	-	
	気温	℃	30.5	26.8	20.0	25.8	18.0	11.5	8.5	12.7	8.0	8.0		-	
	水温	℃	22.8	18.2	20.0	18.0	18.0	16.2	14.0	15.3	16.2	14.8		-	
	水位	m	11.3	12.2	11.5	11.6	13.0	12.1	9.9	13.2	13.8	12.7		-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡灰茶色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明		無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭		無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0		>50.0	-
	pH	-	6.6	6.4	6.5	6.4	6.8	6.7	6.5	6.5	6.8	6.7		6.7	-
調査項目	電気伝導率	mS/m	21.4	20.1	25.2	19.9	19.3	18.6	17.5	16.8	17.4	16.9	-		
	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0003	0.0002	0.0002	0.0003	0.0002	0.0003	0.0002	<0.0002	0.0004	0.01以下		
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0008	0.0004	0.0008	0.0006	0.0002	0.0009	0.0007	0.0008	0.0009	0.0008	0.01以下		
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下		
	硝酸性窒素	mg/L	5.29	7.14	5.68	6.37	5.50	6.11	5.22	5.16	5.21	6.30	10以下		
鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下		

表2-1 井戸水調査結果一覧表

No.13 貫井南町2-1

調査項目	調査項目 単位	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
		R2.7.22 8:55	R1.7.24 9:49	H30.7.27 9:20	R2.9.29 9:05	R1.9.30 9:53	H30.9.21 9:35	R2.11.26 9:10	R1.11.29 9:20	H30.11.26 9:05	R3.2.2 9:35	R2.2.26 12:25	H31.2.18 9:00		
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	28.0	26.8	26.0	19.5	26.0	12.5	14.0	6.2	12.5	8.8	8.2	8.2	-
	水温	℃	22.0	19.2	18.5	21.0	18.6	16.5	17.5	15.0	16.5	14.2	14.2	15.0	-
	水位	m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.3	7.2	7.3	7.0	7.0	7.1	6.8	7.2	6.7	6.9	6.9	6.4	-
電気伝導率	mS/m	34.4	<b>41.0</b>	<b>31.8</b>	31.4	31.4	30.8	29.9	28.3	27.3	26.9	25.7	26.0	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	<0.01	<0.01	0.03	0.13	0.03	0.04	0.04	0.03	<0.01	0.05	<0.01	0.02	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下



表2-2 検出状況一覧表

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No.1	貫井南町1-24	4	0	0	0	4	1
No.2	中町1-15	4	0	0	0	4	0
No.3	中町2-15	4	0	0	0	3	1
No.4	梶野町3-12	4	0	0	0	4	0
No.5	関野町1-11	4	1	0	0	4	1
No.6	緑町3-13	4	2	4	0	4	0
No.7	桜町1-2	4	3	4	0	4	0
No.8	桜町3-6	4	0	4	0	4	0
No.9	東町1-41	4	0	0	0	4	0
No.10	中町2-1	4	0	4	0	4	2
No.11	緑町1-1	4	3	4	0	4	1
No.12	貫井北町5-13	4	3	4	0	4	0
No.13	貫井南町2-1	4	1	0	0	3	0

表2-3 環境基準超過状況(基準超過検対数)

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No.1	貫井南町1-24	4	0	0	0	0	0
No.2	中町1-15	4	0	0	0	0	0
No.3	中町2-15	4	0	0	0	0	0
No.4	梶野町3-12	4	0	0	0	0	0
No.5	関野町1-11	4	0	0	0	0	0
No.6	緑町3-13	4	0	0	0	0	0
No.7	桜町1-2	4	0	0	0	0	0
No.8	桜町3-6	4	0	0	0	0	0
No.9	東町1-41	4	0	0	0	0	0
No.10	中町2-1	4	0	0	0	0	0
No.11	緑町1-1	4	0	0	0	0	0
No.12	貫井北町5-13	4	0	0	0	0	0
No.13	貫井南町2-1	4	0	0	0	0	0

表2-4 令和2年度平均値

試料名	所在地	調査回数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	硝酸性窒素	鉛
No.1	貫井南町1-24	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4.57	<0.001
No.2	中町1-15	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4.19	<0.001
No.3	中町2-15	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.12	<0.001
No.4	梶野町3-12	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	3.60	<0.001
No.5	関野町1-11	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	5.7	<0.001
No.6	緑町3-13	4	<0.0002	0.0025	<0.0002	6.43	<0.001
No.7	桜町1-2	4	0.0002	0.0048	<0.0002	6.49	<0.001
No.8	桜町3-6	4	<0.0002	0.0019	<0.0002	5.52	<0.001
No.9	東町1-41	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	3.41	<0.001
No.10	中町2-1	4	<0.0002	0.0002	<0.0002	4.67	0.001
No.11	緑町1-1	4	0.0002	0.0006	<0.0002	5.50	<0.001
No.12	貫井北町5-13	4	0.0002	0.0009	<0.0002	5.57	<0.001
No.13	貫井南町2-1	4	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.07	<0.001

図2-1 令和2年度平均値

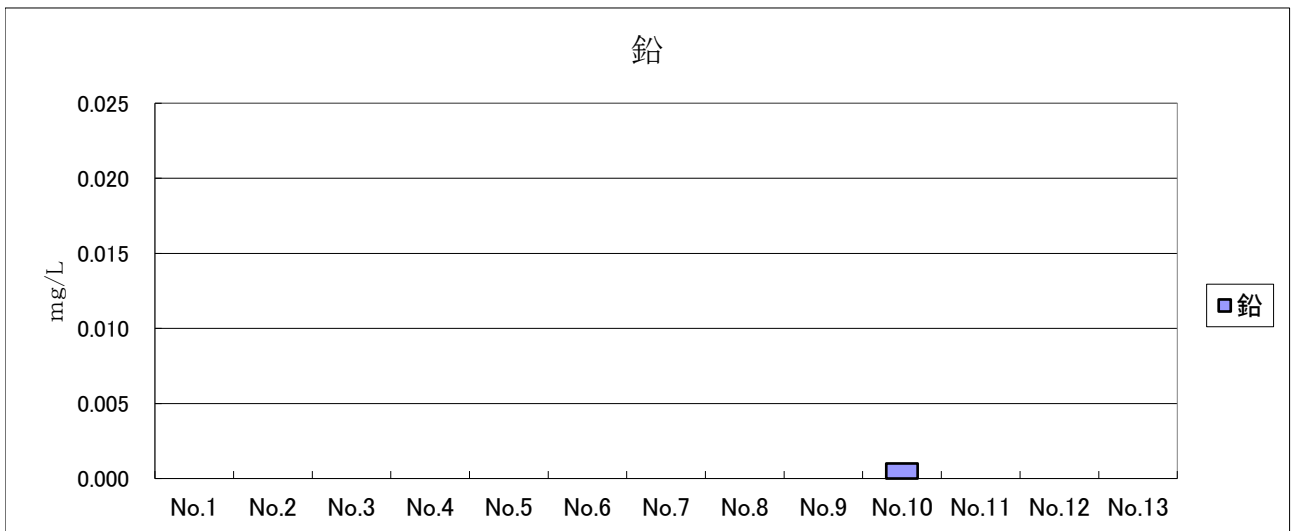
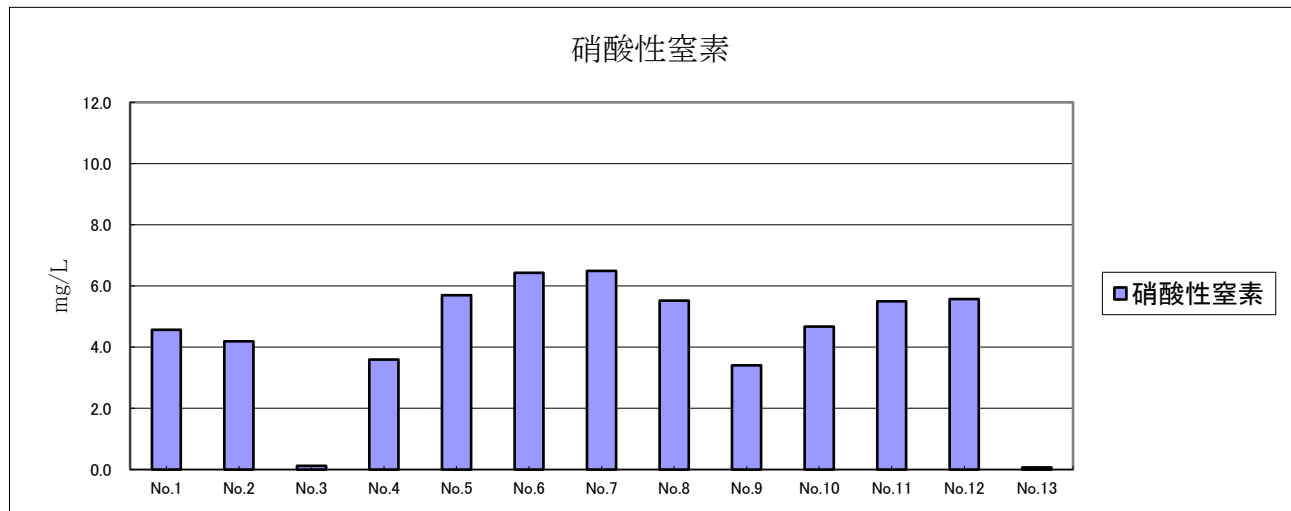
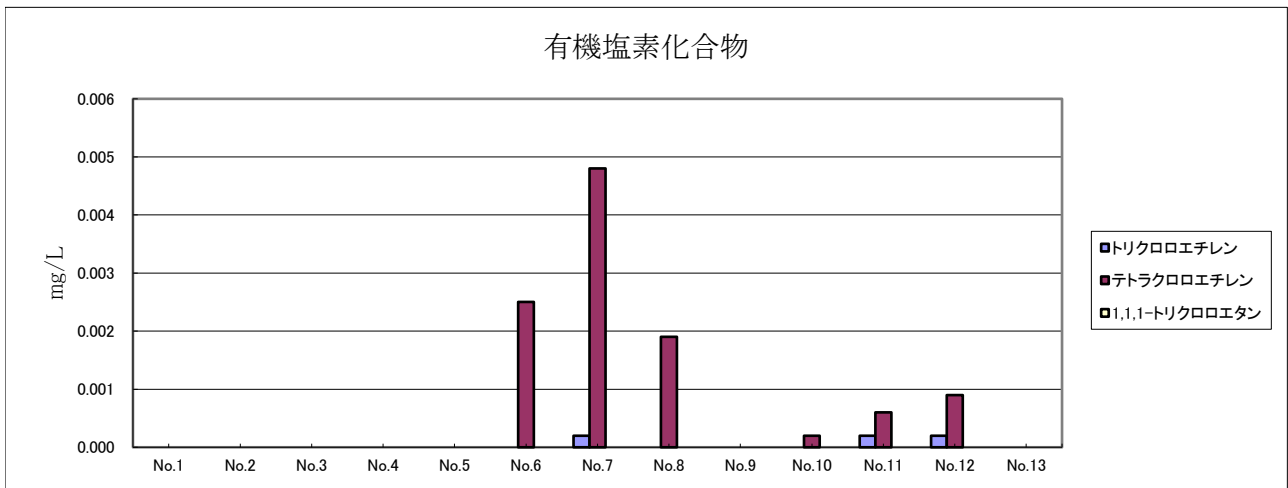
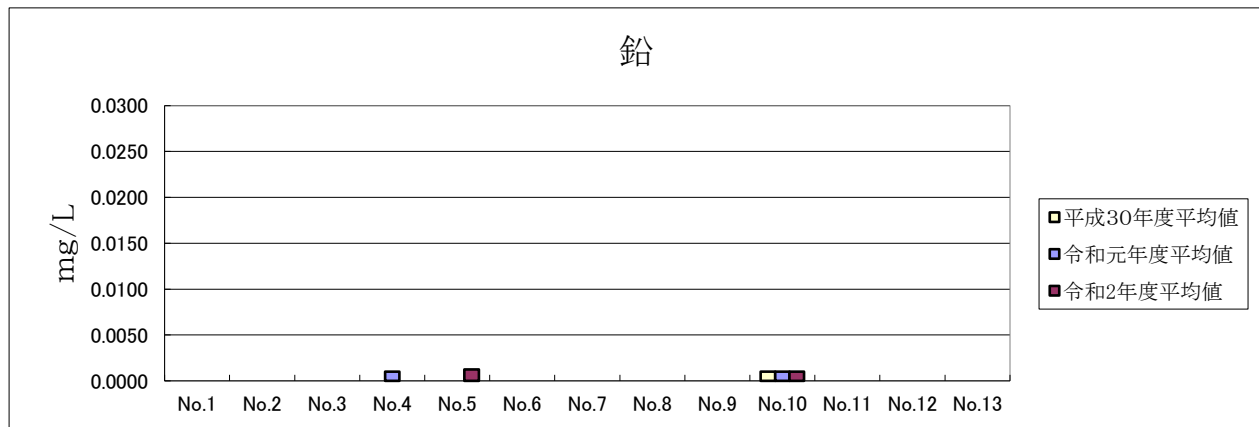
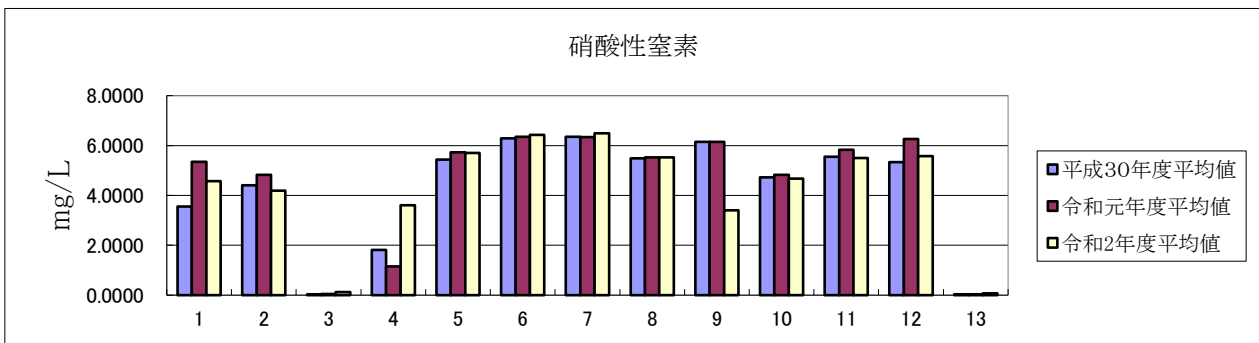
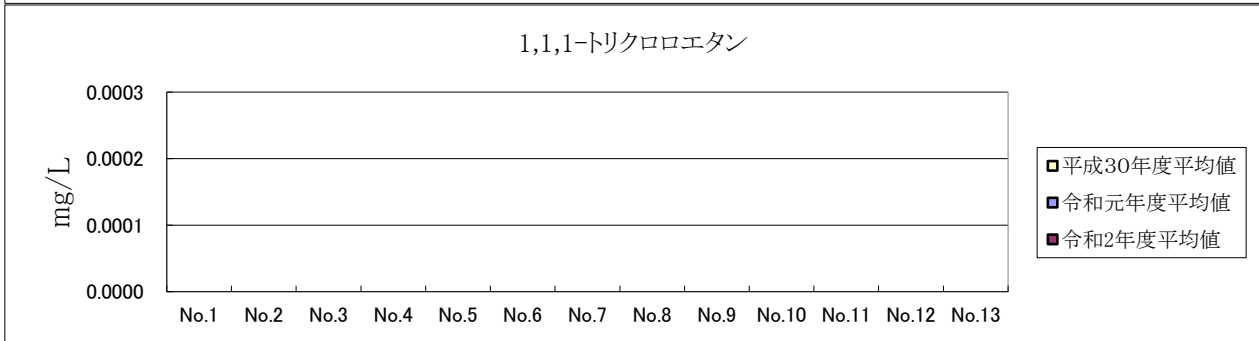
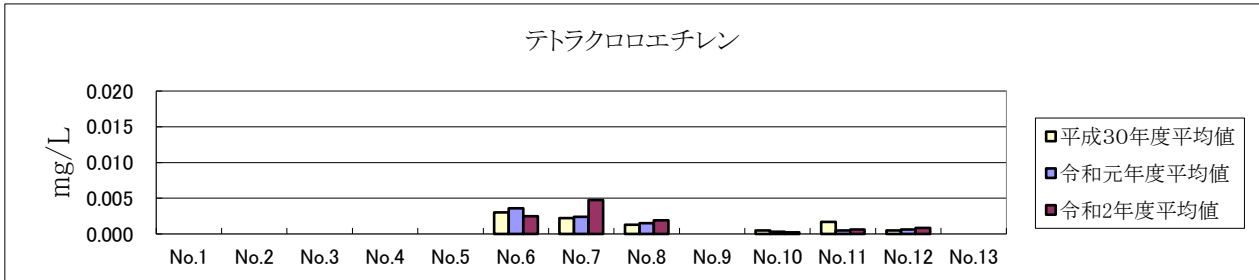
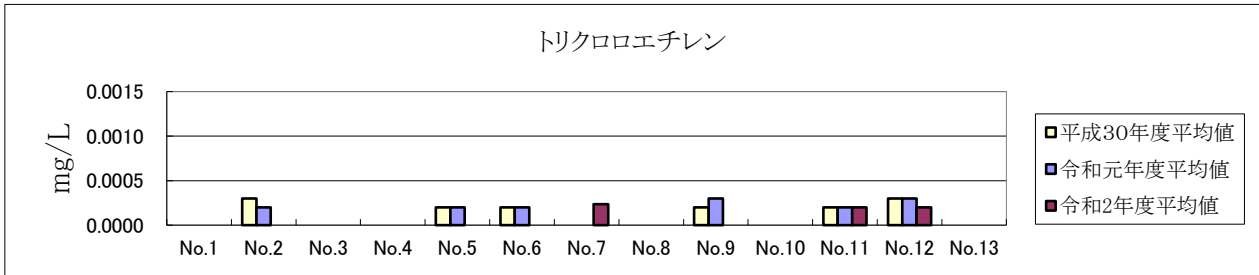


図2-2 過去2年間の調査結果との比較



各分析項目は以下のような結果であった。

(1) トリクロロエチレン

No5, 6, 7, 11, 12, 13で検出されたが全ての地点で環境基準を満足していた。

(2) テトラクロロエチレン

No6, 7, 8, 10, 11, 12で検出されたが全ての場所で環境基準を満足していた。

(3) 1,1,1-トリクロロエタン

環境基準を満足していた。

(4) 硝酸性窒素

全地点で検出されたが環境基準を満足していた。

(5) 鉛

No1, 3, 5, 10, 11の地点で検出されたが環境基準は満足していた。

(6) 地域の傾向

平成30年度、令和元年度の調査結果と比較すると、一部の例外はあるが、全項目で同様の地点で検出されている。令和2年度は鉛がNo1, 3, 5, 10, 11の5地点で低濃度だが検出された。

## 2-2.野川調査

野川の水質調査は、小金井市域最下流部の柳橋下にて6月と11月に実施した。

### (1)生活環境項目

今年度の調査結果は、環境基準(D類型)を全て満足していた。

過去2年間の同時期と比較すると、水素イオン濃度(pH)以外の項目は同様の値であった。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-5に示す。

表2-5 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較(生活環境項目)

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R2.6.11	R1.6.6	H30.6.14	R2.11.5	R1.11.7	H30.11.1	
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	6.0以上 8.5以下	-	7.8	7.9	7.4	8.1	7.5	6.6
	溶存酸素(DO)	mg/L	2以上	0.5	8.4	8.6	9.0	10.4	9.1	10.1
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	8以下	0.5	0.9	0.5	0.9	0.5	0.5	1.0
	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	-	0.5	1.7	2.8	2.8	2.3	2.1	2.0
	浮遊物質質量(SS)	mg/L	100以下	1	6	6	7	4	8	3
	大腸菌群数	MPN/100mL	-	1.8	7900	7000	11000	4900	14000	11000
	全窒素(T-N)	mg/L	-	0.05	6.27	4.04	4.48	5.46	6.84	6.36
	全りん(T-P)	mg/L	-	0.003	0.043	0.014	0.019	0.020	0.035	0.048

### (2)健康項目

今年度の調査結果は、環境基準を満足していた。環境基準及び過去2年間の調査結果との比較を表2-6に示す。

表2-6 環境基準及び過去2年間の調査結果との比較(健康項目)

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R2.6.11	R1.6.6	H30.6.14	R2.11.5	R1.11.7	H30.11.1	
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10以下	0.01	5.60	3.40	3.90	4.90	6.20	5.91

(3)その他の項目及び現場測定項目

過去2年間の調査結果と比較すると、6月の調査では令和元年度調査と比較するとアンモニア性窒素が2倍、りん酸性りんが3倍程度。11月の調査では、アンモニア性窒素、りん酸性りんが2倍程度であった。陰イオン界面活性剤は6月、11月ともに不検出であった。

過去の調査結果との比較を表2-7に示す。

表2-7 過去2年間の調査結果との比較(そのほかの項目及び現場測定項目)

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R2.6.11	R1.6.6	H30.6.14	R2.11.5	R1.11.7	H30.11.1	
その他の項目	陰イオン界面活剤(MBAS)	-	-	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	アンモニア性窒素(NH4-N)	mg/L	-	0.01	0.07	0.03	0.03	0.04	0.02	0.01
	りん酸性りん(PO4-P)	mg/L	-	0.003	0.027	0.009	0.012	0.009	0.004	0.019
現場測定項目	天候	-	-	-	曇	晴	曇	晴	晴	晴
	気温	℃	-	-	27.0	27.5	22.0	11.0	19.0	14.8
	水温	℃	-	-	21.5	22.0	21.0	14.0	16.0	14.0
	外観(色相)	-	-	-	淡灰緑色	淡灰茶色	無色	無色	淡灰色	無色
	臭気	-	-	-	微川藻臭	無臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭
	透視度	度	-	-	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
	流量	m <sup>3</sup> /sec	-	-	0.114	0.0005	0.064	0.190	0.637	0.082
	全水深	m	-	-	0.17	0.03	0.08	0.18	0.28	0.12

## 2-3.湧水調査

### (1) 水質調査

水質調査の結果を表2-8に示す。

#### 1) 透視度

6月、12月の調査共にどの地点でも水質は外観上で濁りなどは見られず透視度も50度以上であった。

#### 2) 水温

水温については、貫井神社で17.4℃(6月)、16.0℃(12月)、滄浪泉園で17.5℃(6月)、16.2℃(12月)、美術の森緑地で17.5℃(6月)、16.0℃(12月)、中町四丁目公共緑地で17.8℃(6月)、16.8℃(12月)であった。年間変動は小さく、各調査地点ともほぼ同じ水温と言える。

#### 3) 臭気

臭気については、6月の美術の森緑地、中町四丁目公共緑地は微土臭であったが他の地点は無臭であり、異常な臭いはみられなかった。

#### 4) 流量

流量については、貫井神社で420L/min(6月)、360L/min(12月)、滄浪泉園で120L/min(6月)、60L/min未満(12月)、美術の森緑地で120L/min(6月)、60L/min未満(12月)、中町四丁目公共緑地で120L/min(6月)、60L/min未満(12月)であった。

#### 5) pH

pHについては、いずれの地点でも6.2～6.6でやや酸性である。

#### 6) 電気伝導率

電気伝導率については、貫井神社で19.6mS/m(6月)、20.3mS/m(12月)、滄浪泉園で19.5mS/m(6月)、17.6mS/m(12月)、美術の森緑地で18.2mS/m(6月)、15.8mS/m(12月)、中町四丁目公共緑地で20.1mS/m(6月)、18.9mS/m(12月)であった。

#### 7) 硝酸性窒素

硝酸性窒素については、貫井神社で5.05mg/L(6月)、6.10mg/L(12月)、滄浪泉園で5.82mg/L(6月)、6.30mg/L(12月)、美術の森緑地で6.60mg/L(6月)、7.30mg/L(12月)、中町四丁目公共緑地で7.62mg/L(6月)、7.80mg/L(12月)であった。全調査地点で環境基準を満足しているが、やや高め傾向であった。

#### 8) トリクロロエチレン

トリクロロエチレンについては、全地点で6月、12月ともに不検出(0.0002mg/L未満)であった。

#### 9) テトラクロロエチレン

テトラクロロエチレンについては、全地点で6月、12月ともに不検出(0.0002mg/L未満)であった。

#### 10) 1, 1, 1-トリクロロエタン

1, 1, 1-トリクロロエタンは、全調査地点で6月、12月ともに不検出(0.0002mg/L未満)であった。

表2-8 湧水水質調査結果一覧表

調査地点 貫井神社

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	
採取日	-	令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	-
採取時刻	-	9:10	10:10	10:00	9:05	10:50	8:55	-
天候	-	雨	曇	曇	晴	曇	晴	-
気温	℃	19.8	22.6	26.0	4.5	10.0	6.7	-
水温	℃	17.4	18.0	19.0	16.0	16.5	15.8	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	0.007	0.003	0.004	0.006	0.008	0.003	-
pH	-	6.4	6.2	6.1	6.2	6.1	6.3	-
電気伝導率	ms/m	19.6	15.1	22.6	20.3	16.1	18.5	-
硝酸性窒素	mg/L	5.05	5.27	5.80	6.10	6.02	6.10	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 美術の森緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	
採取日	-	令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	-
採取時刻	-	9:55	11:55	11:25	10:40	14:20	10:55	-
天候	-	雨	曇	曇	晴	曇	晴	-
気温	℃	20.0	24.4	28.2	8.8	9.5	9.6	-
水温	℃	17.5	18.0	19.0	16.0	17.0	15.5	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	0.002	0.002	0.002	<0.001	0.003	<0.001	-
pH	-	6.6	6.3	6.3	6.6	6.3	6.4	-
電気伝導率	ms/m	18.2	17.1	17.6	15.8	14.4	15.6	-
硝酸性窒素	mg/L	6.60	7.70	7.55	7.30	6.65	7.12	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 滄浪泉園

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	
採取日	-	令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	-
採取時刻	-	11:35	9:15	9:10	11:45	9:15	9:40	-
天候	-	雨	曇	曇	晴	曇	晴	-
気温	℃	19.5	23.0	25.8	9.0	10.5	8.2	-
水温	℃	17.5	17.5	19.0	16.2	17.2	16.0	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	0.006	<0.001	-
pH	-	6.5	6.3	6.2	6.3	6.3	6.3	-
電気伝導率	ms/m	19.5	18.9	16.3	17.6	15.7	17.3	-
硝酸性窒素	mg/L	5.82	5.74	5.01	6.30	5.72	6.18	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

調査地点 中町四丁目公共緑地

調査項目	単位	第1回目			第2回目			環境基準値
		令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	
採取日	-	令和2年6月22日	令和元年6月21日	平成30年6月28日	令和2年12月22日	令和元年12月19日	平成30年12月21日	-
採取時刻	-	10:40	11:05	10:45	10:40	12:45	10:40	-
天候	-	雨	曇	曇	晴	曇	晴	-
気温	℃	19.2	24.8	27.0	7.5	10.0	8.2	-
水温	℃	17.8	18.2	19.0	16.8	17.0	16.2	-
外観	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
臭気	-	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
流量	m <sup>3</sup> /sec	0.002	0.002	0.001	<0.001	0.007	<0.001	-
pH	-	6.6	6.3	6.4	6.4	6.1	6.3	-
電気伝導率	ms/m	20.1	20.2	20.1	18.9	17.4	18.7	-
硝酸性窒素	mg/L	7.62	7.34	8.45	7.80	7.72	7.98	10以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下

環境基準値:地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境省告示第10号)



(2)底生生物  
底生生物調査結果一覧表を表2-9に示す。

表2-9 底生生物調査結果一覧表

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	汚濁耐性	水質階級	汚濁階級	調査地点												重要種		外来種				
										貫井神社				滄浪泉園				美術の森緑地				中町4丁目公共緑地				環境省RL	東京都RDB (北多摩)	
										6月		12月		6月		12月		6月		12月		6月			12月			
										個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量		個体数	湿重量		
1	扁形動物門	有棒状体綱	三岐腸目	—	三岐腸目	Tricladida	-	-	-	49	0.287	47	0.105	40	0.133	81	0.217	136	0.162	116	0.146							
2	紐形動物門	有針綱	ハリヒモムシ目	マミズヒモムシ科	ミズヒモムシ属	<i>Prostoma</i> sp.	-	-	-													3	0.005					
3	線形動物門	—	—	—	線形動物門	NEMATODA	-	-	-																			
4	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	A	os	1			5	0.263					1	0.003	2	0.931	6	0.196	19	1.893			
5			汎有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	B	ps	4					1	0.001													
6		二枚貝綱	マルスダレガイ目	マメシジミ科	マメシジミ属	<i>Pisidium</i> sp.	B	α m	3	3	+			10	0.002	4	0.002	24	0.005	20	0.003	30	0.008					
7	環形動物門	ミズ綱	オヨギミズ目	オヨギミズ科	オヨギミズ科	Lumbriculidae	A	os	1	2	0.013	11	0.045	2	0.015	4	0.005	7	0.036	5	0.022	2	0.005					
8			イトミミズ目	ヒメミズ科	ヒメミズ科	Enchytraeidae	-	-	-					1	0.003			1	+	1	+	1	+					
9				ミズミズ科	ミズミズ属	<i>Nais</i> sp.	B	α m	3	5	+							24	0.002	51	0.003			1	+			
10				ミズミズ科	ミズミズ科	Naididae	B	ps	4			5	0.008	4	+	2	0.001	31	0.017	24	0.058	78	0.050	4	0.007			
11		ヒル綱	物無蛭目	—	物無蛭目	Arhynchobdellida	-	-	-									2	0.184	1	0.004	5	0.029					
12	節足動物門	クモ綱(蛛形綱)	ダニ目	—	ダニ目	Acarina	A	os	1							1	+											
13		軟甲綱	ヨコエビ目	メクラヨコエビ科	メクラヨコエビ属	<i>Pseudocrangonyx</i> sp.	-	-	-							1	+											
14				ナギサヨコエビ科	コジマチカヨコエビ	<i>Eoniphargus kojimai</i>	-	-	-					1	+	8	0.006							1	0.001			
15			ワラジムシ目	ミズムシ科(甲)	ミズムシ(甲)	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>	B	α m	3	73	0.182	33	0.053	13	0.022	37	0.146	137	0.143	46	0.088	8	0.005	23	0.045			
16					ミズムシ属(甲)	<i>Asellus</i> sp.	-	-	-												1	0.002						
17			エビ目	サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	A	os	1											2	0.180	4	0.717	2	0.089	留意		
18		昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	A	os	1	64	0.048	1	+					40	0.024	19	0.011	4	0.005	1	0.001			
19					コカゲロウ科	Baetidae	-	-	-												16	0.002			3	+		
20			トンボ目(蜻蛉目)	オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	B	β m	2									5	0.088	21	0.096							
21			カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属	<i>Nemoura</i> sp.	A	os	1									1	0.002									
22			ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	B	β m	2					1	+	1	0.083			3	0.093				NT			
23			トビケラ目(毛翅目)	コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属	<i>Apatania</i> sp.	B	β m	2	1	0.002																	
24				ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	A	os	1	6	0.005																	
25					ニンギョウトビケラ属	<i>Goera</i> sp.	-	-	-	25	0.018	4	0.017															
26				カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属	<i>Lepidostoma</i> sp.	-	-	-	2	0.002	2	0.001	80	0.180	26	0.066	326	0.051	18	0.002	1	0.002	11	0.001			
27				ケトビケラ科	トウヨウグマガトビケラ	<i>Gumaga orientalis</i>	A	os	1			15	0.021															
28			ハエ目(双翅目)	オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	<i>Dicranota</i> sp.	-	-	-							1	+	1	0.005					2	+			
29				ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.	A	os	1					1	0.002													
30				ガガンボ科	ガガンボ属	<i>Tipula</i> sp.	B	β m	2	2	0.412	1	0.124	1	0.270	2	0.207	2	0.052									
31				ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae	-	-	-	1	+										1	+						
32				ユスリカ科	ケブカユスリカ属	<i>Brillia</i> sp.	B	-	-					1	0.002													
33					ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.	B	ps	4												2	0.003						
34					スジカマガタユスリカ属	<i>Demicryptochironomus</i> sp.	-	-	-	1	+			1	+								2	+				
35					ホソケブカユスリカ属	<i>Neobrillia</i> sp.	B	-	-									8	0.001	27	0.006	4	0.003	5	0.001			
36					ハモンユスリカ属	<i>Polypedilum</i> sp.	B	α m	3			1	0.001	12	0.003	5	0.001	8	0.001	23	0.011	9	0.001	33	0.010			
37					ハムグリユスリカ属	<i>Stenochironomus</i> sp.	B	-	-												1	+						
38					アシマダラユスリカ属	<i>Stictochironomus</i> sp.	B	α m	3														4	0.003				
39					ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.	B	-	-	1	+							58	0.008	4	0.002	7	0.001					
40					ユスリカ亜科	Chironominae	B	-	-									8	+									
41					エリユスリカ亜科	Orthoclaadiinae	B	-	-	2	+	1	+					32	0.002	1	+	24	0.003					
42					モンユスリカ亜科	Tanypodinae	B	-	-	8	0.005			8	0.006			35	0.007	39	0.019	3	0.002	2	+			
43					ユスリカ科	Chironomidae	B	-	-	1	+			2	0.001						2	+			2	+		
44				ホソカ科	ホソカ属	<i>Dixa</i> sp.	B	ps	4							2	+	8	0.002	17	0.007			5	0.003			
45				ブユ科	ツノマユブユ属	<i>Eusimulium</i> sp.	-	-	-									27	0.015	29	0.011	1	0.001	20	0.018			
46				オドリバエ科	オドリバエ科	Empididae	B	-	-	1	+			2	+						1	+						
合計										247	0.974	126	0.638	180	0.639	178	0.735	930	0.810	496	1.700	196	1.036	140	2.077			
種類数										18		12		17		17		24		30		19		17				

1)種名、学名及び種の並び順等は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和2年度版)」に従った。  
2)個体数欄の「+」は群生性種、湿重量欄の「+」は0.000g未満を示す。  
3)重要種の略称及び表中の記号は以下を示す。  
環境省RL:「環境省版レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 昆虫類、貝類、その他無脊椎動物)(2020、環境省)」  
東京都RDB:「レッドデータブック東京2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版~(2013、東京都環境局)」  
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、留意:留意種  
4)外来種の選定、及び表中の記号は以下を示す。  
「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種(環境省・農林水産省、2015)」  
※1:「外来種ハンドブック(日本生態学会編、地人書館、2002年)」の掲載種  
5)水質階級は以下の資料を参考とした。  
「水生生物調査結果報告書(東京都環境保全局、1997)」  
「指標生物学~生物モニタリングの考え方~(森下節子、山海堂、1985)」  
同書に階級が記載されていなかった種については、近縁種などの水質階級から類推した。また、記載のない種、及び近縁種の階級にばらつきがあり不明とした種については、「-」とした。

1) 確認状況

2回の調査により、貫井神社で22種類、滄浪泉園で24種類、美術の森緑地で35種類、中町四丁目公共緑地で26種類と合計46種類の底生生物が確認された。目別の確認種類数を表2-10に示す。

表2-10 底生生物目別確認種類数

網名	目名	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地	小計
有棒状体網	三岐腸目	1	1	1	1	1
有針網	ハリヒモムシ目	0	0	0	1	1
	(線形動物門)	0	0	1	0	1
腹足網	新生腹足目	1	0	1	1	1
	汎有肺目	0	1	0	0	1
二枚貝網	マルスダレガイ目	1	1	1	1	1
ミズ網	オヨギミズ目	1	1	1	1	1
	イトミズ目	2	2	3	3	3
ヒル網	吻無蛭目	0	0	1	1	1
クモ網(蛛形網)	ダニ目	0	1	1	0	1
軟甲網	ヨコエビ目	0	2	0	1	2
	ワラジムシ目	1	1	2	1	2
	エビ目	0	0	1	1	1
昆虫網	カゲロウ目(蜉蝣目)	1	1	2	2	2
	トンボ目(蜻蛉目)	0	1	1	0	1
	カワゲラ目(セキ翅目)	0	0	1	0	1
	ヘビトンボ目	0	1	1	0	1
	トビケラ目(毛翅目)	5	1	1	1	5
	ハエ目(双翅目)	9	10	16	11	19
	コウチュウ目(鞘翅目)	0	0	0	0	0
合計		22	24	35	26	46

個体数及び湿重量について、2回の調査の平均値を比較すると、美術の森緑地の個体数が713個体/0.25㎡と最も多く、貫井神社187個体/0.25㎡、滄浪泉園179個体/0.25㎡、中町4丁目公共緑地168個体/0.25㎡の順であった。

目別個体数のグラフを図2-3に、目別湿重量のグラフを図2-4に示す。

湿重量では中町4丁目公共緑地が1.557g/0.25㎡と最も多く、美術の森緑地が1.255g/0.25㎡、滄浪泉園0.687g/0.25㎡、貫井神社0.806g/0.25㎡であった。

優占種を見ると貫井神社では、ミズムシ(甲)、滄浪泉園では、三岐腸目、美術の森緑地では、カクツツトビケラ属、中町四丁目公共緑地では、ミズミズ科、がそれぞれ優占していた。

地点別の優占種を表2-11に示す。

図2-3 底生生物の分類群別個体数  
※6月と12月の平均値

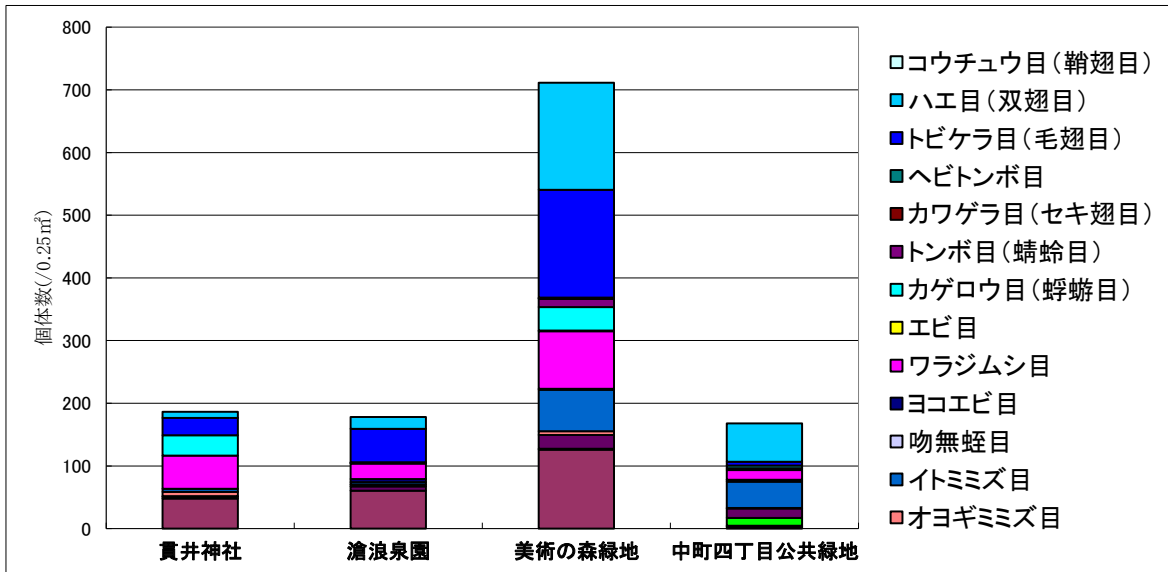
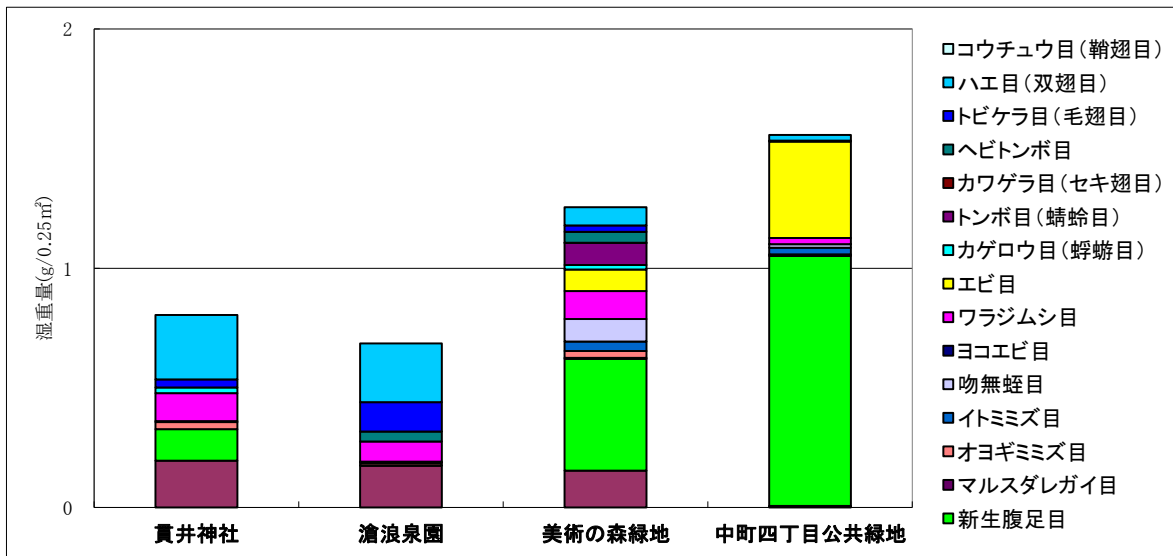


図2-4 底生生物の分類群別湿重量  
※6月と12月の平均値



湧水環境では水質にかかわらずきれいな水の指標種から汚い水の指標種まで出現することが多く、一般河川の水質判定の手法をそのまま流用することは出来ない。本調査においても、各地点でミズムシやユスリカ、ミズ類といった汚い水の指標種が確認されている。その一方で、サワガニ、シロハラコカゲロウといったきれいな水の指標種も確認されていることから、比較的良好な水質が保たれているものと考えられる。

表2-11 底生生物の地点別優占種

	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地
優占1位	ミズムシ(甲)	三岐腸目	カクツツビケラ属	ミズミズ属
	53	61	172	41
優占2位	三岐腸目	カクツツビケラ属	三岐腸目	ハモンユスリカ属
	48	53	126	21
優占3位	シロハラコカゲロウ	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)
	33	25	92	16

※上段は種類、下段は2季の平均個体数を示す。

以下に各地点の状況を述べる。

**【貫井神社】**

貫井神社では6月には18種類、12月には12種類、合計22種類が確認された。個体数が多かった種類はミズムシ(甲)、三岐腸目、シロハラコカゲロウの順であった。分類群別には、6月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められた。

**【滄浪泉園】**

滄浪泉園では6月に17種類、12月は17種類、合計24種類が確認された。個体数が多かった種類は三岐腸目、カクツツビケラ属、ミズムシ(甲)の順であった。分類群別には、6月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められた。

**【美術の森緑地】**

美術の森緑地では6月に24種類、12月は30種類、合計35種類が確認された。個体数が多かった種類はカクツツビケラ属、三岐腸目、ミズムシ(甲)の順であった。分類群別には、12月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められた。

**【中町四丁目公共緑地】**

中町四丁目公共緑地では6月に19種類、12月は17種類、合計26種類が確認された。個体数が多かった種類はミズミズ属、ハモンユスリカ属、ミズムシ(甲)の順であった。分類群別には、6月にユスリカ科の種類数が多い傾向が認められた。

2) 注目種・外来種

注目種として、サワガニが東京都レッドリストにおける留意種に該当した。サワガニは6月には中町4丁目公共緑地と12月は美術の森緑地と中町4丁目公共緑地で確認された。

また、サワガニの他にも準絶滅危惧種(NT)のヤマトクロスジヘビトンボが滄浪泉園、美術の森緑地で確認された。

「外来生物法」による指定種は確認されなかった。

なお、滄浪泉園で12月に確認されたサカマキガイは外来種ではあるが指定外来生物には指定されていない。

注目種の選定基準を表2-12に、外来種の選定基準を表2-13に示す。

表2-12 注目種の選定基準

選定基準	
①	「鳥類、は虫類、両生類及びその他の無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省. 2006) 「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省. 2007)における 絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、 準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)東京レッドリスト 2010年版」(東京都環境局. 2010)の北多摩地域における 絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、 準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)

表2-13 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004. 法律78)における特定外来生物、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

表2-14 注目種一覧

No.	科	種	選定基準	
			①	②
1	サワガニ科	サワガニ	-	留意種
2	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	-	NT
合計 2科 2種			0	2

(3) 付着藻類  
付着藻類調査結果一覧表を表2-15に示す。

表2-15 湧水付着藻類調査結果一覧表

No.	綱名	目名	科名	種名		汚濁耐性	水質階級	汚濁階級	調査地点								重要種		外来種		
				和名	学名				貫井神社		滄浪泉園		美術の森緑地		中町4丁目公共緑地		環境省RDB	東京都RDB(北多摩)			
									6月	12月	6月	12月	6月	12月	6月	12月					
1	藍藻綱	ネンジュモ目	ユレモ科	リングビア	<i>Lyngbya</i> sp. *	B	—	—				134		12							
2				サヤユレモ	<i>Phormidium</i> sp. *	B	—	—			12										
3				カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon</i> sp.	B	—	—			24								
4	紅藻綱	アクロカエチウム目	オオシユイネラ科	ベニイトモ	<i>Audouinella</i> sp.	A	$\beta$ m-os	1	57,600	5,820	223	72,226	624	4,140	6,153	18,624					
5				カクレイト目	ペニマダラ科	タンスイペニマダラ	<i>Hildenbrandia rivularis</i>	A	os	1			15	26,800	25,296				NT		
6	珪藻綱	中心目	ユーノチア科	クシケイソウ	<i>Eunotia bilunaris</i>	B	$\beta$ m	2			15	268									
7				クシケイソウ	<i>Eunotia minor</i>	A	os	1	144	348	285	268	48	240	1,890	240					
8				クシケイソウ	<i>Eunotia praerupta</i>	A	os	1			732	402		144							
9				クシケイソウ	<i>Eunotia</i> sp.	B	—	—	72	60	85		96	48	63						
10				ナビクラ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora pediculus</i>	B	$\beta$ m	2		12										
11					ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora copulata</i>	B	$\beta$ m	2	72											
12					クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	B	ps- $\beta$ m	4			8									
13					フネケイソウ	<i>Navicula bacillum</i>	A	os	1		12										
14					フネケイソウ	<i>Navicula contenta</i>	B	$\beta$ m	2								42				
15					フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	B	$\beta$ m	2		12										
16			フネケイソウ		<i>Navicula decussis</i>	A	os	1								42					
17			フネケイソウ		<i>Navicula symmetrica</i>	B	$\beta$ m	2					48								
18			フネケイソウ		<i>Navicula</i> sp.	B	—	—								21					
19			フネケイソウ		<i>Pinnularia</i> sp.	B	—	—			8										
20			アクナンテス科	マカリケイソウ	<i>Achnanthes inflata</i>	A	$\beta$ m-os	1		12											
21				マカリケイソウ	<i>Achnanthes rupestoides</i>	A	os	1			439	268					48				
22				ツメワカケイソウ	<i>Achnantheidium japonicum</i>	A	$\beta$ m-os	1								21					
23				ツメワカケイソウ	<i>Achnantheidium minutissimum</i>	B	$\beta$ m	2	144							273					
24				ツメワカケイソウ	<i>Achnantheidium subhudsonis</i>	B	—	—	72		339					126					
25				コバンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i>	A	$\beta$ m-os	1	936	180	100	670	336	108	189	480					
26	ツブスジツメワカケイソウ	<i>Karayevia laterostrata</i>		A	os	1			23												
27	フトスジツメワカケイソウ	<i>Planothidium lanceolatum</i>		A	$\beta$ m-os	1	144	36	347	268	96		63								
28	緑藻綱	サヤミドロ目		サヤミドロ科	サヤミドロ	<i>Oedogonium</i> sp.	B	—	—			15	1,742								
出現種類数									8	11	14	10	7	6	11	4					
出現細胞数合計(cells/cm <sup>2</sup> )									59,184	6,528	2,634	103,046	26,544	4,692	8,883	19,392					
沈澱量(ml/100cm <sup>2</sup> )									1.0	1.0	0.4	1.0	0.5	1.0	0.4	1.2					

\*:糸状体数、他は細胞数

1)種名は水辺の国勢調査動植物プランクトン種名リストH27年度(2015年1月7日更新)に準拠

2)重要種欄の略称及び表中の記号は以下を示す。

環境省RL:「環境省版レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(苔苔類、藻類、地衣類、菌類)(2020、環境省))」

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧II A類、EN:絶滅危惧II B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

東京都RDB:「レッドデータブック東京2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版~(2013、東京都環境局)」

3)＜参考文献＞:水質階級、耐性を含む

日本の水をきれいにする会 発行(1980)「水生生物相調査解析結果報告書」

Van Dam, H.(1994)の水質階級(汚濁階級指数と耐性は水質階級を基に決定)、東京都環境保全局水質保全部(1998)の汚濁階級指数(水質階級と耐性は汚濁階級指数を基に決定)

横浜市環境保全局(2005)の水質階級(汚濁階級指数と耐性は水質階級を基に決定)

変種(基本種)の指標性がないものは基本種(変種)と同じ指標性とした。

Van Dam, H., Mertens, A. & Sinkeldam, J. (1994) A coded checklist and ecological indicator values of freshwater diatoms from The Netherlands, Netherlands Journal of Aquatic Ecology, 28, 117-133

東京都環境保全局水質保全部 発行(1998)「東京の川の生きものと環境-河川水生生物総合解析調査報告書(その2)」

横浜市環境保全局(2005) 発行「河川生物指標改訂に関する報告書」

1) 確認状況

2回の調査により、貫井神社で14種類、滄浪泉園で15種類、美術の森緑地で9種類、中町四丁目公共緑地で12種類合計28種類が確認された。

各地点別の確認種類数を表2-16に示す。

表2-16 付着藻類の調査地点別確認種類数

網名	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地	合計
藍藻綱	2	1	1	0	3
紅藻綱	1	2	2	1	2
珪藻綱	11	11	6	11	22
緑藻綱	0	1	0	0	1
合計	14	15	9	12	28

各地点の細胞数を2回の調査の平均値と比較すると、100cm<sup>2</sup>あたりの細胞数では貫井神社が330万/100cm<sup>2</sup>であり、滄浪泉園では530万/100cm<sup>2</sup>、美術の森緑地では160万/100cm<sup>2</sup>、中町四丁目公共緑地では140万/100cm<sup>2</sup>であった。

6月

滄浪泉園:弱酸性の水に生育する*Eunotia minor*が優占し、日陰の湧水の流れに生育する*Audouinella sp.*、日陰でも生育する*Planothidium lanceolatum*が多いことから、弱酸性の湧水の流れる日陰の環境となっている。

貫井神社、中町4丁目公共緑地: 昨年の同時期と藻類群生は類似し、日陰の湧水の流れに多い*Audouinella sp.*、が優占し、湧水の流れる日陰の環境であることを示している。

美術の森緑地: 木漏れ日程度の日照条件下の湧水の流れに赤色の斑点状の群体を形成する準絶滅危惧種のタンスイベニマダラが優占し、湧水の流れるやや日陰の環境であることを示している。  
美術の森緑地ではタンスイベニマダラが過年度にも優占種になることがあったが、湧水が減少した昨年度に確認されなくなり、湧水量の変化が本種の育成に影響を及ぼしていることが認められる。

12月

滄浪泉園、美術の森緑地: 日陰の湧水の流れに多い*Audouinella sp.*、が優占し、湧水の流れる日陰の環境となっている。タンスイベニマダラの出現状況は年あるいは調査時により異なり、その生育範囲は制限されていることが認められる。

貫井神社、中町4丁目公共緑地: 日陰の湧水の流れに多い*Audouinella sp.*、が優占し湧水の流れる日陰の環境であることが認められる。

各地点別の分類群別細胞数を図2-5に示す。

優占種を見ると、貫井神社、滄浪泉園、及び中町四丁目公共緑地の調査箇所においてベニイトモ属が優占していた。

地点別の優占種を表2-17に示す。

図2-5 付着藻類の分別細胞数  
 ※ 6月と12月の平均値

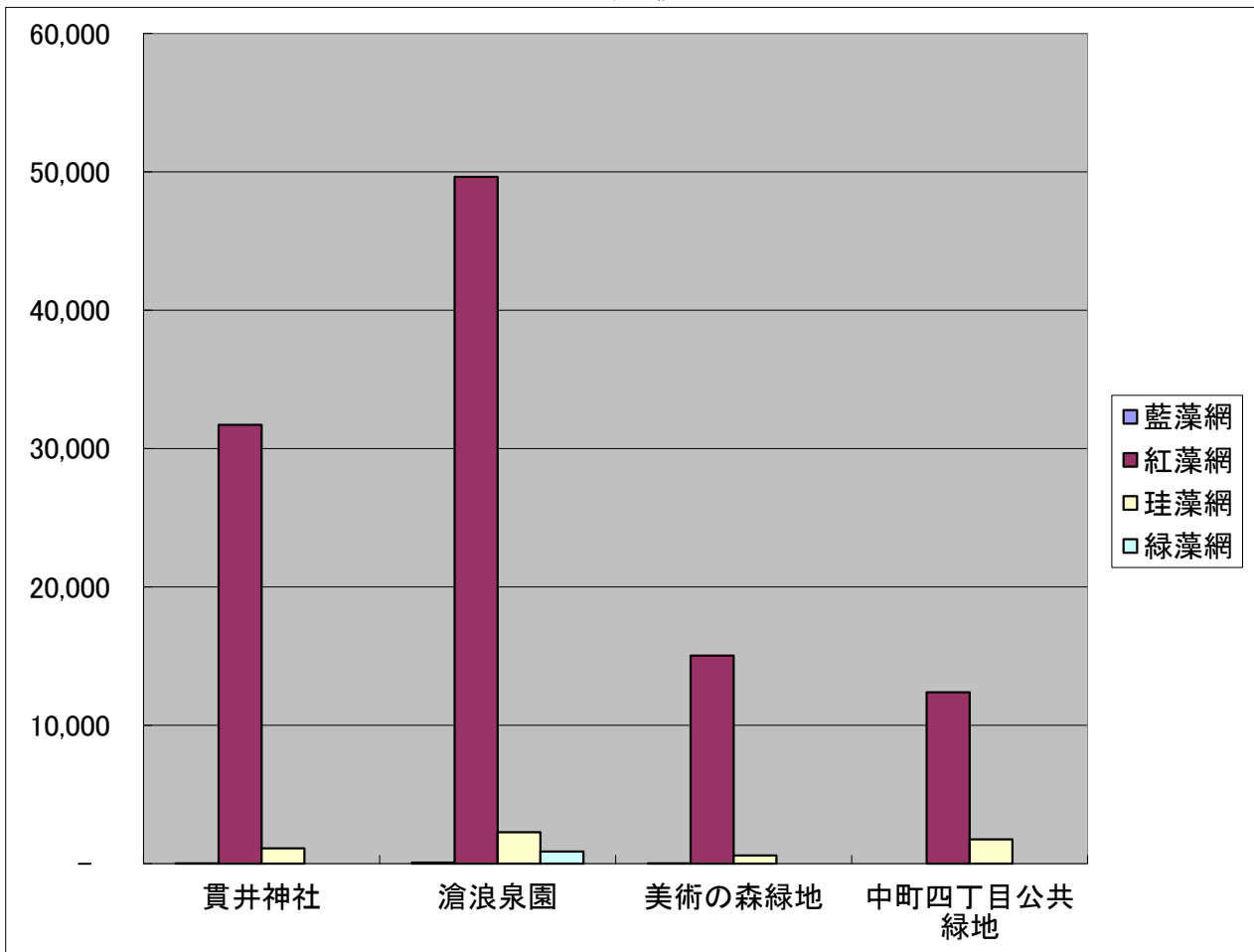


表2-17 付着藻類の地点別優占種

	貫井神社	滄浪泉園	美術の森緑地	中町四丁目公共緑地
優占1位	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 31,710	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 36,225	紅藻網 タンスイベニマダラ <i>Hiddenbrandia rivularis</i> 12,648	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 12,389
優占2位	珪藻網 コバンケイソウ <i>Cocconeis placentula</i> 558	紅藻網 タンスイベニマダラ <i>Hiddenbrandia rivularis</i> 13,408	紅藻網 ベニイトモ属 <i>Audouinella sp</i> 2,382	珪藻網 クシケイソウ <i>Eunotia praerupta</i> 1,065
優占3位	珪藻網 クシケイソウ <i>Eunotia praerupta</i> 246	緑藻網 サヤミドロ <i>Oedogonium sp.</i> 879	珪藻網 コバンケイソウ <i>Cocconeis placentula</i> 222	珪藻網 コバンケイソウ <i>Cocconeis placentula</i> 335

※上段は種類名、下段は2季の平均(細胞数/cm<sup>2</sup>)を示す。



以下に各地点の状況を述べる。

**【貫井神社】**

貫井神社では6月には8種類、12月には11種類、合計14種類が確認された。  
出現種では紅藻網のベニイトモ属、珪藻網のコバンケイソウ、クシケイソウ等  
が確認された。

**【滄浪泉園】**

滄浪泉園では6月に14種類、12月に10種類、合計15種類が確認された。  
出現種では紅藻網のベニイトモ属、タンスイベニマダラ、緑藻網のサヤミドロ  
等が確認された。

**【美術の森緑地】**

美術の森緑地では6月に7種類、12月に6種類、合計9種類が確認された。  
出現種では紅藻網のベニイトモ属、タンスイベニマダラ、珪藻網のコバンケイソウ  
等が確認された。

**【中町四丁目公共緑地】**

中町四丁目公共緑地では6月に11種類、12月に4種類、合計12種類が確認された。  
出現種では紅藻網のベニイトモ属、珪藻網のクシケイソウ、コバンケイソウ等  
が確認された。

2) 注目種・外来種

今回の調査では環境省レッドデータブックの準絶滅危惧種 (NT) に該当するタンスイベニマダラが6月、12月の滄浪泉園及び6月の美術の森緑地において確認された。外来種に該当する種は確認されなかった。注目種の選定基準を表2-18に、外来種の選定基準を表2-19に示す。

表2-18 注目種の選定基準

選定基準	
①	「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」(環境省, 2007)における、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)
②	「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)東京都レッドリスト 2010年版」(東京都環境局, 2010)の北多摩地域における、絶滅危惧ⅠA類(CR)、絶滅危惧ⅠB類(EN)、絶滅危惧Ⅱ類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)、留意種

表2-19 外来種の選定基準

選定基準	
①	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004.法律78)における、特定外来、未判定外来生物、種類名証明の添付が必要な生物及び要注意外来生物

## 資料編

## 井戸水調査結果



## No.2 中町1-15

		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
			R2.7.22 11:50	R1.7.24 13:35	H30.7.27 13:40	R2.9.29 11:45	R1.9.30 15:11	H30.9.21 13:25	R2.11.26 11:50	R1.11.29 13:10	H30.11.26 13:20	R3.2.2 13:29	R2.2.26 11:00	H31.2.18 11:35		
調査項目		単位														
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-	
	気温	℃	29.0	29.9	30.0	22.5	26.8	17.5	17.8	9.9	18.3	12.6	7.8	12.8	-	
	水温	℃	22.2	20.0	18.0	20.0	19.0	18.0	18.0	15.0	14.0	14.0	14.0	14.5	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.5	6.0	6.9	6.6	6.2	7.1	6.7	6.3	6.2	6.9	6.7	6.1	-	
	電気伝導率	mS/m	15.1	28.9	15.6	14.7	14.2	14.1	14.1	13.6	14.6	13.9	12.9	15.3	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0003	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	3.48	4.97	3.70	4.09	4.27	3.61	3.69	5.70	3.93	5.49	4.34	6.35	10以下	
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	

No.3 中町2-15

		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
			R2.7.22 11:30	R1.7.24 8:55	H30.7.27 13:50	R2.9.29 12:00	R1.9.30 15:34	H30.9.21 13:15	R2.11.26 12:05	R1.11.29 13:25	H30.11.26 13:35	R3.2.2 13:51	R2.2.26 11:15	H31.2.18 13:10	
調査項目		単位													
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	29.0	27.0	29.0	22.0	27.5	17.5	17.5	10.2	18.2	14.8	7.3	17.0	-
	水温	℃	25.0	24.5	20.8	19.5	19.0	18.0	14.2	10.3	13.0	7.9	10.5	10.5	-
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	無色透明	-
	臭気	-	無臭	微土臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.5	6.7	7.7	7.2	7.1	7.4	7.0	7.2	6.8	7.1	7.1	6.9	-
	電気伝導率	mS/m	18.0	19.2	17.2	16.6	16.2	15.7	15.0	13.0	13.6	12.3	12.6	13.3	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	<0.01	0.07	0.01	0.21	0.06	0.06	0.06	0.04	0.04	0.10	0.02	0.03	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.01以下

## No.4 梶野町3-12

		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
			R2.7.22 10:40	R1.7.24 11:55	H30.7.27 10:45	R2.9.29 11:00	R1.9.30 12:35	H30.9.21 10:05	R2.11.26 10:55	R1.11.29 13:50	H30.11.26 10:50	R3.2.2 11:52	R2.2.26 10:05	H31.2.18 10:50		
調査項目		単位														
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-	
	気温	℃	28.2	29.8	26.5	18.0	27.6	17.5	15.2	8.5	13.4	10.0	6.8	9.7	-	
	水温	℃	23.0	21.2	20.0	19.5	20.2	18.0	15.5	12.0	13.3	11.0	13.5	9.6	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	7.3	7.4	7.6	7.4	7.6	7.4	7.5	7.8	7.6	7.5	7.3	6.9	-	
	電気伝導率	mS/m	21.3	26.0	23.8	21.4	18.7	16.4	20.0	12.6	14.0	16.5	14.5	13.5	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	2.99	1.67	3.90	3.74	1.91	1.08	3.92	0.31	1.00	3.76	1.43	1.24	10以下	
	鉛	mg/L	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	



## No.5 関野町1-11

		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
			R2.7.22 10:30	R1.7.24 11:19	H30.7.27 10:20	R2.9.29 10:05	R1.9.30 11:53	H30.9.21 10:45	R2.11.26 10:30	R1.11.29 10:30	H30.11.26 10:20	R3.2.2 11:16	R2.2.26 9:55	H31.2.18 10:25	
調査項目		単位													
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-
	気温	℃	28.2	27.2	26.0	17.5	28.5	17.5	14.5	5.9	13.8	8.1	6.8	10.1	-
	水温	℃	21.5	18.0	17.8	18.5	17.9	17.5	16.5	15.7	17.0	15.0	15.4	15.0	-
	外観(色相)	-	淡褐色	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡赤褐色	無色透明	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.8	6.2	6.7	6.4	6.4	6.8	6.2	6.4	6.2	6.6	6.6	7.0	-
	電気伝導率	mS/m	19.6	23.4	19.4	19.2	20.2	18.8	17.8	16.9	17.8	16.1	16.9	17.0	-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
	硝酸性窒素	mg/L	5.85	5.25	5.40	6.04	6.20	5.77	5.66	5.77	5.21	5.24	5.70	5.36	10以下
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下









No.10 中町2-1

		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境基準値
			R2.7.22 9:35	R1.7.24 13:02	H30.7.27 11:15	R2.9.29 12:25	R1.9.30 14:24	H30.9.21 13:45	R2.11.26 12:20	R1.11.29 12:40	H30.11.26 14:45	R3.2.2 12:42	R2.2.26 12:45	H31.2.18	
調査項目		単位													
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	欠測	-
	気温	℃	28.2	29.0	25.0	22.0	28.9	17.5	17.5	10.0	18.5	11.2	11.0		-
	水温	℃	21.0	17.2	18.0	18.5	17.5	17.5	18.0	16.2	16.8	17.0	15.8		-
	水位	m	12.7	13.4	14.0	13.2	13.2	13.8	13.4	12.1	13.8	14.3	13.5		-
	外観(色相)	-	無色透明	淡黄色	無色透明	無色透明	淡黄色	無色透明	淡褐色	淡赤褐色	淡赤褐色	淡黄褐色	淡黄褐色		-
	臭気	-	微土臭	微土臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	微土臭	微土臭	無臭	無臭	無臭		-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	25.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0		-
	pH	-	6.8	6.2	6.9	6.5	6.3	6.5	6.4	6.4	6.4	7.1	6.1		-
	電気伝導率	mS/m	16.1	16.7	17.8	22.0	16.1	16.7	16.2	14.0	15.5	15.1	15.8		-
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0003	0.0003	0.0002	0.0002	0.0005	0.0002	0.0003	0.0007	0.0003	0.0004	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	4.42	5.16	4.76	4.17	4.25	4.71	4.59	4.83	4.70	5.49	5.02	10以下	
	鉛	mg/L	<0.001	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	0.01以下	

## No.11 緑町1-1

		調査項目	第1回			第2回			第3回			第4回			環境 基準値	
			R2.7.22 11:00	R1.7.24 12:13	H30.7.27 11:00	R2.9.29 11:15	R1.9.30 13:29	H30.9.21 11:20	R2.11.26 11:15	R1.11.29 11:10	H30.11.26 11:10	R3.2.2 12:10	R2.2.26 10:20	H31.2.18 11:05		
調査項目		単位														
現場測定項目	天候	-	曇	曇/晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	晴	曇/晴	雨	晴	-	
	気温	℃	29.0	29.5	28.0	20.0	28.5	17.0	18.8	7.2	17.0	11.2	7.6	13.7	-	
	水温	℃	23.0	18.4	18.5	19.5	18.0	17.5	16.2	15.0	15.7	15.2	14.8	13.2	-	
	外観(色相)	-	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	淡黄褐色	-
	臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微土臭	-
	透視度	度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	-
	pH	-	6.6	6.4	6.8	6.7	6.6	6.9	6.8	6.1	6.6	7.0	6.6	6.3	-	
	電気伝導率	mS/m	16.8	17.4	19.8	17.9	16.5	17.2	16.9	14.3	15.3	15.7	15.1	15.4	-	
調査項目	トリクロロエチレン	mg/L	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002	0.0002	0.0002	0.01以下	
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	0.0005	0.0046	0.0005	0.0005	0.0007	0.0007	0.0005	0.0007	0.0008	0.0006	0.0008	0.01以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下	
	硝酸性窒素	mg/L	5.29	5.35	5.54	5.68	5.67	5.61	5.68	6.68	5.30	5.35	5.62	5.74	10以下	
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下	







## 野川調査結果

項目	単位	環境基準値	定量下限値	調査年月日						
				第1回			第2回			
				R2.6.11	R1.6.6	H30.6.14	R2.11.5	R1.11.7	H30.11.1	
現場測定項目	天候	-	-	-	曇	晴	曇	晴	晴	晴
	気温	℃	-	-	27.0	27.5	22.0	11.0	19.0	14.8
	水温	℃	-	-	21.5	22.5	21.0	14.0	16.0	14.0
	外観(色相)	-	-	-	淡灰緑色	淡灰茶色	無色	無色透明	淡灰色	無色
	臭気	-	-	-	微川藻臭	無臭	微川藻臭	微:川藻臭	微川藻臭	微川藻臭
	透視度	度	-	-	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
	流量	m <sup>3</sup> /sec	-	-	0.114	0.0005	0.064	0.190	0.637	0.082
	全水深	m	-	-	0.17	0.03	0.08	0.18	0.28	0.12
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	6.0以上 8.5以下	-	7.8	7.9	7.4	8.1	7.5	6.6
	溶存酸素(DO)	mg/L	2以上	0.5	8.4	8.6	9.0	10.4	9.1	10.1
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	8以下	0.5	0.9	0.5	0.9	0.5	0.5	1.0
	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	-	0.5	1.7	2.8	2.8	2.3	2.1	2.0
	浮遊物質(SS)	mg/L	100以下	1	6	6	7	4	8	3
	大腸菌群数	MPN/100mL	-	1.8	7900	7000	11000	4900	14000	11000
	全窒素(T-N)	mg/L	-	0.05	6.27	4.04	4.48	5.46	6.84	6.36
	全りん(T-P)	mg/L	-	0.003	0.043	0.014	0.019	0.020	0.035	0.048
その他の項目	陰イオン界面活剤(MBAS)	-	-	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	アンモニア性窒素(NH4-N)	mg/L	-	0.01	0.07	0.03	0.03	0.04	0.02	0.01
	りん酸性りん(PO4-P)	mg/L	-	0.003	0.027	0.009	0.012	0.009	0.004	0.019
健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	10以下	0.01	5.6	3.40	3.90	4.9	6.20	5.91

## 湧水調査結果











## 環境基準

**環境基準**

- 水質汚濁に係る環境基準

環境基準法(平成5年法律第91号)第16条による公共用水域の水質汚濁に係る環境上の条件につき、人の健康を保護し及び生活環境を保全するうえで維持することが望ましい

**基準**

- 生活環境の保全に関する環境基準

河川水質の環境基本第16条による生活環境の保全に関する環境基準は、pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数の5項目について、指定水域類型ごとに設定されている。本調査対象の野川はD類型に指定されている。

- 人の健康の保護に関する環境基準

環境基本法第16条による人の健康の保護に関する基準は、表3-2の通りに全ての公共用水域について設定されている。

表3-1 生活環境の保全に関する環境基準

河川(湖沼を除く)

項目 類型	利用目的の 適応性	基準値					参考水域
		水素イオン濃 度(pH)	生物化学的酸 素要求量 (BOD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保全及 びA以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN /100mL以下	秋川
A	水道2級 水道1級 水浴及びB以下 の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN /100mL以下	平井川
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	5,000MPN /100mL以下	残堀川
C	水道3級 工業用水1級及 びD以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	-	三沢川
D	工業用水2級 農業用水及びE の欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	-	仙川
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L以下	ゴミなどの浮遊 が認められな いこと	2mg/L以上	-	-

表3-2 人の健康保護に関する環境基準

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01mg/L以下
六価クロム	0.05mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下
総水銀	0.005mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。
PCB	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
シス-1, 2-ジクロロエタン	0.04mg/L以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/L以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
チウラム	0.006mg/L以下
シマジン	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下
セレン	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
ふっ素	0.8mg/L以下
ほう素	1mg/L以下
1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下

調査状況写真



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

貫井神社

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

貫井神社

底生生物

採取試料□



件名	水質監視測定及び湧水・ 地下水位調査等委託
調査年月日	令和2年12月22日
調査箇所	貫井神社
	湧水調査
	付着藻類
株式会社 むさしの計測	

水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

貫井神社

付着藻類

採取試料□



件名	水質監視測定及び湧水・ 地下水位調査等委託
調査年月日	令和2年12月22日
調査箇所	貫井神社
	湧水調査
	底生生物
株式会社 むさしの計測	

水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

貫井神社

底生生物

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

滄浪泉園

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

滄浪泉園

底生生物

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

滄浪泉園

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

滄浪泉園

底生生物

採取試料□





水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

美術の森緑地

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

美術の森緑地

底生生物

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

美術の森緑地

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

美術の森緑地

底生生物

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

中町4丁目公共緑地

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年6月22日

中町4丁目公共緑地

底生生物

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

中町4丁目公共緑地

付着藻類

採取試料□



水質監視測定及び湧水調査委託

令和2年12月22日

中町4丁目公共緑地

底生生物

採取試料□

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託

地 下 水 位 測 定

報 告 書

令 和 2 年 度 版

小 金 井 市

# 目 次

1. 業 務 概 要	
1.1 業 務 件 名 .....	1
1.2 受 付 番 号 .....	1
1.3 業 務 目 的 .....	1
1.4 調 査 場 所 .....	1
2. 調 査 内 容	
2.1 水 位 測 定 方 法 .....	2
2.2 調 査 場 所 位 置 図 .....	3
3. 調 査 結 果	
3.1 地 下 水 位 調 査 結 果 .....	4
3.2 調 査 日 .....	4
4. 所 見	
4.1 水 位 変 動 に つ い て .....	14

## 1. 業務概要

### 1.1 業務件名

水質監視測定及び湧水・地下水位調査等委託 地下水位測定

### 1.2 受付番号

2-674

### 1.3 業務目的

地下水位の状況を測定する。

### 1.4 調査場所

小金井市内 井戸 11か所

いずれも原則月一回、同一日に測定

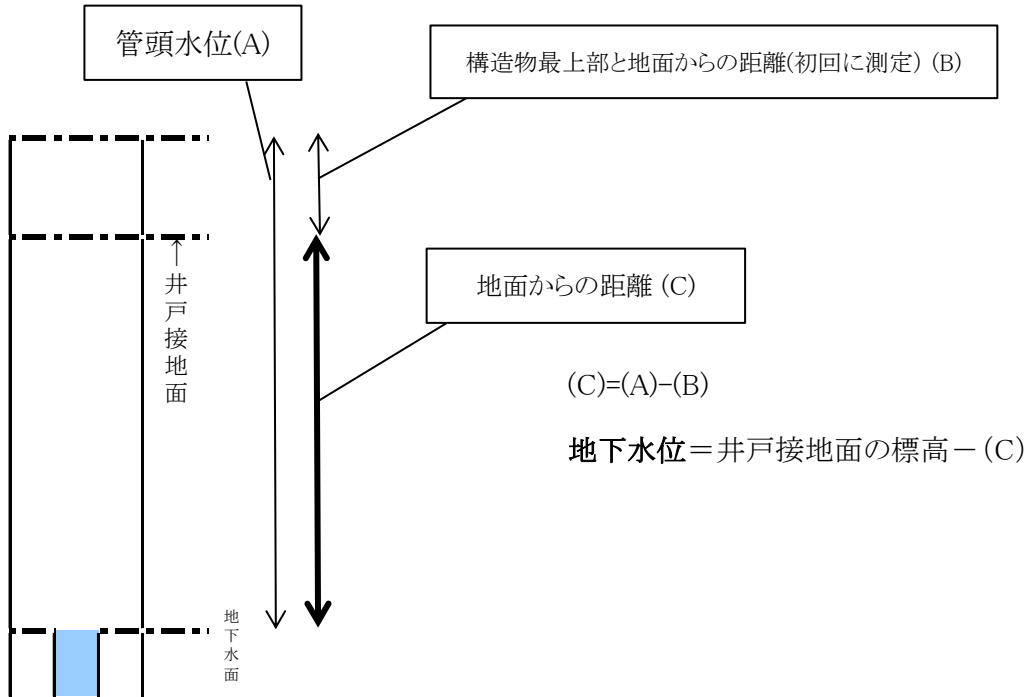
井戸水調査No. のあるものは水質測定を実施

	測定地点	住所	井戸水調査No.
1	個人宅	東町1	9
2	個人宅	緑町1	11
3	中町二丁目第3児童遊園	中町2-1	10
4	はけの森緑地2	中町4-12	
5	前原やなぎ公園	前原町1-12	
6	緑中央通り	本町1-14	
7	特別支援学校	桜町2-1	
8	中間処理場	貫井北町1-8	
9	個人宅	貫井北町3	
10	個人宅	貫井北町5	12
11	かきの木公園	貫井南町2-3	

## 2. 調査内容

### 2.1 水位測定方法

- 管頭水位 : 現場で測定する、井戸構造物最上部(管頭)から水面までの距離(m)・・・(A)  
井戸接地面の標高 : 国土地理院Webサイトを参照。海水面(T.P.)からの高さ(m)  
地面からの距離 : 計算式 (C)  
地下水位 : 本報告書に掲載する値(m)



標高参照元:

国土地理院 GSI Maps

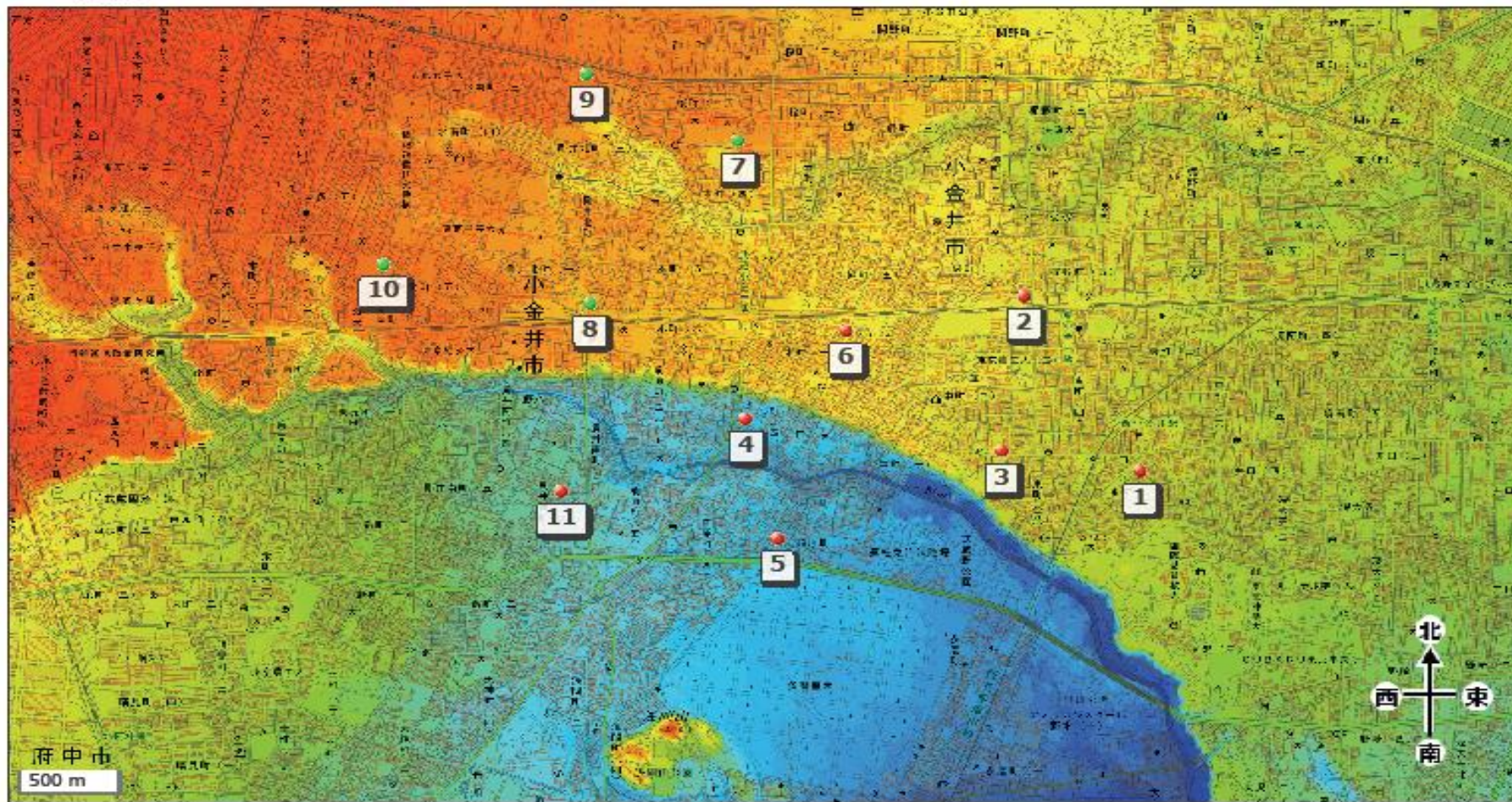
<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697979/139.512291/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>



2.2 調査位置図

図1. 調査位置

地理院地図  
GSI Maps



出典: 国土地理院 GSI Maps

<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.697282/139.511776/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

### 3. 調査結果

#### 3.1 地下水位調査結果

次ページ以降に測定結果をまとめた

- 図2 ----- 表1のグラフ
- 表1 ----- 地下水位と降水量
- 表2 ----- 水位の変動
- 図3 ----- 降雨期、渇水期の変動係数相関図

表2の変動係数は  $\text{標準偏差} \div \text{平均値}$  である  
変動係数は、基準となる平均水位が各地点で異なるため、より正確に水位変動を比較するために導入した。

変動係数が大きい＝水位変動が大きい といえる。

また、4月から10月までの降水量が比較的多い期間を降雨期、降水量の少ない11月から3月までを渇水期として季節による変動係数の比較を行った。

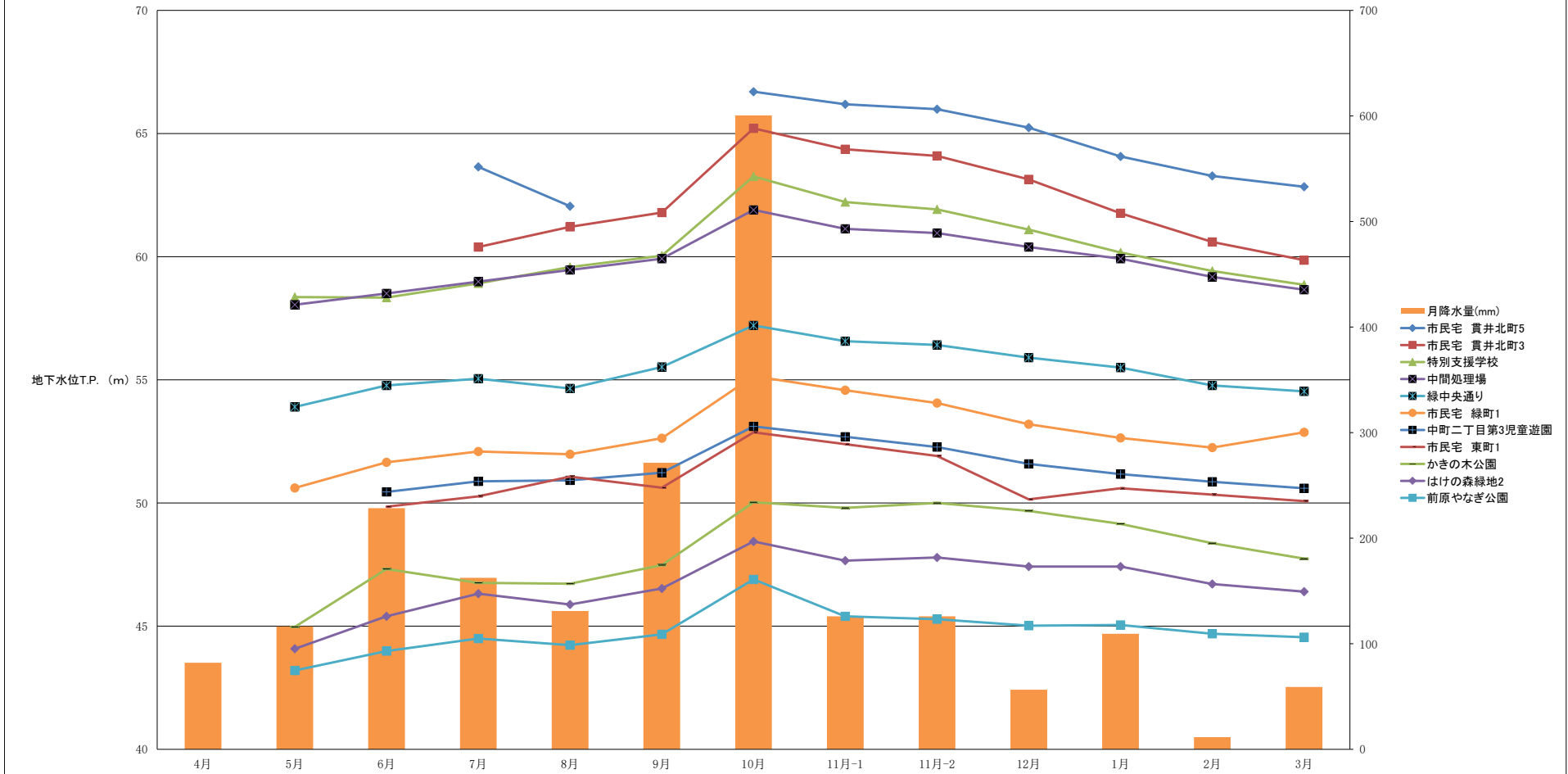
#### 3.2 調査日

令和2年4月28日  
令和2年5月28日  
令和2年6月24日  
令和2年7月28日  
令和2年8月31日  
令和2年9月28日  
令和2年10月29日  
令和2年11月30日  
令和2年12月25日  
令和3年1月28日  
令和3年2月25日  
令和3年3月30日

#### 気象イベント

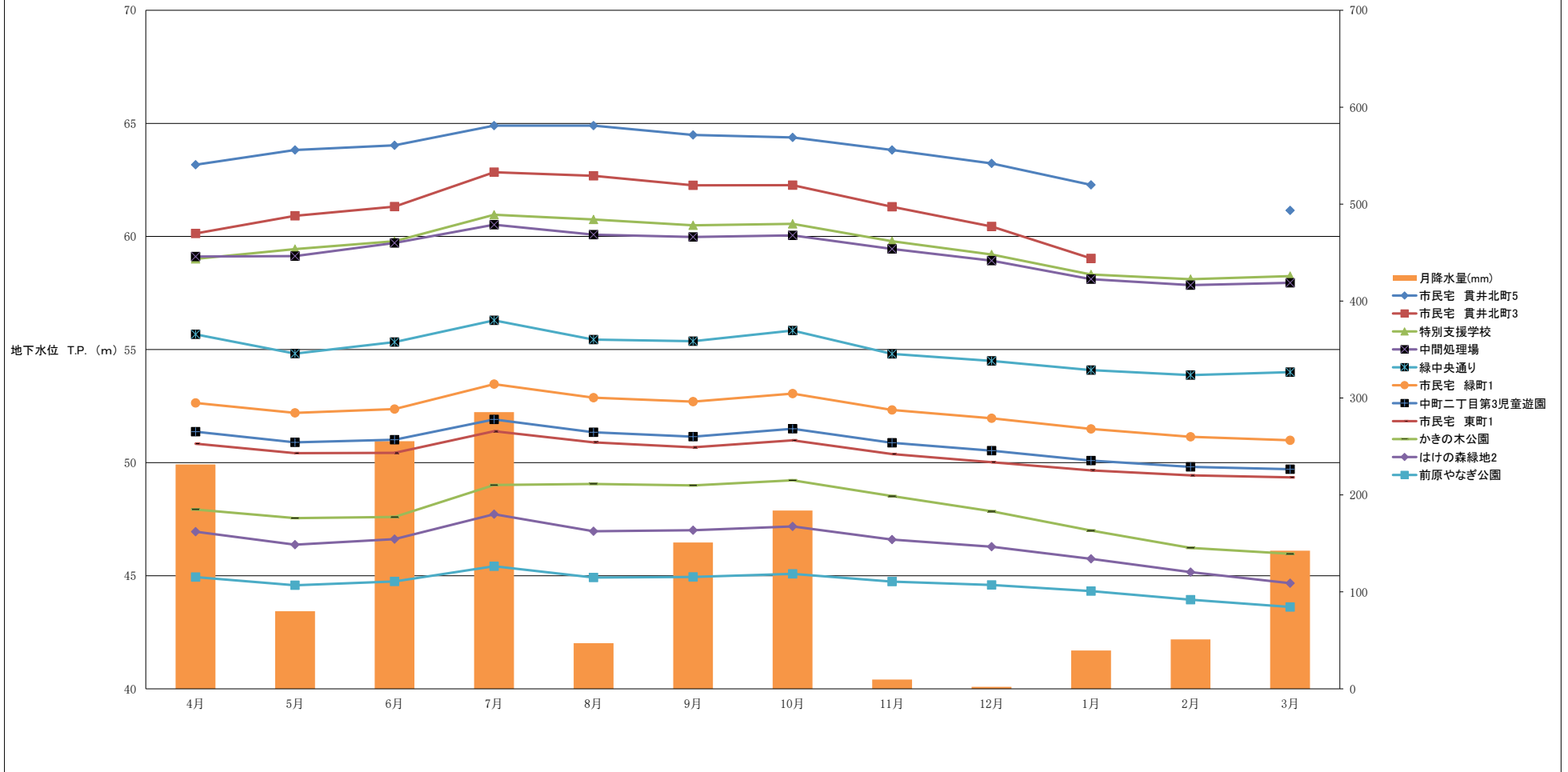
梅雨入り 6月7日 ごろ  
梅雨明け 7月24日 ごろ  
  
台風10号 9月5日 前後  
台風14号 10月9日 前後

図2-1. 令和元年度 地下水位の変動



凡例は上から、地面標高が高い順

図2-2. 令和2年度 地下水位の変動



凡例は上から、地面標高が高い順

表1-1. 令和元年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月-1	11月-2	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はげ上	10 個人宅 貫井北町5		-	-	63.65	62.05	-	66.7	66.19	65.99	65.24	64.07	63.28	62.84	75.3
	9 個人宅 貫井北町3		-	-	60.39	61.21	61.79	65.21	64.36	64.09	63.14	61.76	60.6	59.86	74.5
	7 特別支援学校		58.36	58.34	58.92	59.58	60.04	63.26	62.22	61.92	61.1	60.17	59.42	58.86	71.7
	8 中間処理場		58.05	58.51	58.99	59.46	59.92	61.9	61.13	60.96	60.39	59.92	59.18	58.66	70.0
	6 緑中央通り		53.9	54.77	55.05	54.65	55.52	57.21	56.57	56.42	55.9	55.5	54.77	54.53	67.0
	2 個人宅 緑町1		50.61	51.65	52.09	51.98	52.63	55.15	54.58	54.06	53.2	52.64	52.25	52.87	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園		-	50.45	50.88	50.92	51.23	53.11	52.69	52.27	51.59	51.17	50.86	50.6	63.7
	1 個人宅 東町1		-	49.85	50.27	51.07	50.62	52.87	52.39	51.91	50.15	50.6	50.34	50.08	62.5
はげ下	11 かきの木公園		44.97	47.32	46.76	46.72	47.48	50.03	49.8	50	49.68	49.15	48.37	47.74	54.9
	4 はげの森緑地2		44.08	45.4	46.32	45.88	46.53	48.44	47.66	47.79	47.42	47.42	46.71	46.4	51.2
	5 前原やなぎ公園		43.2	43.99	44.5	44.23	44.67	46.9	45.4	45.28	45.02	45.05	44.69	44.55	50.9
月間降水量(mm)		82.0	116.5	228.5	162.5	131	271.5	600.5	126	126	56.5	109.5	11.5	59	

表中、 オレンジは最高水位、および最多降水量  
 緑は最低水位、及び最小降水量

□ - □ 水位欠測

降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照  
 測定月1日から月末までの総降水量を記載、ただし3月は3/1から3/18まで  
 台風15号:9/9  
 台風19号:10/12

表1-2. 令和2年度 各地点の地下水位(T.P.)、月間降水量

水位単位(m)

測定点(地面の標高の高い順)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	標高(m)
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.17	63.82	64.03	64.9	64.9	64.49	64.38	63.82	63.23	62.28	-	61.15	75.3
	9 個人宅 貫井北町3	60.13	60.91	61.32	62.84	62.68	62.26	62.27	61.31	60.44	59.03	-	-	74.5
	7 特別支援学校	59.01	59.44	59.79	60.96	60.75	60.49	60.56	59.79	59.2	58.32	58.11	58.25	71.7
	8 中間処理場	59.11	59.13	59.71	60.52	60.08	59.98	60.05	59.45	58.93	58.11	57.85	57.95	70.0
	6 緑中央通り	55.67	54.82	55.33	56.29	55.44	55.37	55.84	54.81	54.5	54.09	53.87	54	67.0
	2 個人宅 緑町1	52.64	52.2	52.37	53.47	52.87	52.7	53.05	52.33	51.96	51.49	51.14	50.99	65.3
	3 中町二丁目第3児童遊園	51.37	50.9	51.01	51.91	51.34	51.15	51.5	50.88	50.53	50.09	49.81	49.71	63.7
	1 個人宅 東町1	50.84	50.42	50.43	51.39	50.9	50.68	50.99	50.38	50.02	49.66	49.44	49.35	62.5
はけ下	11 かきの木公園	47.93	47.55	47.6	49.01	49.06	48.99	49.22	48.52	47.85	47	46.23	45.97	54.9
	4 はけの森緑地2	46.95	46.37	46.62	47.72	46.97	47.01	47.18	46.6	46.28	45.75	45.16	44.67	51.2
	5 前原やなぎ公園	44.94	44.58	44.75	45.42	44.92	44.95	45.08	44.74	44.59	44.32	43.94	43.62	50.9
月間降水量(mm)		231.5	80	255.5	285.5	47	151	184	9.5	2	39.5	51	142.5	

表中、オレンジは最高水位、および最多降水量

緑は最低水位、及び最小降水量

□ 水位欠測

降水量は気象庁府中観測所の測定値を参照

測定月1日から月末までの総降水量を記載 令和2年度3月は月末まで

台風10号:9/5前後

台風14号:10/9前後

表2-1. 令和元年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	64.45	66.7	62.05	4.65	1.64	0.025
	9 個人宅 貫井北町3	62.24	65.21	59.86	5.35	1.85	0.030
	7 特別支援学校	60.18	63.26	58.34	4.92	1.61	0.027
	8 中間処理場	59.76	61.9	58.05	3.85	1.17	0.020
	6 緑中央通り	55.40	57.21	53.9	3.31	0.97	0.018
	2 個人宅 緑町1	52.81	55.15	50.61	4.54	1.28	0.024
	3 中町二丁目第3児童遊園	51.43	53.11	50.45	2.66	0.88	0.017
1 個人宅 東町1	50.92	52.87	49.85	3.02	1.02	0.020	
はけ下	11 かきの木公園	48.17	50.03	44.97	5.06	1.61	0.033
	4 はけの森緑地2	46.67	48.44	44.08	4.36	1.19	0.026
	5 前原やなぎ公園	44.79	46.9	43.2	3.7	0.90	0.020

		変動係数平均 5~10月(降水期)	水位の変動係数 5~10月(降水期)	変動係数平均 11~3月(渇水期)	水位の変動係数 11~3月(渇水期)	水位の標準偏差(m) 5~10月(降水期)	水位の標準偏差(m) 11~3月(渇水期)
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.027	0.0368	0.020	0.0219	2.36	1.41
	9 個人宅 貫井北町3		0.0341		0.0298	2.12	1.86
	7 特別支援学校		0.0309		0.0224	1.85	1.36
	8 中間処理場		0.0229		0.0163	1.36	0.98
	6 緑中央通り		0.0204		0.0151	1.13	0.84
	2 個人宅 緑町1		0.0291		0.0167	1.53	0.89
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0203		0.0159	1.04	0.82
1 個人宅 東町1	0.0230	0.0194	1.17	0.99			
はけ下	11 かきの木公園	0.031	0.0348	0.012	0.0182	1.64	0.90
	4 はけの森緑地2		0.0312		0.0117	1.44	0.55
	5 前原やなぎ公園		0.0280		0.0073	1.25	0.33
降水量変動係数		0.718		0.632			
平均降水量(mm)		251.750		72.500			

表中、

オレンジは最大変動幅

緑は最小変動幅

令和元年度は4月のデータが無いので降水期を5月から10月とした。  
また、11月の2回分をデータ処理に用いている。

表2-2. 令和2年度 水位の変動

	測定点(地面の標高の高い順)	水位平均(m)	最高水位(m)	最低水位(m)	年間変動幅(m)	年間の標準偏差(m)	年間の変動係数
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	63.65	64.9	61.15	3.75	1.14	0.018
	9 個人宅 貫井北町3	61.32	62.84	59.03	3.81	1.23	0.020
	7 特別支援学校	59.56	60.96	58.11	2.85	1.01	0.017
	8 中間処理場	59.24	60.52	57.85	2.67	0.89	0.015
	6 緑中央通り	55.00	56.29	53.87	2.42	0.78	0.014
	2 個人宅 緑町1	52.27	53.47	50.99	2.48	0.76	0.015
	3 中町二丁目第3児童遊園	50.85	51.91	49.71	2.20	0.69	0.014
	1 個人宅 東町1	50.38	51.39	49.35	2.04	0.64	0.013
はけ下	11 かきの木公園	47.91	49.22	45.97	3.25	1.10	0.023
	4 はけの森緑地2	46.44	47.72	44.67	3.05	0.87	0.019
	5 前原やなぎ公園	44.65	45.42	43.62	1.80	0.50	0.011

		変動係数平均 4~10月(降水期)	水位の変動係数 4~10月(降水期)	変動係数平均 11~3月(渇水期)	水位の変動係数 11~3月(渇水期)	水位の標準偏差(m) 4~10月(降水期)	水位の標準偏差(m) 11~3月(渇水期)
はけ上	10 個人宅 貫井北町5	0.010	0.0097	0.012	0.0186	0.62	1.17
	9 個人宅 貫井北町3		0.0163		0.0191	1.01	1.15
	7 特別支援学校		0.0122		0.0124	0.73	0.73
	8 中間処理場		0.0087		0.0120	0.52	0.70
	6 緑中央通り		0.0083		0.0072	0.46	0.39
	2 個人宅 緑町1		0.0081		0.0109	0.43	0.56
	3 中町二丁目第3児童遊園		0.0066		0.0098	0.34	0.49
	1 個人宅 東町1		0.0067		0.0086	0.34	0.43
はけ下	11 かきの木公園	0.010	0.0155	0.017	0.0228	0.75	1.07
	4 はけの森緑地2		0.0091		0.0173	0.43	0.79
	5 前原やなぎ公園		0.0059		0.0104	0.26	0.46
	降水量変動係数	0.507		1.148			
	平均降水量(mm)	176.357		48.900			

表中、

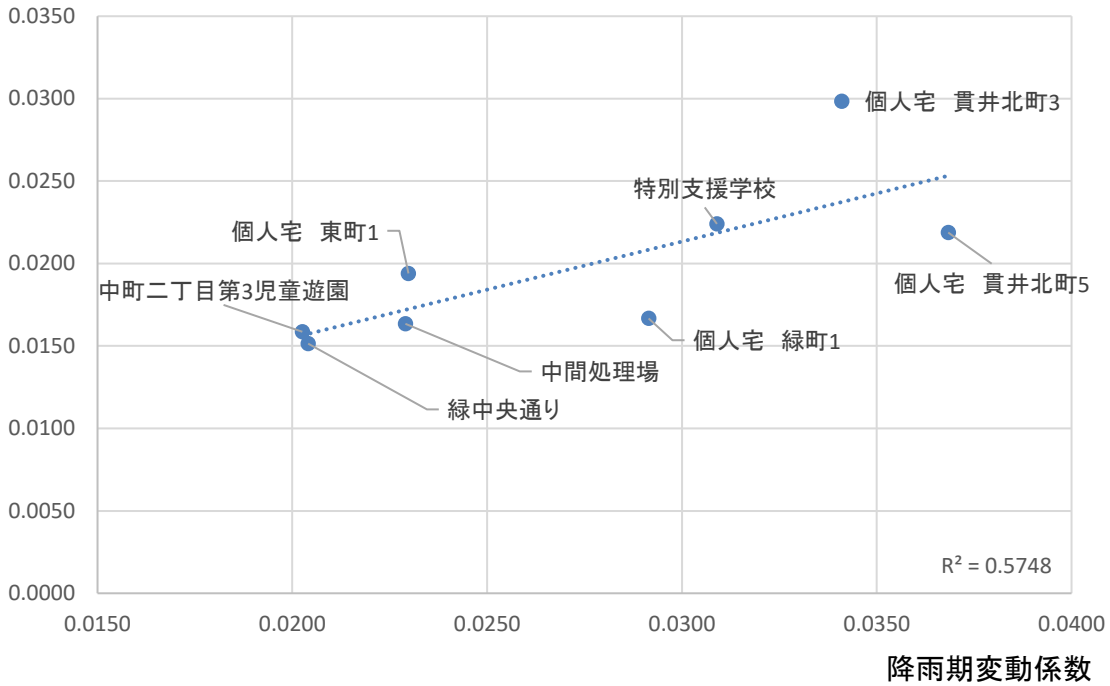
オレンジは最大変動幅

緑は最小変動幅



図3-1-1. 令和元年度 降雨期、湯水期の変動係数相関図（はけ上）

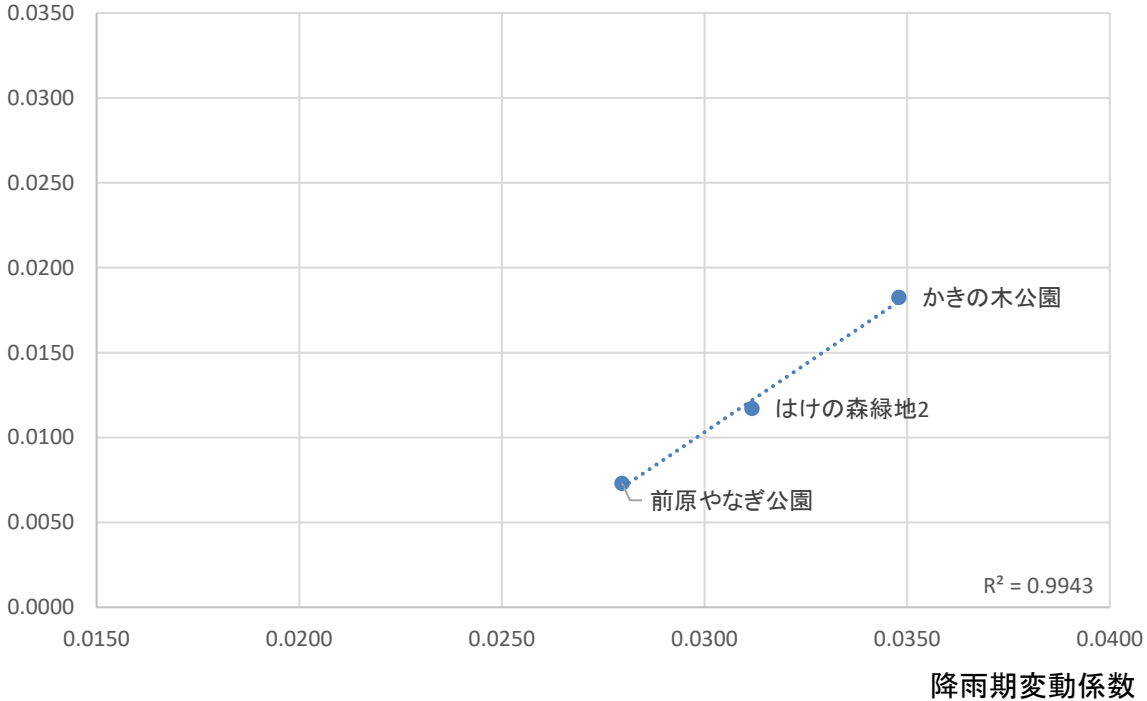
湯水期変動係数



相関係数  $r = 0.758135$

図3-1-2. 令和元年度 降雨期、湯水期の変動係数相関図（はけ下）

湯水期変動係数



相関係数  $r = 0.997128$

図3-2-1. 令和2年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ上）

渇水期変動係数

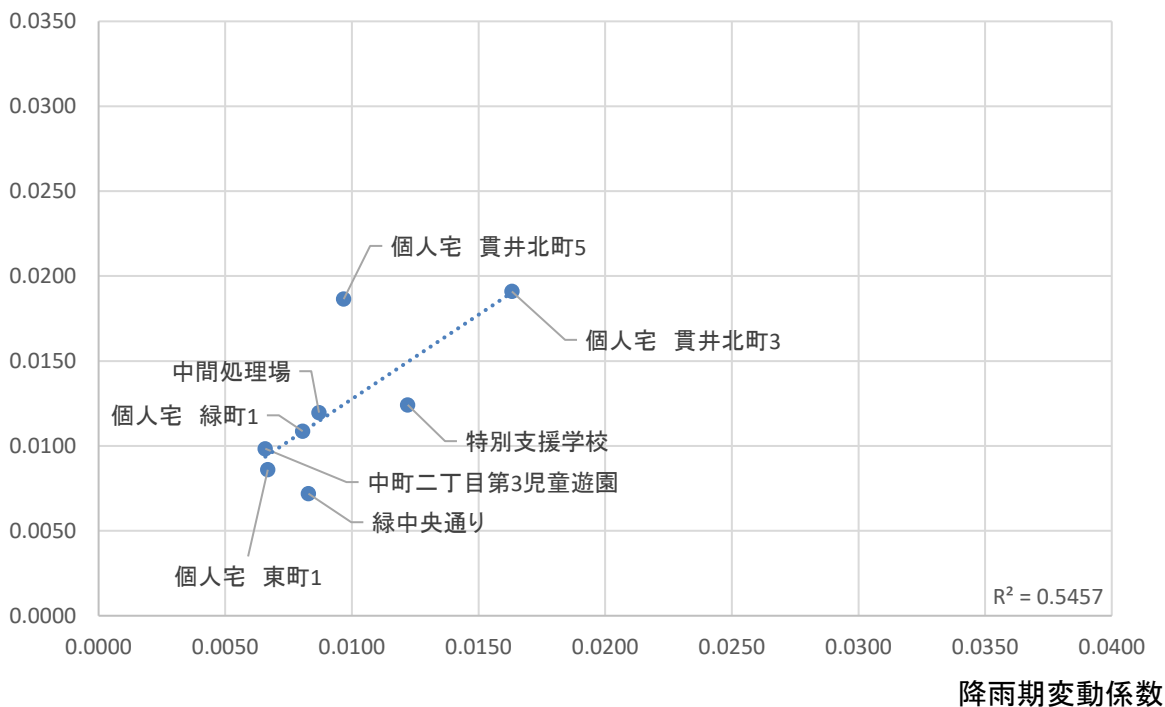
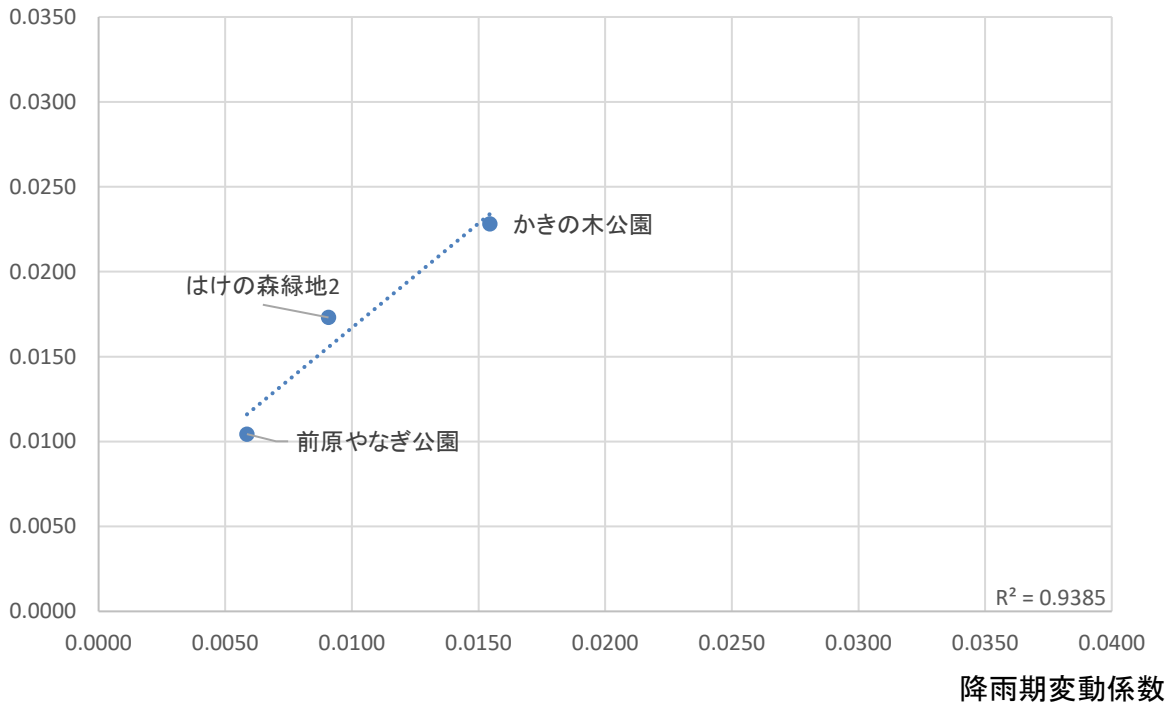


図3-2-2. 令和2年度 降雨期、渇水期の変動係数相関図（はけ下）

渇水期変動係数



相関係数 r :

以下の式であらわされる、2変数(X:降雨期変動係数、Y:渇水期変動係数)の間に、どの程度相関関係があるかを示す数値。一般に0.7以上で強い相関関係にあるとされる。

$$r = \frac{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})^2} \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (Y_i - \bar{Y})^2}}$$

$X_i$ : 地点毎の降雨期変動係数

$\bar{X}$ : 全地点での降雨期変動係数の平均

$Y_i$ : 地点毎の渇水期変動係数

$\bar{Y}$ : 全地点での渇水期変動係数の平均

N: サンプル数、(N=11)

$R^2$ 値:

図3.の相関図中の $R^2$ の値は、相関係数rの2乗値である。点線で示す回帰直線からのばらつきの程度を表し、1に近づくほどばらつきが小さいといえる。

この値が1より小さいとき、回帰直線から外れるものがあるといえる。たとえば回帰直線の上に外れた場合、水位が上昇しにくい割には低下しやすい傾向がある、などといえる。

#### 4. 所見

令和元年度同様、井戸水位は降水量に追従して上下する傾向がみられた。

表2-2. より、年間を通じて最も変動幅が大きかったのは、9.貫井北町3丁目個人宅で、令和元年度と同様であった。年間変動幅が小さかったのは、5.前原やなぎ公園であった。

11.かきの木公園については、渇水期に変動係数が各地点中最大となって、水位が低下しやすい傾向がみられた。

#### 図3について

変動係数について、降雨期と渇水期の間で相関関係があるかを調べた。

降雨により水が浸透し易いならば、すなわち水はけも良いと考えた。結果として、降雨期に変動係数が大きい地点は、同様に渇水期も変動係数が大きくなる傾向が見られた。

## 令和3年度環境教育事業の実施について

## 1 みどり親子ワークショップ（身近な緑の見分け方）

## (1) 概要

緑の募金事業を活用して、日常生活の空間において、自分の身の回りにある樹木の見分け方について、講師により座学で学び、その後、滄浪泉園緑地内を散策しながら、樹木を観察した。

## (2) 開催日時

令和3年5月23日（日）

一部 午前9時30分～10時30分

二部 午前11時00分～12時00分

## (3) 開催場所

滄浪泉園緑地（貫井南町3丁目2番28号）

## (4) 参加者

一部9組、二部8組（小学生3～6年生と保護者）

## 2 小金井第四小学校環境教育事業（樹名板の作成・設置）

## (1) 概要

平成31年度より市町村に譲与されている森林環境譲与税の活用事業として、小金井第四小学校の6年生を対象に総合的学習の時間の中で森林教育及び国産材を使用した樹名板の作成・設置を行う。

## (2) 実施スケジュール

ア ワークショップ（1回目）令和3年5月6日

座学にて森林の役割や樹木の見分け方を学ぶ（詳細裏面のとおりに）

イ ワークショップ（2回目）令和3年7月15日（予定）

小金井第四小学校、三楽公園及び三楽の森公共緑地にて、樹名板設置する樹木の見分け方を学ぶ

ウ 樹名板作成（令和3年9月～10月）

エ 樹名板設置（令和3年11月）

## 環境教育事業

### 小金井市立小金井第四小学校における森林教育の報告

#### 【授業概要】

1. 実施日時・場所：令和3年5月6日（金）2時限目・3時限目、体育館
2. 学年：6年生
3. 目標・ねらい：  
森林の役割や保全の大切さを理解し、身近な自然である里山の樹種とその特徴を知る。
4. 学習の概要
  - ・ 森林と里山
  - ・ 里山の役割と機能
  - ・ 里山の管理と生き物の多様性
  - ・ 里山の主な樹木の紹介
  - ・ 樹木カルタ作り&樹木カルタで遊ぼう

#### 【事前アンケート結果（概要）】

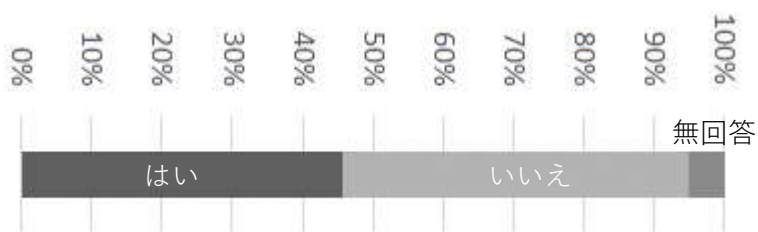


図1 「里山」という言葉を知っていますか？



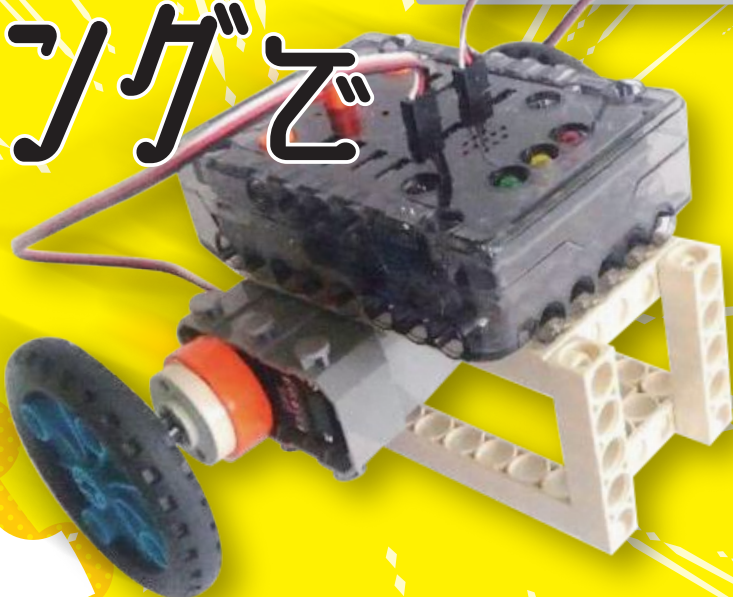
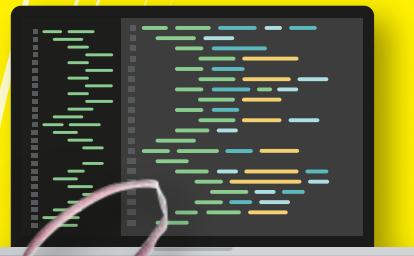
図2 「里山」と聞いて思いうかぶことばやイメージを描いてください（回答例）。

#### 【事後：ワークショップ（授業）の主な感想（原文のまま抜粋）】

- ・ 里山の色々な役わりや木の特ちょうなどが知れてよかったです。かるたが面白かったです。
- ・ 「里山」が人の生活に関わっていたことや、色々な役割があることを知れた。他にも木のことについて葉っぱのとくちょうも分かった。自然の大切さやすごさがちゃんと知れてとてもよかったです。特にすごいと思ったのは、春植物などのもので一度見てみたいと思った。
- ・ 最初はクヌギやコナラの木のくべつがつかなかったけど、かるたを作って遊んだり説明を聞いたことによって、く別がつくようになってうれしかったです。

環境問題×STEAM

# ごみ収集車を プログラミングで 動かそう!



日時

**1**回目 **7.11** 日 9:00~12:00  
[申込] 6.28 日~7.2 金

**2**回目 **11.14** 日 9:00~12:00  
[申込] 10.26 日~11.2 火  
※内容は両日とも同じです。

講師

柳原みず季・田中若葉・前田彩世  
(東京学芸大こども未来研究所STEAMインストラクター)

会場

東京学芸大学

このイベントでは、身近な「ごみ問題」をテーマに、プログラミングなどのSTEAM活動に挑戦しながら、CO<sub>2</sub>削減等へのアプローチについて考えます。

STEAM活動では、「ありたい姿」を思い描いたり、「だれかのために」しくみをデザインして問題を解決したりすることで、よりよい生活や社会にしていく力をつけることができます。

みんなで環境問題の解決に取り組んでみましょう!

申込・問合せ先

小金井市 環境部 環境政策課 電話：042-387-9817  
メールアドレス：s040199@koganei-shi.jp



▶▶ STEAM教育とは? ◀◀



▶ありたい姿の創造・探究：拡散的思考による創造  
**Arts** (アート・リベラルアーツ)  
ありたい姿を描き、歴史や文化を受け継ぐ中から問題を見出そうとする

▶あるべき姿の創造・探究：収束的思考による創造  
**Engineering** (エンジニアリング)  
よりよい生活や社会になるよう、しくみをデザインし問題を解決する

**Science** (科学)  
実験・観察をもとに法則性を見いだす

**Technology** (技術)  
最適な条件・しくみを見いだす

**Mathematics** (数学)  
数量を論理的に表したり使いこなしたりする



STEAM教育プロジェクト  
のホームページはこちら

持ち物：筆記用具、飲み物など

参加対象と定員：市内在住の小学校3年生から小学校6年生とその保護者  
各回 親子15組(応募多数の場合は抽選)

申込方法：電話又はEメール(件名を「ワークショップ参加希望」としたうえで、本文に①お名前(保護者含む)、②ご住所、③学年、④電話番号をご明記ください。)

新型コロナウイルス感染症防止対策

- マスクの着用をお願いします。
- 参加前に検温をさせていただきますが、発熱等の症状が見られる場合には、無理なご参加はお控えください。
- 会場の換気は徹底します。
- 入口に手指消毒用アルコールを設置します。